



小中学校の集団宿泊活動に関する全国調査

報告書

平成 31 年 3 月



National Institution For Youth Education
国立青少年教育振興機構

目 次

第1章 調査概要

1. 調査目的	1
2. 調査内容	1
3. 調査対象校	1
4. 調査主体・調査実施機関	1
5. 調査方法	1
(1) 調査方法	
(2) 調査対象校の抽出方法	
6. 調査実施期日	2
7. 回収数	3
8. 回答者の属性	3

第2章 調査結果

1. 集団宿泊的行事の実施状況と実施日数	4
(1) 集団宿泊活動及び修学旅行の実施状況	
①実施の有無 ②実施学年 ③実施クラス数	
(2) 集団宿泊活動及び修学旅行の実施日数と経年変化	
①実施日数	
②過去6年間における集団宿泊活動の実施日数の変化	
③集団宿泊活動の実施日数を減らしたり、取りやめたりした理由	
④集団宿泊活動の実施日数を増やしたり、新たに実施したりした理由	
(3) 新学習指導要領が全面実施される年度の集団宿泊活動の実施予定	
(4) 集団宿泊活動の実施日数に対する考え	
①適当と考える日数	
②適当な日数と考えた理由	
③一定期間実施に対する考え	
2. 集団宿泊活動で利用した施設等	11
(1) 集団宿泊活動で利用した施設等の種類	
(2) 利用施設等を検討する際に参考にした情報	
(3) 利用施設等を決定する際に重視した事項	
(4) 利用施設等に対する満足度	
(5) 利用施設等に対する満足度に影響を与えた事項	
3. 集団宿泊活動の目的と成果	15
(1) 集団宿泊活動の目的	
(2) 集団宿泊活動の成果	
4. 集団宿泊活動の計画	24
(1) 集団宿泊活動における各活動の各教科等への位置付け	

①関連付けた各教科等	
②関連付けた各教科等の単元・題材	
(2) 集団宿泊活動で留意したり、取り入れたりした事項	
(3) 集団宿泊活動を実施する際、児童生徒にさせたい体験活動	
5. 集団宿泊活動における教職員以外の引率者や指導者	33
(1) 教職員以外の引率者や指導者の有無と募集・依頼方法	
①有無と人数 ②募集・依頼方法	
(2) 教職員以外の引率者や指導者の属性と役割	
①属性 ②役割	
6. 集団宿泊活動を計画・実施する際の不安事項	36
(1) 集団宿泊活動を計画・実施する際の不安事項	
(2) 集団宿泊活動を一定期間、計画・実施する際の不安事項	
7. 集団宿泊活動を計画・実施するに当たっての必要な支援事項	39
(1) 集団宿泊活動を計画・実施するに当たっての必要な支援事項	
(2) 集団宿泊活動を一定期間、計画・実施するに当たっての必要な支援事項	
8. 集団宿泊活動や体験活動を推進する体制	42
(1) 集団宿泊的行事に対する教育委員会等からの経費補助	
(2) 体験活動を推進する学校体制の整備状況	
(3) 体験活動に関する施策等の認知状況	
(4) 集団宿泊的行事や体験活動に関する研修の受講状況	
9. 遠足/旅行・集団宿泊的行事における農林漁業体験・農林漁家泊体験	45
(1) 実施状況、実施した行事、実施した学年	
①実施状況 ②実施した行事 ③実施した学年	
(2) 受入先における活動の調整者	
(3) 農林漁家泊体験を実施していない理由	
10. 集団宿泊活動を実施した学年の児童生徒の学校での様子	48
11. 児童生徒に必要なだと考える体験	49
12. 集団宿泊的行事を実施することによる教職員や学校への効果	50
13. 回答者が体験した活動	51
(1) 大学生の頃に体験した活動	
(2) 小学生の時に体験した集団宿泊活動	

第3章 考察

1. 先行調査の課題と本調査の特色	52
(1) 集団宿泊活動の実施状況に関する調査	
(2) 集団宿泊活動の効果に関する調査	
(3) 集団宿泊活動の受入体制を整備するための調査	
2. 集団宿泊活動の実施状況	55

(1) 集団宿泊的行事の実施状況	
(2) 集団宿泊活動の今後の状況	
(3) 中学校の集団宿泊活動	
3. 集団宿泊活動の実施日数と一定期間（1週間（5日間）程度）の実施	57
(1) 集団宿泊活動の一定期間（1週間（5日間）程度）の実施と実施日数の状況	
(2) 集団宿泊活動を一定期間実施することに対する教員の考え	
(3) 集団宿泊活動の適当日数に対する教員の考え	
(4) 体験活動を一定期間実施することの認知状況	
(5) 集団宿泊活動を一定期間実施することに対する不安	
①現状の期間での不安と一定期間実施した場合の不安	
②宿泊活動の実施日数と一定期間で実施する場合の不安の関係	
(6) 集団宿泊活動の実施日数と成果	
(7) 集団宿泊活動の実施日数と集団宿泊活動に取り入れた活動	
4. 集団宿泊活動で利用した施設等	66
(1) 集団宿泊活動で利用した施設等の種類	
(2) 集団宿泊活動で利用する施設等を検討する際に参考にした情報	
(3) 集団宿泊活動で利用した施設等を決定する際に重視した事項	
(4) 集団宿泊活動で利用した施設等の満足度	
5. 集団宿泊活動の目的と成果	69
(1) 集団宿泊活動の目的と集団宿泊活動で育成する資質・能力	
(2) 集団宿泊活動の目的の重視度と成果の達成度	
(3) 集団宿泊的行事を実施することによる教職員や学校にとっての効果	
(4) 集団宿泊活動の実施の有無及び日数と学校での児童生徒の様子との関係	
6. 集団宿泊活動の教育課程への位置付け	75
(1) 集団宿泊活動と集団宿泊活動における各活動の教育課程への位置付け	
(2) 集団宿泊活動の教育課程への位置付けについての教員の認知状況	
(3) 集団宿泊活動における各活動の各教科等への位置付けの実際	
(4) 集団宿泊活動における各活動を各教科等に位置付けたプログラムに対する 学校の要望	
(5) 集団宿泊活動における各活動を各教科等に位置付けたプログラムの意義	
7. 集団宿泊活動を計画・実施する際の不安と必要とする支援	78
(1) 集団宿泊活動を計画・実施する際の不安～現状の期間と一定期間実施した 場合の違いに注目して～	
(2) 集団宿泊活動を計画・実施するに当たっての必要な支援	
(3) 支援体制の状況	
①経費の補助 ②教職員以外の引率者や指導者	
8. 農林漁業体験・農林漁家泊体験	84
(1) 「子ども農山漁村交流プロジェクト」について	

①「子ども農山漁村交流プロジェクト」の開始	
②「子ども農山漁村交流プロジェクト」の施策の転換	
③「子ども農山漁村交流プロジェクト」の定義と目標	
④子供の農山漁村体験の充実のための支援措置等	
(2) 本調査における「子ども農山漁村交流プロジェクト」に関する調査事項	
(3) 集団宿泊的行事と「子ども農山漁村交流プロジェクト」	
9. まとめ	88
(1) 学習指導要領における集団宿泊的行事の整理	
(2) 自然の中での集団宿泊活動の実施	
(3) 集団宿泊活動の日数	
(4) 学校の不安・要望への対応	
①安全管理体制の整備 ②施設・設備の整備 ③教員の事務的な業務の軽減	
④集団宿泊で育成する資質・能力に応じた各教科等に位置付けたプログラムの整備 ⑤施設等の職員による指導	
第4章 集計結果	
1. 集計結果（「集団宿泊活動における各活動の各教科等への位置付け」の「関連付けた各教科等の単元・題材」を除く）	93
2. 「集団宿泊活動における各活動の各教科等への位置付け」の「関連付けた各教科等の単元・題材」の集計結果	136
資料 調査票	160

第1章 調査概要

1. 調査目的

小中学校の自然の中での集団宿泊活動の実施状況や課題、要望等を把握するために全国的な調査を行い、集団宿泊活動を拡充する方策の立案に資する。

2. 調査内容

国立青少年教育振興機構では平成24年度、全国の国立青少年教育施設（27施設）を集団宿泊活動で利用した小学校に対して（平成24年4月～平成25年2月に利用）、集団宿泊活動の実施体制、成果、実施上の不安事項等を把握する調査を実施している。

本調査は、この調査を基に、対象に中学校を加え、かつ、全国規模としたものである。主な調査内容は以下のとおりである。

- ①集団宿泊的行事の実施日数と経年変化 等
- ②集団宿泊活動で利用した施設等や決定に際し重視した事項、満足度 等
- ③集団宿泊活動の目的と成果
- ④集団宿泊活動における各活動の各教科等への位置付け
- ⑤集団宿泊活動における教職員以外の引率者や指導者の有無と役割 等
- ⑥集団宿泊活動を計画・実施する際の不安事項
- ⑦集団宿泊活動を計画・実施するに当たっての必要な支援事項
- ⑧学校における集団宿泊活動や体験活動の推進体制
- ⑨遠足/旅行・集団宿泊的行事における農林漁業体験・農林漁家泊体験の実施状況 等
※小中学校で教科等の名称が異なる場合は、「○/（スラッシュ）○」とし、スラッシュの前が小学校、後ろが中学校の教科等を表している。

3. 調査対象校

- ①全国の国公立小学校 1,000校
- ②全国の国公立中学校 1,000校

4. 調査主体・調査実施機関

国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター

5. 調査方法

（1）調査方法

- ①調査対象校に調査票を郵送し、調査を依頼した。
- ②調査対象とする集団宿泊活動は、以下のとおりとした。
 - ア. 集団宿泊活動とは、「主に自然の中で行う集団宿泊活動（自然教室や林間学校等）」とした。また、「自然の中で行う集団宿泊活動」とは、「平成30年度全国学力・学習状況調査」の「小学校 学校質問紙」に準じ、「特別活動の学校行事を中心に、学年全体を対象として行うもの」とした。

イ. 平成 29 年度に実施した集団宿泊活動とした。

ただし、隔年実施や特別な理由で平成 29 年度に実施していない場合は、例えば、平成 28 年度など直近に実施した集団宿泊活動とした。

ウ. 複数学年で実施した場合は、より長い期間で行った学年とし、期間が同じ場合は一番上の学年で行った集団宿泊活動とした。

エ. 一年間に同じ学年が複数回実施した場合は、より長い期間で行った集団宿泊活動とした。

オ. 複数の学校で合同実施した場合は、代表の学校が回答することとした。

③回答者は集団宿泊活動を実施した学年の「学年主任」とした。

ただし、学年主任が転勤等で不在の場合は「同学年の教員」、次いで「教頭等の事情が分かる教員」の順とした。

また、集団宿泊活動を実施していない場合は、「教頭等の事情が分かる教員」とした。

(2) 調査対象校の抽出方法

①抽出方法

層化抽出法（比例分配法）とした。

ただし、複式学級は隔年実施や他校との合同実施のケースが多くなることから、複式学級が想定される全校児童数 100 人未満の小学校、全校生徒数 30 人未満の中学校は除外した。

②抽出について

ア. 標本抽出枠として、2018 年版全国学校データ（教育ソリューション株式会社）を用いた。

イ. 層化は市郡規模と学校規模で行った。

ウ. 市郡は 2018 年 1 月 1 日現在の住民基本台帳人口（日本人）を基にした。

エ. 市郡規模は、「100 万人以上市」、「50 万人以上市」、「20 万人以上市」、「10 万人以上市」、「10 万人未満市」、「郡」の 6 カテゴリに分類した。

オ. 学校規模は在籍総数を元に、学校教育法施行規則で定められている標準的な学級数（12～18 学級）を基準に、「360 人未満」、「360 人～540 人」、「541 人以上」に分類した。

カ. 各層への標本学校数の割当は、学校総数に基づき比例割当とした。

キ. 各層における標本学校の抽出は、標本学校数を基にした等間隔抽出法とした。

6. 調査実施期日

①調査票の発送 平成 30 年 7 月 2 日（月）

②回収締め切り 平成 30 年 8 月 10 日（金）

7. 回収数

表 1 回収状況

	配布数	回収数	回収率
全体	2,000	1,295	64.8%
- 小学校	1,000	668	66.8%
- 中学校	1,000	627	62.7%

8. 回答者の属性

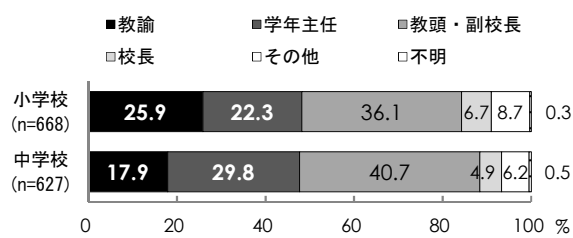


図 1-1 回答者の職名 (学校種別)

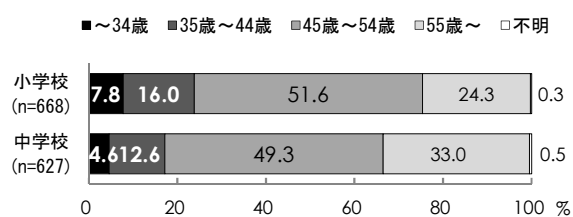


図 1-2 回答者の年代 (学校種別)

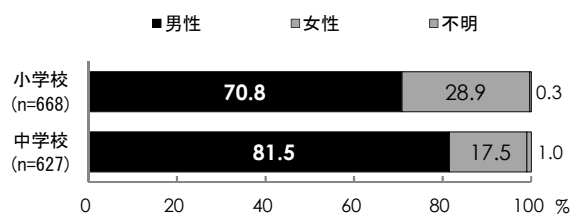


図 1-3 回答者の性別 (学校種別)

第2章 調査結果

1. 集団宿泊的行事の実施状況と実施日数

(1) 集団宿泊活動及び修学旅行の実施状況

①実施の有無

「集団宿泊活動」を「実施している」と回答した割合は、小学校が98.2%、中学校が72.2%であった。

「修学旅行」を「実施している」と回答した割合は、小学校が84.6%、中学校が91.2%であった。

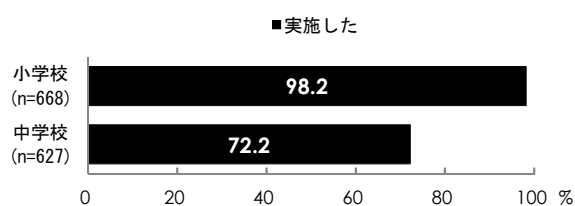


図 2-1-1 集団宿泊活動の実施状況（学校種別）

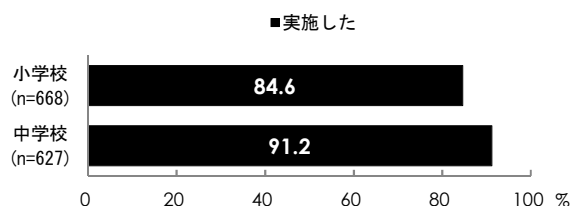


図 2-1-2 修学旅行の実施状況（学校種別）

②実施学年（複数回答）

「集団宿泊活動」の「実施学年」の回答の割合は高い順に、小学校は5年生（97.4%）、4年生（13.9%）、中学校は1年生（70.4%）、2年生（46.1%）であった。小学校はほぼ5年生で実施しているのに対して、中学校は1年生が7割と多いが、2年生も5割弱が実施している。また、小学校、中学校とも複数の学年で実施していると回答した学校があった。

「修学旅行」の「実施学年」の最も高い回答の割合は、小学校が6年生（98.9%）、中学校は3年生（78.1%）で、ともに最終学年である。また、小学校はほぼ6年生で実施しているが、中学校は2年生も22.0%が実施している。

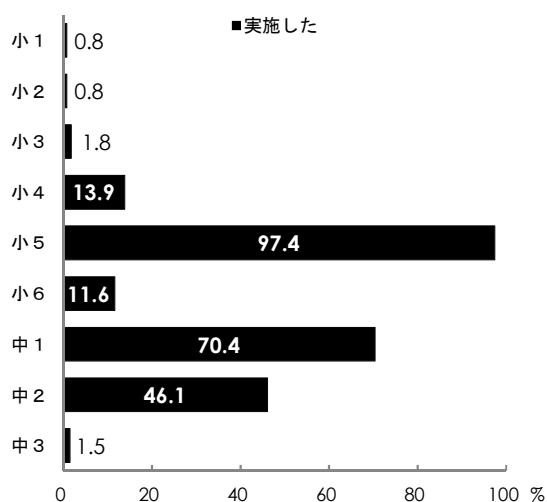


図 2-1-3 集団宿泊活動を実施した学年
（小学校 n=656, 中学校 n=453）

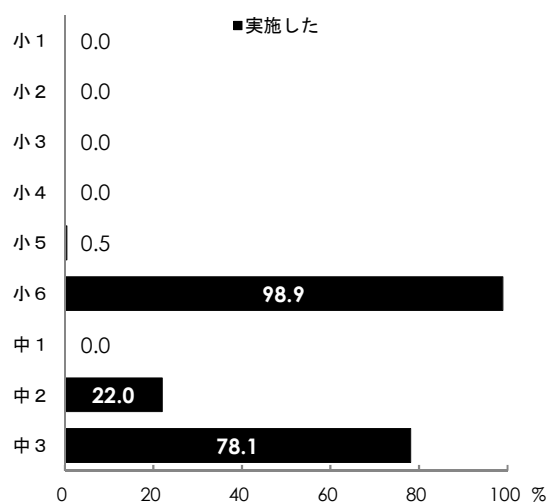


図 2-1-4 修学旅行を実施した学年
（小学校 n=565, 中学校 n=572）

③実施クラス数

「集団宿泊活動」の実施クラス数は「2クラス」と回答した割合が、小学校、中学校ともに最も高かった（小学校41.5%、中学校19.6%）。

「修学旅行」の実施クラス数は「2クラス」と回答した割合が、小学校、中学校ともに最も高かった（小学校38.2%、中学校22.4%）。

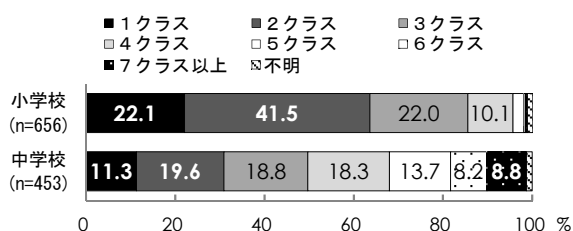


図 2-1-5 集団宿泊活動の実施クラス数（学校種別）

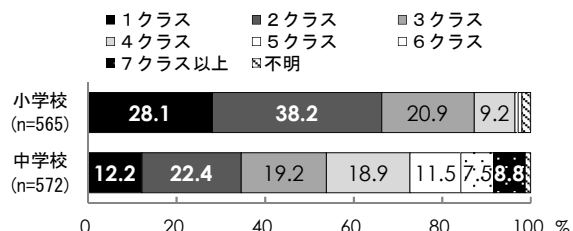


図 2-1-6 修学旅行の実施クラス数（学校種別）

（2）集団宿泊活動及び修学旅行の実施日数と経年変化

①実施日数

「集団宿泊活動」の「実施日数」の回答の割合は高い順に、小学校、中学校ともに「1泊2日」（小学校59.6%、中学校53.6%）、「2泊3日」（小学校33.1%、中学校41.5%）であった。「2泊3日」で実施している割合は、小学校よりも中学校の方が高い。「1泊2日」と「2泊3日」を合計した回答の割合は、小学校が92.7%、中学校が95.1%になる。

また、文部科学省が小学校に推奨している「一定期間（5日間程度）」に合致する「4泊以上」実施している小学校の割合は約4%と極めて低い。

「修学旅行」の「実施日数」の最も割合の高い回答は、小学校が「1泊2日」（92.2%）、中学校が「2泊3日」（88.3%）であった。また、「3泊以上」実施している小学校は0%だったが、中学校は11%であった。

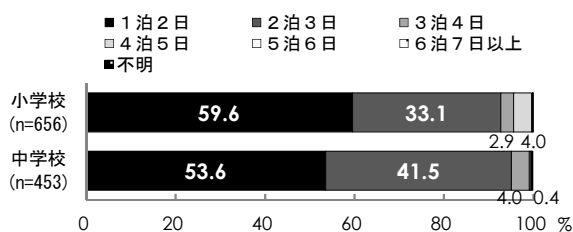


図 2-1-7 集団宿泊活動の実施日数（学校種別）

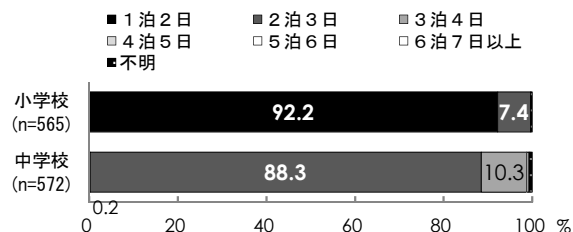


図 2-1-8 修学旅行の実施日数（学校種別）

②過去 6 年間における集団宿泊活動の実施日数の変化

「変わらない」と回答した割合は小学校が 89.5%，中学校が 65.7%で，小学校，中学校ともに最も高かった。

「減った」は小学校が 5.7%，中学校が 4.8%であった。また，中学校の 27.0%は「実施していない」と回答している。

「増えた」は小学校が 2.7%，中学校が 1.6%であり，極めて低い。

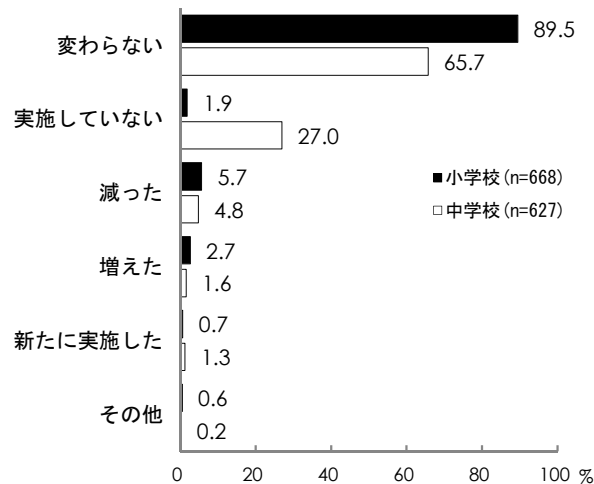


図 2-1-9 平成 29 年度の集団宿泊活動の日数と過去 6 年間の日数との比較（学校種別）

③集団宿泊活動の実施日数を減らしたり，取りやめたりした理由（複数回答）

「日数を減らしても同程度の効果が期待できるため」と回答した割合は小学校が 39.5%，中学校が 63.3%で，小学校，中学校ともに最も高かった。

次いで，小学校は「児童生徒の身体的な負担を軽減するため」(39.2%)，「教科の授業時数を確保したため」(31.4%)，「学校行事を精選し，集団宿泊活動以外の活動を重視したため」・「保護者の経済的な負担を軽減するため」(23.5%)，「教職員の夜間における指導の負担を軽減するため」(19.6%)，「児童の精神的な負担を軽減するため」・「教職員による引率体制がとりにくいため」(17.6%)であった。

中学校は「教科の授業時数を確保したため」・「学校行事を精選し，集団宿泊活動以外の活動を重視したため」(12.1%)，「保護者の経済的な負担を軽減するため」(8.0%)，「教職員の夜間における指導の負担を軽減するため」(7.5%)であった。

中学校の学習指導要領で重点的に実施することとされている「職場見学や職場体験活動を導入したため」に回答した割合は，中学校が 4.5%なのに対して，小学校は 0%だった。

また，小学校と中学校の回答の割合を比較すると，例えば，「児童生徒の身体的な負担を軽減するため」は，小学校が 39.2%なのに対して中学校は 4.5%で 34.7 ポイントの差があるなど，多くの項目で小学校の方が高くなっている。

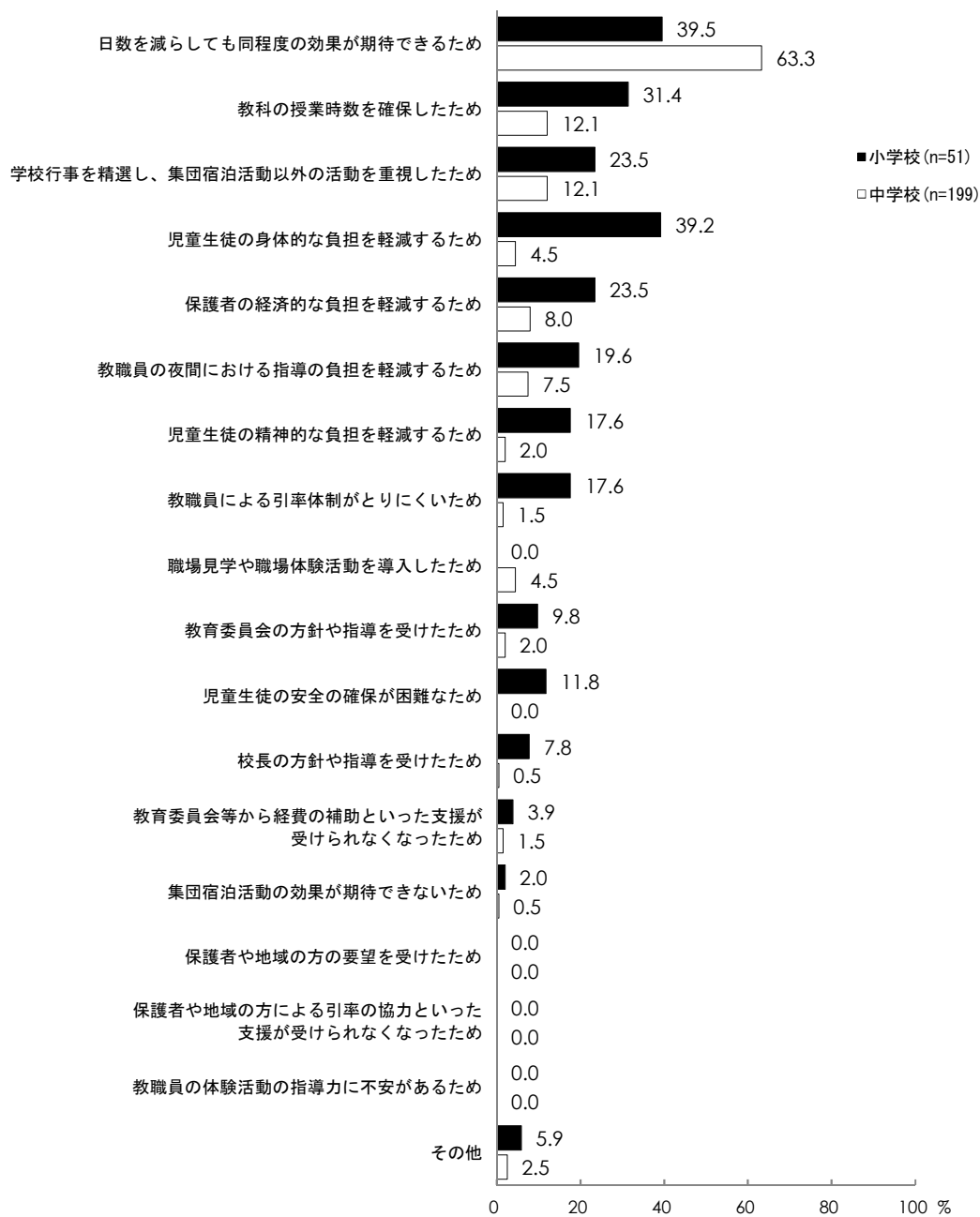


図 2-1-10 日数を減らしたり、取りやめたりした理由（学校種別）

④集団宿泊活動の実施日数を増やしたり、新たに実施したりした理由（複数回答）

小学校の回答の割合は高い順に、「活動を充実させ、教育効果を高めるため」・「教育委員会の方針や指導を受けたため」(50.0%)、「小学校学習指導要領解説特別活動編で、一定期間実施することが望ましいとされているため」(27.3%)、「教育委員会等から経費の補助といった支援が受けられたため」(22.7%)であった。

中学校は、小学校と同様に「活動を充実させ、教育効果を高めるため」(83.3%)が最も高く、しかも、他の項目と比べると突出して高い。次いで「学校行事を精選し、集団宿泊活動を重視したため」(27.8%)、「教育委員会等から経費の補助といった支援が受けられたため」(16.7%)であった。

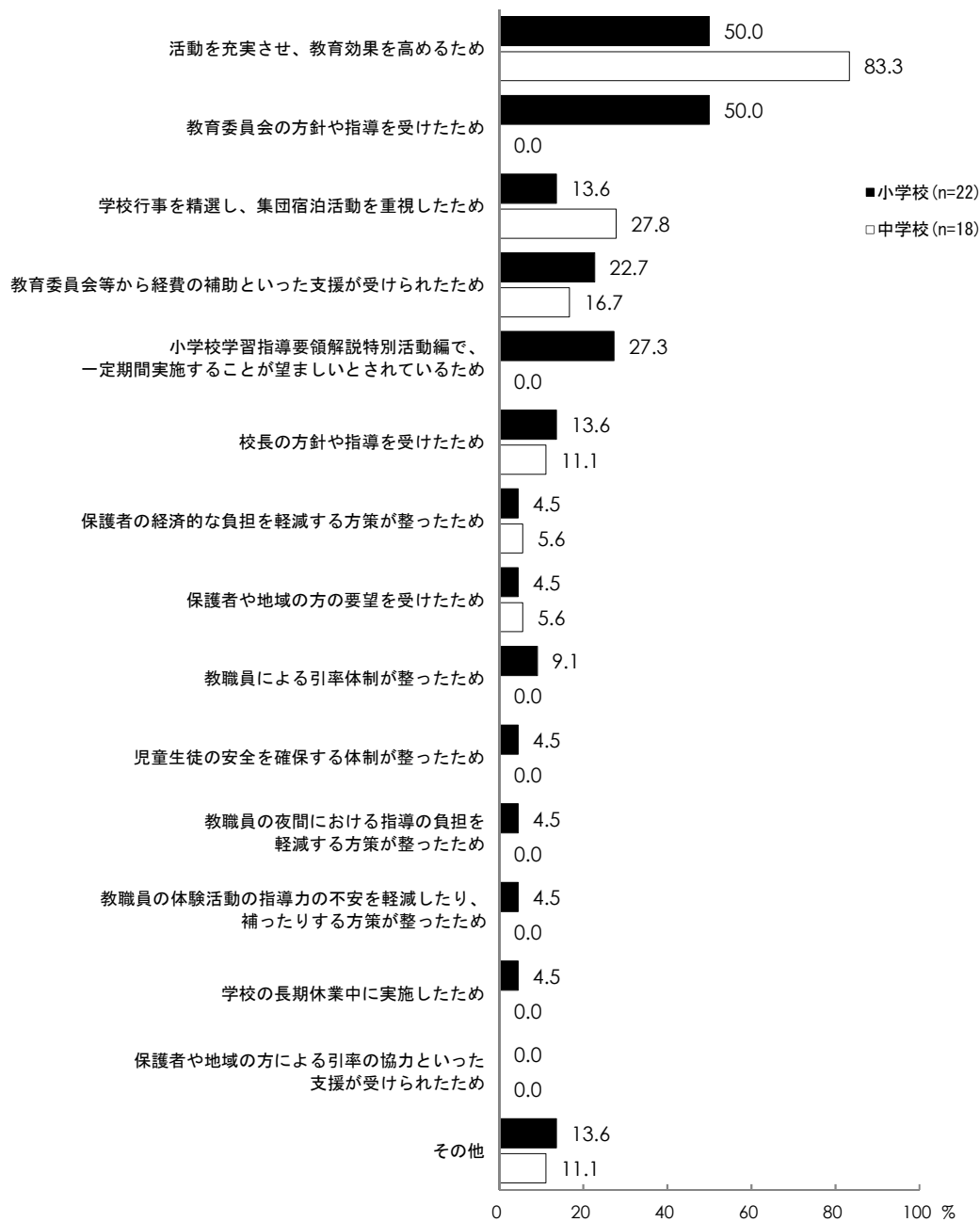


図 2-1-11 日数を増やしたり、新たに実施したりした理由（学校種別）

（3）新学習指導要領が全面実施される年度の集団宿泊活動の実施予定

「平成 29 年度と同じように実施したい」と回答した割合は小学校が 87.6%，中学校が 62.4%で，小学校，中学校ともに最も高かった。

「実施しないこと，または，平成 29 年度よりも日数を減らして実施することが決まっている」は小学校が 2.2%，中学校が 22.0%，「平成 29 年度よりも日数を減らして実施したい」は小学校，中学校ともに 3.0%，「実施することは困難だろう」は中学校が 2.2%であった。3 項目を合計すると小学校は 5.2%，中学校は 27.2%になり，中学校の 3 割弱が日程の短縮や取り止める傾向となっている。

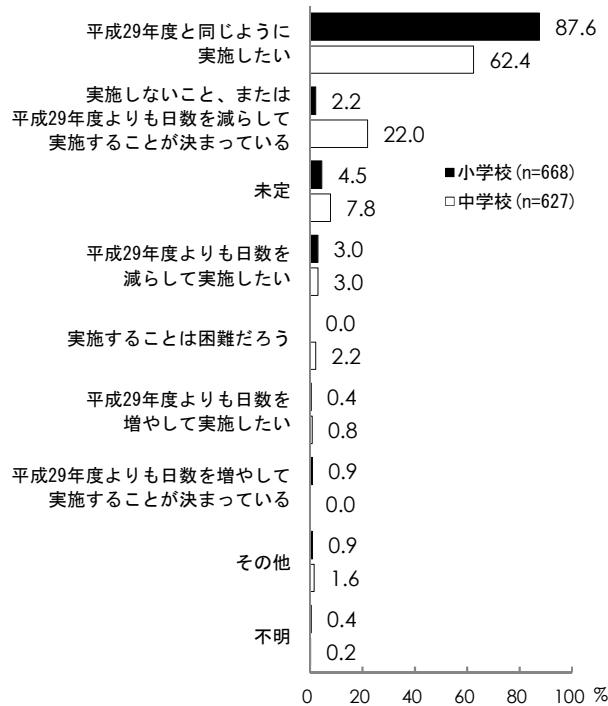


図 2-1-12 新学習指導要領が全面实施される年度の集団宿泊活動実施予定（学校種別）

（4）集団宿泊活動の実施日数に対する考え

① 適当と考える日数

小学校の回答は割合が高い順に、「1泊2日」（59.9%）、「2泊3日」（34.0%）であり、「3泊4日以上」は5.8%であった。

中学校は「2泊3日」（62.2%）、「1泊2日」（29.7%）であり、「3泊4日以上」は7.0%であった。中学校の方が小学校よりも適当と考える日数が長い傾向となっている。

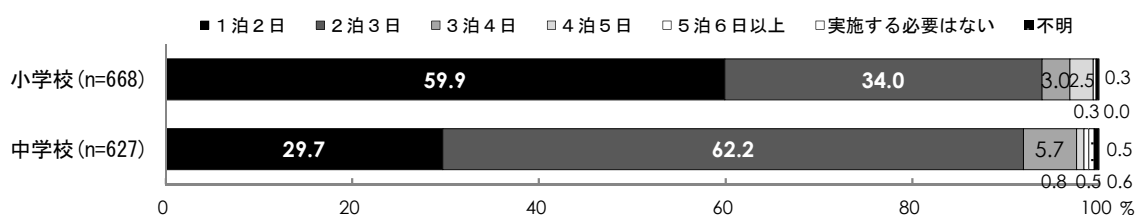


図 2-1-13 集団宿泊活動の適当な日数（学校種別）

② 適当な日数と考えた理由（複数回答）

小学校の回答は割合が高い順に、「児童にとって適度な負荷となる日数」（59.0%）、「教職員による引率体制がとれる日数」（58.7%）、「教科の授業に支障がない日数」（49.9%）、「効果をあげるのに十分な日数」（47.8%）であり、全9項目中、4項目が4割を超えている。

中学校は「教科の授業に支障がない日数」（47.7%）、「教職員による引率体制がとれる日数」（46.4%）、「児童生徒にとって適度な負荷となる日数」（43.4%）、「効果をあげるのに必要な日数」（40.8%）、「効果をあげるのに十分な日数」（40.5%）であり、5項目が4割を超えている。

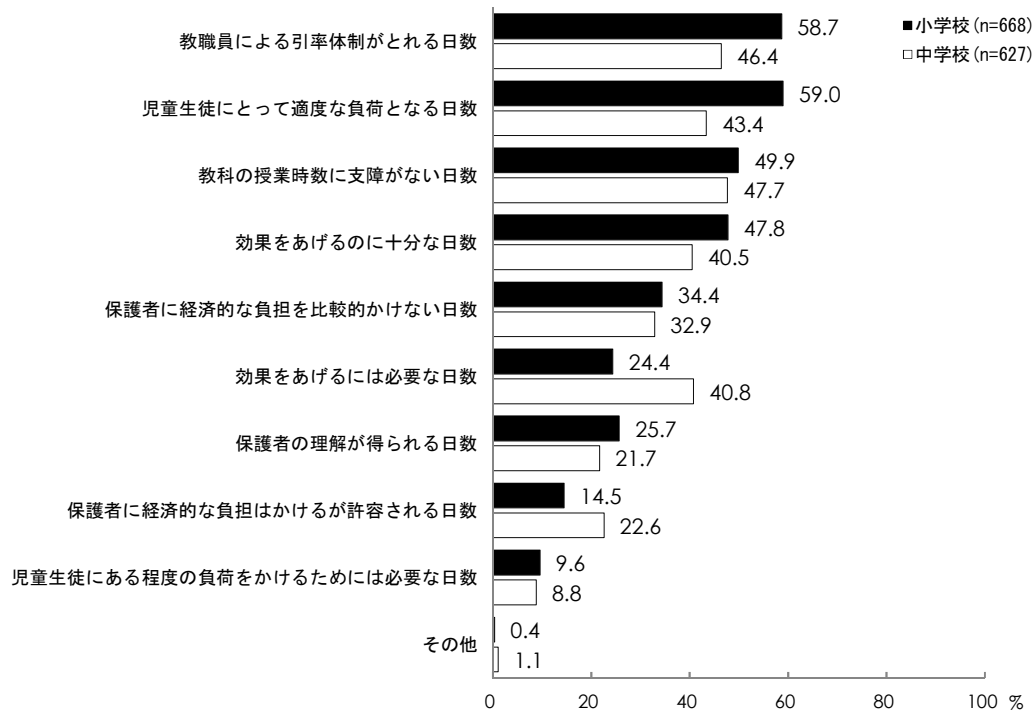


図 2-1-14 「集団宿泊活動の適当な日数」について適当と考える理由（学校種別）

③一定期間実施に対する考え

本調査では、「一定期間」を「3泊4日」以上として、回答を求めた（※）。

「実施したい」と回答した割合は小学校が 6.0%，中学校が 6.9%，「実施したいが困難」は小学校が 43.3%，中学校が 41.6%であった。2つの項目を合計した「実施について肯定的な回答」は小学校が 49.3%，中学校が 48.5%になる。

一方、「実施する必要はない」と回答した割合は小学校が 20.4%，中学校が 18.8%，「どちらかという実施する必要はない」は小学校が 29.8%，中学校が 31.1%であった。2つの項目を合計した「実施について否定的な回答」は小学校が 50.2%，中学校が 49.9%になり、肯定的な回答の割合と拮抗しているがやや高い。集団宿泊活動の長期実施が推奨されている小学校においても約5割が否定的である。

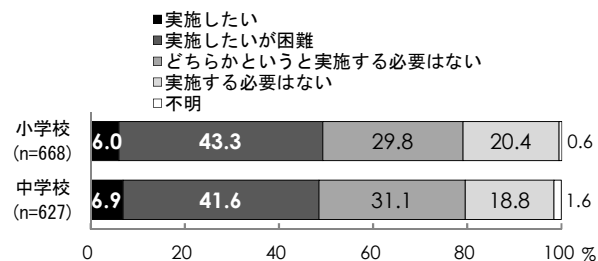


図 2-1-15 集団宿泊活動を一定期間（1週間程度）実施することについての考え（学校種別）

（※）文部科学省「農山漁村での長期宿泊体験による教育効果について」（報告）（平成 21 年）が、「今回の評価においては、3泊4日以上の長期宿泊体験日数を確保することが望ましい」としていること。また、広島県教育委員会や京都市教育委員会が3泊4日以上を長期としている事例があることから、本調査では「一定期間」を「3泊以上」とした。

2. 集団宿泊活動で利用した施設等

(1) 集団宿泊活動で利用した施設等の種類（複数回答）

「公立青少年教育施設」と回答した割合は小学校が47.0%，中学校が31.8%で，小学校，中学校ともに最も高かった。

次いで，小学校は「公立野外活動施設」(21.8%)，「国立青少年教育施設」(13.0%)であり，「公立の保養施設」(2.6%)を加えた「公立施設」の利用は約7割になる。

中学校は，「ホテル・旅館・民宿」(22.5%)，「国立青少年教育施設」(21.6%)であり，「公立の保養施設」(1.5%)を加えた「公立施設」の利用は約5割になる。

(2) 利用施設等を検討する際に参考にした情報（複数回答）

「自校の教職員からの情報」と回答した割合は小学校が55.0%，中学校が51.4%で，小学校，中学校ともに最も高かった。

次いで，小学校は「施設等のパンフレットなどといった紙媒体の案内情報」(47.1%)，「施設等のホームページ」(45.9%)，中学校は「施設等のホームページ」(50.1%)，「施設等のパンフレットなどといった紙媒体の案内情報」(46.4%)であった。施設等のホームページは活用されているが，「検索サイト」と「マッチングサイト」は活用されていない傾向となっている。

また，「施設等の説明会への参加や職員等が来校しての説明」は小学校が37.2%，中学校が26.5%，「当該施設等の見学や下見」は小学校が35.5%，中学校が27.8%であり，教職員が施設を見学したり施設職員から話を聞いたりといった直接受ける情報は，パンフレットやホームページといった施設等から提供される間接的な情報と比べると低い傾向となっている。

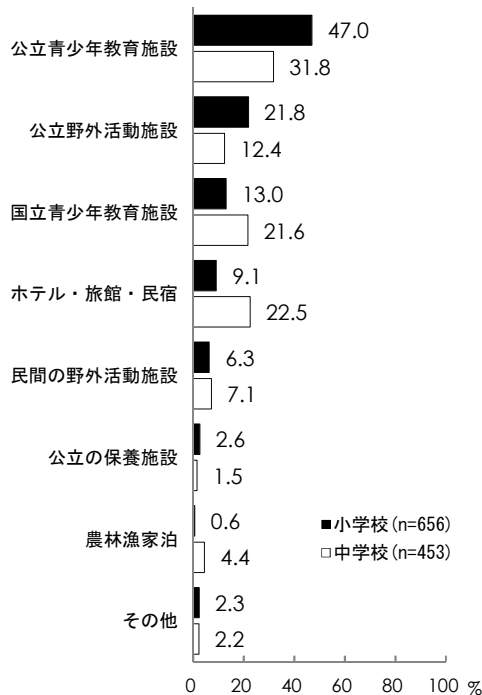


図 2-2-1 平成 29 年度の集団宿泊活動で利用した施設 (学校種別)

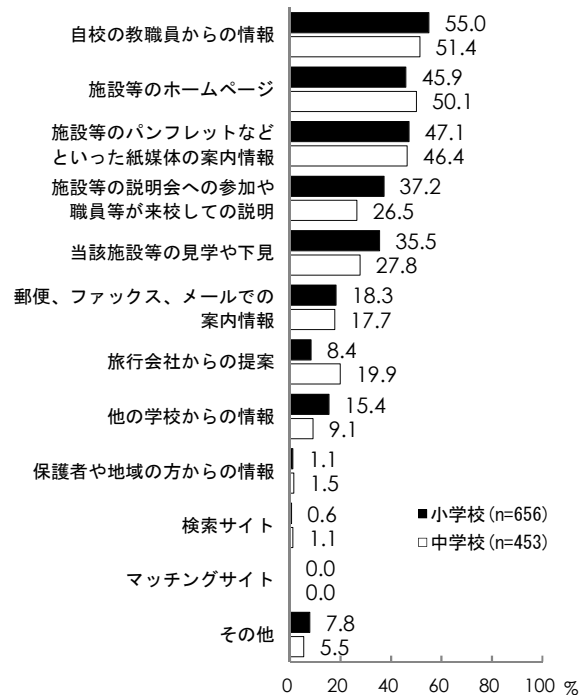


図 2-2-2 利用する施設を検討する際に参考にした情報 (学校種別)

(3) 利用施設等を決定する際に重視した事項

「重視した」と「やや重視した」と回答した合計の割合が高い順に、「安全管理の体制が整っている」(88.1%)、「施設・設備が充実している」(85.8%)、「自然環境が豊かである」(84.9%)、「例年利用している」(84.8%)、「食物アレルギー等に対応する」(84.7%)、「施設等の使用料や食事料金等が安価である」(83.3%)、「野外活動のプログラムが充実している」(82.9%)、「児童生徒の生活の管理がしやすい」(81.4%)、「近隣に体験活動や見学に適した場所や施設がある」(81%)、「学校の要望に対して柔軟に対応する」(80.4%)であり、全38項目中10項目が8割を、28項目が5割を超え、全体的に高い傾向となっている。

しかし、「重視した」と回答した割合で5割を超えるのは「例年利用している」(63.7%)、「自然環境が豊かである」(55.1%)、「安全管理の体制が整っている」(54.6%)、「近隣に体験活動や見学に適した場所や施設がある」(52.6%)、「食物アレルギー等に対応する」(52.1%)、「野外活動のプログラムが充実している」(50.5%)の6項目となる。

次に、「視点」を設定し、「重視した」と「やや重視した」と回答した合計の割合は次のとおりである。

「安全管理」の視点でみると、「安全管理の体制が整っている」(88.1%)、「食物アレルギー等に対応する」(84.7%)、「施設等から病院までの距離が近い(移動時間が短い)」(64.2%)であった。

「立地環境」の視点でみると、「自然環境が豊かである」(84.9%)、「近隣に体験活動や見学等に適した場所や施設がある」(81.0%)、「施設等から病院までの距離が近い(移動時間が短い)」(64.2%)※再掲、「学校から施設等までの移動時間がかからない」(63.9%)であった。

集団宿泊活動の内容と深く関連する「プログラム」の視点でみると、「野外活動のプログラムが充実している」(82.9%)、「協調性を高めるグループ活動のプログラムが充実している」(69.2%)、「特色あるプログラムが充実している」(63.7%)、「屋内活動のプログラムが充実している」(61.9%)、「創作活動のプログラムが充実している」(60.3%)、「環境教育のプログラムが充実している」(49.9%)、「教科等に関連付けたプログラムが充実している」(38.8%)であった。

「サービスの対応」の視点でみると、「学校の要望に対して柔軟に対応する」(80.4%)、「施設等の職員の電話や窓口での対応がよい」(64.4%)、「利用の手続きが煩雑でない」(59.2%)、「施設等が、外部の指導者や活動場所の紹介、手配を行う」(41.9%)であった。

「職員等による指導・助言」の視点でみると、「施設等の職員等が体験活動プログラムの指導を直接行う」(66.1%)、「施設等の職員から、計画立案に際し専門的な助言が得られる」(62.1%)、「施設等の職員等が専門的な体験活動プログラムの指導を直接行う」(54.8%)であった。

青少年教育施設の特色である「生活体験・交流体験」の視点でみると、「布団を敷くことや清掃などといった生活体験ができる」(68.7%)、「起床・就寝時刻などの規則正しい生活を送ることができる」(67.5%)、「施設等を利用している他の学校や団体等と交流ができる」(13.3%)であった。

■重視した ■やや重視した ■どちらかという重視しなかった □重視しなかった □不明

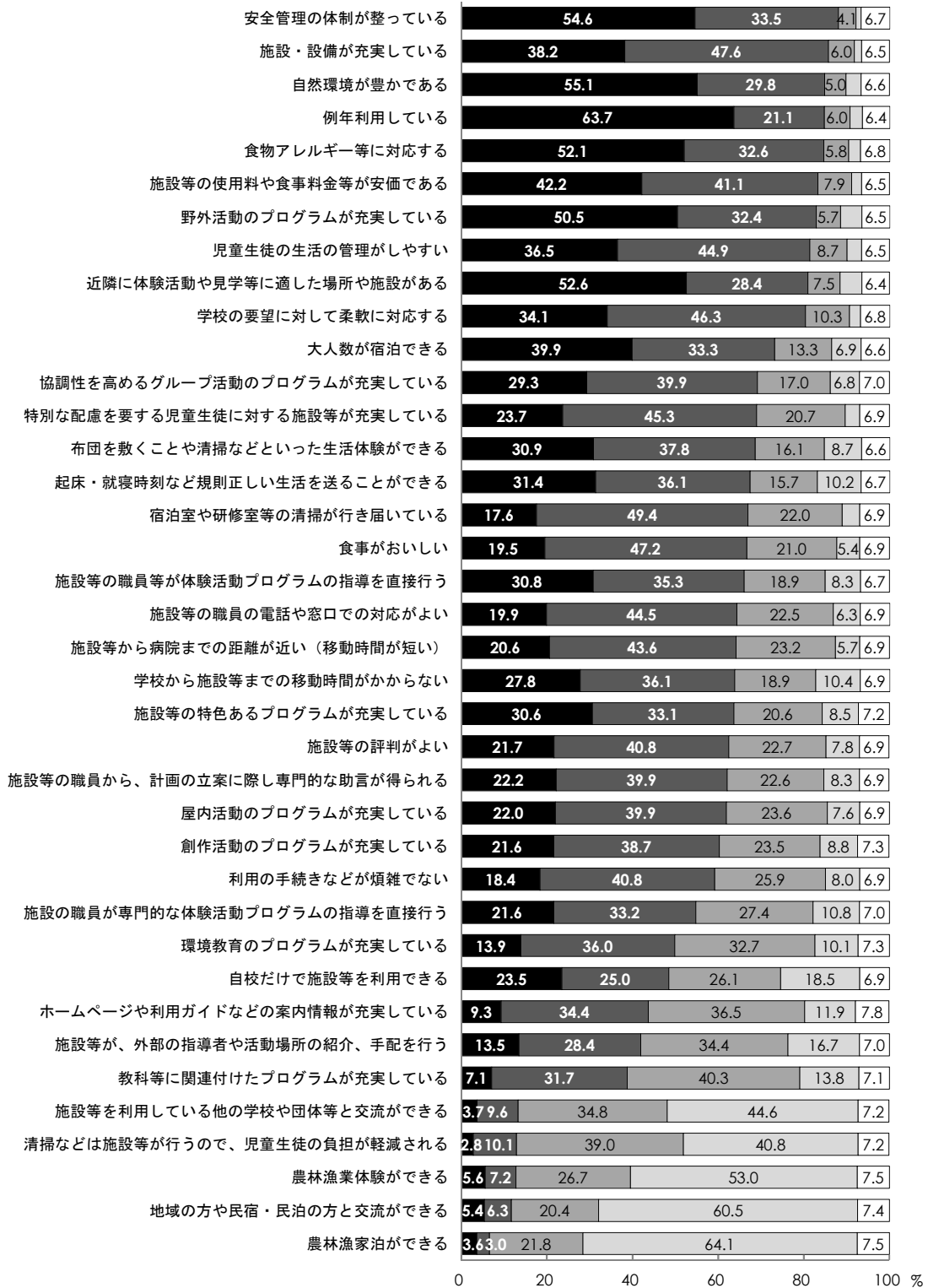


図 2-2-3 利用する施設を決定する際、重視したこと (n=1, 109)

(4) 利用施設等に対する満足度

「満足」と「やや満足」と回答した合計の割合は、小学校が91.7%、中学校が88.5%であった。しかし、「満足」と回答した割合は、小学校が45.1%、中学校が45.0%であり、いずれも5割にならない。

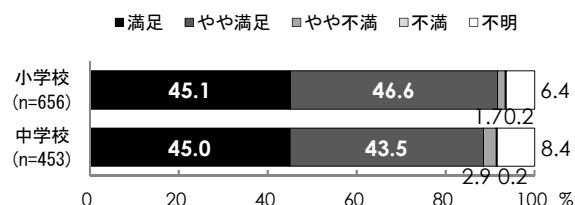


図 2-2-4 利用施設等に対する満足度（学校種別）

(5) 利用施設等に対する満足度に影響を与えた事項

「影響があった」と「やや影響があった」と回答した合計の割合は高い順に、「宿泊室や研修室の清潔さ」(90.7%)、「施設・設備の充実度」(88.7%)、「施設等の使用料や食事料金などの料金」(86.8%)、「安全管理体制の充実度」・「自然環境や近隣施設などの立地環境」(85.3%)であり、全9項目中7項目が8割を超え、全体的に高い傾向となっている。

しかし、「影響があった」と回答した割合で5割を超えたのは「宿泊室や研修室の清潔さ」(52.8%)の1項目であった。

最も割合が高い「宿泊室や研修室の清潔さ」は、(3)「利用する施設等を決定する際に重視したこと」で最も割合が高い「安全管理体制」(88.1%)よりも高い割合となっている。

また、集団宿泊活動の内容に関係が深い「プログラムの充実度」(81.4%)と「施設等の職員等による体験活動の指導」(78.1%)の回答の割合は他の項目と比べると低い。

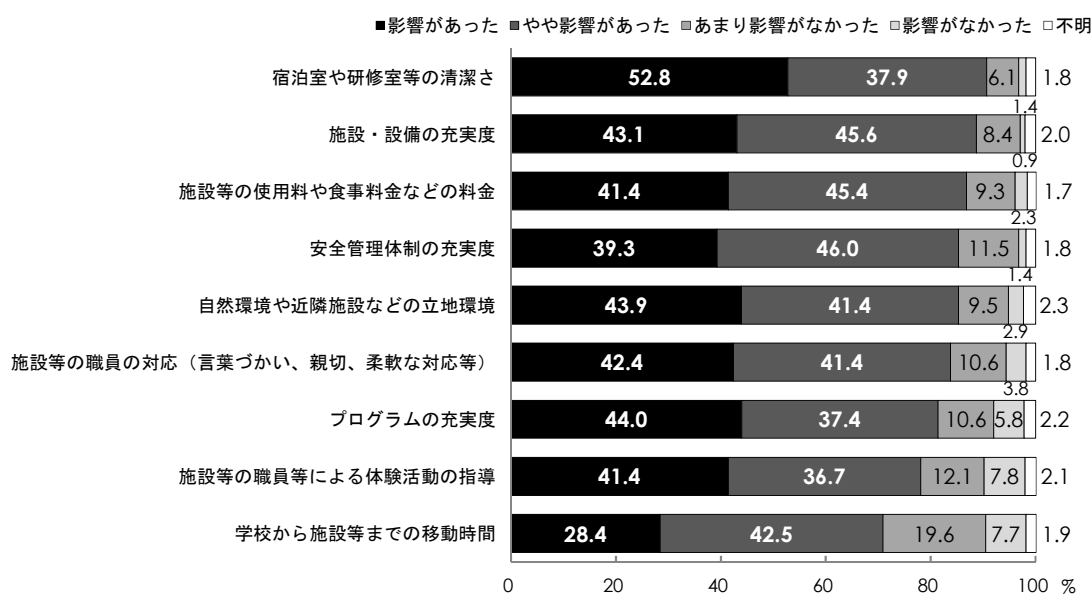


図 2-2-5 利用施設等に対する満足度に影響を与えた事項 (n=1,109)

3. 集団宿泊活動の目的と成果

(1) 集団宿泊活動の目的

「重視した」と「やや重視した」と回答した合計の割合は高い順に、「よりよい人間関係を築くこと」(98.6%)、「学級や学年への所属感や連帯感を深めること」(98.4%)、「規律ある集団行動ができるようにすること」(98.1%)、「約束やルール、時間を守るなど公衆道徳について理解し、行動の仕方を身に付けること」(97.8%)、「必要な係をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践できるようにすること」(97.6%)、「協力して諸問題を解決し、よりよい学校生活を築くことができるようにすること」(96.6%)と人間関係や集団活動に関する項目が高く、全23項目中8項目が9割を、14項目が7割を超え、全体的に高い傾向となっている。

しかし、「重視した」と回答した割合で7割を超えるのは「学級や学年への所属感や連帯感を深めること」(91.3%)、「よりよい人間関係を築くこと」(90.5%)、「規律ある集団行動ができるようにすること」(87.8%)などの7項目となる。

次に、「視点」を設定し、「重視した」と「やや重視した」を合計した回答の割合は次のとおりである。

「人間関係」の視点で見ると、「よりよい人間関係を築くこと」(98.6%)、「学級や学年への所属感や連帯感を深めること」(98.4%)、「教師と児童生徒のふれあいを深めること」(82.0%)、「不登校あるいは不登校傾向の児童生徒が学級に適應すること」(61.1%)であった。

「集団活動」の視点で見ると、「規律ある集団行動ができるようにすること」(98.1%)、「約束やルール、時間を守るなど公衆道徳について理解し、行動の仕方を身に付けること」(97.8%)、「必要な係をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践できるようにすること」(97.6%)、「協力して諸問題を解決し、よりよい学校生活を築くことができるようにすること」(96.6%)であった。

「自己」の視点で見ると、「自分に自信を持ったり、自分が学級に役立っていると思ったりするなど、自己を肯定的にとらえるようにすること」(91.8%)、「困難なことや思いどおりにならないことでも我慢できるようにすること」(86.5%)、「自己の生き方を考えたり、見方や考え方を深めたりすること」(71.2%)であった。

「自然」の視点で見ると、「生命の有限性や自然の大切さを、実感を伴って理解すること」(76.6%)、「環境保全の意識を高めたり、態度を培ったりすること」(69.6%)であり、他の項目と比べると低い。

「農山漁村体験」の視点で見ると、「普段とは異なる農山漁村での生活を、体験を通して理解すること」(22.6%)、「農林漁業を、体験を通して理解すること」(15.6%)であった。

また、小学校と中学校の回答の割合を比べると、項目によって数値の違いや順位の上下はあるが、回答傾向に大きな違いはみられない。

■重視した ■やや重視した ■あまり重視しなかった □重視しなかった □不明

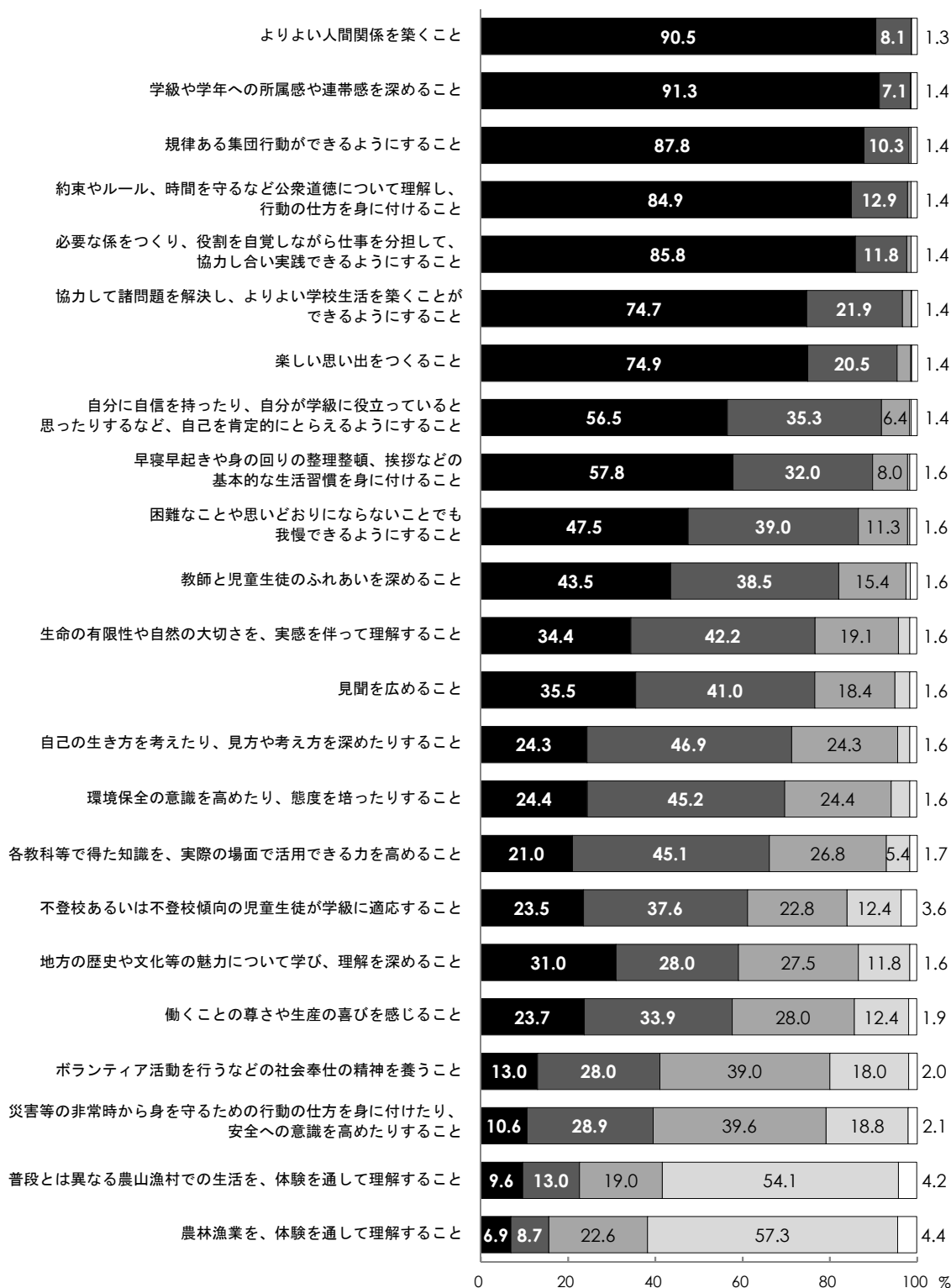


図 2-3-1 集団宿泊活動の実施に際して重視した目的・全体 (n=1,109)

■重視した ■やや重視した ■あまり重視しなかった □重視しなかった □不明

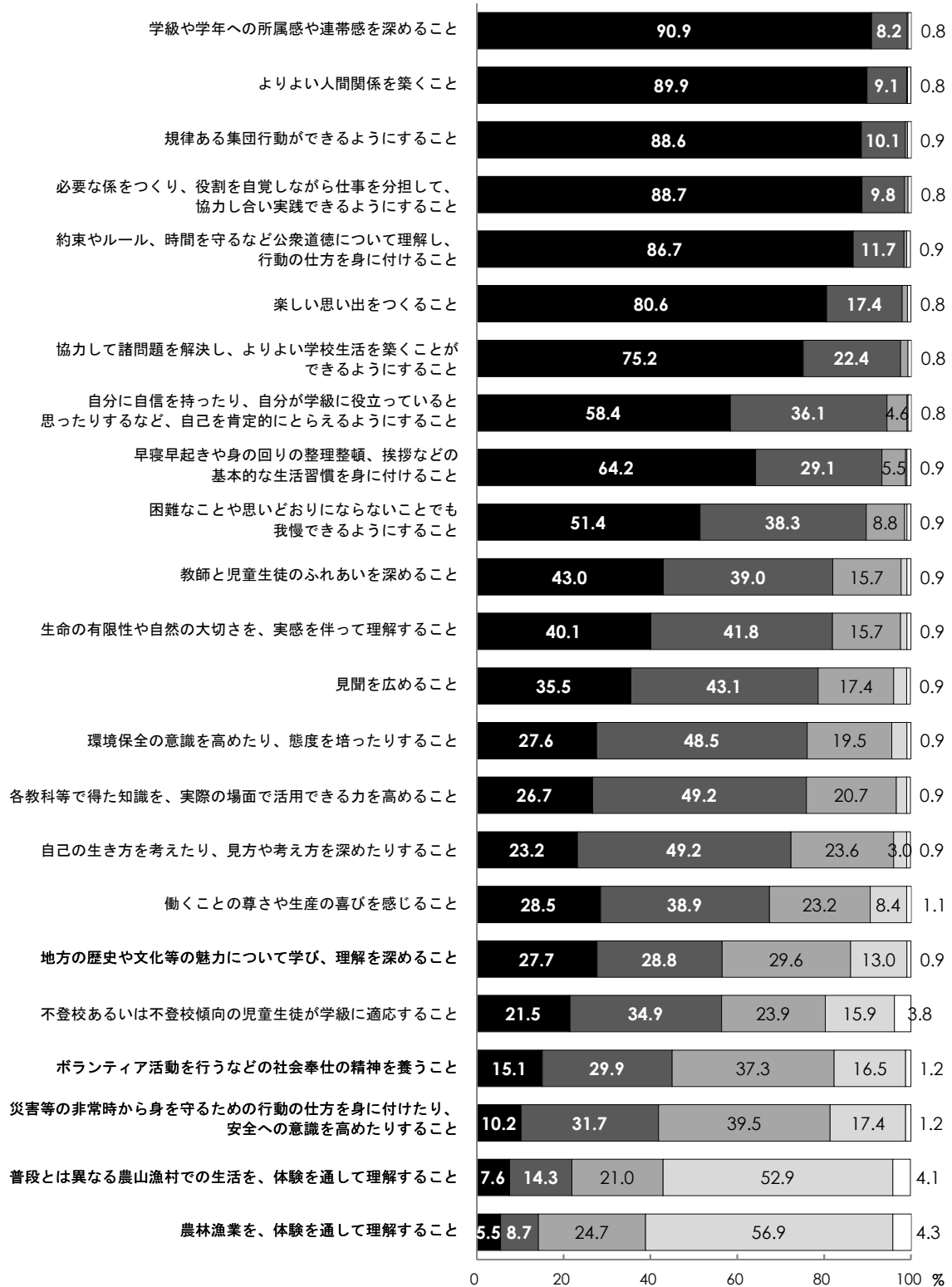


図 2-3-2 集団宿泊活動の実施に際して重視した目的・小学校 (n=656)

■重視した ■やや重視した ■あまり重視しなかった □重視しなかった □不明

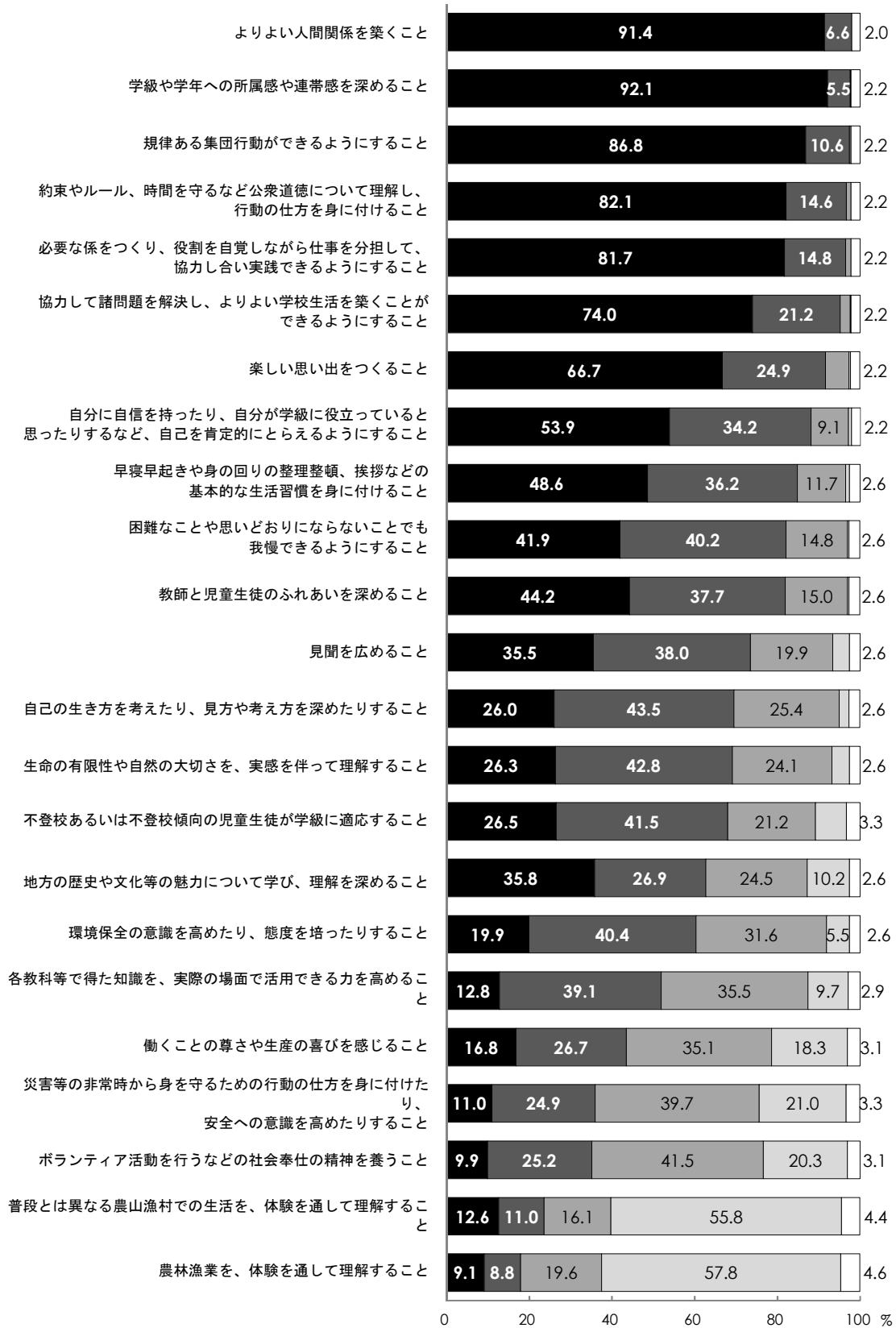


図 2-3-3 集団宿泊活動の実施に際して重視した目的・中学校 (n=453)

(2) 集団宿泊活動の成果

「成果があった」と「やや成果があった」と回答した合計の割合は高い順に、「学級や学年への所属感や連帯感を深めること」(97.9%)、「よりよい人間関係を築くこと」(97.5%)と「目的」と同じ項目が上位になっている。次いで、「楽しい思い出をつくること」・「必要な係をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践できるようにすること」(96.7%)、「規律ある集団行動ができるようにすること」(96.5%)、「約束やルール、時間を守るなど公衆道徳について理解し、行動の仕方を身に付けること」(96.1%)、「協力して諸問題を解決し、よりよい学校生活を築くことができるようにすること」(94.7%)であり、全23項目中7項目が9割を、13項目が7割を超え、全体的に高い傾向となっている。

しかし、「成果があった」と回答した割合で7割を超えるのは「学級や学年への所属感や連帯感を深めること」(76.3%)と「楽しい思い出をつくること」(75.7%)の2項目であった。

次に、「目的」と同じ「視点」で、「成果があった」と「やや成果があった」と回答した合計の割合は次のとおりである。

「人間関係」の視点で見ると、「学級や学年への所属感や連帯感を深めること」(97.9%)、「よりよい人間関係を築くこと」(97.5%)、「教師と児童生徒のふれあいを深めること」(88.7%)、「不登校あるいは不登校傾向の児童生徒が学級に適応すること」(54.8%)であった。「不登校」については、他の項目の割合と比べると高くはないが、約5割が成果を認めている。

「集団活動」の視点で見ると、「必要な係をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践できるようにすること」(96.7%)、「規律ある集団行動ができるようにすること」(96.5%)、「約束やルール、時間を守るなど公衆道徳について理解し、行動の仕方を身に付けること」(96.1%)、「協力して諸問題を解決し、よりよい学校生活を築くことができるようにすること」(94.7%)であった。

「自己」の視点で見ると、「自分に自信を持ったり、自分が学級に役立っていると思ったりするなど、自己を肯定的にとらえるようにすること」(88.6%)、「困難なことや思いどおりにならないことでも我慢できるようにすること」(85.7%)、「自己の生き方を考えたり、見方や考え方を深めたりすること」(65.2%)であった。

「自然」の視点で見ると、「生命の有限性や自然の大切さを、実感を伴って理解すること」(72.3%)、「環境保全の意識を高めたり、態度を培ったりすること」(64.6%)であった。

「農山漁村体験」の視点で見ると、「普段とは異なる農山漁村での生活を、体験を通して理解すること」(22.5%)、「農林漁業を、体験を通して理解すること」(15.9%)であった。

小学校と中学校の回答の割合を比べると、9割以上の項目は小学校が9項目、中学校が7項目、8割以上は小学校が11項目、中学校が11項目、7割以上は小学校が15項目、中学校が12項目となっており、小学校、中学校ともに高い傾向となっている。

また、各項目の「目的」(「重視した」と「やや重視した」の合計値)と、「成果」(「成果があった」と「やや成果があった」の合計値)を比較すると近い数値であった。しかし、各項目とも、「重視した」の数値よりも「成果があった」の数値の方が低い傾向に、「やや重視した」の数値よりも「やや成果があった」の数値の方が高い傾向となっている。

■成果があった ■やや成果があった ■あまり成果はなかった □成果はなかった □不明

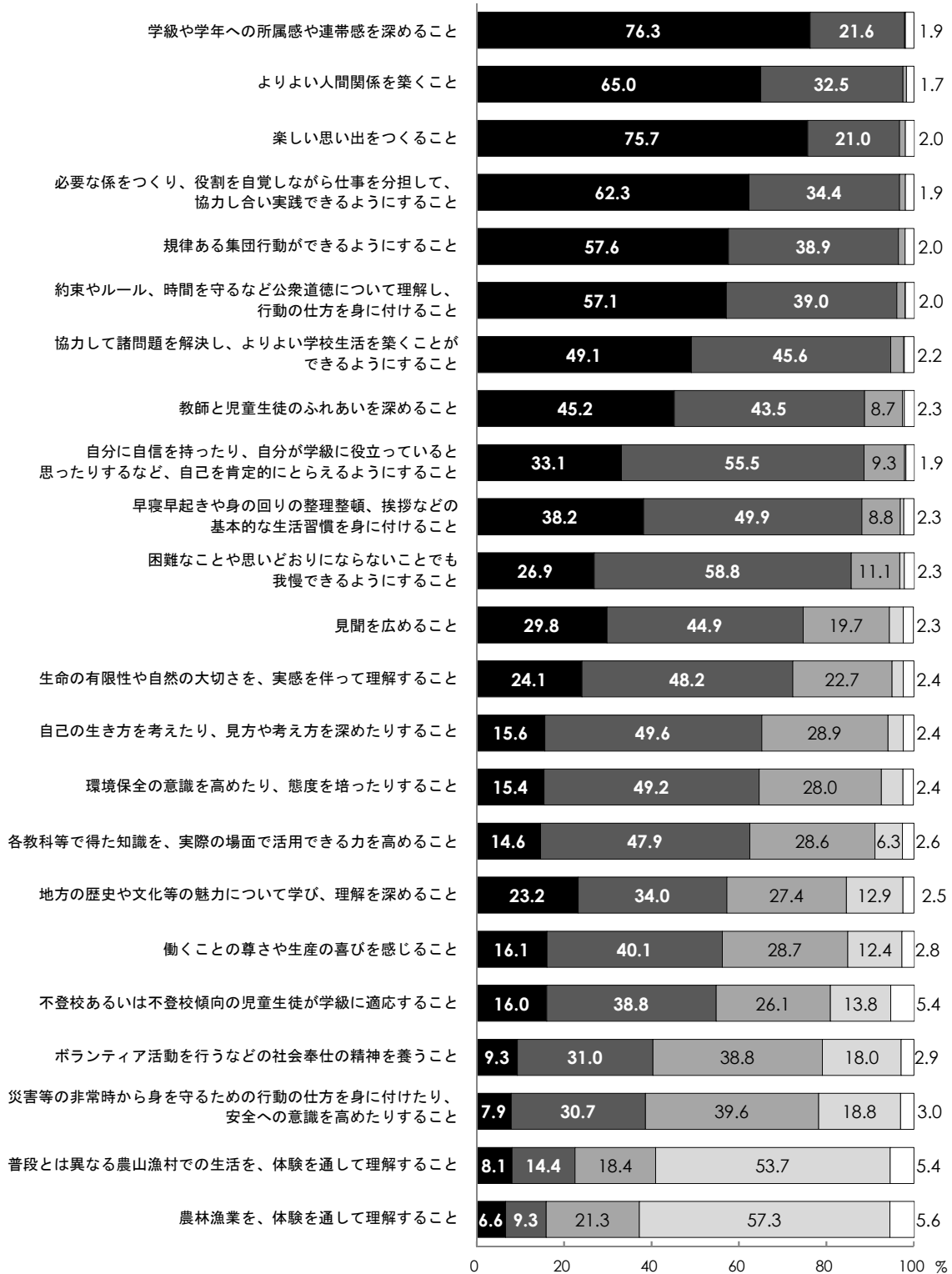


図 2-3-4 集団宿泊活動を実施して得られた成果・全体 (n=1,109)

■成果があった ■やや成果があった ■あまり成果はなかった □成果はなかった □不明

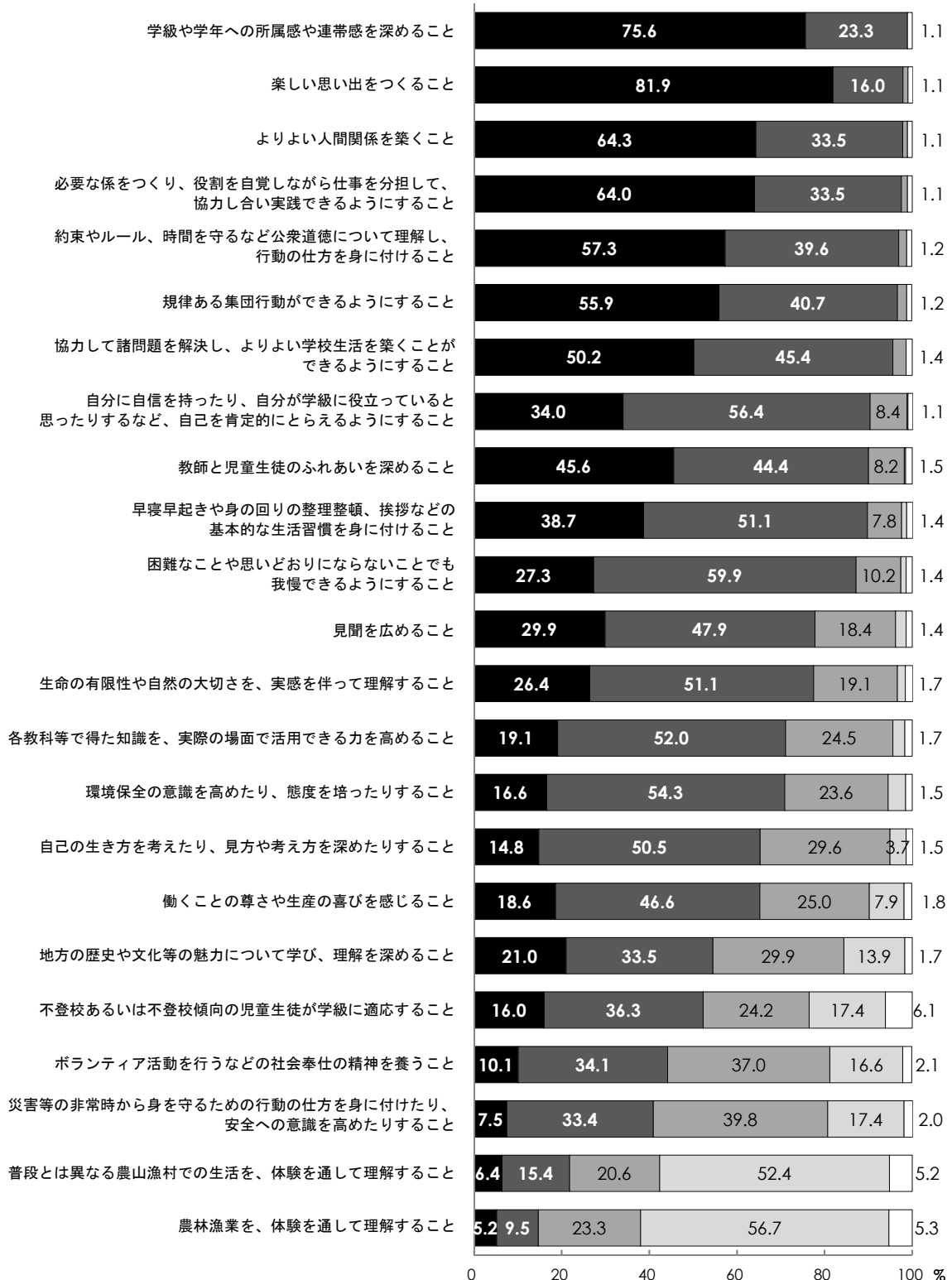


図 2-3-5 集団宿泊活動を実施して得られた成果・小学校 (n=656)

■成果があった ■やや成果があった ■あまり成果はなかった □成果はなかった □不明

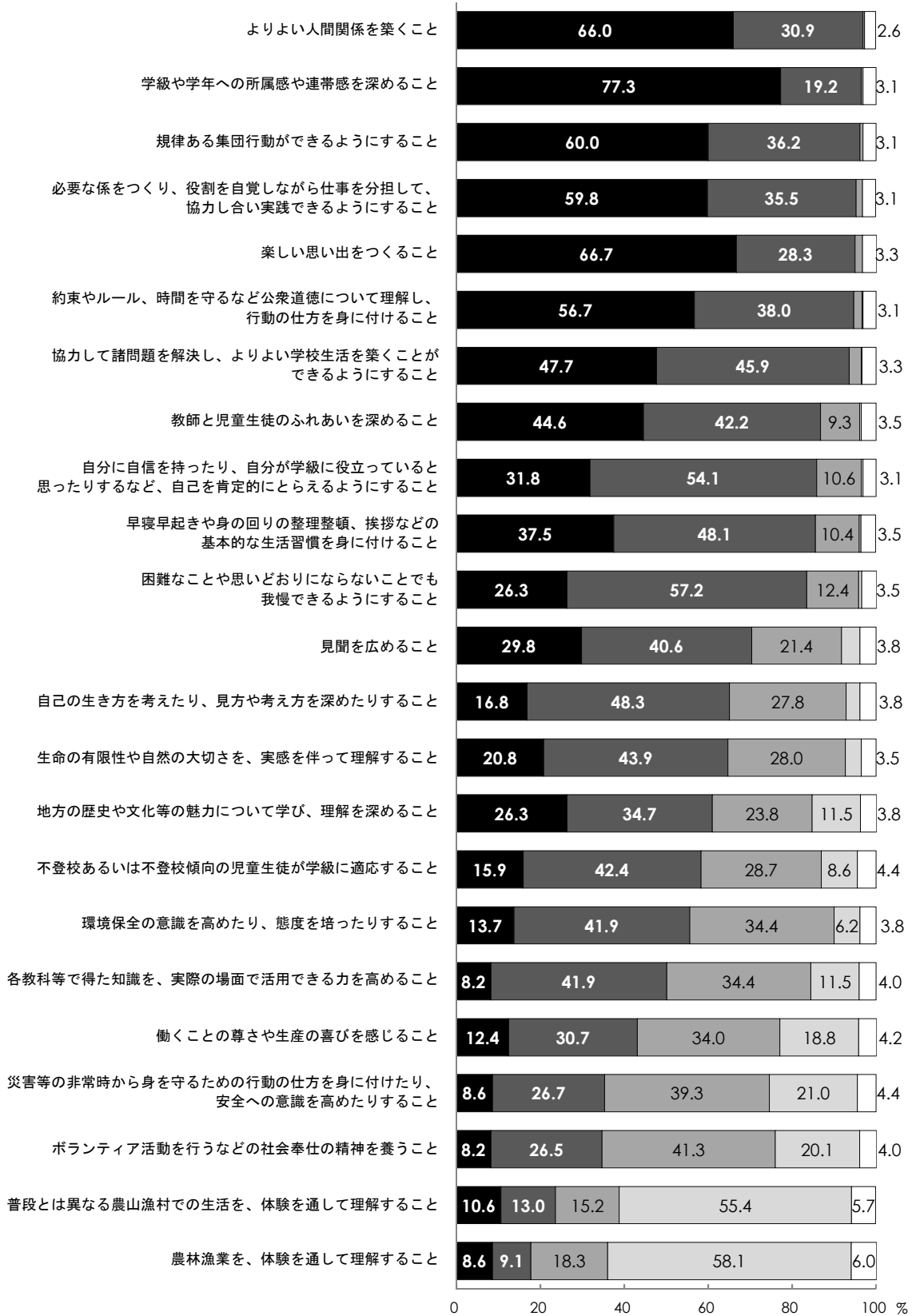


図 2-3-5 集団宿泊活動を実施して得られた成果・中学校 (n=453)

表2-3 集団宿泊活動の「目的」と「成果」の回答

目的 成果	項目	重視 成果	やや重視 やや成果	計 計
1 ②	よりよい人間関係を築くこと	90.5	8.1	98.6
		65	32.5	97.5
2 ①	学級や学年への所属感や連帯感を深めること	91.3	7.1	98.4
		76.3	21.6	97.9
3 ⑤	規律ある集団行動ができるようにすること	87.8	10.3	98.1
		57.6	38.9	96.5
4 ⑥	約束やルール、時間を守る	84.9	12.9	97.8
		57.1	39	96.1
5 ④	必要な係をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践できるようにすること	85.8	11.8	97.6
		62.3	34.4	96.7
6 ⑦	協力して諸問題を解決し、よりよい学校生活を築くことができるようにすること	74.7	21.9	96.6
		49.1	45.6	94.7
7 ③	楽しい思い出をつくること	74.9	20.5	95.4
		75.7	21	96.7
8 ⑨	自分に自信を持ったり、自分が学級に役立っていると思ったりするなど、自己を肯定的にとらえるようにすること	56.5	35.3	91.8
		33.1	55.5	88.6
9 ⑩	早寝早起きや身の回りの整理整頓、挨拶などの基本的な生活習慣を身に付けること	57.8	32	89.8
		38.2	49.9	88.1
10 ⑪	困難なことや思いどおりにならないことでも我慢できるようにすること	47.5	39	86.5
		26.9	58.8	85.7
11 ⑧	教師と児童生徒のふれあいを深めること	43.5	38.5	82
		45.2	43.5	88.7
12 ⑬	生命の有限性や自然の大切さを、実感を伴って理解すること	34.4	42.2	76.6
		24.1	48.2	72.3
13 ⑫	見聞を広めること	35.5	41	76.5
		29.8	44.9	74.7
14 ⑭	自己の生き方を考えたり、見方や考え方を深めたりすること	24.3	46.9	71.2
		15.6	49.6	65.2
15 ⑮	環境保全の意識を高めたり、態度を培ったりすること	24.4	45.2	69.6
		15.4	49.2	64.6
16 ⑯	各教科等で得た知識を、実際の場面で活用できる力を高めること	21	45.1	66.1
		14.6	47.9	62.5
17 ⑰	不登校あるいは不登校傾向の児童生徒が学級に適應すること	23.5	37.6	61.1
		16	38.8	54.8
18 ⑱	地方の歴史や文化等の魅力について学び、理解を深めること	31	28	59
		23.2	34	57.2
19 ⑲	働くことの尊さや生産の喜びを感じる	23.7	33.9	57.6
		16.1	40.1	56.2
20 ⑳	ボランティア活動を行うなどの社会奉仕の精神を養うこと	13	28	41
		9.3	31	40.3
21 ㉑	災害等の非常時から身を守るための行動の仕方を身に付けたり、安全への意識を高めたりすること	10.6	28.9	39.5
		7.9	30.7	38.6
22 ㉒	普段とは異なる農山漁村での生活を、体験を通して理解すること	9.6	13	22.6
		8.1	14.4	22.5
23 ㉓	農林漁業を、体験を通して理解すること	6.9	8.7	15.6
		6.6	9.3	15.9

※「目的」と「成果」の欄の数字は、順位

※「重視」→「重視した」「やや重視」→「やや重視した」、数値は「%」

※「成果」→「成果があった」「やや成果」→「やや成果があった」、数値は「%」

※「計」は、「重視」と「やや重視」の合計値

4. 集団宿泊活動の計画

(1) 集団宿泊活動における各活動の各教科等への位置付け

①関連付けた各教科等

関連付けたと回答した割合の高い教科等は、小学校、中学校ともに「遠足/旅行・集団宿泊的行事」(小学校 75.0%, 中学校 70.0%), 「総合的な学習の時間」(以下, 「総合」という。)(小学校 62.0%, 中学校 68.0%)であった。

「教科」で見ると、小学校は、「家庭」(42.8%), 「理科」(33.1%), 「体育」(27.4%), 「社会」(27.3%), 「図画工作」(20.1%), 「国語」(13.7%), 「音楽」(13.1%)であり、中学校は、「保健体育」(26.9%), 「理科」(20.3%), 「社会」(17.7%), 「技術・家庭」(15.7%), 「国語」(10.8%)であった。

「特別活動」の他の活動をみると、「学級活動」は小学校が46.3%, 中学校が49.7%, 「児童会/生徒会活動」は小学校が1.4%, 中学校が3.5%であった。他の学校行事をみると、「勤労生産・奉仕的行事」は小学校が12.3%, 中学校が22.7%, 「健康安全・体育的行事」は小学校が9.6%, 中学校が20.8%, 「文化的行事」は小学校が4.1%, 中学校が11.9%, 「儀式的行事」は小学校が4.9%, 中学校が8.8%であった。

また、「特別の教科 道徳」(以下, 「道徳」という。)は、小学校が26.5%, 中学校が20.1%であった。

教科への位置付けは小学校の方が、特別活動(「遠足/旅行・集団宿泊的行事」以外)への位置付けは中学校の方が高い傾向となっている。

②関連付けた各教科等の単元・題材

集団宿泊活動における主な活動について、関連付けた各教科等及び単元・題材、時間数をみると、例えば、同じ活動であっても関連付けた教科等や単元・題材、時間数が異なるなど、多様である。

以下は、回答を抜粋したものである。

【表の見方】

- 教科等の並びは総合→教科→道徳→特別活動の順
- 「活動名」及び「単元・題材名」は回答のとおり
- 「活動名」, 「単元・題材名」, 「時間」の空欄は、回答が無記入
- 「備考」は回答校数, 空欄は1校

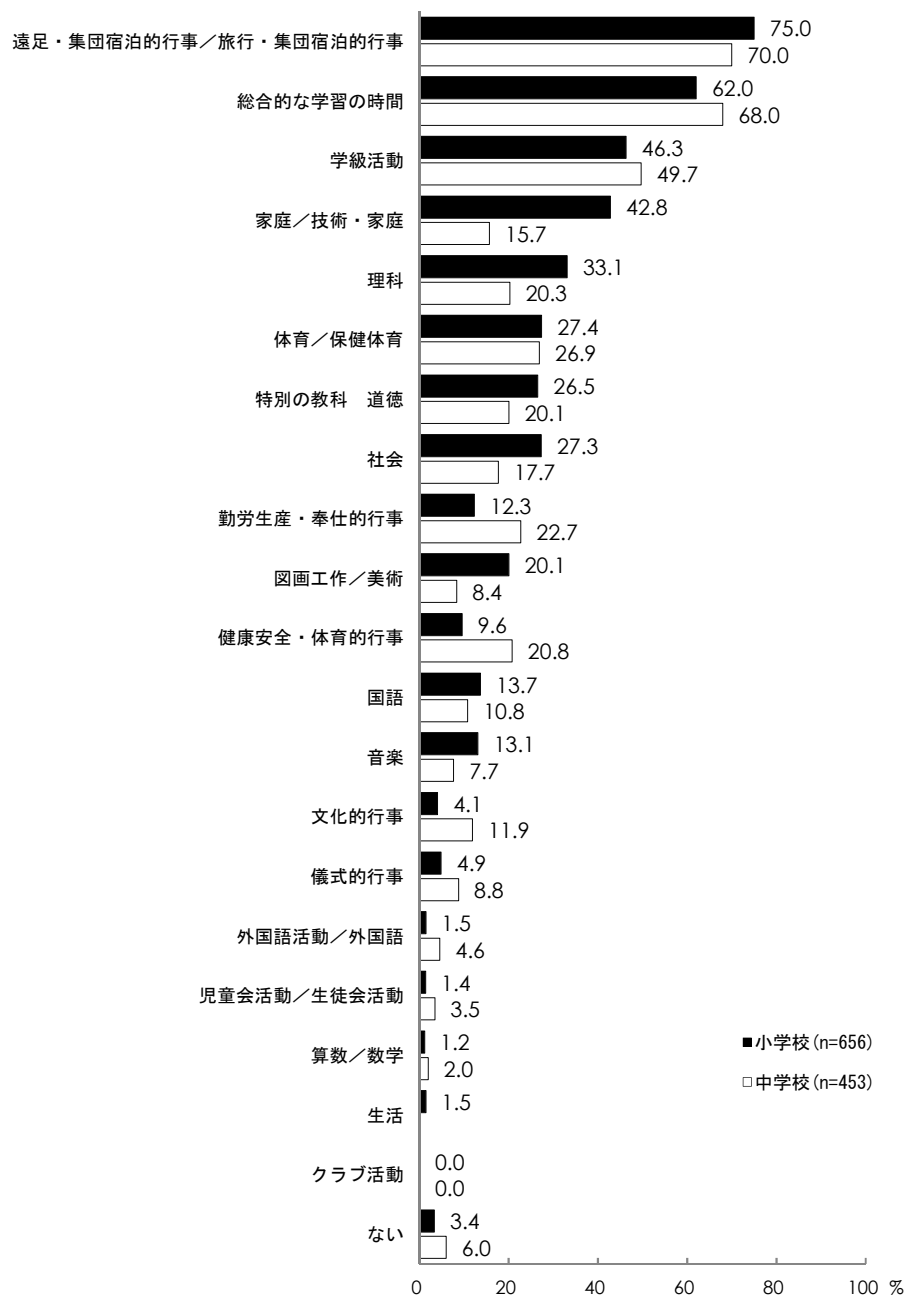


図 2-4-1 集団宿泊活動に関連付けた各教科等（学校種別）

※小中学校で教科等の名称が異なる場合、／（スラッシュ）以前が小学校、以後が中学校の教科等であることを表している。

【小学校】

<総合的な学習の時間>

活動名	単元・題材名	時間	備考
環境学習	めざせエコキッズ	70	
活動内容すべて	海に学ぼう	20	
自然体験活動	雪の多い地方の暮らしについて調べよう	18	
尾瀬散策	地球にやさしく	16	
集団生活全般	自然学校に行こう	9	

<家庭>

活動名	単元・題材名	時間	備考
野外炊事	食べて元気に	12	2
		6	4
		4	46
		3	15
		2	29
	ごはんのみそ汁	4	2
食事, 清掃	わたしたちの食事, 身の回りの整理	2	

<理科>

活動名	単元・題材名	時間	備考
沢遊び, 沢登り	流れる水のはたらき	4	
川プログラム		3	
現地学習		2	2
星空観察	暑い季節, 夏の星	3	
	夏の星座	2	

<体育>

活動名	単元・題材名	時間	備考
登山	体力を高める運動	5	2
		3	
	体力をつけよう	4	2
		集団行動, 体づくり運動	3
	体づくり運動(体力を高める)	2	3
ウォークラリー	体力づくり	3	
	長く歩いて体力向上	2	

<社会>

活動名	単元・題材名	時間	備考
米づくり	米づくりの盛んな地域	24	
ウォークラリー, カヌー体験	国土の環境を守る	6	
林業体験	森林を守る人々	4	
沢登り	水はどこから	3	
ハイキング	わたしたちの国土	2	

<図画工作>

活動名	単元・題材名	時間	備考
クラフト	心に残ったあの瞬間	6	
	自然物を使ってデザインしよう	2	
	カッターの使い方	2	
	糸のコススイ	1	

焼き板	楽しい焼き物	2	3
	のこぎりを使って壁かけをつくろう	2	
	一枚の板から	2	

<国語>

活動名	単元・題材名	時間	備考
俳句	日常を十七音で	4	
	俳句をつくろう	2	2
	思い出を五七五に	1	
家の人に手紙を書こう	家の人に手紙を書こう	2	2
		1	

<音楽>

活動名	単元・題材名	時間	備考
キャンプファイヤー	キャンプの歌, 踊り	4	
	みんなで, キャンプで歌おう	4	
	楽しく歌おう	3	2
	歌って楽しもう	2	
	ゆたかな歌声をひびかせよう	1	2
	曲想を味わおう	1	
	キャンプファイヤーの歌を歌おう	0.5	

<特別の教科 道徳>

活動名	単元・題材名	時間	備考
集団宿泊活動	親切, 思いやり, 節度, 節制, 公正・公平	3	
魚つかみ体験	命をいただく	2	
野外活動	いちばん近い自然・里山	1	
自然観察	自然を大切に	1	
施設利用	集団行動とマナー	1	

<学級活動>

活動名	単元・題材名	時間	備考
グループ活動(人間関係の構築プログラム)	自他理解, 思いやり	10	
	協力し合うこと	5	
	友達と仲良く	2	
Cutter	みんなで力を合わせて	4	
スタンプ	みんなで協力	4	
キャンプファイヤー	学級の組織と自分の役割	4	
	交流集会をしよう	4	
	林間に向けて	4	
	協力してやりとげよう	4	
	自然教室に向けて	3	
	仲間づくり	2	
	みんなで協力して	2	
野外炊事	思いでに残るセカンドスクールにするために	6	
	Let us cooking!	4	

<学校行事(勤労生産・奉仕的行事)>

行事名	活動名	単元・題材名	時間	備考
勤労生産・奉仕的行事	勤労・奉仕	係活動, 清掃	1	
	奉仕活動		0.5	

【中学校】

＜総合的な学習の時間＞

活動名	単元・題材名	時間	備考
班活動（野外炊事等）	自然に学ぶ	12	
いかだづくり	仲間との協力	12	
全体	キャンプを成功させよう	8	
地域の食文化比べ	料理を比べてみよう	6	
オリエンテーリング	自然に親しむ	3	
震災・防災学習	防災・減災意識を高めよう	3	

＜保健体育＞

活動名	単元・題材名	時間	備考
登山	健康安全	6	
		4	
カヌー	集団行動	6	
	体づくり	2	
カッター	安全な活動	1	

＜理科＞

活動名	単元・題材名	時間	備考
ウォークラリー	地質を学ぼう	3	
化石採集	活きている地球 歴史を語る化石	2	
オリエンテーリング	生物（植物、動物）の観察	2	
	地形の様子	1	
自然観察	星座の観察	1	
集団宿泊研修	環境や山の植物について	1	

＜社会＞

活動名	単元・題材名	時間	備考
オリエンテーリング	地図を見て活動しよう	3	
	地図	1	
	自然の姿	1	
	地図とコンパスの活用		
民宿の方との交流	地域を知る	1	

＜技術・家庭科＞

活動名	単元・題材名	時間	備考
野外炊事	食べて元気に	5	
		4	5
		3	
		1	
	調理	4	2
		3	
		2	5
	1		
食文化を学ぶ	地域の食文化	6	
バイキング形式の食事	健康と生活	2	
（技術）創作活動	焼板工作	3	
（技術）竹細工	工作	3	

<国語>

活動名	単元・題材名	時間	備考
新聞づくり, 手紙	新聞を発行しよう, 手紙を書こう	3	
手紙	手紙を書こう	2	
自然観察	自然を俳句にする	3	
俳句を詠む	空を見上げて	1	
短歌づくり	短歌の鑑賞	1	

<美術>

活動名	単元・題材名	時間	備考
木のキーホルダー		3	
クラフトアートをつくろう	クラフトアート	2	
サンドアート	立体造形	2	
サンゴクラフト活動	創作活動	1	

<音楽>

活動名	単元・題材名	時間	備考
歌声集会	歌心	4	
キャンプファイヤー	キャンプソングを歌おう	2	
	合唱	2	

<英語>

活動名	単元・題材名	時間	備考
自主研修	会話を楽しもう	1	

<特別の教科 道徳>

活動名	単元・題材名	時間	備考
家族を語る作文・発表	家族愛	1	
生活全般	よりよいマナー	1	
宿泊研修	集団生活の向上	1	
班でのテーマづくり	仲間とは	1	
自主研修	公共のマナー		

<学級活動>

活動名	単元・題材名	時間	備考
交流の家での活動	学級や班のまとまりを作り上げよう	10	
フィールドワーク	みんなで協力して	5	
係活動・班別行動	集団生活の向上	4	
オリエンテーリング	集団づくり	4	
	学級の和を高めよう	2	
	班で協力して達成しよう	2	
カッター	協力	4	
	男女の協力と理解	1	
アサーティブトレーニング	アサーティブな言い方を使ってみよう	1	

<学校行事(儀式的行事, 勤労生産・奉仕的行事)>

行事名	活動名	単元・題材名	時間	備考
儀式的行事	入所式	自分達で儀式をとり行う	1	
	発志式	深めよう仲間との絆	1	
勤労生産・奉仕的行事	森林体験		8	

(2) 集団宿泊活動で留意したり、取り入れたりした事項

「行った」と「ある程度行った」と回答した合計の割合は高い順に、①「集団宿泊活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりする活動を展開すること」(94.1%)、②「児童生徒が協力し合わなければできないような課題性を持たせたプログラムにすること」(91.6%)、③「児童生徒が話し合いの時間や活動の時間を十分に取れるよう、プログラムに余裕を持たせること」(91.5%)、④「特定の児童生徒だけでなく、いろいろな児童生徒にリーダーの経験をさせること」(91.4%)、⑤「自分たちでルールを考えさせ、守らせること」(91.0%)、⑥「何か問題が起こった際にも、まず児童生徒が自分達で考え解決できるよう、自発的・自治的な活動の指導を重視すること」(85.1%)、⑦「自然体験活動と教科や総合的な学習の時間等の学習との関連を児童生徒に意識させ、自然への関心を高めるなど児童生徒の好奇心を刺激すること」(82.8%)、⑧「児童生徒同士の口論・喧嘩など一時的な感情の衝突が起こった場合にも、その機会を捉えて相互理解していくための指導を行うこと」(81.5%)、⑨「失敗し試行錯誤しながら課題に取り組む活動を展開すること」(80.7%)、⑩「教科の内容に関わる学習や探究的な活動を展開すること」(62.5%)であり、全10項目中9項目が8割を、全項目が6割を超え、全体的に高い傾向となっている。

しかし、「行った」と回答した割合で5割を超えるのは①「集団宿泊活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりする活動を展開すること」(59.2%)と②「児童生徒が協力し合わなければできないような課題性を持たせたプログラムにすること」(50.7%)の2項目であった。

また、①は学習指導要領で示されている事項、②～⑧は文部科学省初等中等教育局児童生徒課が教育委員会等の関係機関に、平成21年11月、「宿泊体験活動の計画・実施に当たっての留意事項」として通知した事項であり、これらの項目が上位になっている。

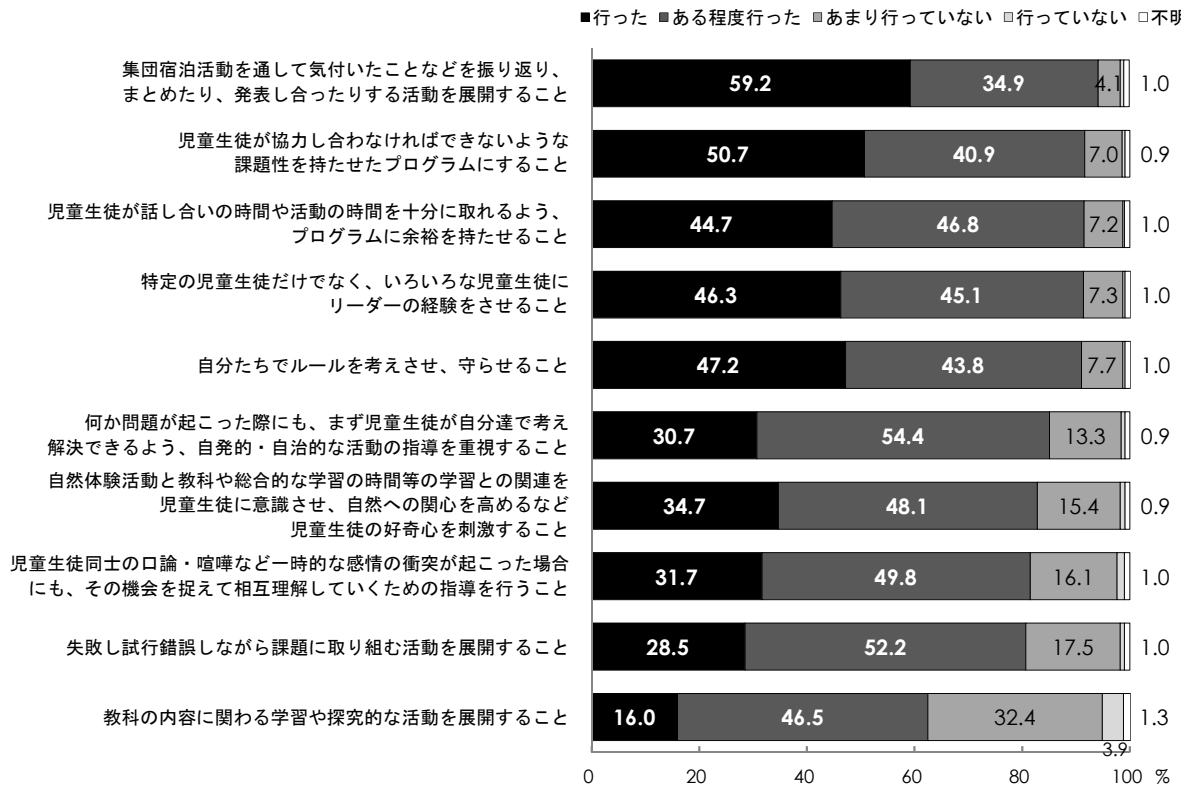


図 2-4-2 集団宿泊活動の計画や実施にあたって留意したり、取り入れたりしたこと (n=1,109)

(3) 集団宿泊活動を実施する際、児童生徒にさせたい体験活動

「思う」と「やや思う」と回答した合計の割合は高い順に、「協調性や連帯感をはぐくむことを目的にしたグループ活動」(95.7%)、「登山や野外炊事などの野外活動」(91.8%)、「自然に親しむことを目的にしたレクリエーション的な活動」(90.0%)、「キャンプファイヤーや星空観察などの自然観察活動」(89.6%)、「植物観察や野鳥観察などの自然観察活動」(81.7%)であり、全17項目中5項目が8割を、全項目が5割を超え、全体的に高い傾向となっている。

しかし、「思う」と回答した割合で5割を超えるのは「登山や野外炊事などの野外活動」(69.4%)、「協調性や連帯感をはぐくむことを目的にしたグループ活動」(66.7%)、「キャンプファイヤーや星空観察などの夜の活動」(59.5%)の3項目であった。

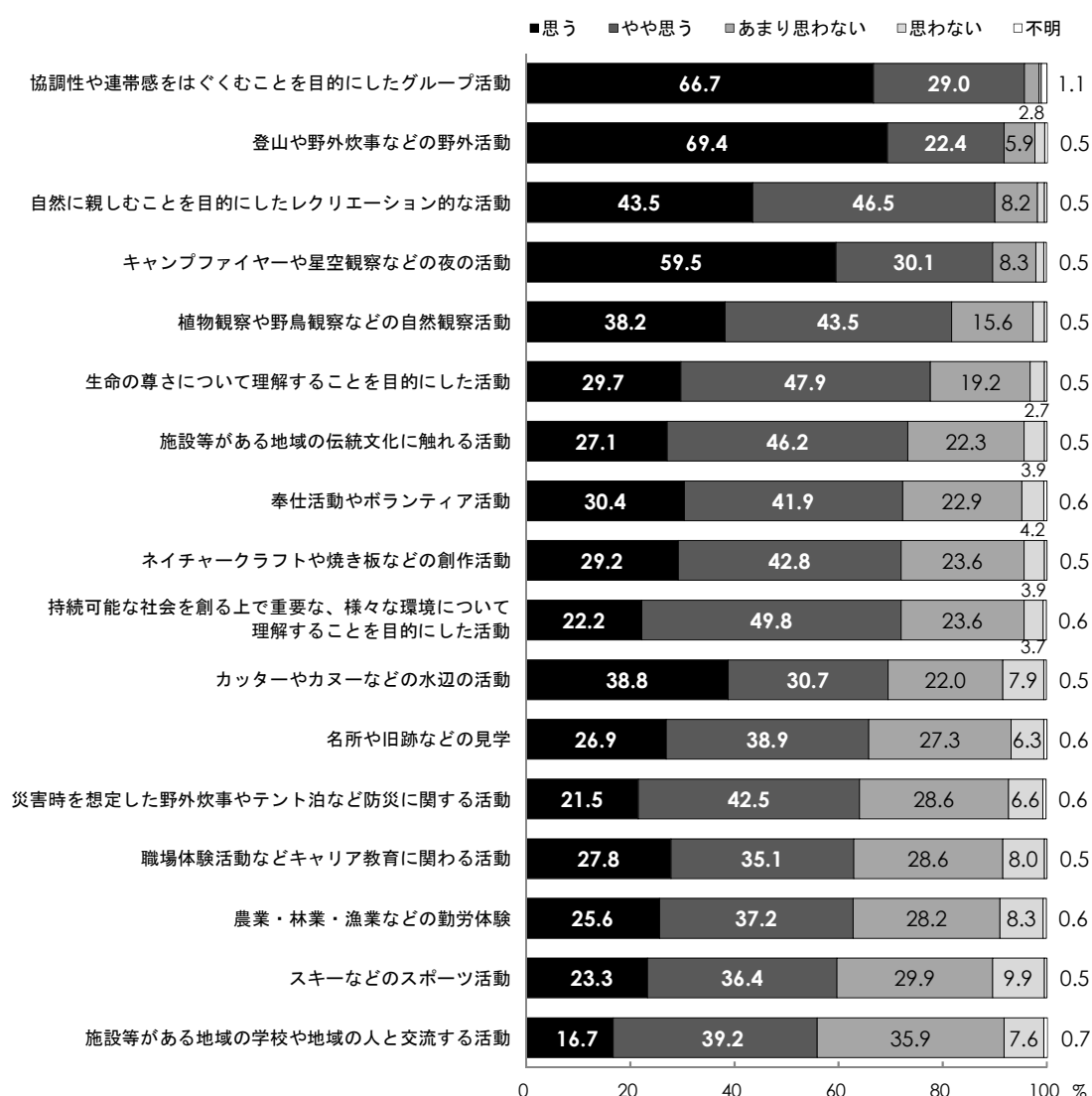


図 2-4-3 集団宿泊活動を実施する際、児童生徒にさせたいと思う活動 (n=1, 295)

5. 集団宿泊活動における引率者や指導者

(1) 教職員以外の引率者や指導者の有無と募集・依頼方法

①有無と人数

教職員以外の「引率者」は「いない」と回答した割合は小学校が71.6%，中学校が78.6%で，小学校，中学校ともに最も高かった。また，「いる」と回答した場合の人数で最も高い割合は小学校，中学校ともに「4人以上」（小学校17.5%，中学校13.5%）であった。

教職員以外の「指導者」は「いない」と回答した割合は小学校が74.1%，中学校が74.4%で，小学校，中学校ともに最も高かった。また，「いる」と回答した場合の人数で最も高い割合は小学校，中学校ともに「4人以上」（小学校11.7%，中学校14.8%）であった。

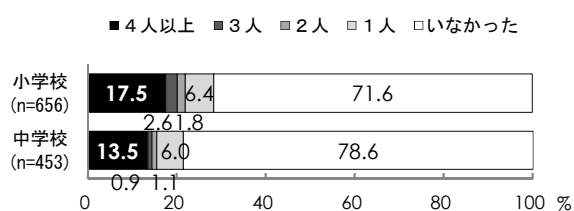


図 2-5-1 教職員以外の引率者の人数（学校種別）

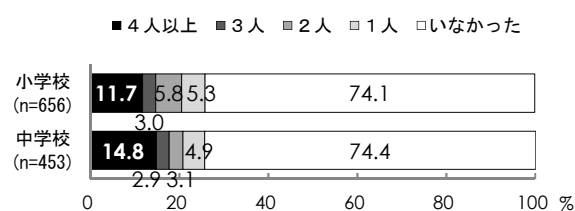


図 2-5-2 教職員以外の指導者の人数（学校種別）

②募集・依頼方法（複数回答）

教職員以外の「引率者」の募集・依頼方法の回答は割合が高い順に，小学校，中学校ともに「学校が独自に見つけた方に依頼した」（小学校37.6%，中学校21.6%），「教育委員会から紹介された方に依頼した」（小学校17.7%，中学校12.4%）であった。

教職員以外の「指導者」の募集・依頼方法の回答は割合が高い順に，小学校は「施設等から紹介された方に依頼した」・「学校が独自に見つけた方に依頼した」（33.5%），「教育委員会から紹介された方に依頼した」（14.7%）であり，中学校は，「施設等から紹介された方に依頼した」（47.4%），「学校が独自に見つけた方に依頼した」（21.6%），「教育委員会から紹介された方に依頼した」（12.1%）であった。

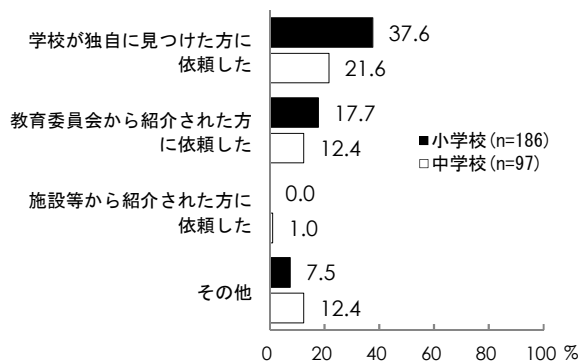


図 2-5-3 教職員以外の引率者の募集・依頼方法（学校種別）

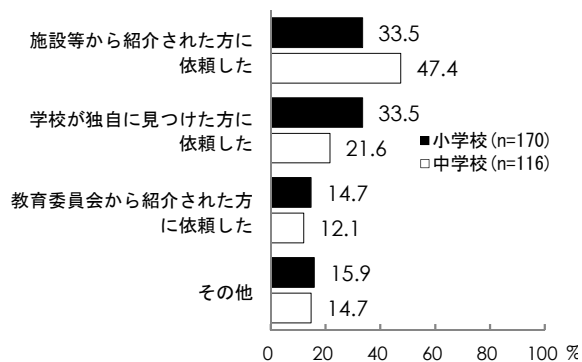


図 2-5-4 教職員以外の指導者の募集・依頼方法（学校種別）

(2) 教職員以外の引率者や指導者の属性と役割

①属性（複数回答）

教職員以外の「引率者」の属性は「看護師」と回答した割合は小学校が31.7%，中学校が26.8%で，小学校，中学校ともに最も高かった。次いで「教育実習や教育支援ボランティア等を行った大学生」で小学校が23.1%なのに対し，中学校は6.2%と低い。

教職員以外の「指導者」の属性は「例年依頼している専門的な知識・技能を有している方」と回答した割合は小学校が57.1%，中学校が62.9%で，小学校，中学校ともに最も高かった。次いで，小学校は「教育実習や教育支援ボランティア等を行った大学生」（12.4%），中学校は「日頃から，学校の教育活動で支援を受けている地域の方」（6.9%）であった。

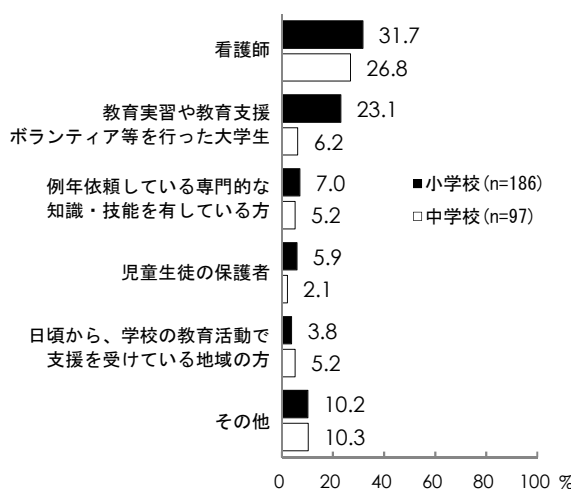


図 2-5-5 教職員以外の引率者の属性（学校種別）

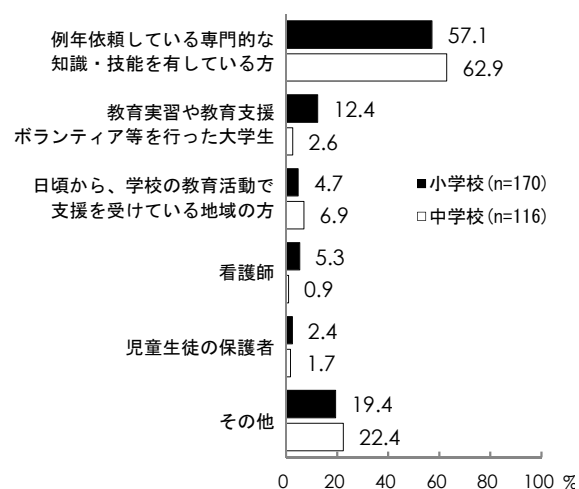


図 2-5-6 教職員以外の指導者の属性（学校種別）

②役割

教職員以外の「引率者」の役割は「特別な配慮を要する児童生徒への対応」と回答した割合は小学校が38.2%，中学校が27.8%で，小学校，中学校ともに最も高かった。

次いで，小学校は「体験活動の指導補助」（37.1%），「生活指導の補助」（33.3%），「全般的な運営に関する教職員の補助」（26.9%），中学校は「体験活動の指導補助」・「生活指導の補助」（16.5%），「全般的な運営に関する教職員の補助」（9.3%）であった。小学校，中学校ともに「活動中」が「実施前」及び「実施後」よりも高い傾向となっている。

教職員以外の「指導者」の役割の回答は割合が高い順に，小学校，中学校ともに「体験活動の指導」（小学校72.9%，中学校が81.0%），「体験活動の指導補助」（小学校48.8%，中学校44.8%），「計画（プログラム）への協力・助言（実施前）」（小学校27.1%，中学校21.6%），「全般的な運営に関する教職員の補助」（小学校23.5%，中学校7.8%）であった。「体験活動の指導」に関する項目が「生活の指導」に関する項目よりも高い傾向となっている。

また，「計画（プログラム）への協力・助言（実施前）」は，「引率者」では小学校が10.8%，中学校が4.1%であったが，「指導者」では小学校が27.1%，中学校が21.6%と高くなっている。

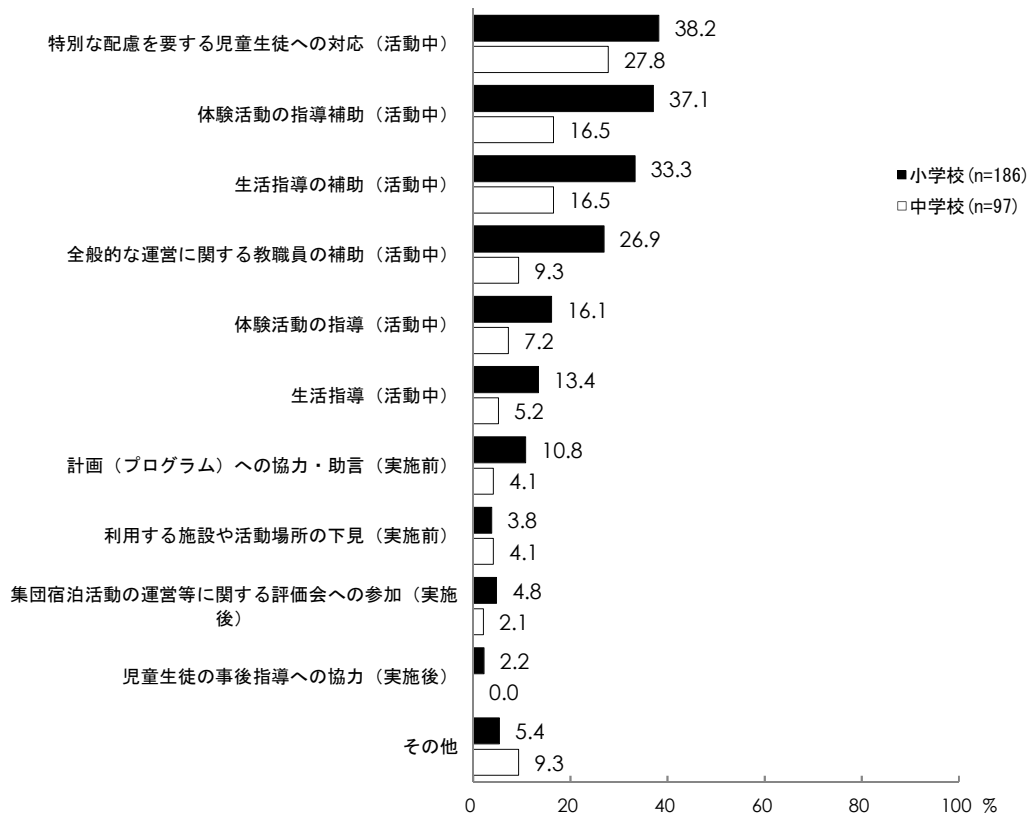


図 2-5-7 教職員以外の引率者の役割 (学校種別)

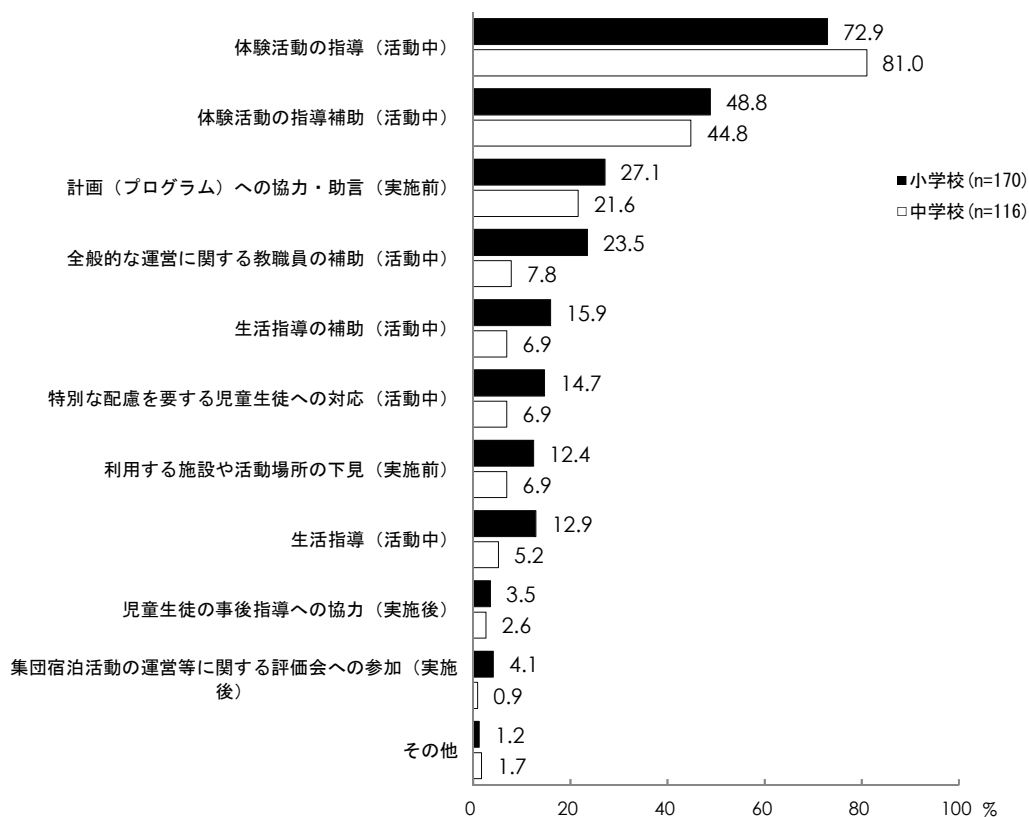


図 2-5-8 教職員以外の指導者の役割 (学校種別)

6. 集団宿泊活動を計画・実施する際の不安事項

(1) 集団宿泊活動を計画・実施する際の不安事項

「不安」と「やや不安」と回答した合計の割合は高い順に、「児童生徒の身体的な不安（病気、体調不良、アレルギー等）」(94.0%)、「児童生徒の野外活動等における事故」(91.5%)、「特別な配慮を要する児童生徒への対応（身体的な障害や精神的な障害）」(85.3%)と児童生徒に関する3つの項目が8割を、全17項目中12項目が5割を超え、全体的に高い傾向となっている。

しかし、「不安」と回答した割合で5割を超えるのは「児童生徒の身体的な不安（病気、体調不良、アレルギー等）」(58.2%)と「児童生徒の野外活動等における事故」(51.4%)の2項目であった。

次に、「視点」を設定し、「不安」と「やや不安」を合計した回答の割合は次のとおりである。

「時間」の視点でみると、「集団宿泊活動に関する事務的な業務に係る時間の確保」(73.1%)、「集団宿泊活動の事前指導の時間の確保」(64.0%)、「集団宿泊活動の事後指導の時間の確保」(53.3%)、「集団宿泊活動を実施することによる授業時間数の不足」(48.9%)であった。最も高い項目は児童生徒への指導に関する項目ではなく、「事務的な業務時間の確保」になっている。「授業時数の不足」は他の項目よりも低い。

「指導及び体制」の視点でみると、「十分な引率体制をとること」(67.5%)、「教職員の身体的な健康」(60.9%)、「教職員の夜間における十分な指導体制をとること」(55.7%)、「児童生徒の生活面の指導」(55.4%)、「教職員の時間外勤務に対する手当」(46.5%)、「教職員の体験活動の指導力」(39.3%)であり、児童生徒に関する項目と比べると低い。

「保護者」の視点でみると、「保護者の経済的な負担」(57.9%)、「保護者の理解を得ること」(22%)であった。

また、「集団宿泊活動の効果があいまい」と回答した割合は15.8%で最も低い。

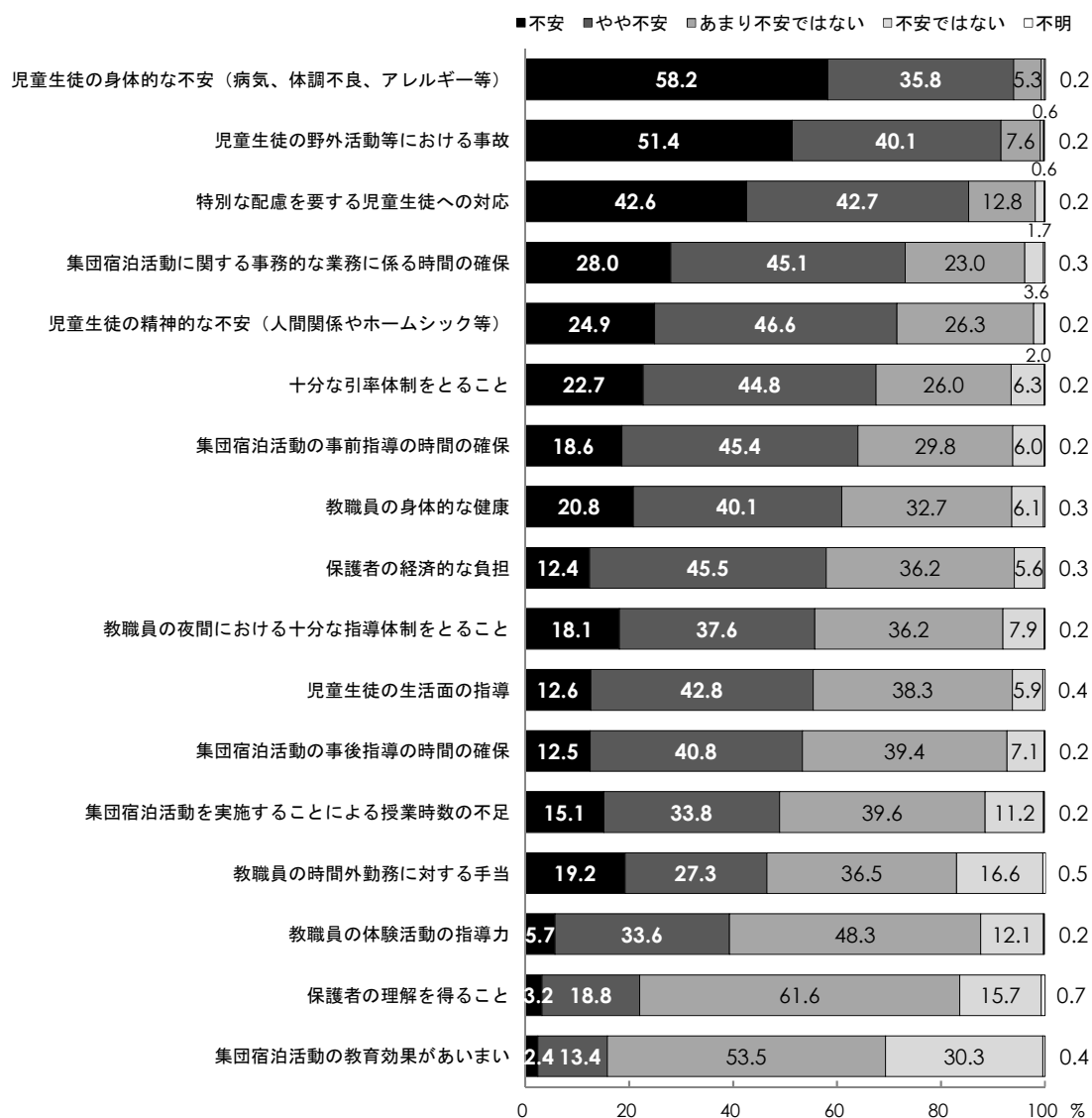


図 2-6-1 集団宿泊活動を実施する際に不安なこと (n=1, 295)

(2) 集団宿泊活動を一定期間、計画・実施する際の不安事項

「不安」と「やや不安」と回答した合計の割合は高い順に、「児童生徒の身体的な不安（病気、体調不良、アレルギー等）」(97.1%)、「特別な配慮を要する児童生徒（身体的な障害や精神的な障害）への対応」(96.2%)、「十分な引率体制をとること」(93.6%)、「集団宿泊活動を実施することによる授業時数の不足」・「教職員の身体的な健康」(92.7%)、「児童生徒の野外活動等における事故」(91.8%)、「教職員の夜間における十分な指導体制をとること」(91.2%)であり、全 17 項目中 9 項目が 9 割を、16 項目が 7 割を超えており、全体的に高い傾向となっている。

しかし、「不安」と回答した割合で 7 割を超えるのは「児童生徒の身体的な不安（病気、体調不良、アレルギー等）」(81.4%)、「特別な配慮を要する児童生徒（身体的な障害や精神的な障害）への対応」(76.1%)、「集団宿泊活動を実施することによる授業時数の不足」(74.4%)の 3 項目であった。

本設問は、(1)の「現状」での不安と同じ項目としており、「不安」と「やや不安」と回答した合計の割合の「現状期間」と「一定期間」を比べると、全項目で高くなっている。7割を超える項目も5項目から16項目に増えている。

「現状期間」と「一定期間」の差（一定期間の「不安」と「やや不安」の合計値から、現状期間の「不安」と「やや不安」の合計値を引いて算出）が大きい順に、「保護者の理解を得ること」(57.2ポイント)、「集団宿泊活動の効果があいまい」(47.5ポイント)、「集団宿泊活動を実施することによる授業時数の不足」(43.8ポイント)と3項目が40ポイントを超えている。

また、「教職員の身体的な健康」(31.8ポイント)や「十分な引率体制をとること」(26.1ポイント)など、現状期間では比較的低かった教職員の体制に関する項目が高くなっている。

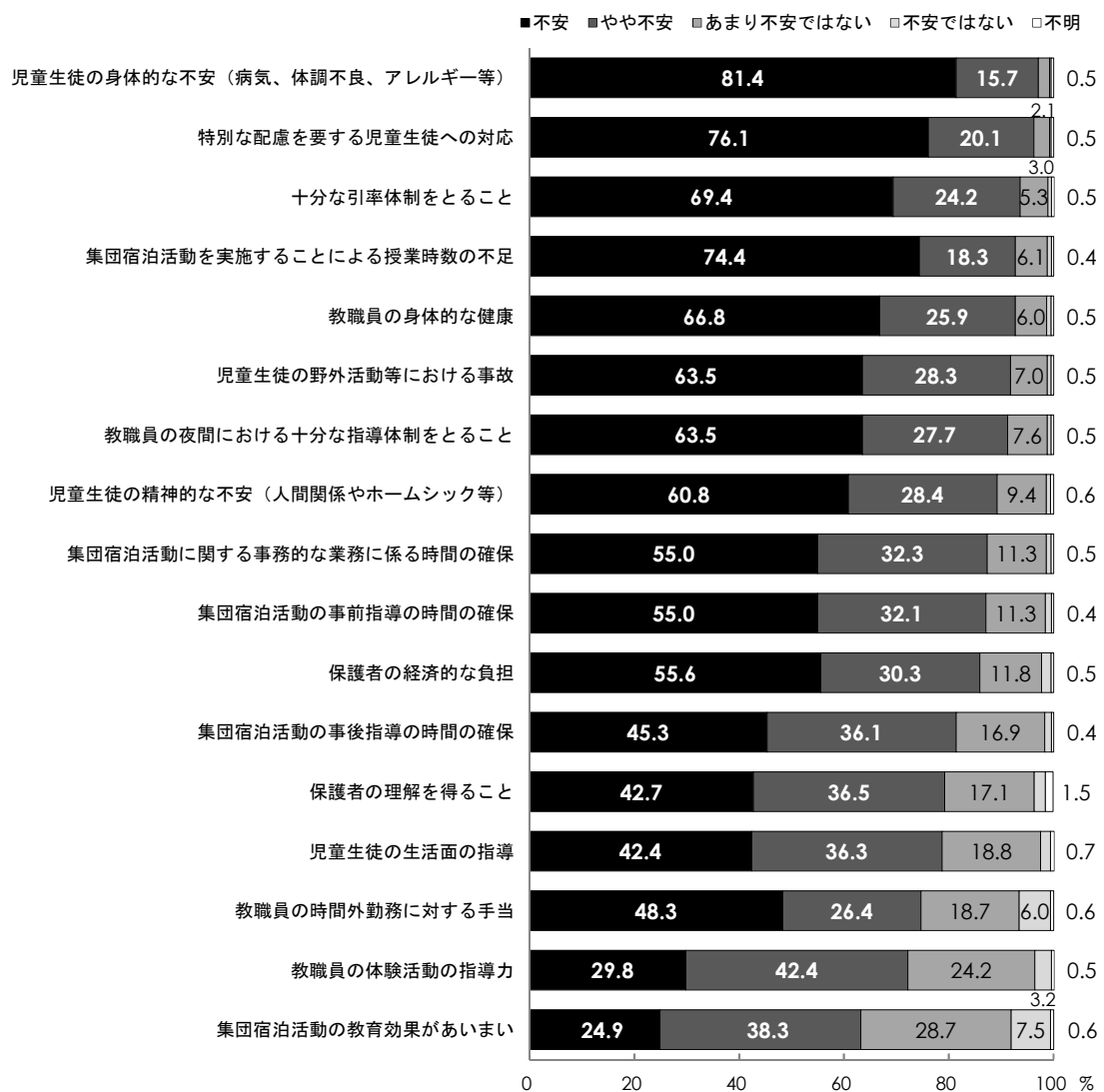


図 2-6-2 集団宿泊活動を一定期間（1週間程度）実施する場合に不安なこと（n=1,295）

7. 集団宿泊活動を計画・実施するに当たっての必要な支援事項

(1) 集団宿泊活動を計画・実施するに当たっての必要な支援事項

「必要」と「やや必要」と回答した合計の割合は高い順に、「特別な配慮を要する児童生徒（身体的な障害や精神的な障害）に対する施設・設備の充実や対応」（96.3%）、「安全管理体制の整備」（96%）、「施設・設備の充実」（95.7%）、「利用に関して学校の要望を受け容れるなどの柔軟な対応をとること」（92.7%）、「利用に関する手続きなどを簡略にすること」（90.3%）であり、全28項目中5項目が9割を、17項目が7割を、24項目が5割を超えており、全体的に高い傾向となっている。

しかし、「必要」と回答した割合で7割を超えるのは、「安全管理体制の整備」（71.6%）、「施設・設備の充実」（71.1%）、「特別な配慮を要する児童生徒に対する施設・設備の充実や対応」（70.7%）の3項目で、5割を超えるのは、「教育委員会等による児童生徒の交通費や宿泊費等の経費補助」（52.8%）、「利用に関する手続きなどを簡略にすること」（52.2%）、「利用に関して学校の要望を受け容れるなどの柔軟な対応をとること」（50.0%）の3項目であった。

「視点」を設定し、「必要」と「どちらかという必要」と回答した合計の割合は次のとおりである。

「サービスの対応」の視点でみると、「利用に関して学校の要望を受け容れるなどの柔軟な対応をとること」（92.7%）、「利用に関する手続きなどを簡略にすること」（90.3%）であり、学校の負担の軽減につながる項目が高くなっている。

「資料」の視点でみると、「利用の手引」や「体験活動プログラム集」などの資料の充実（83.6%）、「ホームページなどの案内情報に関する資料の充実」（82.8%）、「集団宿泊活動の計画や指導の参考になる手引書のような資料の提供」（75.8%）、「集団宿泊活動の計画や指導の参考になる他校の実践事例集の提供」（69.4%）、「保護者等に集団宿泊活動の効果などを知らせるための資料の提供」（55.6%）、「集団宿泊活動の効果を測定するための資料の提供」（54.8%）であった。

「指導及び体制」の視点でみると、「施設等の職員等による児童生徒への一般的な体験活動プログラム（例えば、野外炊事やオリエンテーリングのやり方や安全指導）の直接的な指導」（80.0%）、「施設等の職員による計画の立案に際しての専門的な助言（例えば、目的を整理することや、目的に応じたプログラムの紹介）」（79.1%）、「施設等の職員等による児童生徒への専門的な体験活動プログラム（例えば、協調性を育むことを目的としたグループ活動や環境教育プログラム）の直接的な指導」（75.3%）、「人間関係の形成や、自分や仲間の個性を理解し尊重する資質・能力を高めるプログラムの提供」（72.7%）、「各教科等に体験活動を関連付け効果的に展開するプログラムの提供」（69.2%）であった。

「教育委員会等」の視点でみると、「教育委員会等による児童生徒の交通費や宿泊費等の経費補助」（84.3%）、「教育委員会等による特別な配慮を要する児童生徒（身体的な障害や精神的な障害）に対応するための要員の手配や配置」（79.6%）、「教育委員会等によるバスの手配などの事務的な業務の代行や支援」（72.0%）、「教育委員会等による看護師等の手配や配置」（71.6%）、「教育委員会等による引率者や指導者の手配や配置」（59.5%）、「教育委員会等に

よる農林漁業体験や農林漁家泊ができる場所の紹介や手配」(42.2%)であった。

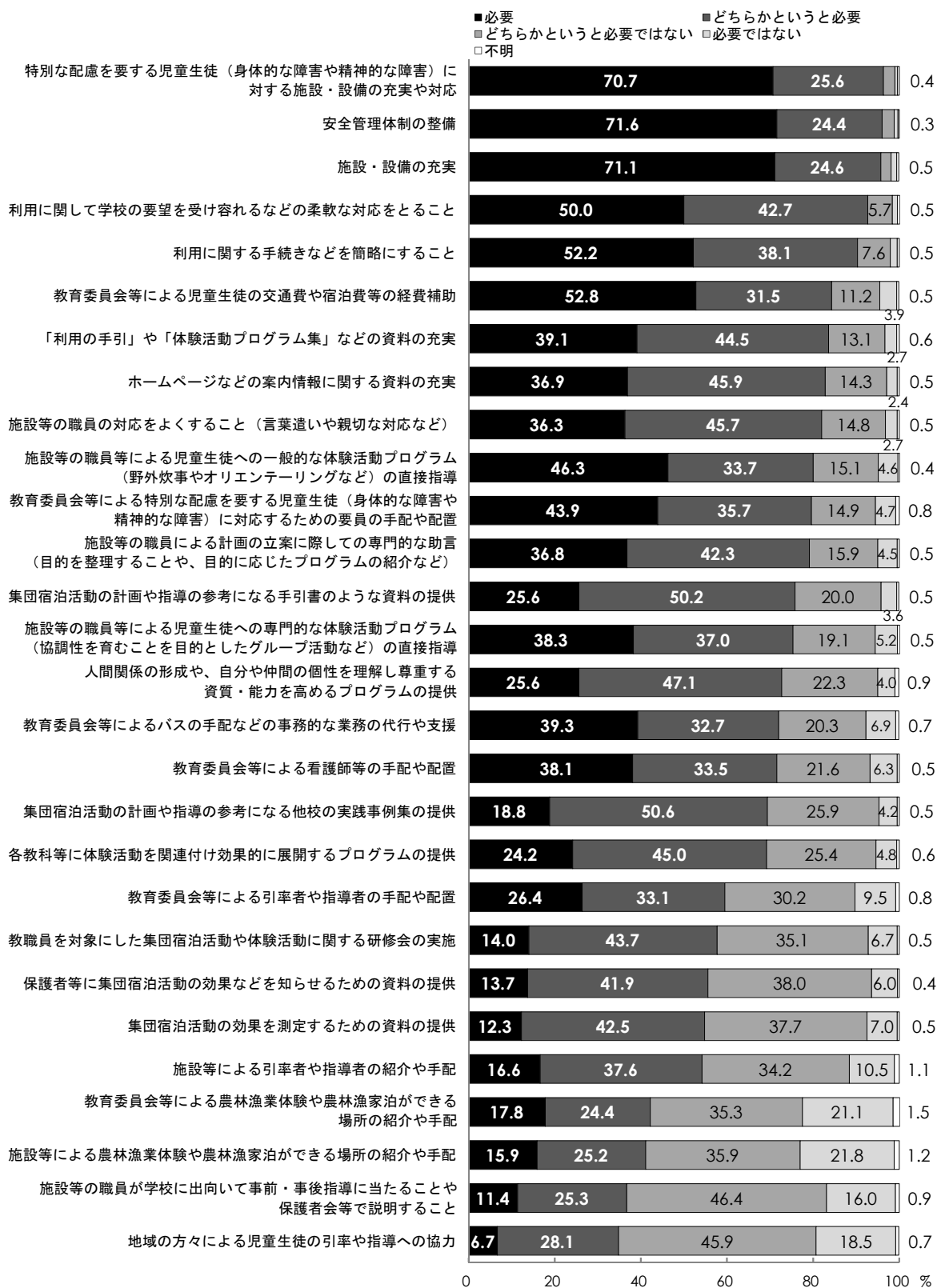


図 2-7-1 集団宿泊活動を実施する際に必要な施設等や教育委員会等からの支援 (n=1, 295)

(2) 集団宿泊活動を一定期間、計画・実施するに当たっての必要な支援事項

「必要」と「やや必要」と回答した合計の割合は高い順に、「教育委員会等による児童生徒の交通費や宿泊費等の経費補助」(95.6%)、「教育委員会等による特別な配慮を要する児童生徒(身体的な障害や精神的な障害)に対応するための要員の手配や配置」(94.3%)、「集団宿泊活動の計画や指導のための手引書のような資料の提供」(92.9%)、「各教科等に体験活動を関連付け効果的に展開するプログラムの提供」(92.8%)であり、全12項目中9項目が9割を、全項目が8割を超えており、全体的に高い傾向となっている。

しかし、「必要」と回答した割合で7割を超えるのは「教育委員会等による児童生徒の交通費や宿泊費等の経費補助」(76.1%)と「教育委員会等による特別な配慮を要する児童生徒(身体的な障害や精神的な障害)に対応するための要員の手配や配置」(72.7%)の2項目であった。

「視点」を設定し、「必要」と「どちらかという必要」と回答した合計の割合は次のとおりである。

「教育委員会等」の視点でみると、「教育委員会等による児童生徒の交通費や宿泊費等の経費補助」(95.6%)、「教育委員会等による特別な配慮を要する児童生徒(身体的な障害や精神的な障害)に対応するための要員の手配や配置」(94.3%)、「教育委員会等による外部の指導者やボランティア、活動場所等の紹介や手配」・「教育委員会等による児童生徒の傷病や体調不良に対応する看護師等の手配や配置」(90.2%)であった。

「資料」の視点でみると、「集団宿泊活動の計画や指導の参考になる手引書のような資料の提供」(92.9%)、「各教科等に体験活動を関連付け効果的に展開するプログラムの提供」(92.8%)、「集団宿泊活動の計画や指導の参考となる長期集団宿泊活動の事例集の提供」(91.4%)、「保護者に集団宿泊活動の効果などを伝える資料の提供」(86.4%)、「集団宿泊活動の効果測定するための資料の提供」(82.7%)であった。

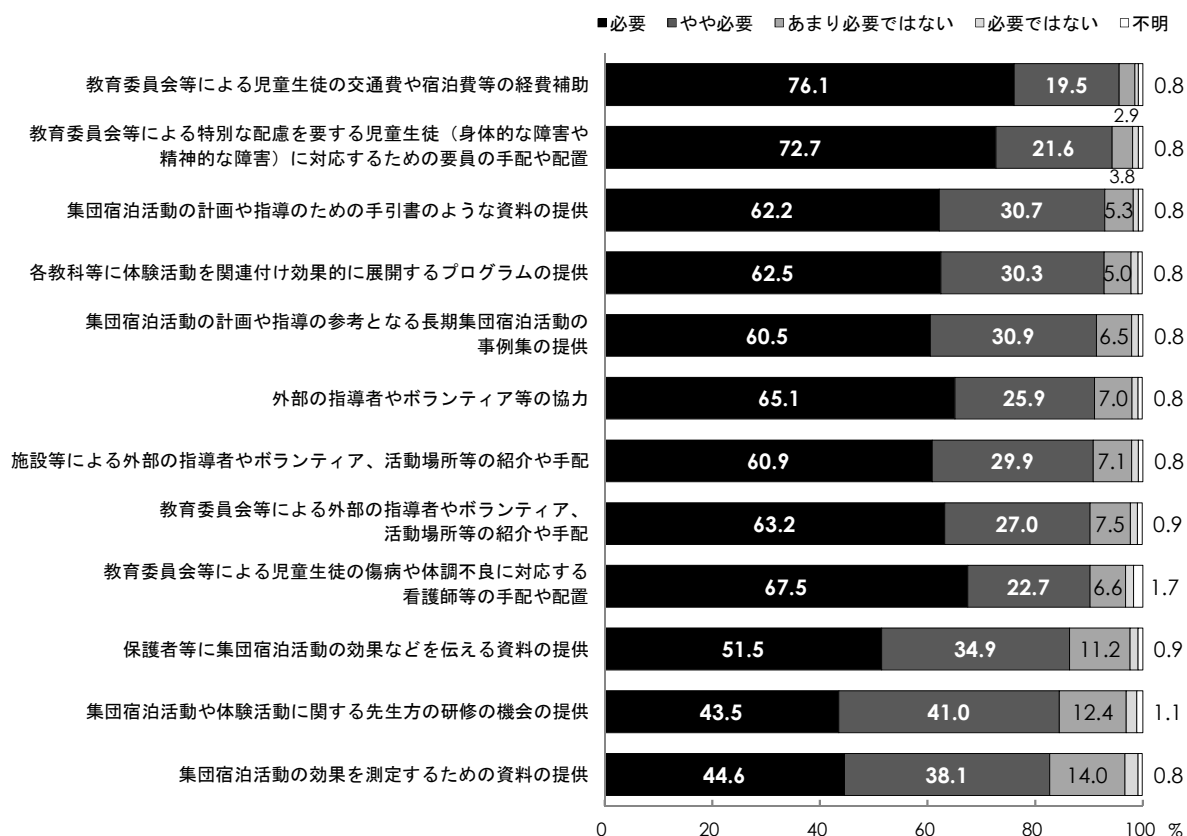


図 2-7-2 集団宿泊活動を一定期間（1週間程度）実施する場合に必要な支援（n=1,295）

8. 集団宿泊の行事や体験活動を推進する体制

（1）集団宿泊的行事に対する教育委員会等からの経費補助

「集団宿泊活動」で教育委員会等から経費的補助が「ある」と回答した割合は、小学校が 35.5%，中学校が 27.6%であった。

「修学旅行」は、小学校が 9.7%，中学校が 14.2%であった。

経費の補助は、集団宿泊活動の方が修学旅行よりも実施されている割合が高い。

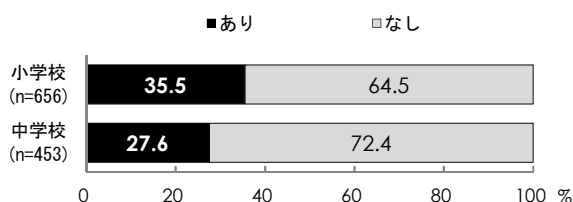


図 2-8-1 集団宿泊活動の実施にかかる教育委員会等からの経費補助（学校種別）

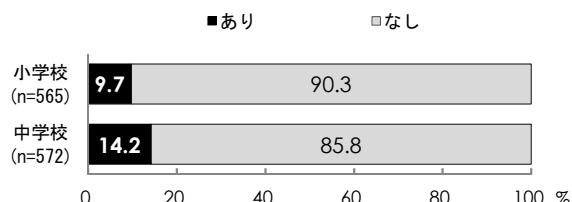


図 2-8-2 修学旅行の実施にかかる教育委員会等からの経費補助（学校種別）

(2) 体験活動を推進する学校体制の整備状況（複数回答）

体験活動の推進体制の回答の割合は高い順に、小学校、中学校ともに、①「担当の教職員を配置」（小学校 41.6%，中学校 47.8%）、②「学校の教職員で構成する「委員会・部会」を設置」（小学校 21.1%，中学校 38.1%）、③「学校行事の準備や運営に関する業務の一部を外部に委託」（小学校 14.8%，中学校 15.9%）、④「保護者や地域の自治会、社会教育関係団体等の関係者で構成する「体験活動委員会」を設置」（小学校 5.4%，中学校 3.7%）であった。

①と②は学校内での取組、③と④は学校外と関係した取組であり、①と②に比して、③と④は低い。

また、「体験活動委員会の設置」を除き、小学校よりも中学校の方が高い割合になっている。

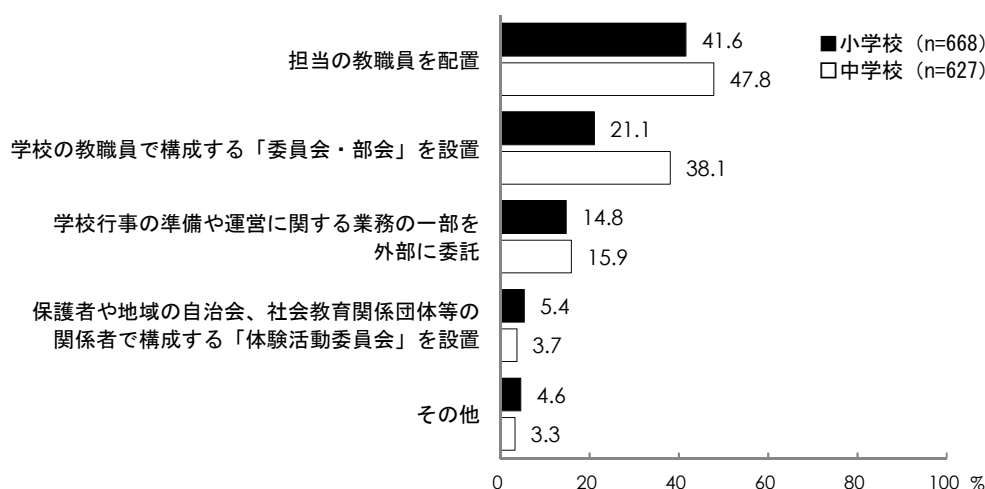


図 2-8-3 体験活動を推進する体制の整備状況（学校種別）

(3) 体験活動に関する施策等の認知状況

「よく知っている」と「知っている」と回答した合計の割合は高い順に、「現学習指導要領（平成 20 年告示）で、小中学校の教育内容の主な改善点として「体験活動の充実」が提示されていること」（84.0%）、「次期学習指導要領（平成 29 年告示）で、小中学校の教育内容の主な改善点として「体験活動の充実」が提示されていること」（83.4%）、「小学校は自然の中での集団宿泊活動、中学校は職場体験を重点的に推進することが望まれるとされていること」（82.9%）と、「学習指導要領」に示されている 3 項目が 8 割を超えている。しかし、「よく知っている」と回答した割合は 3 割程度であった。

また、「学習指導要領解説 特別活動編」で示されている「集団宿泊活動に教科の内容にかかわる活動が含まれる場合、当該活動について教科の学習として位置付けられること」は 62.4%、「体験活動の効果を高めるためには、一定期間（例えば、1 週間（5 日間程度））実施することが望まれるとされていること」は 54.8%であり、学習指導要領に示されている事項と比べると低い。「よく知っている」と回答した割合も 2 割に満たない。

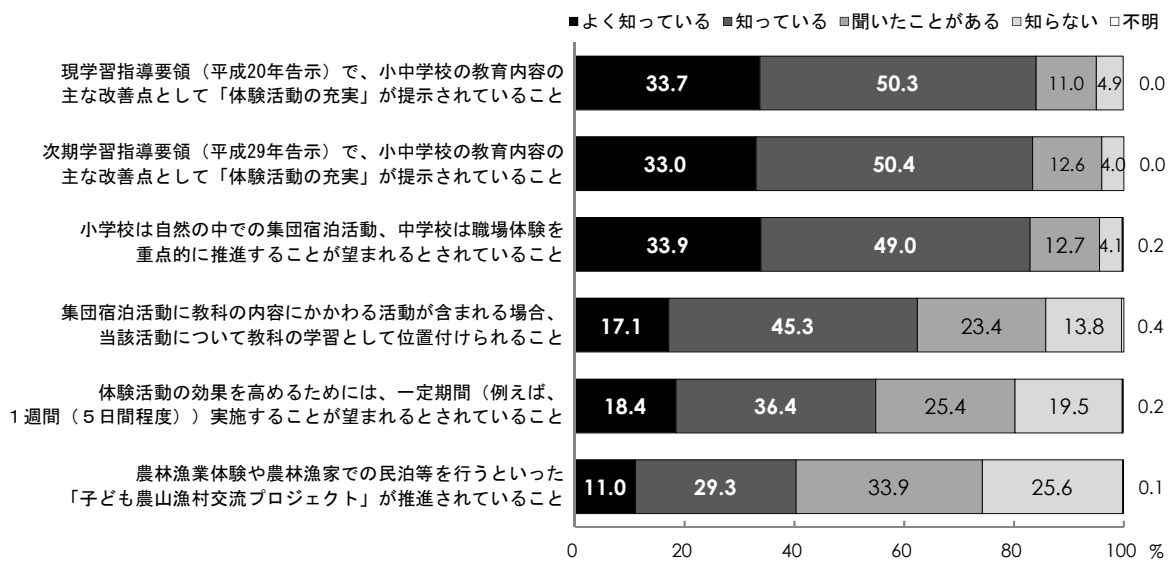


図 2-8-4 体験活動等に関する施策等に対する回答者の認知 (n=1, 295)

(4) 集団宿泊的行事や体験活動に関する研修の受講状況（複数回答）

「教育委員会が主催した初任者研修」(53.1%)の割合が最も高く、次いで、「教育委員会が主催した初任者研修以外の研修」(26.7%)であった。

「視点」を設定した回答の割合は次のとおりである。

「教員在職中」の視点でみると、前述の2項目に続き「勤務した学校が実施した研修」(9.1%)、「免許状更新講習の中での講座」(5.9%)であった。

「大学在学中」の視点でみると、「大学の授業」(14.2%)、「大学生の時に参加した青少年教育施設等が主催した研修会」(4.2%)であった。

5割を超えるのは1項目のみであり、全体的に低い傾向となっている。

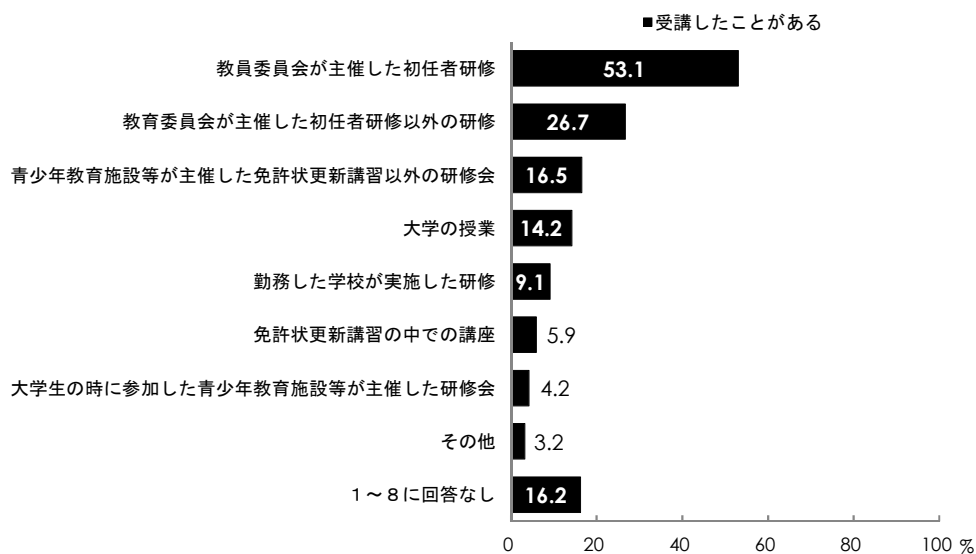


図 2-8-5 集団宿泊活動や体験活動に関する研修の受講状況 (n=1, 295)

9. 遠足/旅行・集団宿泊の行事における農林漁業体験・農林漁家泊体験

(1) 実施状況, 実施した行事, 実施した学年

①実施状況

「実施していない」と回答した割合は小学校が90.6%, 中学校が83.6%で, 小学校, 中学校ともに最も高かった。

「実施した」と回答した学校の活動内容で最も割合の高い項目は, 小学校は「農林漁業体験だけを実施した」(7.2%), 中学校は「農林漁業体験と農林漁家泊を実施した」(9.4%)であった。

②実施した行事(複数回答)

小学校の回答の割合は高い順に, 「集団宿泊活動」(60.3%), 「修学旅行」(6.9%)であった。

中学校は「修学旅行」(50.5%), 「集団宿泊活動」(44.6%)であった。

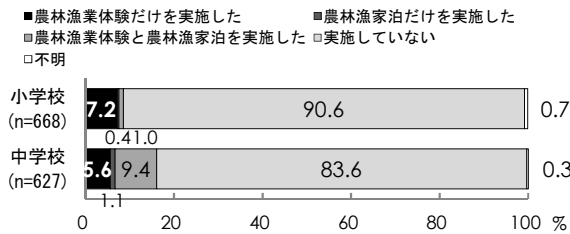


図 2-9-1 平成 29 年度の学校行事における農林漁業体験・農林漁家泊の実施状況(学校種別)

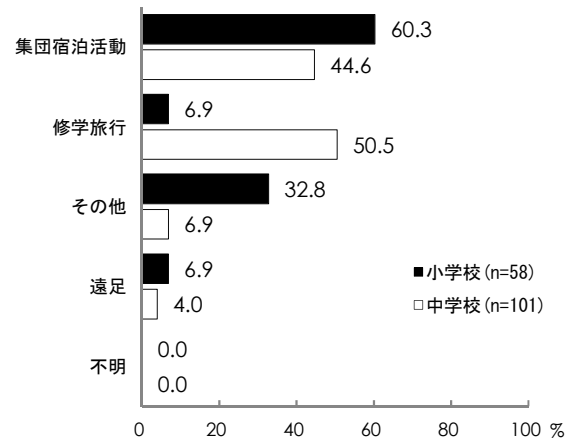


図 2-9-2 農林漁業体験・農林漁家泊を実施した行事(学校種別)

③実施した学年(複数回答)

小学校の回答は割合が高い順に, 「5年生」(81.0%), 「6年生」(19.0%), 「4年生」(15.5%)であった。

中学校は「3年生」(47.5%), 「2年生」(43.6%), 「1年生」(14.9%)であった。

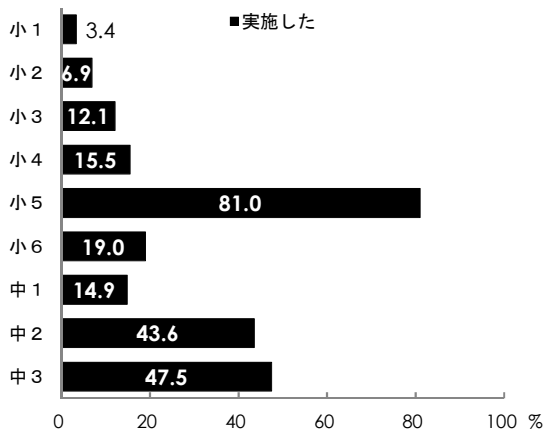


図 2-9-3 農林漁業体験・農林漁家泊を実施した学年(小学校 n=58、中学校 n=101)

(2) 受入先における活動の調整者（複数回答）

小学校の回答は割合が高い順に、「教職員が、個々の活動先と個別に調整した」(58.6%)、「受け入れ先で設置されている協議会やNPO等が調整した」(15.5%)、「委託した旅行業者が調整した」(13.8%)であった。

中学校は「委託した旅行業者が調整した」(51.5%)、「受け入れ先で設置されている協議会やNPO等が調整した」(31.7%)、「教職員が個々の活動先と個別に調整した」(13.9%)であった。

小学校は教員自身が、中学校は外部の者が実施している傾向が高くなっている。

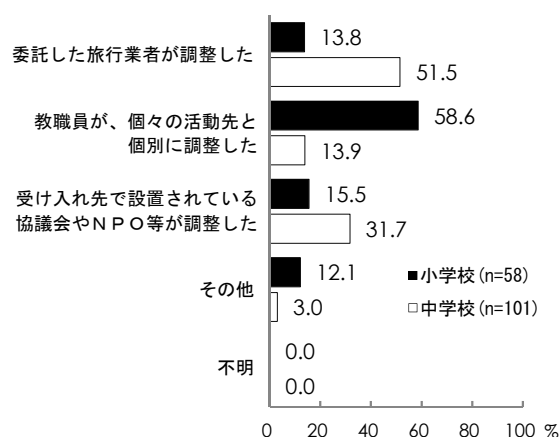


図 2-9-4 農林漁業体験・農林漁家泊の受入先における活動の調整を行った者（学校種別）

(3) 農林漁家泊体験を実施していない理由（複数回答）

「農林漁家に宿泊すること自体念頭になかった」と回答した割合は小学校が60.0%、中学校が56.9%で、小学校、中学校ともに最も高かった。5割を超える項目は本項目だけである。

次いで、小学校は「これまでの取組に変えて、新たに農林漁家泊を実施することに抵抗がある」(34.8%)、「職員等の目が行き届かないので、複数の家に児童生徒が分散して宿泊することに不安がある」(33.7%)、「農林漁家に宿泊することに関する情報が不足している」(31.5%)であった。

中学校は「これまでの取組に変えて、新たに農林漁家泊を実施することに抵抗がある」(28.8%)、「農林漁家に宿泊することに関する情報が不足している」(24.2%)、「職員等の目が行き届かないので、複数の家に児童生徒が分散して宿泊することに不安がある」(20.0%)であった。

「視点」を設定した回答の割合は次のとおりである。

「不安」の視点で見ると、「職員等の目が行き届かないので、複数の家に児童生徒が分散して宿泊することに不安がある」(小学校33.7%、中学校20.0%)、「児童生徒の安全確保に不安がある」(小学校26.5%、中学校15.4%)、「食物アレルギーへの対応等、農林漁家が提供する食事面に不安がある」(小学校24.3%、中学校16.8%)であった。

「実施の仕方」の視点でみると、「農林漁家に宿泊することに関する情報が不足している」（小学校 31.5%，中学校 24.2%）、「複数の農林漁家と、どのように調整すればよいか分からない」（小学校 20.7%，中学校 12.2%）であった。

「意義」の視点でみると、「複数の家に児童生徒が分散して宿泊するので、学級や学年としての集団活動に馴染まない」（小学校 23.6%，中学校 13.8%）、「農林漁家に宿泊する意義を感じていない」（小学校 7.4%，中学校 14.0%）であった。

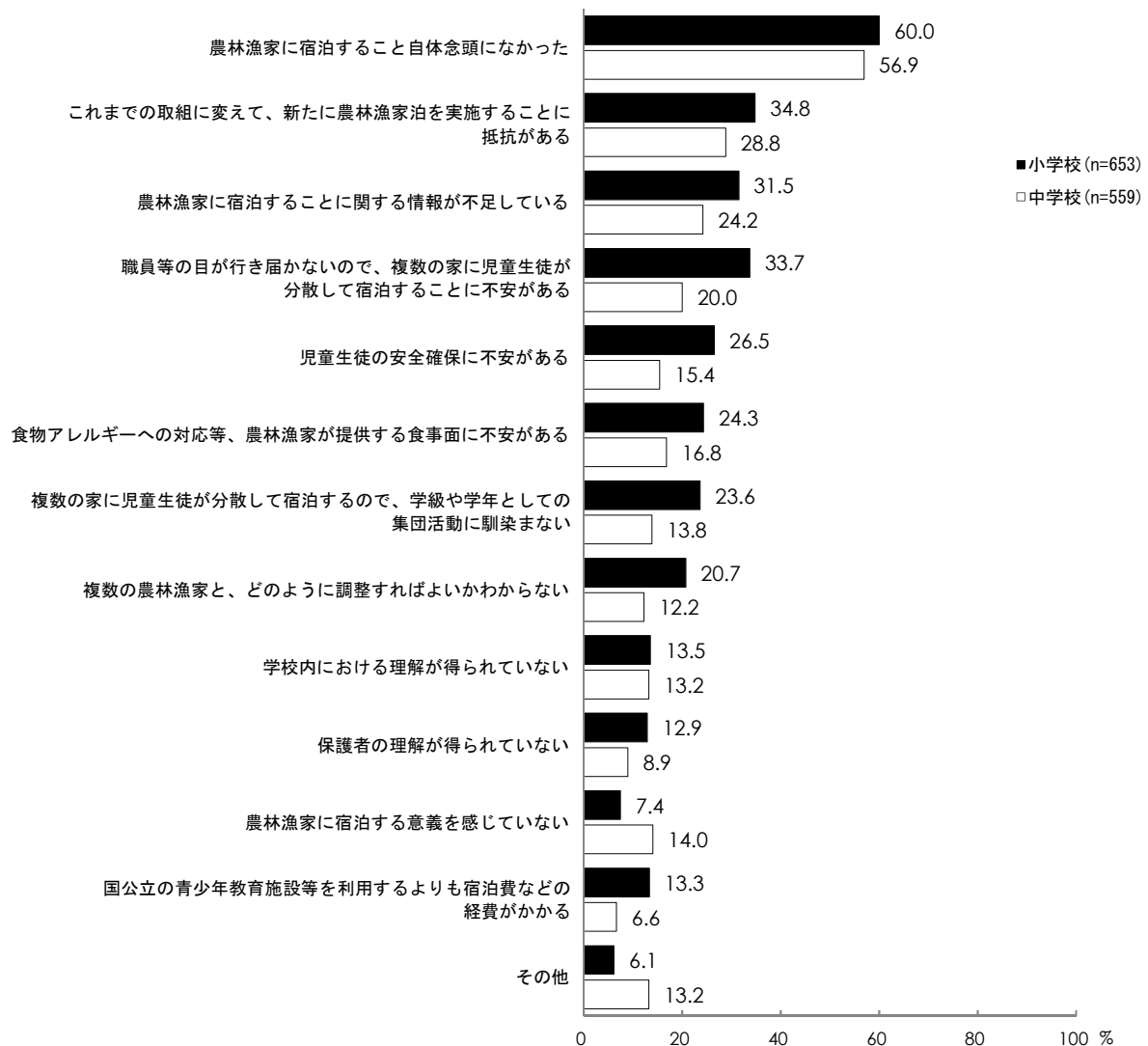


図 2-9-5 農林漁家泊を実施していない理由（学校種別）

10. 集団宿泊活動を実施した学年の児童生徒の学校での様子

「思う」と「やや思う」と回答した合計の割合は高い順に、「仲がよい」(95.3%)、「行事のときに盛り上がる」(93.8%)、「授業で教え合ったり、生活場面で助け合ったりしている」(92.6%)であり、全10項目中3項目が9割を、7項目が8割を超え、全体的に高い傾向となっている。

しかし、「思う」と回答した割合で4割を超える項目は「行事のときに盛り上がる」(54.9%)と「仲がよい」(42.4%)の2項目であった。

また、「仲がよい」や「行事のときに盛り上がる」といった人間関係に関する項目の方が、「規則を守る」や「清掃当番や係活動を責任もって果たす」といった規律・生活に関する項目よりも高い傾向となっている。

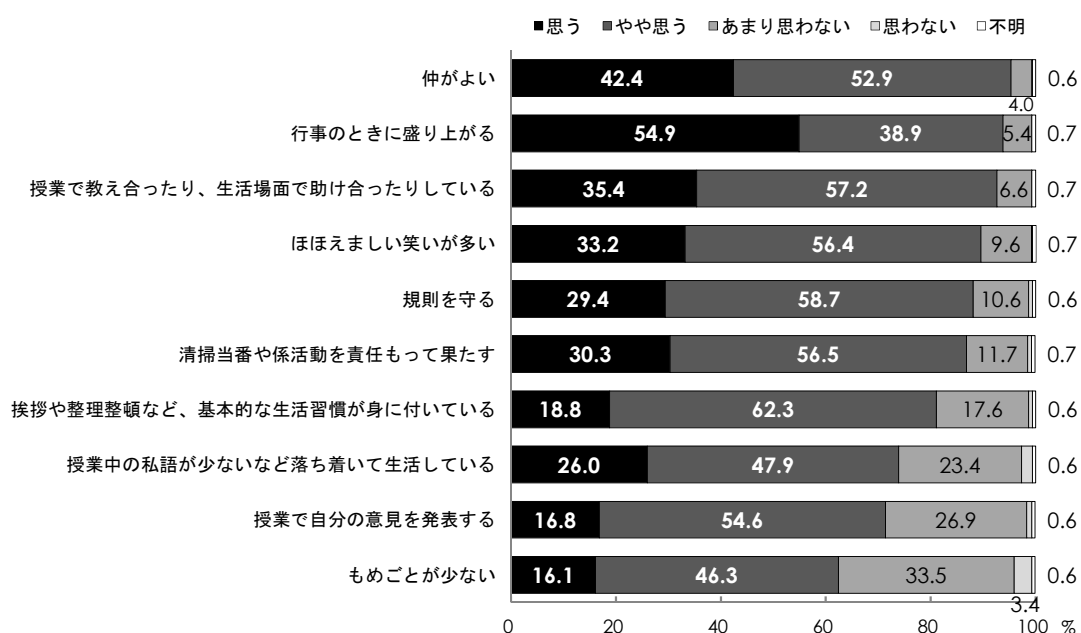


図 2-10 集団宿泊活動を実施した学年の児童生徒のようす (n=1, 295)

※実施していない場合は小学5年生または中学2年生を想定して回答

11. 児童生徒に必要なだと考える体験

「思う」と「やや思う」と回答した合計の割合は高い順に、「仲間と力を合わせて課題を達成する体験」(98.7%)、「ルールやマナーを守ることの大切さを実感する体験」

(97.2%)、「生命の有限性や自然の大切さを実感する体験」(97.1%)であり、全17項目中12項目が9割を、全項目が8割を超えおり、全体的に高い傾向となっている。

しかし、「思う」と回答した割合で7割を超える項目は「仲間と力を合わせて課題を達成する体験」(80.9%)と「ルールやマナーを守ることの大切さを実感する体験」(71.9%)の2項目であった。また、6割を超える項目は「人からありがとうと言われるなど、自分が必要とされていることを実感する体験」(67.3%)、「生命の有限性や自然の大切さを実感する体験」(65.0%)、「人から助けられたり、人を助けたりする体験」(62.9%)、「困難なことに挑戦する体験」(61.8%)の4項目であった。

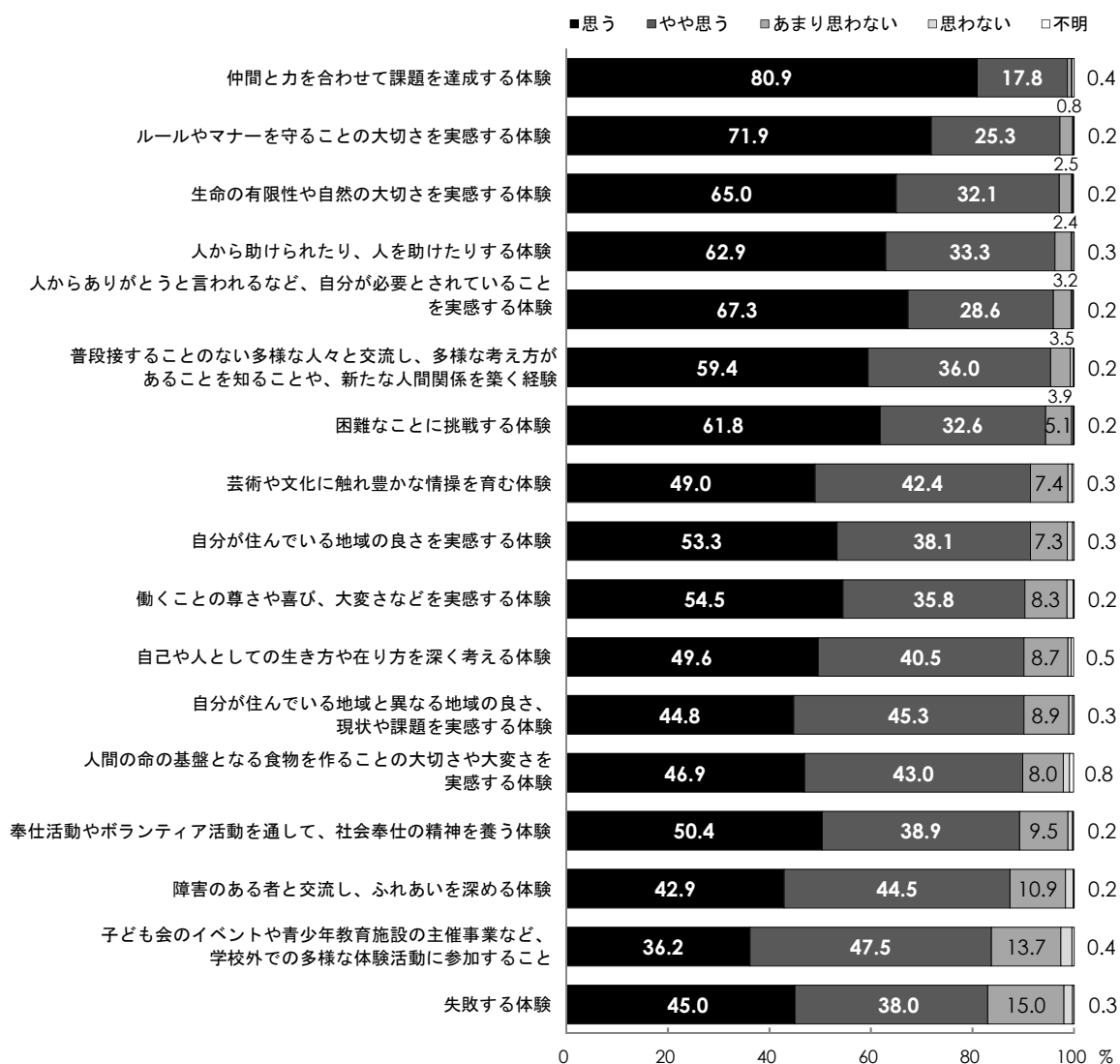


図 2-11 児童生徒にとって必要だと思う体験 (n=1, 295)

12. 集団宿泊的行事を実施することによる教職員や学校への効果

「当てはまる」と「やや当てはまる」と回答した合計の割合は高い順に、「普段の学校生活では見られない児童生徒の一面を見ることができるなど、教員の児童生徒への理解が深まる」(99.7%)、「教員と児童生徒との信頼関係が構築できる」(97.0%)といった児童生徒に関係する項目が上位であった。「教員の児童生徒への理解が深まる」は、ほぼ全校が認めている。

次いで、「集団宿泊的行事の担当になった教員のマネジメント力（計画の立案や準備、手順通りに進めるといった力量）が高まる」(93.8%)、「集団宿泊的行事の担当になった教員のコミュニケーション力（学校以外の関係者や他の教職員と連絡・調整・合意するといった力量）が高まる」(85.5%)であり、教師の管理・運営的な力量が高まったことを8割以上が認めている。

全6項目中3項目が9割を、5項目が8割を超え、全体的に高い傾向となっている。

しかし、「当てはまる」と回答した割合で5割を超えるのは「普段の学校生活では見られない児童生徒の一面を見ることができるなど、教員の児童生徒への理解が深まる」

(82.3%)と「教員と児童生徒との信頼関係が構築できる」(58.2%)の2項目であった。

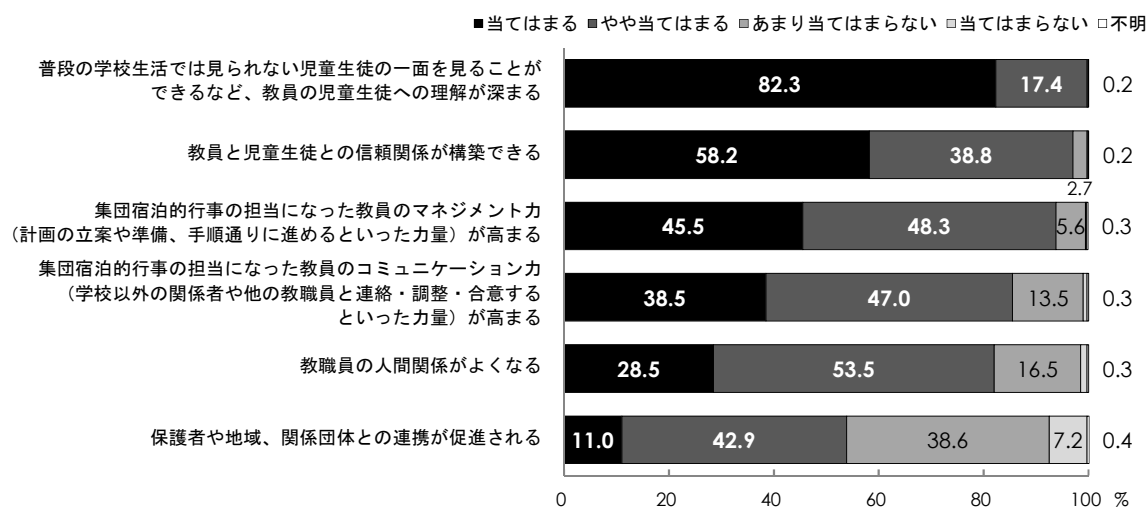


図 2-12 集団宿泊的行事を行うことによる、教職員や学校への効果 (n=1, 295)

13. 回答者が体験した活動

(1) 大学生の頃に体験した活動

「よくある」と「少しある」と回答した合計の割合は割合が高い順に、「友人やサークルなどで、キャンプや登山などの野外活動をする事」(59.5%)、「ボランティア活動をする事」(39.4%)、「家族で、キャンプや登山などの野外活動をする事」(33.6%)であった。

次いで、「大学の授業で、キャンプや登山などの野外活動をする事」(29.1%)、「子ども会や青少年教育施設等が主催するキャンプで、スタッフとして活動すること」(20.2%)といった子供たちの体験活動を指導する体験といった項目であり、他の項目と比べると低い。

また、「よくある」と回答した割合は、最も高い項目の「友人やサークルなどで、キャンプや登山などの野外活動をする事」でも約2割であり、全体的に低い傾向となっている。

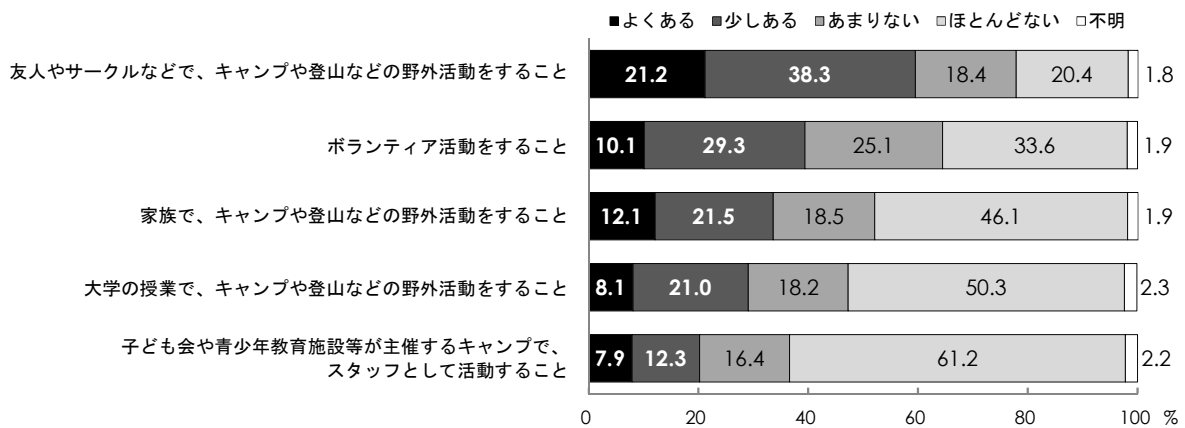


図 2-13-1 回答者が大学生の頃の体験活動等の経験 (n=1, 295)

(2) 小学生の時に体験した集団宿泊活動

「集団宿泊活動の日数」の回答は割合が高い順に、「1泊2日」(51.9%)、「2泊3日」(34.7%)であり、本調査で一定期間としている「3泊4日以上」は3.9%であった。

「集団宿泊活動の印象」は、「よい印象」(27.5%)と「どちらかというともよい印象」(48.9%)を合計すると76.4%になる。

しかし、「よい印象」と回答した割合は3割に満たない。

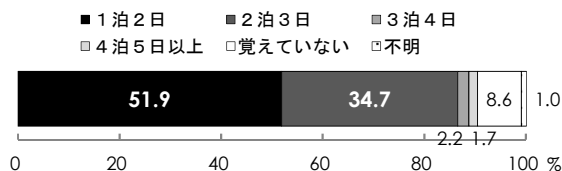


図 2-13-2 回答者が小学生の時に体験した集団宿泊活動の日数 (n=1, 295)

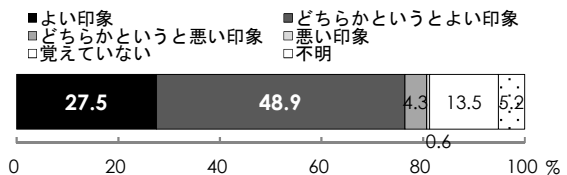


図 2-13-3 回答者が小学生の時に体験した集団宿泊活動の印象 (n=1, 295)

1. 先行調査の課題と本調査の特色

集団宿泊活動に関して、これまでに行われた主な全国的調査は表 3-1 のとおりである。これらの調査の目的に注目すると、以下の(1)～(3)のように区別することができる。以下では、集団宿泊活動を調査する場合の調査方法上の課題について、調査の目的ごとに検討する。

表 3-1 集団宿泊活動に関する主な全国的調査（調査年順）

No.	調査名	調査年	調査対象宿泊 活動等実施年度	調査対象校	主な調査内容
		調査主体			
①	農山漁村での長期宿泊体験による教育効果について	平成 21 年	平成 20 年度 に実施した 宿泊活動	「平成 20 年度 農山漁村にお けるふるさと 生活体験推進 校」に指定され た小学校 (178 校)	「人間関係・コミュニケーション能力」, 「自主性・自立心」, 「マナー・モラル・心の成長」, 「児童の学習意欲等」, 「食育」, 「環境教育」, 「児童の心の問題の改善」について, 教員等へのアンケート調査及び保護者による評価(自由記述)
		文部科学省			
②	農山漁村での宿泊体験による教育効果の評価について	平成 22 年	平成 21 年度 に実施した 宿泊活動	「平成 21 年度 農山漁村にお けるふるさと 生活体験推進 校」に指定され た小学校 (306 校)	「人間関係・コミュニケーション能力」, 「自主性・自立心」, 「マナー・モラル・心の成長」, 「児童の学習意欲等」, 「食育」, 「環境教育」, 「人間関係の問題」について, 教員等へのアンケート調査
		文部科学省			
③	小学校の集団宿泊活動に関する全国的な調査	平成 25 年	平成 24 年度 に実施した 宿泊活動	平成 24 年 4 月 から平成 25 年 2 月の間に, 全 国の国立青少 年教育施設(27 施設)を利用し た小学校 (1,419 校)	日数, 経年変化, 次年度の予定, 利用した施設の決定要因と経緯, 教職員以外の引率者及び指導者の有無と役割, 教育課程への位置付け, 取り入れた活動, 成果, 計画・実施上の不安事項, 一定期間実施することの意識と必要な事項, 教員の体験活動の経験等について, 教員等へのアンケート調査
		国立青少年教育振興機構			
④	平成 28 年度農山漁村体験活動実施人数等調査結果	平成 30 年	平成 28 年度 に実施した 活動	公立小学校 (18,641 校) 公立中学校 (9,285 校) 公立高等学校 (3,540 校)	・「農山漁村体験活動」における実施学年・活動日数・利用宿泊施設 ・「宿泊を伴う体験活動」における活動内容別・学年別・活動日数別の実施校数
		内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局, 文部科学省			
⑤	平成 30 年度全国学力・学習状況調査報告書～質問紙調査～	平成 30 年	調査対象学 年の児童が 小学校在籍 中に行った 宿泊活動	公立・国立・ 私立小学校 (19,733 校)	自然の中での集団宿泊活動の日数
		文部科学省			

※「調査対象校」の()内の数値は回答校数

(1) 集団宿泊活動の実施状況に関する調査

表 3-1 の④「平成 28 年度農山漁村体験活動実施人数等調査結果」と同表の⑤「平成 30 年度全国学力・学習状況調査報告書～質問紙調査～」(以下、例えば「④調査」と表記)は、調査対象となる学校種のほぼ全学校に対して実施しているので、集団宿泊活動等の実施状況のほぼ全容を把握することができる。

しかしながら、④調査では、対象とした「農山漁村での体験活動」を「農山漁村での自然体験や農林漁業体験等を行うなど、児童・生徒が宿泊体験活動を行う地域の方々と触れ合ったり、その地域の自然や文化を体験するなどの機会が提供されているもの」としていること、また、⑤調査では、平成 29 年度以前の全国学力・学習状況調査の設問の「調査対象学年の児童に対して、第 5 学年までの間に自然の中での集団宿泊活動を行いましたか(複数回実施した場合は、最も長期のもの)」から、「調査対象学年の児童に対して、小学校在籍期間中に、教育課程に位置付けられた自然の中での集団宿泊活動を行ったことがあるか、または、今後行う予定がありますか(複数回実施した場合は、最も長期のもの)」に変更していることから、調査の対象となる活動の範囲については、以下の各点に注意が必要である。

- ・ 場所について、④調査は「農山漁村での」とし、⑤調査は「自然の中での」となっており、調査対象となる活動の場所が同じであるとは限らないこと。
- ・ 内容について、④調査では「自然体験」と「農林漁業体験」が併記されており、両体験がどのように区別されているかが明確でないこと。
- ・ 集団宿泊的行事の種類について、⑤調査では、平成 30 年度は新たに「小学校 6 年生で実施及び実施予定である自然の中での集団宿泊活動」が対象とされたことになり、本調査で「自然の中での集団宿泊活動」と区別した「修学旅行」で「自然の中での活動」を行った場合も「自然の中での集団宿泊活動」に含まれる可能性があること。

集団宿泊活動を対象とする調査では、調査で明らかにする「自然の中での集団宿泊活動」や「農山漁村での体験活動」(例えば、目的、場所、活動内容、集団宿泊活動と修学旅行との区別等)を明確にしていくことが課題となる。

(2) 集団宿泊活動の効果に関する調査

集団宿泊活動を推進・拡充する方策を勘案するためには、集団宿泊活動の効果を証左(エビデンス)として示すことが求められる。①調査と②調査は、調査対象が、文部科学省が実施した「農山漁村におけるふるさと生活体験推進校」として指定を受けた学校に限定されるものの、集団宿泊活動の効果を報告している。

本調査も集団宿泊活動の成果を示しているが、①調査の報告書「農山漁村での長期宿泊体験による教育効果について」(平成 21 年 12 月)が「IV総括(1)評価方法について」に、「農山漁村での宿泊体験活動の効果を測定するに当たっては、児童生徒の意識の変化を直接アンケート調査するという方法もある。しかし、これは調査対象となる児童数が多数となり、調査票の送付、回収、集計等の負担が極めて大きい。また、児童本人が知らず知らずのうちに変化しているような場合においては、学校の教師側から客観的に見た児童の変化の方が、より適切に児童への宿泊体験活動の効果を捉えることができるものと考えられる」と示しているように、集団宿泊活動の効果を測定・評価することは容易でない。また、集団宿泊活動の効果に結びつく要因は、活動内容や指導方法といった学校が意図的に計画・実施する事項だけではなく、その時の天候など学校が操作できない事項があることも、効果を測定・評価することの難しさであ

る。

また、効果は目的・目標と関係することから、①調査と②調査で調査項目としている「人間関係・コミュニケーション能力」、「自主性・自立心」、「マナー・モラル・心の成長」、「児童の学習意欲等」、「食育」、「環境教育」、「人間関係の問題」、「児童の心の問題の改善」は、調査主体が集団宿泊活動の効果として想定した事項であると考えられる。しかし、学校はこれらの事項を集団宿泊活動の目的・目標として設定していたとは限らないため、調査対象となる学校が集団宿泊活動の目的・目標としてこれらの事項を設定し、達成するための体験活動を計画しなければ効果をあげることは困難であると考えられる。このように集団宿泊活動の効果を検証する場合には、調査者が想定する効果と学校が設定する学習目標との関係をどのように捉えるのかが課題となる。

そして、効果という「結果」を明らかにするだけでなく、効果に結びついた「要因」（活動内容や指導方法等）を分析・究明することも、より一層効果的な教育活動を展開するために必要であろう。

（3）集団宿泊活動の受入体制を整備するための調査

本調査及び③調査の目的は、学校の集団宿泊活動を受け入れる施設等（学校が集団宿泊活動の実施場所として利用する施設等）が、受入体制を整備するために必要な情報を取得することである。また、調査主体である国立青少年教育振興機構は青少年教育のナショナルセンターであることから、集団宿泊活動の推進に関する施策立案に資する情報の取得も目的としている。

③調査は、①②④⑤調査にはない「教職員以外の引率者や指導者の有無」、「集団宿泊活動中の各活動の各教科等への位置付け」、「集団宿泊活動を実施する際の不安事項」といった集団宿泊活動の運営や計画・指導に関することを調査内容としている。また、文部科学省は小学校に対して、「集団宿泊活動は一定期間（例えば1週間（5日間）程度）にわたって行うことが望まれる」としているが、教員はどの程度認知し、どう捉えているのか。文部科学省が①調査をもとに教育委員会等に発出した「宿泊体験活動の計画・実施に当たっての留意事項」（通知では「農山漁村での長期宿泊体験による教育効果の評価結果」及び「宿泊体験活動の計画・実施に当たっての留意事項」となっている）をどの程度実践しているのかといった集団宿泊活動に関する施策についても調査内容としている。

本調査は、これまでに見てきた先行調査の課題に加えて、③調査の対象が「全国の国立青少年教育施設を利用した小学校」と限定されていること等をふまえ、③調査に以下の変更を加えて実施したものである。これらは本調査の特色であり、全国の小学校と中学校を対象にした集団宿泊活動を総合的に調査しようとする初めての試みである。

ア. 対象に「中学校」を加えた。

イ. 対象を全国規模とした（層化抽出法で対象校を抽出）。

ウ. 集団宿泊活動における各活動の教育課程への位置付けを具体的に調査

エ. 集団宿泊活動を受け入れる施設の運営改善に役立つよう学校の要望等を調査（施設を決定する際に重視した事項、集団宿泊活動を計画・実施する際の不安事項や必要とする支援事項等）

オ. 目的と成果を関連付けた調査

カ. 文部科学省・総務省・農林水産省・環境省・内閣官房・内閣府が連携して取り組む「子ども農山漁村交流プロジェクト」に関する農林漁業体験の実施状況等を調査

2. 集団宿泊活動の実施状況

(1) 集団宿泊的行事の実施状況

本調査によると集団宿泊活動及び修学旅行の実施状況は表 3-2-1 のとおりであり、小中学校とも集団宿泊活動及び修学旅行を実施している割合が高い。特に小学校の集団宿泊活動、中学校の修学旅行では、9 割を超える高い実施率となっている（結果は p.4）。

表 3-2-1 集団宿泊活動及び修学旅行の実施状況

行事の種類	小学校	中学校
集団宿泊活動	98.2%	72.2%
修学旅行	84.6%	91.2%

集団宿泊活動及び修学旅行は、小学校及び中学校の「特別活動」における「学校行事」の中の「遠足／旅行・集団宿泊的行事」に位置付けられる（小中学校で各教科等の名称が異なる場合は、／（スラッシュ）で表し、／の前が小学校、後が中学校とする。以下、同様）。

しかしながら、「遠足／旅行・集団宿泊的行事」の各活動は、学習指導要領には示されず、学習指導要領解説特別活動編に示されている。

平成 29 年 7 月に提示された小学校及び中学校の「学習指導要領（平成 29 年告示）解説特別活動編」（以下、「H29 小学校（または中学校）解説特活編」。両校種の場合は「H29 解説特活編」）では、次のように示されている（小学校は H20 解説特活編と同じ内容だが、中学校は H20 解説特活編に示されていた「遠足」が削除されている）。「修学旅行」は小中学校ともに示されているが、「集団宿泊活動」は小学校と中学校では文言が異なり、中学校では「集団宿泊」と表記されている。また、各活動の定義は示されていない。

小学校	遠足・集団宿泊的行事には、遠足、修学旅行、野外活動、集団宿泊活動などが考えられる。
中学校	旅行・集団宿泊的行事としては、修学旅行、移動教室、集団宿泊、野外活動などが考えられる。

本調査では、調査対象とした集団宿泊活動を「主に自然の中で行う集団宿泊活動（自然教室や林間学校等）」とし、「自然の中で行う集団宿泊活動」とは「平成 30 年度全国学力・学習状況調査」に準じ、「特別活動の学校行事を中心に、学年全体を対象として行うもの」とした。しかし、この場合も、例えば、中学校 3 年生が、2 泊 3 日の集団宿泊的行事で、1 日目に名所旧跡を見学しホテル泊、2 日目に農業体験を実施し農家民泊、3 日目に野外活動（例えば、ハイキング）を実施した場合など、自然の中での集団宿泊活動なのか、農山漁村体験を取り入れた修学旅行なのかを明確に区別できない活動も含まざるをえない。

集団宿泊的行事を実施する学年、目的、活動内容等が多様になっている現状を踏まえると、各活動等の意味の整理や定義づけをどのようにするかが今後の課題であろう。

(2) 集団宿泊活動の今後の状況

平成 29 年 3 月に告示された学習指導要領（以下、「H29 小学校（または中学校）学習指導要領」。両校種の場合は「H29 学習指導要領」）が全面実施になる年度における集団宿泊活動の予

定（調査時点）で、縮小傾向と回答した割合は表 3-2-2 のとおりである（結果は p.8）。

中学校の約 3 割が集団宿泊活動は縮小傾向と回答した一方、小学校で集団宿泊活動が縮小傾向にあると回答した割合は 5.2%と低い。しかしながら、H29 学習指導要領改訂で授業時数が増えるのは小学校であることからすると、実際には、集団宿泊活動の日数を短縮することや、集団宿泊活動を取り止め修学旅行の中に自然体験活動を取り入れた計画にするとといったことが増えることも想定される。

表 3-2-2 H29 学習指導要領が全面实施される年度における
集団宿泊活動の予定（縮小傾向に関する項目）

項目	小学校	中学校
実施しないこと、または平成 29 年度よりも日数を減らして実施することが決まっている	2.2%	22.0%
平成 29 年度よりも日数を減らして実施したい	3.0%	3.0%
実施することは困難だろう	—	2.2%
合計	5.2%	27.2%

（3）中学校の集団宿泊活動

中学校における集団宿泊活動の実施状況は 72.2%であり、小学校の 98.2%に対して低い割合となっている。これは、学習指導要領を改訂する際の平成 20 年 1 月中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について」（以下、「H20 答申」）で、「体験活動の重要性を一層明確にし、その内容に即して小・中・高等学校でそれぞれ重点的に行う体験活動について記述することが必要である」と提言され、H20 学習指導要領が、小学校は「自然の中での集団宿泊活動」、中学校は「職場体験・職業体験」を重点的に行う体験活動としたことから、学校行事の精選を図り、集団宿泊活動をやめ、職場体験・職業体験に重点化したことが一因であると考えられる（小学校及び中学校で実施する体験活動の重点化は H29 学習指導要領でも継承されている）。

本調査によると、「小学校は自然の中での集団宿泊活動、中学校は職場体験を重点的に推進することが望まれるとされていること」を、「よく知っている」または「知っている」と回答した割合が 82.9%であることから、多くの教員が体験活動に関する施策等を認知していると考えられる（結果は p.43）。また、過去 6 年間（平成 23 年度～28 年度）で、「日数を減らしたり、取りやめたりした」と回答した中学校の 4.5%が、「職場見学や職場体験活動を導入したため」を理由として挙げている（結果は p.6）。

中学校の集団宿泊活動は縮小傾向にあるが、本調査は中学校における集団宿泊活動の有用性を示している。

集団宿泊活動の実施に際して重視した目的について「重視した」または「やや重視した」と回答した割合の上位 7 項目（小学校と中学校をあわせた割合）は表 3-2-3 のとおりである（結果は p.15）。また、集団宿泊活動を実施して得られた成果について「成果があった」または「やや成果があった」と回答した割合の上位 7 項目（小学校と中学校をあわせた割合）は表 3-2-4 のとおりである（結果は p.19）。中学校の目的及び成果の割合は、小学校と比較して大きな違いは見られない。

学習指導要領で、中学校は職場体験活動を重点とするとされたが、職場体験活動は、集団宿泊活動の目的及び成果で高い割合を示している「学級や学年への所属感や連帯感を深めること」や「よりよい人間関係を築くこと」とは異なる目的で実施されるのが一般的である。中学校に

おける集団宿泊活動において、人間関係や集団活動に関することが目的にされ、高い成果をあげているという本調査の結果は、中学生にとっても集団宿泊活動が重要であることを示しているといえよう。

表 3-2-3 集団宿泊活動の実施に際して重視した目的（上位 7 項目）

No	項目	学校種	重視	やや重視	合計
1	よりよい人間関係を築くこと	小学校	89.9%	9.1%	99.0%
		中学校	91.4%	6.6%	98.0%
2	学級や学年への所属感や連帯感を深めること	小学校	90.9%	8.2%	99.1%
		中学校	92.1%	5.5%	97.6%
3	規律ある集団行動ができるようにすること	小学校	88.6%	10.1%	98.7%
		中学校	86.8%	10.6%	97.4%
4	約束やルール、時間を守るなど公衆道徳について理解し、行動の仕方を身に付けること	小学校	86.7%	11.7%	98.4%
		中学校	82.1%	14.6%	96.7%
5	必要な係をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して協力し合い実践できるようにすること	小学校	88.7%	9.8%	98.5%
		中学校	81.7%	14.8%	96.5%
6	協力して諸問題を解決し、よりよい学校生活を築くことができるようにすること	小学校	75.2%	22.4%	97.6%
		中学校	74.0%	21.2%	95.2%
7	楽しい思い出をつくること	小学校	80.6%	17.4%	98.0%
		中学校	66.7%	24.9%	91.6%

※Noの欄は、当該項目の「重視した」または「やや重視した」と回答した割合（小学校と中学校をあわせた割合）の全項目における順位

表 3-2-4 集団宿泊活動を実施して得られた成果（上位 7 項目）

No	項目	学校種	成果	やや成果	合計
1	学級や学年への所属感や連帯感を深めること	小学校	75.6%	23.3%	98.9%
		中学校	77.3%	19.2%	96.5%
2	よりよい人間関係を築くこと	小学校	64.3%	33.5%	97.8%
		中学校	66.0%	30.9%	96.9%
3	楽しい思い出をつくること	小学校	81.9%	16.0%	97.9%
		中学校	66.7%	28.3%	95.0%
4	必要な係をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して協力し合い実践できるようにすること	小学校	64.0%	33.5%	97.5%
		中学校	59.8%	35.5%	95.3%
5	規律ある集団行動ができるようにすること	小学校	55.9%	40.7%	96.6%
		中学校	60.0%	36.2%	96.2%
6	約束やルール、時間を守るなど公衆道徳について理解し、行動の仕方を身に付けること	小学校	57.3%	39.6%	96.9%
		中学校	56.7%	38.0%	94.7%
7	協力して諸問題を解決し、よりよい学校生活を築くことができるようにすること	小学校	50.2%	45.4%	95.6%
		中学校	47.7%	45.9%	93.6%

※Noの欄は、当該項目の「成果があった」または「やや成果があった」と回答した割合（小学校と中学校をあわせた割合）の全項目における順位

3. 集団宿泊活動の実施日数と一定期間（1週間（5日間）程度）の実施

（1）集団宿泊活動の一定期間（1週間（5日間）程度）の実施と実施日数の状況

集団宿泊活動の実施日数については、学習指導要領の改訂について審議した H20 答申が、「これらの体験活動は、学期中や長期休業期間中に一定期間（例えば、1週間（5日間）程度）にわたって行うことにより、一層意義が深まるとともに、高い教育効果が期待される」と示し、H20 解説特活編（小学校は平成 20 年 8 月、中学校は 9 月提示）が、次のように「一定期間（例えば 1週間（5日間）程度）」（以下、「一定期間」）の実施を推奨している。

【小学校】 第3章 各活動・学校行事の目標及び内容 第4節 学校行事 2 学校行事の内容

(4) 遠足・集団宿泊的行事	<p>イ 実施上の留意点</p> <p>(カ) (略) また、集団宿泊活動については、望ましい人間関係を築く態度の形成などの教育的な意義が一層深まるとともに、高い教育効果が期待されることなどから、学校の実態や児童の発達の段階を考慮しつつ、一定期間（例えば1週間（5日間）程度）にわたって行うことが望まれる。</p>
----------------	---

【中学校】 第3章 各活動・学校行事の目標及び内容 第3節 学校行事 2 学校行事の内容

(5) 勤労生産・奉仕的行事	<p>イ 実施上の留意点</p> <p>(ア) (略) また職場体験については、その教育的な意義が一層深まるとともに、高い教育効果が期待されることなどから、学校の実態や生徒の発達の段階を考慮しつつ、一定期間（例えば1週間（5日間）程度）にわたって行われることが望まれる。</p>
----------------	---

なお、体験活動の一定期間の実施については、平成29年の学習指導要領改訂においても継承され、H29解説特活編に明記されている。ただし、中学校はH20解説特活編と同じ表現だが、小学校は「また、集団宿泊活動については、望ましい人間関係を形成する態度を養うなどの教育的な意義が一層深まるとともに、いじめの未然防止等や不登校児童の積極的態様の醸成や自己肯定感の向上等の高い教育効果が期待される。そこで、学校の実態や児童の発達の段階を考慮しつつ、一定期間（例えば1週間（5日間）程度）にわたって行うことが望まれる」に変更されている。

体験活動の一定期間の実施が、小学校が「遠足・集団宿泊的行事」に、中学校が「勤労生産・奉仕的行事」に明記されたのは、小学校は「自然の中での集団宿泊活動」、中学校は「職場体験・職業体験」を重点的に行うとされたことによるものであろうことから、中学校においても集団宿泊活動を一定期間実施することで高い教育効果が期待できるものと考えてよいであろう。

本調査によると集団宿泊活動の実施日数は表3-3-1のとおりであり、一定期間の実施は進展していないことが分かる。この要因として、体験活動の一定期間の実施が学習指導要領ではなく、学習指導要領解説特別活動編に示されたこと、つまり、体験活動を一定期間実施することは、必須事項ではなく推奨事項になったということが考えられる。

表3-3-1 集団宿泊活動の実施日数

校種	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日以上
小学校	59.6%	33.1%	2.9%	4.0%
中学校	53.6%	41.5%	4.0%	0.4%

(2) 集団宿泊活動を一定期間実施することに対する教員の考え

集団宿泊活動の一定期間実施に対する教員の考えは表3-3-2のとおりである。小中学校とも「実施する必要はない」または「どちらかという実施する必要はない」という否定的な回答の割合が、「実施したい」または「実施したいが困難」という肯定的な回答の割合よりも、差は大きくないものの高くなっている。ただし、「実施したいが困難」に回答した割合と「実施したい」に回答した割合の差は大きい（結果はp.10）。この集団宿泊活動の一定期間実施を否定的に考える傾向も、集団宿泊活動の一定期間実施が進展しない一因であろう。

表 3-3-2 集団宿泊活動を一定期間実施することに対する教員の考え

校種	実施したい	実施したいが困難	どちらかという 実施する必要はない	実施する必要はない
小学校	6.0%	43.3%	29.8%	20.4%
	49.3%		50.2%	
中学校	6.9%	41.6%	31.1%	18.8%
	48.5%		49.9%	

ただし、集団宿泊活動の実施日数と一定期間実施することに対する教員の考えのクロス集計の結果は図 3-3-1 のとおり、3泊以上実施している学校は、「実施したい」と回答した割合が49.3%と、1泊と2泊の学校と比べ特に高く、「実施したいが困難」22.4%をあわせると71.7%になる。教員は現状で実施している日数を肯定する傾向にあることを示している。

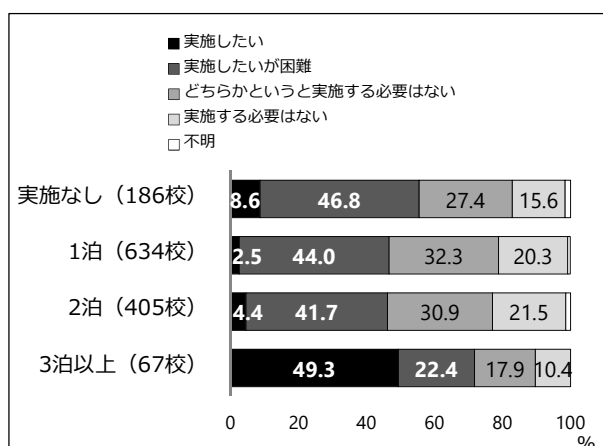


図 3-3-1 集団宿泊活動の実施日数と一定期間実施することに対する教員の考え

(3) 集団宿泊活動の適当な日数に対する教員の考え

教員が適当と考える集団宿泊活動の日数は、小学校では1泊2日が59.9%、2泊3日が34.0%なのに対して、中学校では1泊2日が29.7%、2泊3日が62.2%となっており、2泊3日を適当な日数とする割合は中学校の方が高い（結果はp.9）。

「適当な日数と考えた理由」の中で、「児童生徒にとって適度な負荷となる日数」の割合が高いことから、それぞれの日数は発達段階上、適度な負荷となる日数という側面も持っていると考えられる。適当と考える集団宿泊活動の日数が2泊3日以下の割合が高いことも、集団宿泊活動の一定期間実施が進展しない一因であろう。

ただし、集団宿泊活動の実施日数と教員が適当と考える日数のクロス集計の結果は図 3-3-2 のとおり、1泊2日で実施している学校は1泊2日が、2泊3日で実施している学校は2泊3日が、3泊4日以上で実施している学校は3泊4日以上が高く、教員は現状で実施している日数を適当と考える傾向にあることを示している。

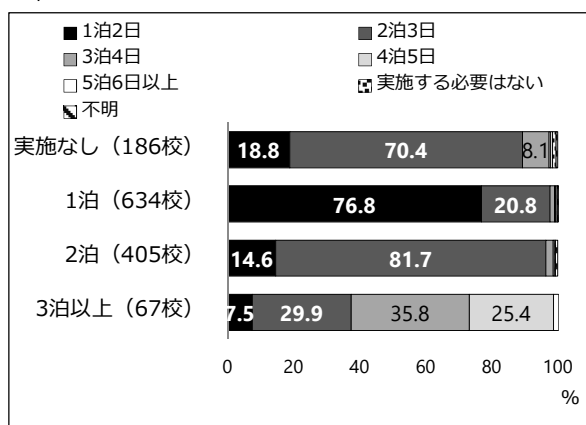


図 3-3-2 集団宿泊活動の実施日数と教員が適当と考える日数

(4) 体験活動を一定期間実施することの認知状況

体験活動に関する施策等について「よく知っている」または「知っている」と回答した割合は、「現学習指導要領（平成20年告示）で、小中学校の教育内容の主な改善点として「体験活

動の充実」が提示されていること」が 84.0%、「次期学習指導要領（平成 29 年告示）で、小中学校の教育内容の主な改善点として「体験活動の充実」が提示されていること」が 83.4%なのに対して、「体験活動の効果を高めるためには、一定期間（例えば、1 週間（5 日間程度））実施することが望まれるとされていること」は 54.8%と低い割合になっている（結果は p43）。このことも、集団宿泊活動の一定期間実施が進展しない一因であろう。

（５）集団宿泊活動を一定期間実施することに対する不安

①現状の期間での不安と一定期間実施した場合の不安

集団宿泊活動を計画・実施する際の不安について「不安」または「やや不安」と回答した割合を、現状の期間の場合と一定期間で実施した場合で比較したところ、全項目で一定期間実施した場合の方が高くなっている（結果は p.36）。全項目の中で差が 30 ポイントを超える項目は表 3-3-3 のとおりであり、保護者の理解や指導体制といった運営上の項目が高くなっている。一定期間実施することに対する不安が高いことも、集団宿泊活動の一定期間実施が進展しない一因であろう。

なお、「集団宿泊活動の効果があいまい」の差が大きくなっていることは、現状の日数においても「成果がある」とする回答の割合が高いことや、「集団宿泊活動の日数を減らしたり、取りやめたりした理由」として「日数を減らして同程度の効果が期待できるため」が小学校で 39.5%、中学校が 63.3%で、小中学校とも最も高かったことが関連していると考えられる（結果は p.6）。

表 3-3-3 集団宿泊活動の計画・実施に対する不安について現状の期間と一定期間で実施した場合

No	項目	期間	不安	やや不安	合計	差
1	保護者の理解を得ること	現状	3.2%	18.8%	22.0%	57.2 ポイント
		一定期間	42.7%	36.5%	79.2%	
2	集団宿泊活動の効果があいまい	現状	2.4	13.4%	15.8%	47.4 ポイント
		一定期間	24.9%	38.3%	63.2%	
3	集団宿泊活動を実施することによる授業時数の不足	現状	15.1%	33.8%	48.9%	43.8 ポイント
		一定期間	74.4%	18.3%	92.7%	
4	教職員の夜間における十分な指導体制をとること	現状	18.1%	37.6%	55.7%	35.5 ポイント
		一定期間	63.5%	27.7%	91.2%	
5	教職員の体験活動の指導力	現状	5.7%	33.6%	39.3%	32.9 ポイント
		一定期間	29.8%	42.4%	72.2%	
6	教職員の身体的な健康	現状	20.8%	40.1%	60.9%	31.8 ポイント
		一定期間	66.8%	25.9%	92.7%	

※「差」は、「不安」または「やや不安」と回答した割合の合計値について、「一定期間」-「現状」で算出

②集団宿泊活動の実施日数と一定期間で実施する場合の不安の関係

集団宿泊活動の実施日数と一定期間で実施する場合の不安事項のクロス集計の結果は図 3-3-3~19 のとおりである。

3 泊以上で実施している学校と 2 泊以下で実施している学校を比較すると、「不安」または「やや不安」と回答した割合に大きな差がみられない項目もあるが、「不安」と回答した割合は、3 泊以上実施している学校の方が全項目で低くなっている。この要因として、「児童生徒の生活面の指導」については 3 泊以上実施することで児童生徒が生活に慣れ、自主的・自律的な行動がとれるようになりやすいこと、「集団宿泊活動の効果があいまい」についてはそうした行動がとれるようになったことを効果として体感しやすいこと、「保護者の経済的な負担」と「保護者

の理解を得ること」については教育委員会等が長期集団宿泊活動を施策とし保護者への啓発や経費の支援を行っていること（「日数を増やした理由」の中の「教育委員会の方針や指導を受けた」に回答した小学校は 50.0%。「集団宿泊活動で教育委員会等から経費補助がある」に回答した小学校は 35.5%，中学校は 27.6%）ことが考えられる。

本調査の結果は、3泊以上で実施している学校も長期とすることに対する不安はあるものの、実施してみると想定していたよりも不安が小さいことを示している。

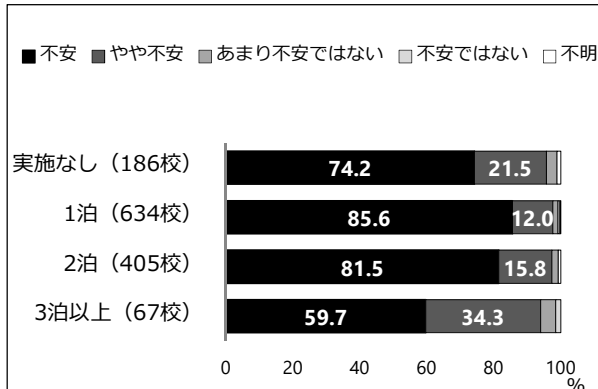


図 3-3-3 児童生徒の身体的な不安

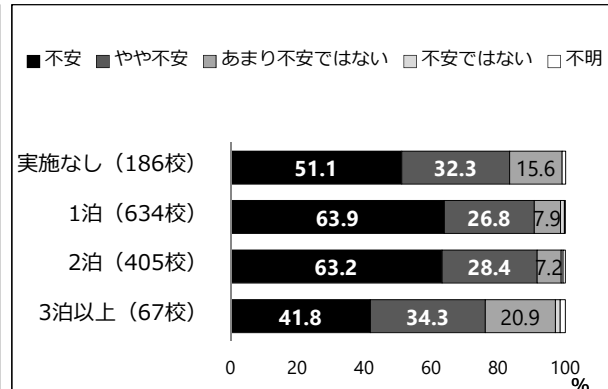


図 3-3-4 児童生徒の精神的な不安

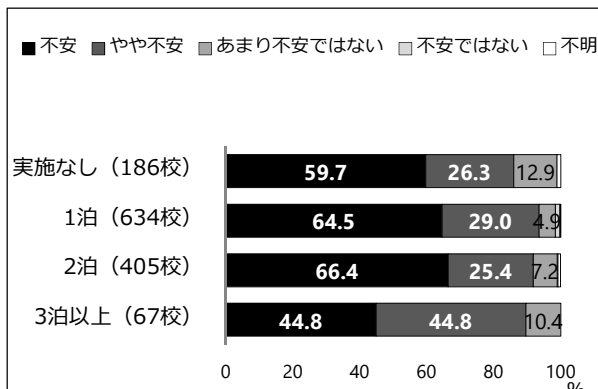


図 3-3-5 野外活動等における事故

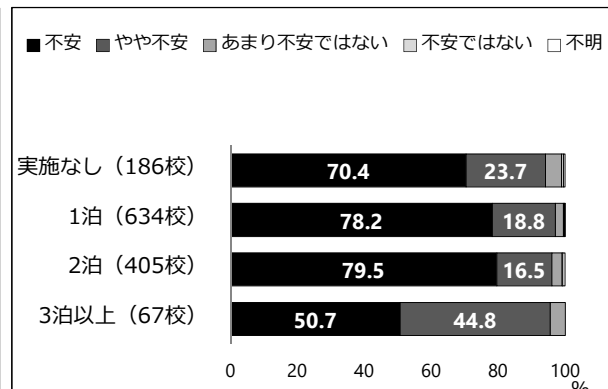


図 3-3-6 特別な配慮を要する児童への対応

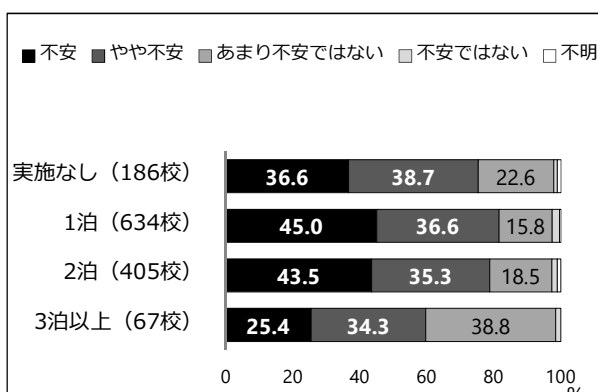


図 3-3-7 児童生徒の生活面の指導

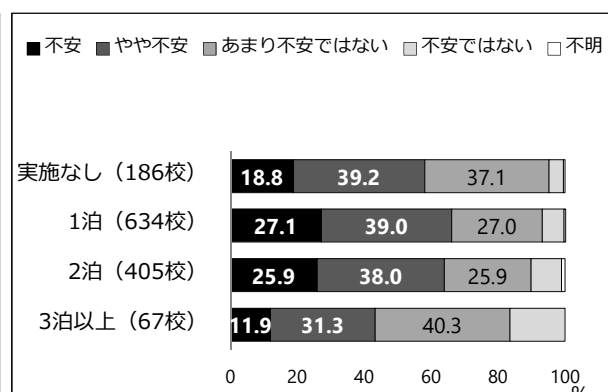


図 3-3-8 集団宿泊活動の教育効果があいまい

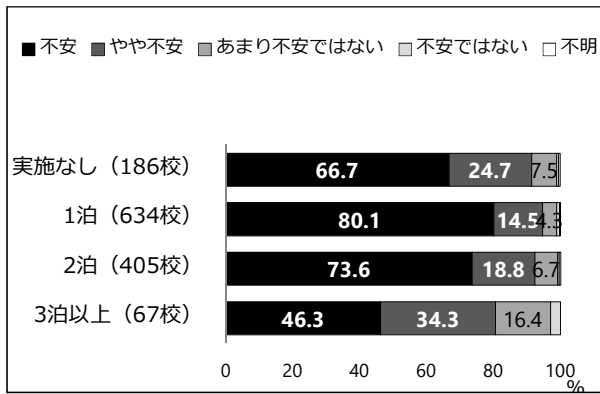


図 3-3-9 授業時数の不足

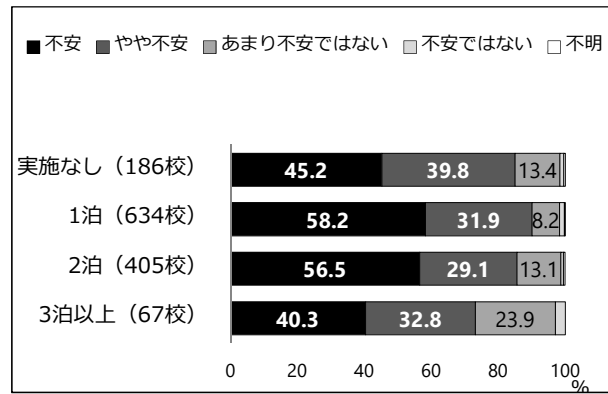


図 3-3-10 事前指導の時間の確保

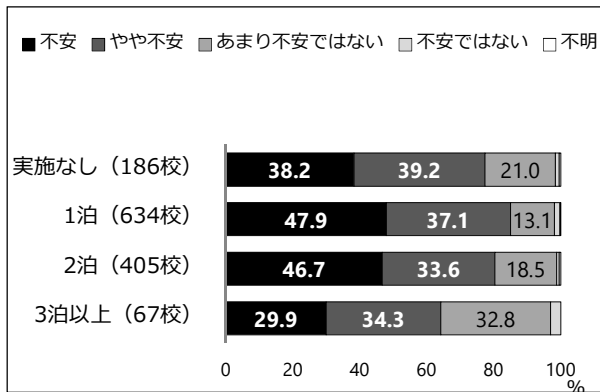


図 3-3-11 事後指導の時間の確保

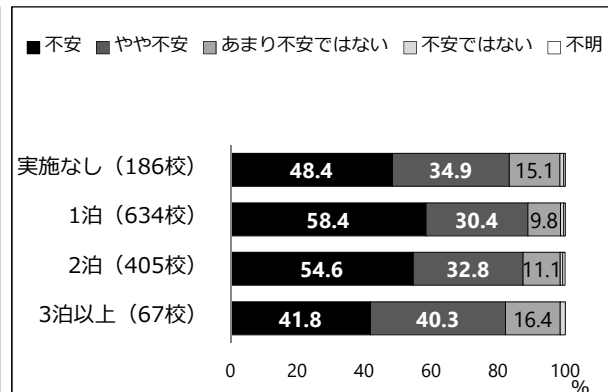


図 3-3-12 事務的な業務に係る時間の確保

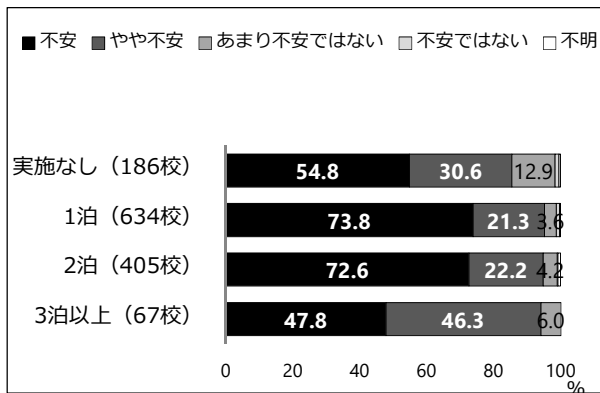


図 3-3-13 十分な引率体制をとること

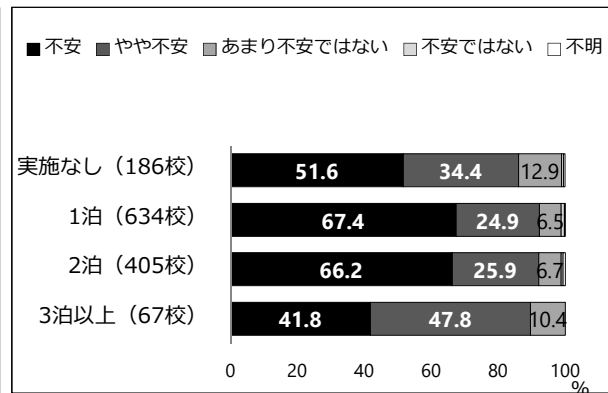


図 3-3-14 夜間における十分な指導体制をとること

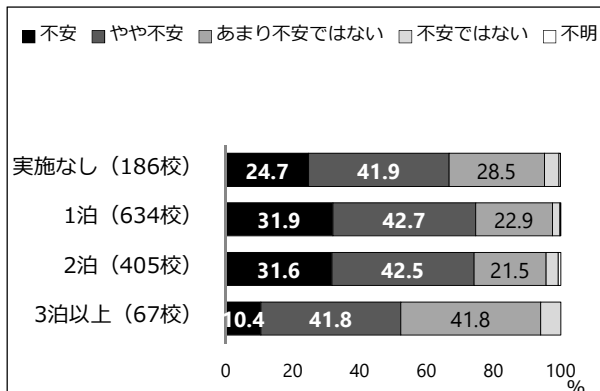


図 3-3-15 教職員の体験活動の指導力

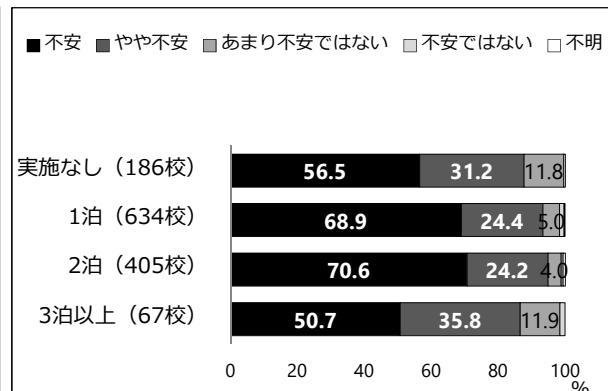


図 3-3-16 教職員の身体的な健康

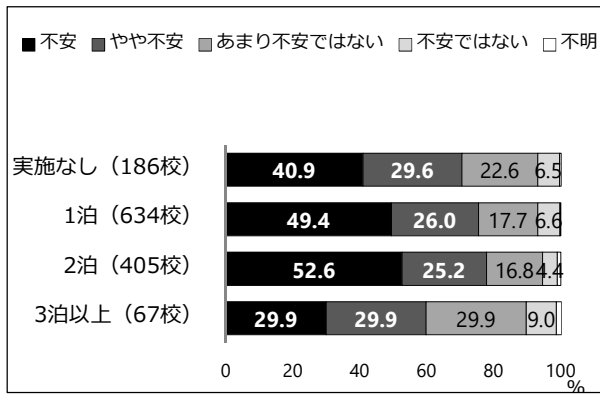


図 3-3-17 教職員の時間外勤務に対する手当

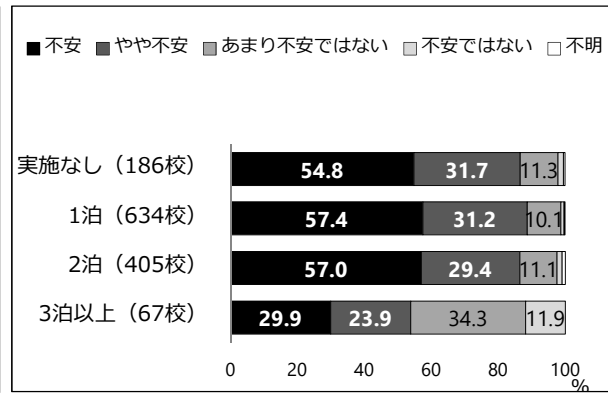


図 3-3-18 保護者の経済的な負担

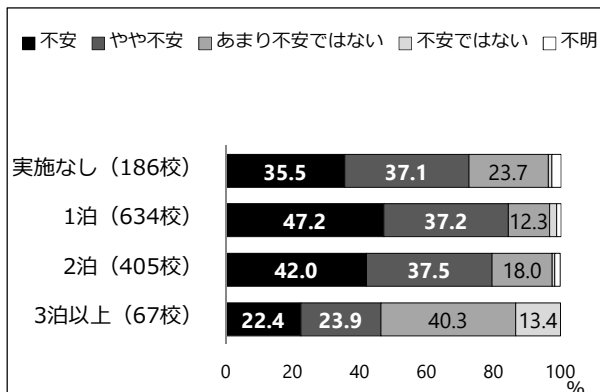


図 3-3-19 保護者の理解を得ること

(6) 集団宿泊活動の実施日数と成果

集団宿泊活動の実施日数と集団宿泊活動の成果について「成果があった」または「やや成果があった」と回答した割合が9割を超える項目のクロス集計の結果は図 3-3-20～26 のとおりである。

全項目が2泊で実施した場合に「成果があった」と回答した割合が最も高くなっている。また、3泊や4泊以上で実施している学校が、1泊や2泊で実施している学校よりも「成果があった」と回答した割合が低くなっている項目もあり、集団宿泊活動の実施日数が長いほど成果が高くなるという傾向は見られない。

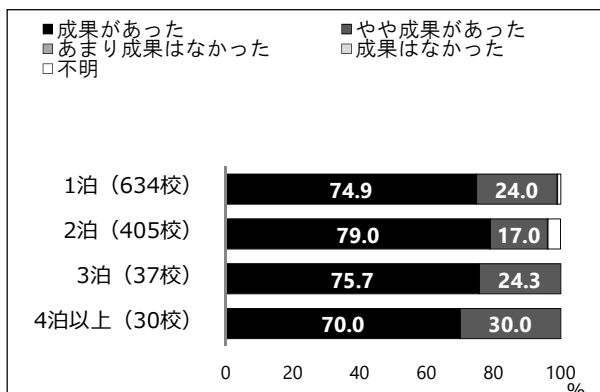


図 3-3-20 学級や学年への所属感や連帯感を深めること

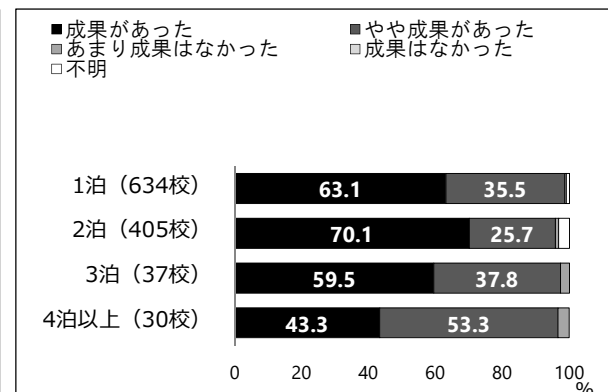


図 3-3-21 よりよい人間関係を築くこと

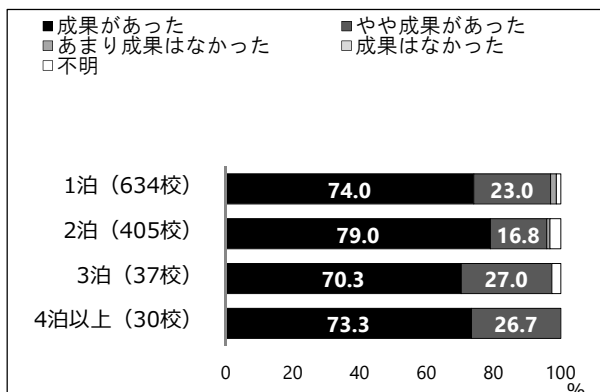


図 3-3-22 楽しい思い出をつくること

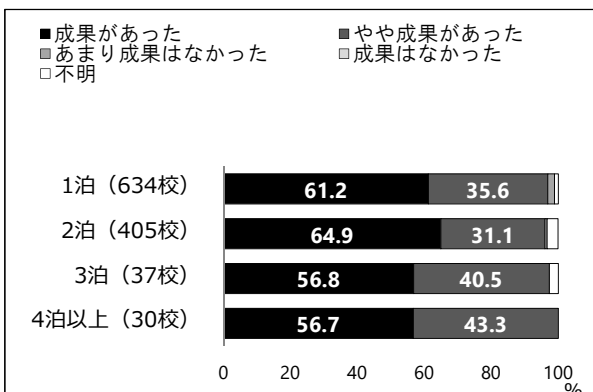


図 3-3-23 必要な係をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践できるようにすること

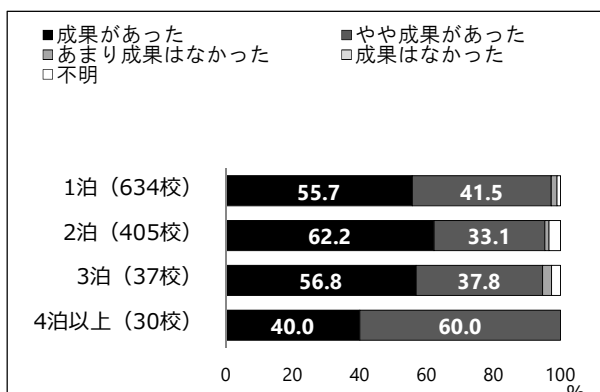


図 3-3-24 規律ある集団行動ができるようにすること

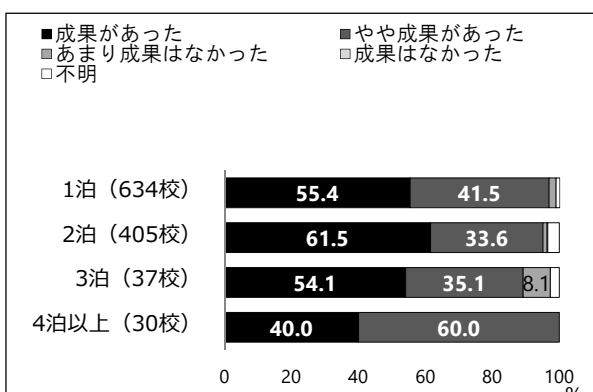


図 3-3-25 約束やルール、時間を守るなど公衆道徳について理解し、行動の仕方を身に付けること

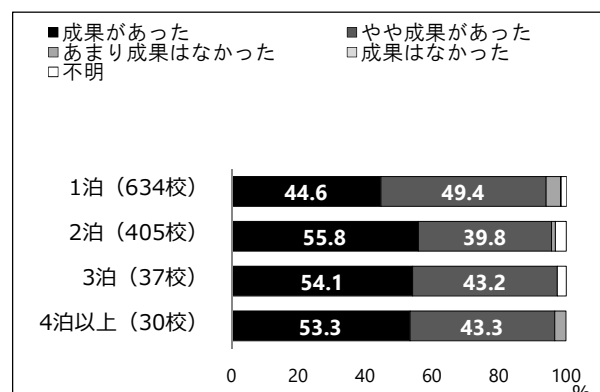


図 3-3-26 協力して諸問題を解決し、よりよい学校生活を築くことができるようにすること

(7) 集団宿泊活動の実施日数と集団宿泊活動に取り入れた活動

集団宿泊活動の実施日数と集団宿泊活動に取り入れた活動（結果は p.30）のクロス集計の結果は図 3-3-27～36 のとおりである。

3泊以上で実施した場合に「行った」と回答した割合が最も高くなっている項目は、「児童生徒が話し合いの時間や活動の時間を十分に取れるようプログラムに余裕を持たせること」、「児童生徒が協力し合わなければならないような課題性を持たせたプログラムにすること」、「児童生徒同士の口論・喧嘩など一時的な感情の衝突が起こった場合にも、その機会を捉えて相互理

解していくための指導を行うこと」, 「何か問題が起こった際にも, まず児童生徒が自分達で考え解決できるよう自発的・自治的な活動の指導を重視すること」の4項目であり, 泊数が増えるほど「行った」と回答した割合が高い傾向になっている。

これらの項目は, 文部科学省が, 「農山漁村での長期宿泊体験による教育効果について」の調査結果(1. ①調査 p.52)をもとに, 平成21年に, 教育委員会等に発出した「宿泊体験活動の計画・実施に当たっての留意事項」に示されたものであり, 時間的なゆとりがある一定期間だからこそ取り入れることができるといえるであろう。

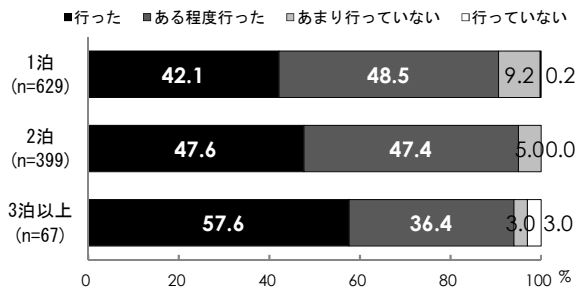


図 3-3-27 児童生徒が話し合いの時間や活動の時間を十分に取れるようプログラムに余裕を持たせること

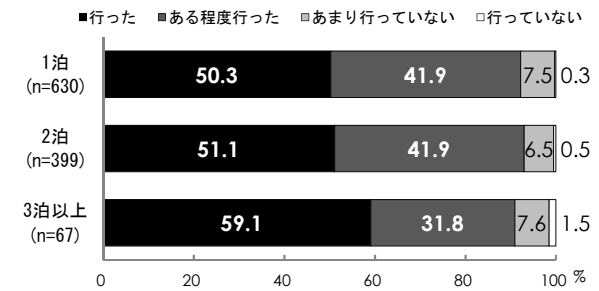


図 3-3-28 児童生徒が協力し合わなければならないような課題性を持たせたプログラムにすること

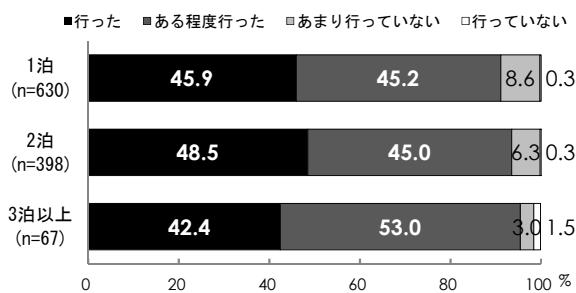


図 3-3-29 特定の児童生徒だけでなく, いろいろな児童生徒にリーダーの経験をさせること

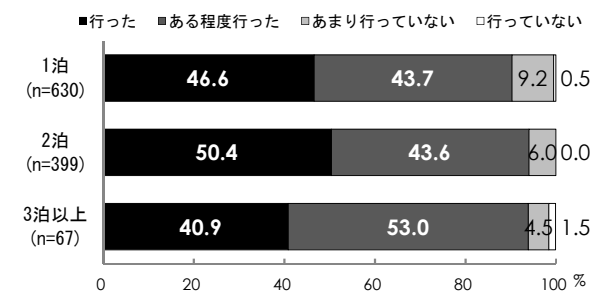


図 3-3-30 自分たちでルールを考えさせ, 守らせること

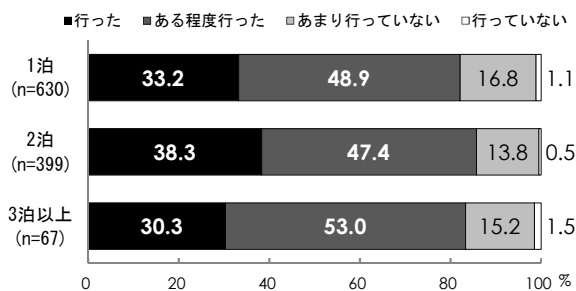


図 3-3-31 自然体験活動と教科や総合的な学習の時間等の学習との関連を児童生徒に意識させ, 自然への関心を高めるなど児童生徒の好奇心を刺激すること

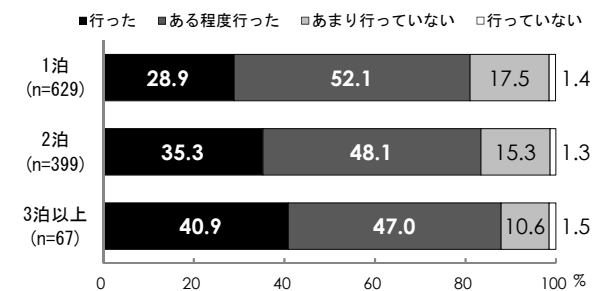


図 3-3-32 児童生徒同士の口論・喧嘩など一時的な感情の衝突が起こった場合にも, その機会を捉えて相互理解していくための指導を行うこと

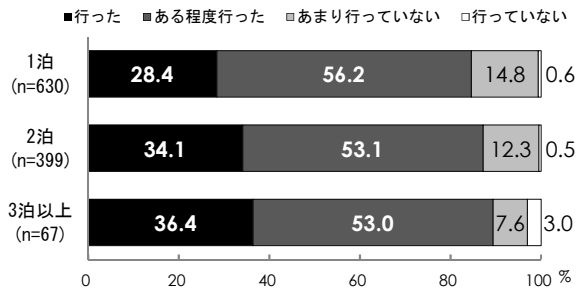


図 3-3-33 何か問題が起こった際にも、まず児童生徒が自分達で考え解決できるよう自発的・自治的な活動の指導を重視すること

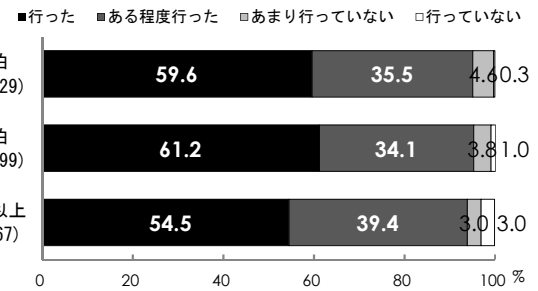


図 3-3-34 集団宿泊活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりする活動を展開すること

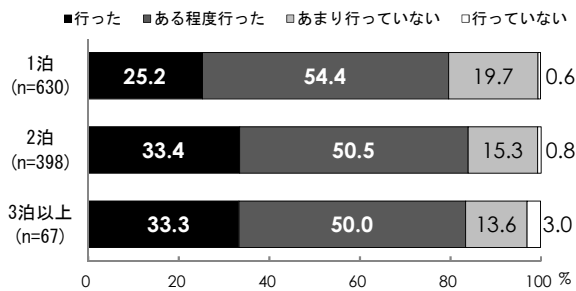


図 3-3-35 失敗し試行錯誤しながら課題に取り組む活動を展開すること

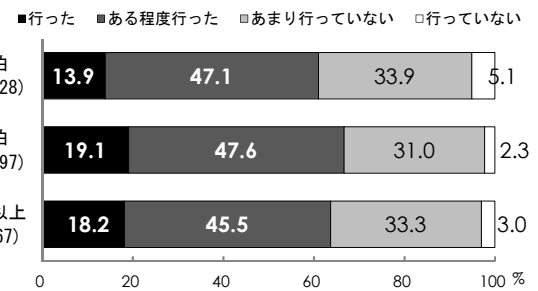


図 3-3-36 教科の内容に関わる学習や探究的な活動を展開すること

4. 集団宿泊活動で利用した施設等

(1) 集団宿泊活動で利用した施設等の種類

本調査によると集団宿泊活動で利用した施設等は、小中学校とも「公立青少年教育施設」の割合が最も高く小学校が47.0%、中学校が31.8%となっている（結果はp.11）。これは、公立青少年教育施設の設置数が多いことその他、学校が独自に施設等を選ぶのではなく、公立青少年教育施設を設置した自治体が当該施設の利用を学校に推奨したり、あるいは必須としたりすることも一因として考えられる。

「農林漁家泊」を利用した割合は低く小学校が0.6%、中学校が4.4%となっている。青少年教育施設や野外活動施設は活動場所・宿泊場所として利用されるのに対して、農林漁家泊は農林漁家に宿泊するいわゆる「民泊」（観光における民泊と区別するために「教育民泊」と呼ぶこともある）自体が集団宿泊活動の目的になるという違いがある。集団宿泊活動の目的として重視した事項の中の「普段とは異なる農山漁村での生活を、体験を通して理解すること」に「重視した」または「やや重視した」と回答した割合は小学校が21.9%、中学校が23.6%、「農林漁業を、体験を通して理解すること」は小学校が14.2%、中学校が17.9%という結果のとおり、農林漁家泊を利用した割合が低いのは農林漁業体験や農林漁家泊体験を集団宿泊活動の目的にしない学校が多いからであろう（結果はp.15）。

また、「ホテル・旅館・民宿」を利用した割合は小学校が9.1%、中学校が22.5%となっている。これらの施設の中には、青少年教育施設のように野外炊事場を設置したり、登山などの野外活動プログラムを整備したりして、「自然体験活動ができる場」として利用されている例もみられる。これまで、集団宿泊活動に関する調査・研究結果や集団宿泊活動に関係する指導者研修においては国公立青少年教育施設での活動が主たる対象とされてきたが、今後は、こうした施設等にも対象を広げていく必要があると考えられる。

（２）集団宿泊活動で利用する施設等を検討する際に参考にした情報

集団宿泊活動で利用する施設等を検討する際に参考にした情報は、小中学校とも「自校の教職員からの情報」の割合が最も高く小学校が 55.0%、中学校が 51.4%となっている（結果は p.11）。これは、利用した施設を決定する際に重視した事項として「例年利用している」の割合が 84.8%と高くなっているとおり、前年度と同じ施設を利用することが多く、前年度の学年の教職員から情報を取得する機会が多いためであろう（結果は p.12）。

次に参考にした割合が高いのは、ホームページや利用の手引きであり、施設等の説明会への参加と施設の見学や下見は、これらと比べると低い割合となっている。これは、学校から遠方にある施設等まで見学・下見・相談に行く時間や出張旅費の確保が難しいといった事情が考えられる。このことから、施設等には、利用している学校（教職員）から、学校が必要とする情報や学校が不安を抱く事項等を取得し（書面によるアンケートばかりでなく、引率者に直接尋ね対話ができるインタビューも有効であろう）、対応した結果をホームページや手引き等に掲載することが求められるであろう。

（３）集団宿泊活動で利用した施設等を決定する際に重視した事項

利用した施設を決定する際に重視した事項について「重視した」または「やや重視した」と回答した割合で全項目の中の上位 5 項目及び集団宿泊活動の内容に関係が深い「プログラム」、「職員等による指導・助言」、「生活体験・交流体験」の視点でまとめた結果は表 3-4-1~4 のとおりである（結果は p.12）。

上位 5 項目は、安全管理や施設・設備といったどの施設等にも求められる「基本的機能」といえる。一方、プログラム、職員等による指導・助言、生活体験・交流体験は、施設等が学校に提供する「教育的機能」といえる。とりわけプログラムと職員等による指導・助言は、学校が設定する集団宿泊活動の目的を達成するうえで重要な教育的機能といえよう。

全体的にみると、施設を決定する際には基本的機能を重視する割合が、教育的機能よりも高い傾向がみられる。

「プログラム」の中で最も割合が高い「野外活動プログラム」は、安全管理や施設・設備と同様に、どの施設等にも求められているといえよう。「協調性を高めるグループ活動のプログラム」の割合が 69.2%なのに対して、「環境教育のプログラム」の割合が 49.9%と低いのは、集団宿泊活動の目的として人間関係や集団活動に関する項目が高く、自然・環境に関する項目が低い結果とも関連していると考えられる（結果は p.15）。

また、「生活体験・交流体験」の中で、「布団を敷くことや清掃などといった生活体験ができる」が 68.7%、「起床・就寝時刻などの規則正しい生活を送ることができる」が 67.5%なのに対して、「施設等を利用している他の学校や団体等と交流ができる」は 13.3%となっている。宿泊定員数が多い青少年教育施設は、複数の学校・団体が利用することになり、他団体等との交流（交流には、朝のつどいや夕べのつどいでの交流といった計画的な交流と、食事や入浴時などに施設内で顔を合わせるといった非計画的な交流とがある）が行われ、青少年教育施設特有の教育的機能である。しかし、学校は、単独や少ない団体で利用できる方が利用できる活動場所が多くなったり、あるいは他の学校とのトラブルを懸念したりといった理由から、他団体との交流を重視していないのであろう。

表 3-4-1 利用した施設を決定する際に重視した事項（上位 5 項目）

No	項目	重視した	やや重視した	合計
1	安全管理の体制が整っている	54.6%	33.5%	88.1%
2	施設・設備が充実している	38.2%	47.6%	85.8%
3	自然環境が豊かである	55.1%	29.8%	84.9%
4	例年利用している	63.7%	21.1%	84.8%
5	食物アレルギー等に対応する	52.1%	32.6%	84.7%

※No の欄は、当該項目の「重視した」または「やや重視した」と回答した割合（小学校と中学校をあわせた割合）の全項目における順位

表 3-4-2 利用した施設を決定する際に重視した事項（プログラムに関する項目）

No	項目	重視した	やや重視した	合計
7	野外活動のプログラムが充実している	50.5%	32.4%	82.9%
12	協調性を高めるグループ活動のプログラムが充実している	29.3%	39.9%	69.2%
22	施設等の特色あるプログラムが充実している	30.6%	33.1%	63.7%
25	屋内活動のプログラムが充実している	22.0%	39.9%	61.9%
26	創作活動のプログラムが充実している	21.6%	38.7%	60.3%
29	環境教育のプログラムが充実している	13.9%	36.0%	49.9%
33	教科等に関連付けたプログラムが充実している	7.1%	31.7%	38.8%

※No の欄は、当該項目の「重視した」または「やや重視した」と回答した割合（小学校と中学校をあわせた割合）の全項目における順位

表 3-4-3 利用した施設を決定する際に重視した事項（職員等による指導・助言に関する項目）

No	項目	重視した	やや重視した	合計
18	施設等の職員等が体験活動プログラムの指導を直接行う	30.8%	35.3%	66.1%
24	施設等の職員から、計画立案に際し専門的な助言が得られる	22.2%	39.9%	62.1%
28	施設等の職員等が、専門的な体験活動プログラムの指導を直接行う	21.6%	33.2%	54.8%

※No の欄は、当該項目の「重視した」または「やや重視した」と回答した割合（小学校と中学校をあわせた割合）の全項目における順位

表 3-4-4 利用した施設を決定する際に重視した事項（生活体験・交流体験に関する項目）

No	項目	重視した	やや重視した	合計
14	布団を敷くことや清掃などといった生活体験ができる	30.9%	37.8%	68.7%
15	起床・就寝時刻などの規則正しい生活を送ることができる	31.4%	36.1%	67.5%
34	施設等を利用している他の学校や団体等と交流ができる	3.7%	9.6%	13.3%

※No の欄は、当該項目の「重視した」または「やや重視した」と回答した割合（小学校と中学校をあわせた割合）の全項目における順位

（４）集団宿泊活動で利用した施設等の満足度

集団宿泊活動で利用した施設等の全体及び施設種ごとに区分した満足度は図 3-4 のとおりである（結果は p.14）。全施設種の合計で「満足」または「やや満足」と回答した割合は 9 割を超える。しかし、「満足」と回答した割合は、国立青少年教育施設のみが 5 割程度になっているが、全施設種の合計及び国立青少年教育施設以外の施設等は 5 割に満たない。

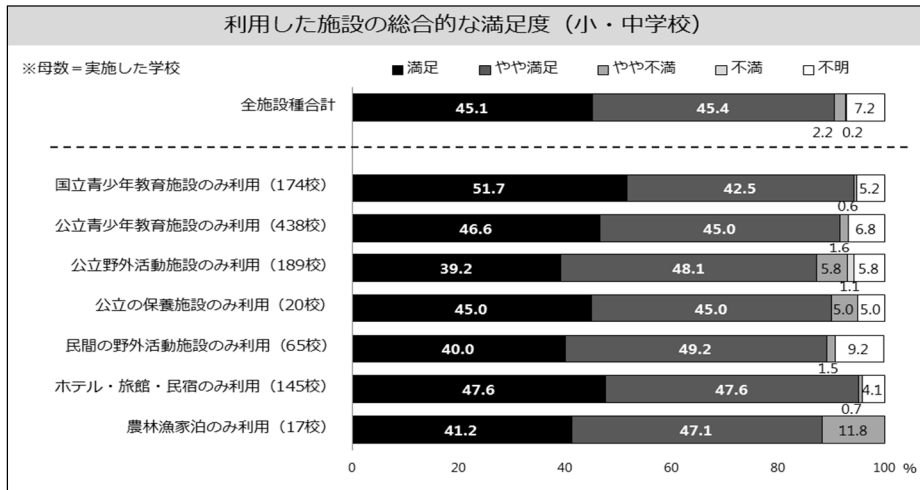


図 3-4 利用した施設の満足度

5. 集団宿泊活動の目的と成果

(1) 集団宿泊活動の目的と集団宿泊活動で育成する資質・能力

学校が集団宿泊活動で利用する青少年教育施設等に提出する申込書や計画書を見ると、集団宿泊活動の目的が一つの事項に焦点化されていることは少なく、複数の目的が設定されていることが散見される。そこで本調査は、集団宿泊活動で設定した目的がどの程度重視されているかを明らかにすることとした。

調査事項の目的における各項目は、集団宿泊活動が特別活動の学校行事の中の遠足／旅行・集団宿泊の行事に位置付けられることから、主として H29 学習指導要領及び H29 解説特活編に示されている集団宿泊活動の目的に関連する事項とした。また、目的と成果は一對の関係にあると考え、各項目について「目的の重視度」と「成果の達成度」を把握することとした。

ただし、設定した項目が、集団宿泊活動の目的の全てを網羅しているわけではない。集団宿泊活動で実施する各活動を各教科等（各教科や総合的な学習の時間等）に位置付ける場合の目的は、各教科等の目標となるが（例えば、「野外炊事」を「家庭科」に位置付ける場合は家庭科の目標となる）、本調査は、これらを想定した目的（項目）は設定していない。

また、目的として設定した各項目は「資質・能力」を表しているかという問題を指摘することもできる。H29 学習指導要領に、次のように示されているとおり、学習指導要領改訂における重要事項の一つが「育成する資質・能力の明確化」である。

第1章 総則 第1 小学校/中学校教育の基本と教育課程の役割

3 (略)豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となることが期待される児童/生徒に、生きる力を育むことを目指すに当たっては、学校教育全体並びに各教科、道徳科、総合的な学習の時間及び特別活動(略)の指導を通してどのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にしながら、教育活動の充実を図るものとする。

例えば、本調査の目的の項目の一つである「学級や学年への所属感や連帯感を深めること」は学校行事の目標として学習指導要領に示されているが、児童生徒が学級や学年に抱く「所属感や連帯感」は「資質・能力」として明確化されたものであるのか、更に具体的に表現する必要があるのかといった問題が考えられる。

なお、集団宿泊活動における「育成する資質・能力の明確化」については、H29 学習指導要領の改訂に向けた平成 28 年 12 月中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」（以下、「H28 答申」）で、「自然の中で生活する集団宿泊活動については引き続き重要である。育成したい資質・能力を明確にし、青少年教育施設の指導員等とねらいや活動について共有することが重要である」とされ、H29 解説特活編の「改訂の趣旨」に、次のように示されている。

（特別活動において育成することを目指す資質・能力の視点）

特別活動は「なすことによって学ぶ」ことを方法原理とし、各学校において特色ある取組が進められているが、各活動・学校行事において身に付けるべき資質・能力は何なのか、どのような学習過程を経ることにより資質・能力の向上につなげるのかということが必ずしも意識されないまま指導が行われてきたという実態も見られる。（略）

（複雑で変化の激しい社会の中で求められる能力を育成するという視点）

（略）防災を含む安全教育や体験活動など、社会の変化や要請も視野に入れ、各教科等の学習と関連付けながら、特別活動において育成を目指す資質・能力を示す必要がある。

（２）集団宿泊活動の目的の重視度と成果の達成度

集団宿泊活動の実施に際して重視した目的（以下、「目的」）について「重視した」または「やや重視した」と回答した割合と、集団宿泊活動を実施して得られた成果（以下、「成果」）について「成果があった」または「やや成果があった」と回答した割合について、目的の上位 5 項目と、「人間関係」、「集団活動」、「自己」、「自然」、「教科・学校行事」、「農林漁業」の視点でまとめた結果は表 3-5-1～7 のとおりである（目的の結果は p.15、成果の結果は p.19）。

目的の重視度の割合と成果の達成度の割合は近い数値であることや、目的としての重視度が低い項目が、成果の達成度は高いということは見られないことから、設定した目的に対して成果があがっているといえよう。

全体をみると、目的と成果の双方で、特別活動の目標である人間関係や集団活動に関する項目の割合が高く、それに比して、自然に関する項目の割合は低い。自然の中での集団宿泊活動は、自然の中という場所なのか、自然体験活動という内容なのか、自然に触れるといった目的なのかが不明確ではあるが、全体として自然に関することが集団宿泊活動の目的には位置付けられていない傾向がみられる。

また、学校行事の「勤労生産・奉仕的行事」に関連する「ボランティア活動を行うなどの社会奉仕の精神を養うこと」の結果が示すように、H29 学習指導要領が示している「学校行事間の関連・統合」に関連する項目の割合も低い傾向がみられる。

表 3-5-1 集団宿泊活動の「目的」と「成果」の位置付け（目的の上位 5 項目）

目的 成果	項目	重視 成果	やや重視 やや成果	合計 合計
1	よりよい人間関係を築くこと	90.5%	8.1%	98.6%
②		65.0%	32.5%	97.5%
2	学級や学年への所属感や連帯感を深めること	91.3%	7.1%	98.4%
①		76.3%	21.6%	97.9%
3	規律ある集団行動ができるようにすること	87.8%	10.3%	98.1%
⑤		57.6%	38.9%	96.5%
4	約束やルール、時間を守るなど公衆道徳について理解し、行動の仕方を身につけること	84.9%	12.9%	97.8%
⑥		57.1%	39.0%	96.1%
5	必要な係をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践できるようにすること	85.8%	11.8%	97.6%
④		62.3%	34.4%	96.7%

※「目的」と「成果」の欄は、目的の「重視した」または「やや重視した」、成果の「成果があった」または「やや成果があった」と回答した割合（小学校と中学校をあわせた割合）の当該項目の全項目における順位

表 3-5-2 集団宿泊活動の「目的」と「成果」の位置付け（人間関係に関する項目）

目的 成果	項目	重視 成果	やや重視 やや成果	合計 合計
1	よりよい人間関係を築くこと	90.5%	8.1%	98.6%
②		65.0%	32.5%	97.5%
2	学級や学年への所属感や連帯感を深めること	91.3%	7.1%	98.4%
①		76.3%	21.6%	97.9%
11	教師と児童生徒のふれあいを深めること	43.5%	38.5%	82.0%
⑧		45.2%	43.5%	88.7%
17	不登校あるいは不登校傾向の児童生徒が学級に適應すること	23.5%	37.6%	61.1%
⑨		16.0%	38.8%	54.8%

※「目的」と「成果」の欄は、目的の「重視した」または「やや重視した」、成果の「成果があった」または「やや成果があった」と回答した割合（小学校と中学校をあわせた割合）の当該項目の全項目における順位

表 3-5-3 集団宿泊活動の「目的」と「成果」の位置付け（集団活動に関する項目）

目的 成果	項目	重視 成果	やや重視 やや成果	合計 合計
3	規律ある集団行動ができるようにすること	87.8%	10.3%	98.1%
⑤		57.6%	38.9%	96.5%
4	約束やルール、時間を守るなど公衆道徳について理解し、行動の仕方を身につけること	84.9%	12.9%	97.8%
⑥		57.1%	39.0%	96.1%
5	必要な係をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践できるようにすること	85.8%	11.8%	97.6%
④		62.3%	34.4%	96.7%
6	協力して諸問題を解決し、よりよい学校生活を築くことができるようにすること	74.7%	21.9%	96.6%
⑦		49.1%	45.6%	94.7%

※「目的」と「成果」の欄は、目的の「重視した」または「やや重視した」、成果の「成果があった」または「やや成果があった」と回答した割合（小学校と中学校をあわせた割合）の当該項目の全項目における順位

表 3-5-4 集団宿泊活動の「目的」と「成果」の位置付け（自己に関する項目）

目的 成果	項目	重視 成果	やや重視 やや成果	合計 合計
8	自分に自信を持ったり、自分が学級に役立っていると思ったりするなど、自己を肯定的にとらえるようにすること	56.5%	35.3%	91.8%
⑨		33.1%	55.5%	88.6%
10	困難なことや思いどおりにならないことでも我慢できるようにすること	47.5%	39.0%	86.5%
⑪		26.9%	58.8%	85.7%
14	自己の生き方を考えたり、見方や考え方を深めたりすること	24.3%	46.9%	71.2%
⑭		15.6%	49.6%	65.2%

※「目的」と「成果」の欄は、目的の「重視した」または「やや重視した」、成果の「成果があった」または「やや成果があった」と回答した割合（小学校と中学校をあわせた割合）の当該項目の全項目における順位

表 3-5-5 重集団宿泊活動の「目的」と「成果」の位置付け（自然に関する項目）

目的 成果	項目	重視 成果	やや重視 やや成果	合計 合計
12 ⑬	生命の有限性や自然の大切さを、実感を伴って理解すること	34.4% 24.1%	42.2% 48.2%	76.6% 72.3%
15 ⑮	環境保全の意識を高めたり、態度を培ったりすること	24.4% 15.4%	45.2% 49.2%	69.6% 64.6%

※「目的」と「成果」の欄は、目的の「重視した」または「やや重視した」、成果の「成果があった」または「やや成果があった」と回答した割合（小学校と中学校をあわせた割合）の当該項目の全項目における順位

表 3-5-6 集団宿泊活動の「目的」と「成果」の位置付け（教科・学校行事に関する項目）

目的 成果	項目	重視 成果	やや重視 やや成果	合計 合計
7 ③	楽しい思い出をつくること	74.9% 75.7%	20.5% 21.0%	95.4% 96.7%
13 ⑫	見聞を広めること	35.5% 29.8%	41.0% 44.9%	76.5% 74.7%
16 ⑯	各教科等で得た知識を、実際の場面で活用できる力を高めること	21.0% 14.6%	45.1% 47.9%	66.1% 62.5%
18 ⑰	地方の歴史や文化等の魅力について学び、理解を深めること	31.0% 23.2%	28.0% 34.0%	59.0% 57.2%
19 ⑱	働くことの尊さや生産の喜びを感じる	23.7% 16.1%	33.9% 40.1%	57.6% 56.2%
20 ⑳	ボランティア活動を行うなどの社会奉仕の精神を養うこと	13.0% 9.3%	28.0% 31.0%	41.0% 40.3%
21 ㉑	災害等の非常時から身を守るための行動の仕方を身に付けたり、安全への意識を高めたりすること	10.6% 7.9%	28.9% 30.7%	39.5% 38.6%

※「目的」と「成果」の欄は、目的の「重視した」または「やや重視した」、成果の「成果があった」または「やや成果があった」と回答した割合（小学校と中学校をあわせた割合）の当該項目の全項目における順位

表 3-5-7 集団宿泊活動の「目的」と「成果」の位置付け（農林漁業に関する項目）

目的 成果	項目	重視 成果	やや重視 やや成果	合計 合計
22 ㉒	普段とは異なる農山漁村での生活を、体験を通して理解すること	9.6% 8.1%	13.0% 14.4%	22.6% 22.5%
23 ㉓	農林漁業を、体験を通して理解すること	6.9% 6.6%	8.7% 9.3%	15.6% 15.9%

※「目的」と「成果」の欄は、目的の「重視した」または「やや重視した」、成果の「成果があった」または「やや成果があった」と回答した割合（小学校と中学校をあわせた割合）の当該項目の全項目における順位

（3）集団宿泊的行事を実施することによる教職員や学校にとっての効果

集団宿泊活動の効果を示したこれまでの調査（1. ①調査②調査 p.52）は対象を児童にしているが、本調査は教職員も対象にしている（結果は p.50）。

集団宿泊的行事を実施することによる教職員や学校にとっての効果について「当てはまる」または「やや当てはまる」と回答した割合は、「普段の学校生活では見られない児童生徒の一面を見ることができると、教員の児童生徒への理解が深まる」が 99.7%、「教員と児童生徒との信頼関係が構築できる」が 97.0%と、効果がみられたことを認めている。このことは、集団宿泊活動の成果の「教師と児童生徒のふれあいを深めること」について「成果があった」または「やや成果があった」と回答した割合が高かったこと（88.7%）と一致している。集団宿泊活動で寝食を共にした生活や集団活動を行うということは、児童生徒同士だけでなく、児童生徒と教員にも当てはまること、こうした効果をもたらすのであろう。この成果は、集団宿泊

活動後の学校生活における児童生徒への指導において大きな意味を持つであろう。

また、回答した教員は、集団宿泊的行事を担当した教員の、児童生徒に対する学習指導や生徒指導力ではない、「マネジメント力」(93.8%)や「コミュニケーション力」(85.5%)といった管理運営的な資質・能力が高まることも認めている。こうした資質・能力が高まることは、学校に求められている地域との連携や教職員等が一体となりチーム学校として機能することを推進する上で、有意義なことといえよう。

(4) 集団宿泊活動の実施の有無及び日数と学校での児童生徒の様子との関係

本調査は、集団宿泊活動の成果を検討するために、「集団宿泊活動を実施した学年の児童生徒の学校での様子」という調査事項を設定した。なお、集団宿泊活動を実施していない学校は、小学校5年生または中学校2年生を想定して回答することとした(結果はp.48)。

集団宿泊活動の実施の有無及び日数と、集団宿泊活動を実施した児童生徒の学校での様子(「思う」または「やや思う」と回答した割合)とのクロス集計の結果は図3-5-1~10のとおりである。

集団宿泊活動を実施している学校では、実施していない学校よりも、児童生徒が「仲がよい」、「ほほえましい笑いが多い」、「授業で教え合ったり、生活場面で助け合ったりしている」、「清掃当番や係活動を責任もって果たす」といった項目で「思う」または「やや思う」と回答した割合が高い傾向が見られた。集団宿泊活動を実施していない学校の方が、実施している学校よりも割合が高い項目もあることから、本調査の結果のみをもって集団宿泊活動の成果を示せるわけではないが、集団宿泊活動の成果として認められている「人間関係」や「集団活動」については、集団宿泊活動の成果が学校での生活につながっていると考えられる。

また、集団宿泊活動の日数との関係については「2泊」の学校が最も割合が高い項目が多いものの、集団宿泊活動の日数と学校での児童生徒の様子に明確な関連はみられない。

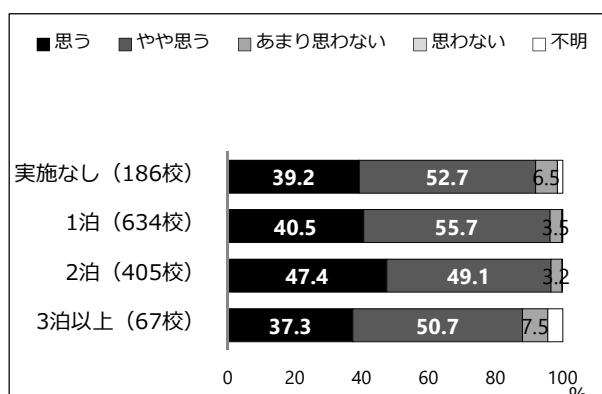


図3-5-1 仲がよい

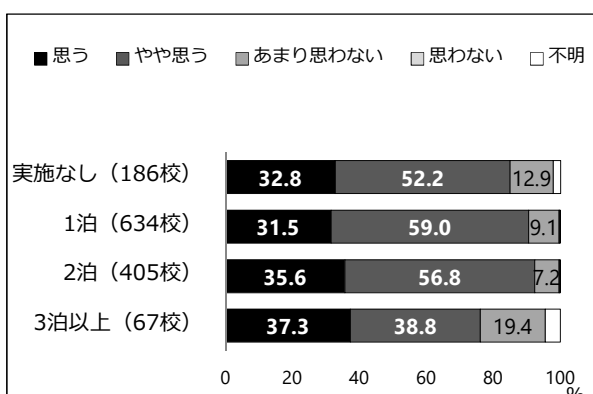


図3-5-2 ほほえましい笑いが多い

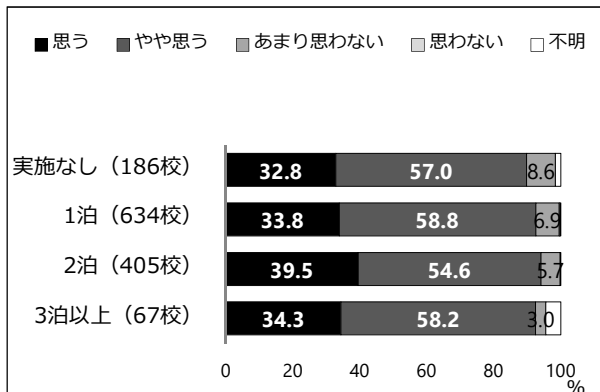


図 3-5-3 授業で教え合ったり、生活場面で助け合ったりしている

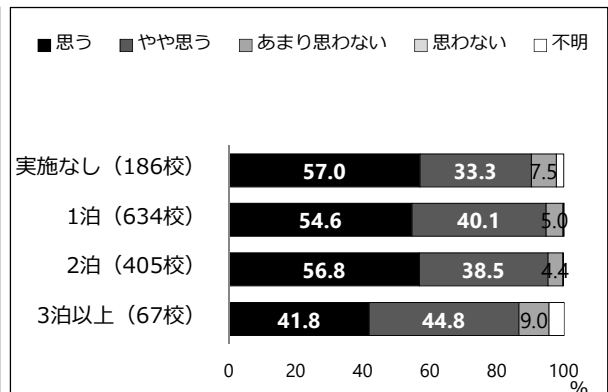


図 3-5-4 行事のときに盛り上がる

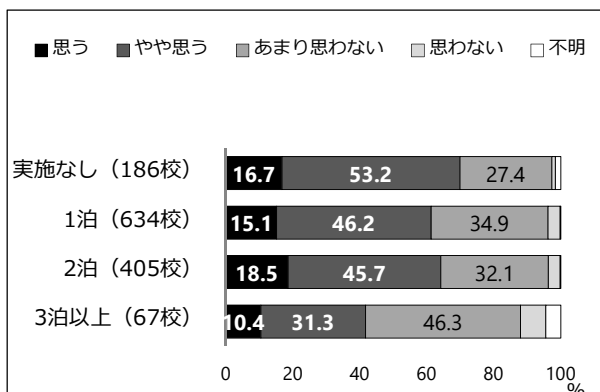


図 3-5-5 もめごとが少ない

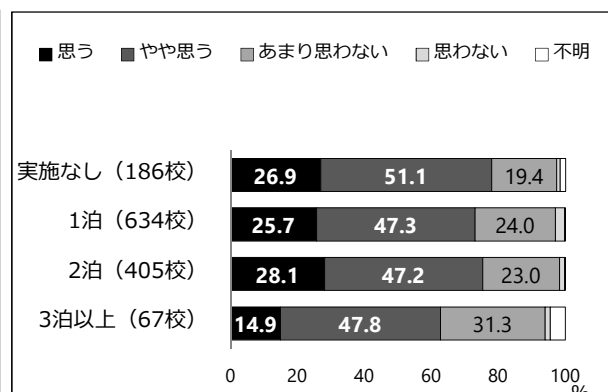


図 3-5-6 授業中の私語が少ないなど落ち着いて生活している

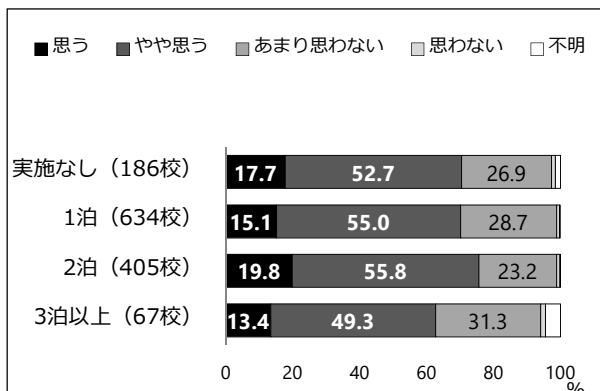


図 3-5-7 授業で自分の意見を発表する

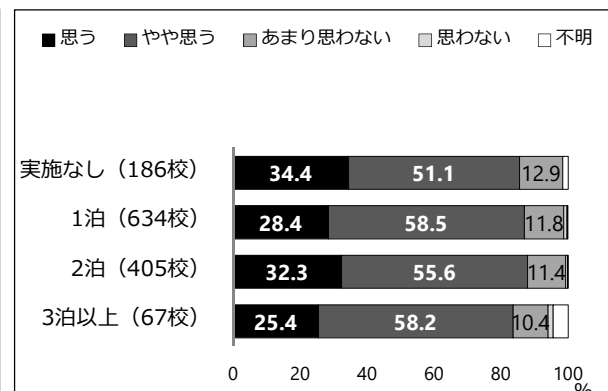


図 3-5-8 清掃当番や係活動を責任もって果たす

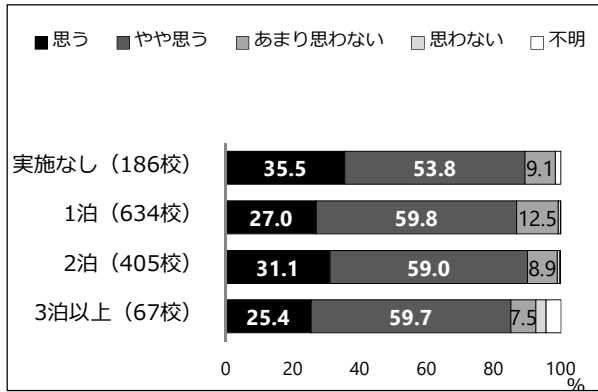


図 3-5-9 規則を守る

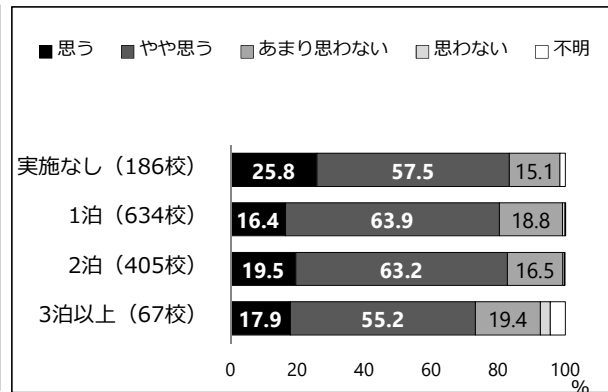


図 3-5-10 挨拶や整理整頓など、基本的な生活習慣が身に付いている

6. 集団宿泊活動の教育課程への位置付け

(1) 集団宿泊活動と集団宿泊活動における各活動の教育課程への位置付け

集団宿泊活動は、教育課程上、特別活動の学校行事の中の遠足/旅行・集団宿泊的行事（以下、「宿泊的行事」）に位置付けることが基本となる。

本調査では、小学校で 75.0%，中学校で 70.0%が宿泊的行事に位置付けており、各教科等の中で最も高いことを示している（結果は p.24）。しかしながらこの結果は、集団宿泊的行事に位置付けていない学校があることも示している。

また、集団宿泊活動における各活動を、宿泊的行事以外の各教科等に位置付けた主な結果は表 3-6-1 のとおりである。

表 3-6-1 集団宿泊活動における各活動の各教科等（宿泊的行事を除く）への位置付け

校種	総合的な学習の時間	特別の教科 道徳	家庭/ 技術・家庭	理科	体育/ 保健体育
小学校	62.0%	26.5%	42.8%	33.1%	27.4%
中学校	68.0%	20.1%	15.7%	20.3%	26.9%

※教科等名の「○/○」は、スラッシュの前が小学校、後ろが中学校を表す。

「総合的な学習の時間」に位置付けている割合が高いが、H29 学習指導要領の「教育課程の編成」に、次のように示されているとおり、集団宿泊活動（特別活動）において体験活動を実施したことをもって総合的な学習の時間とすることはできないことに留意する必要がある。

総合的な学習の時間における学習活動により、特別活動の学校行事に掲げる各行事の実施と同様の成果が期待できる場合においては、総合的な学習の時間における学習活動をもって相当する特別活動の学校行事に掲げる各行事の実施に替えることができる。

なお、集団宿泊活動における各活動の各教科等への位置付けについては、H29 小学校解説特活編の「遠足・集団宿泊的行事の実施上の留意点」に次のように示されているとおり、「長期にわたって宿泊を伴う体験的な活動においては」としているが、教科や総合的な学習の時間等に位置付け授業時数に含めることができる。

学校行事として実施する長期にわたって宿泊を伴う体験的な活動においては、目的地において教科の内容に関わる学習や探究的な活動を効果的に展開することも考えられる。その場合には、教科等や総合的な学習の時間などの学習活動を含む計画を立て、授業時数に含めて扱うなど、柔軟な年間指導計画の作成について工夫するよう配慮するとともに、宿泊施設を活用した野外活動を盛り込むなどの工夫をする。具体的には、外国語を集中的に学習する「イングリッシュキャンプ」、実際に星空や地層等の観察を行う自然教室、農林水産業施設の見学学習などの実施が考えられる。

その際、それぞれの目標が十分に達成できるよう、事前・事後の活動などの綿密な指導計画を作成する必要がある。

(2) 集団宿泊活動の教育課程への位置付けについての教員の認知状況

平成 20 年に学習指導要領が告示された際、文部科学省のホームページの「学習指導要領改訂の基本的な考え方に関する Q&A」に、次のことが掲載された。これは、教員の理解を促すためであるが、見方を変えれば、理解不足を懸念してのことでもあろう。

Q. 青少年教育施設等を活用して一週間程度の宿泊体験活動を行う場合、教育課程上の位置付けはどのようにすることが考えられますか。特に、体験活動の一部を関連する教科の学習として位置付けることはできますか。

A. 今回の改訂では、各教科等の指導に当たっては、体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習を重視することが総則に規定されています。特に、一週間程度の集団宿泊活動については、高い教育効果が期待されます。宿泊体験活動については、そのねらいに応じ、教育課程上の位置付けを考える必要があります。活動全体を特別活動の学校行事として位置付けることができるのは当然ですが、例えば、農作業体験（社会）、自然観察（理科）、野外炊事（家庭）など、教科の内容にかかわる活動が含まれる場合、当該活動について教科の学習として位置付けることは可能です。なお、その場合には、各教科の目標や内容を踏まえ、指導計画において体験活動のねらいを明確にすることが求められます。また、例えば、宿泊地周辺の環境に関する探究的な活動が行われる場合には、その活動を総合的な学習の時間として位置付けることも可能です。

体験活動に関する施策等に対する教員の認知状況の主な結果は表 3-6-2 のとおりである。「体験活動の充実」といった根幹的な事項と比べると「教科等への位置付け」は認知されている割合が低い結果となっている。

表 3-6-2 体験活動に関する施策等の認知状況

項目	よく知っている	知っている	合計
現学習指導要領（平成 20 年告示）で、小中学校の教育内容の主な改善点として「体験活動の充実」が提示されていること	33.7%	50.3%	84.0%
次期学習指導要領（平成 29 年告示）で、小中学校の教育内容の主な改善点として「体験活動の充実」が提示されていること	33.0%	50.4%	83.4%
集団宿泊活動に教科の内容にかかわる活動が含まれる場合、当該活動について教科の学習として位置付けられること	17.1%	45.3%	62.4%

(3) 集団宿泊活動における各活動の各教科等への位置付けの実際

本調査では、集団宿泊活動における各活動を各教科等に位置付けている状況を具体的に把握するために、「教科等名、活動名、単元・題材名、時間」を調査項目にしている（結果は p.26）。この結果の中から表 3-6-3 に示す例を基に、集団宿泊活動における各活動を各教科等に位置付ける際の留意事項を以下に示す。

表 3-6-3 集団宿泊活動における活動の各教科等への位置付の実際

教科等	活動名	単元・題材名	時間数
総合的な学習の時間	活動内容すべて	海に学ぼう	20 時間
特別の教科 道徳	魚つかみ体験	命をいただく	2 時間
学級活動	カッター	みんなで力を合わせて	4 時間

総合的な学習の時間では、「活動内容すべて」を位置付けているとしている。そのためには、集団宿泊活動で行う全ての活動を「海に学ぼう」に関連させ、総合的な学習の時間の特質である問題解決や探究活動として展開することが求められる。前述のとおり、集団宿泊活動での体験活動をもって総合的な学習の時間に替えることができないことに留意する必要がある。

特別の教科道徳では、「魚つかみ体験」を「命をいただく」としている。「命をいただく」は、道徳の内容の「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の「生命の尊さ」を扱っていると考えられる。例えば、「魚つかみ体験の意味」や「魚つかみ体験で起こったこと」を題材にして、特別の教科道徳を展開することはできても、「魚つかみ体験」自体（魚をつかむ活動）を特別の教科道徳に位置付けることはできないことに留意する必要がある。

学級活動の「カッター」も「魚つかみ体験」のケースと同じである。カッターを学級活動の内容である「(1)学級や学校における生活づくりへの参画、(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全、(3)一人一人のキャリア形成と自己実現」のいずれかに位置付けることになる。例えば、「カッターを漕ぐ活動で起こったこと」を学級活動の題材にすることはできても、「カッターを漕ぐ」こと自体を学級活動に位置付けることはできないことに留意する必要がある。

(4) 集団宿泊活動における各活動を各教科等に位置付けたプログラムに対する学校の要望

集団宿泊活動における各活動を各教科等に位置付けたプログラム（以下、「各教科等に位置付けたプログラム」）に関する調査事項の結果は表 3-6-4 のとおりである。

集団宿泊活動で利用する施設等を決定する際に重視した事項として、各教科等に位置付けたプログラムを「重視した」または「やや重視した」と回答した割合は 4 割程度である。これは、学校が各教科等に位置付けたプログラムを想定していない、あるいは、施設等が各教科等に位置付けたプログラムを作成し学校に提供していないことが要因として考えられる。

集団宿泊活動を計画・実施するに当たっての必要な支援事項として、各教科等に位置付けたプログラムの提供を「必要」または「どちらかという必要」と回答した割合が、現状の日数では 7 割程度であるが、一定期間（1 週間）実施する場合には 9 割を超える。これは、集団宿泊活動を実施することによる授業時数は、現状の日数の場合では問題ないが、一定期間実施すると不足すると考えていることを示している。

表 3-6-4 集団宿泊活動の活動を各教科等に位置付けたプログラムに関連する調査事項

関連する事項	回答		
項目			
利用する施設等を決定する際、重視した事項	重視した	やや重視した	計
各教科等に関連付けたプログラムが充実している	7.1%	31.7%	38.8%
集団宿泊活動を計画・実施するに当たっての必要な支援事項	必 要	どちらかという必要	計
各教科等に体験活動を関連付け効果的に展開するプログラムの提供	24.2%	45.0%	69.2%
集団宿泊活動を一定期間（1週間程度）実施する場合に必要な支援	必 要	どちらかという必要	計
各教科等に体験活動を関連付け効果的に展開するプログラムの提供	62.5%	30.3%	92.8%

(5) 集団宿泊活動における各活動を各教科等に位置付けたプログラムの意義

H29 学習指導要領が求めている「育成する資質・能力を明確した教育活動・学習活動の展開」は集団宿泊活動にも当てはまる。集団宿泊活動において成果が見られた割合の高かった項目の一つに「楽しい思い出をつくること」がある。集団宿泊活動がどの児童生徒にとっても、「楽しい思い出」になることは大切なことである。しかし、「楽しい思い出」だけでは一過性のイベントになってしまうことも懸念される。例えば、「みんなが楽しい思い出にするためにはどうしたらよいか」という課題を設定し、事前に考え話し合い、集団宿泊活動で実際に活動し気が付いたことを記録し、事後に活動を振り返り気が付いたことを整理するといった過程を展開することで、集団活動の意義を実感し、行動の仕方を知識として理解し、思考力を高めることができる。この知識や思考力が育成する資質・能力であり、そのための学習過程・活動過程が「プログラム」であろう。各教科等への位置付けでいえば、事前学習と事後学習を特別活動の学級活動「(1)学級や学校における生活づくりへの参画」に、集団宿泊活動での活動を学校行事に位置付けることが考えられる。

また、集団宿泊活動における各活動を教科に位置付ける場合には、当該活動の時間を授業時数として扱う場合と、当該活動を実施する際に、これまで教科で学んだことを想起させたり、集団宿泊活動の後で行う授業で、集団宿泊活動で体験したことを想起させたりといった授業時数として扱わない場合が考えられる。

各教科等に位置付けたプログラムは、授業時数不足への対応といったいわば消極的な意義だけでなく、各教科等の目標をより効果的に達成することや、教科等で学んだことを集団宿泊活動で活用したり他の教科等と結び付けたりすることで「生きて働く知識・技能」や「未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力等」を習得・育成すること、あるいは、教科等を横断する汎用的な資質・能力を身に付けるといったいわば積極的な意義を持つ。また、集団宿泊活動における各活動を各教科等に位置付け展開することは、H29 学習指導要領が求めている、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てる「カリキュラム・マネジメントの充実」にあたるであろう。

7. 集団宿泊活動を計画・実施する際の不安と必要とする支援

(1) 集団宿泊活動を計画・実施する際の不安～現状の期間と一定期間実施した場合の違いに注目して～

集団宿泊活動を計画・実施する際の不安について「不安」または「やや不安」と回答した割合の現状の期間と一定期間実施した場合の上位5項目（現状の期間の上位5項目）と「指導体制」、「時間」、「保護者」の視点でまとめた結果は表 3-7-1～4 のとおりである（結果は p.36）。

一定期間実施した場合の割合は全項目で現状よりも高くなっている。ただし、「3. (3) 集

団宿泊活動を一定期間（長期）実施することに対する不安」（p.60）で示したように、3泊以上実施している学校の方が、2泊以下の学校よりも不安感は低いという結果もある。

上位5項目は、児童生徒の安全に関する項目が多い。病気やケガといった身体的な不安への回答は現状の期間でも9割を超える。

「指導体制」に関する項目では、現状の期間の中では割合が高い「十分な引率体制をとること」でも6割程度であり、児童生徒に関する項目と比べると低い。しかし、一定期間実施した場合は各項目とも現状の期間より20～40ポイント高くなる。なお、「教職員の体験活動の指導力」は、現状の期間では39.3%と高くはないが、これは、回答者の年代が、「45歳以上」が小学校で75.9%、中学校で82.3%であることから、集団宿泊活動の引率・指導の経験があることに因るものと考えられる。

「時間」に関する項目の中では、「集団宿泊活動に関する事務的業務に係る時間の確保」が現状の期間の場合でも73.1%と高い割合になっている。集団宿泊活動の計画書の作成やバスの手配、利用施設との連絡調整、保護者への説明・対応といった業務が煩雑で、かつ、量が多いことに因るものと考えられる。平成31年3月に、文部科学省が都道府県知事や教育委員会教育長等に通知した「学校における働き方改革に関する取組の徹底について」では、業務の役割分担・適正化の中で、「学校以外が担うべき業務」、「学校の業務だが必ずしも教師が担う必要がない業務」、「教師の業務」に仕分けることを示している。事前・事後を含め児童生徒の指導は教員が担う業務であるが、事務的業務は教員以外に依頼できることもある。もちろん、教員に代わって業務を担う者を確保するという大きな課題はあるが、前例や固定観念にとらわれることなく、業務内容や担当の見直し・改善が必要であろう。

「保護者」に関する項目は、「保護者の理解を得ること」が現状の期間では22.0%と低いが、一定期間実施した場合となると57.2ポイント高くなり79.2%となる。また、「保護者の経済的な負担」は現状の期間が57.9%で、一定期間実施した場合は85.9%になる。特に「不安」と回答した割合が現状よりも43.2ポイント高くなり55.6%になる。保護者の経済的な負担は、一定期間実施することについて保護者の理解を得ることに対する不安の理由の一つであろう。また、「日数を増やしたり、新たに実施したりした理由」で、「教育委員会等から経費の補助といった支援が受けられたため」と回答した割合が小学校22.7%、中学校16.7%あったことも（結果はp.7）、一定期間実施するならば、保護者の経済的な負担を軽減し理解を得るために、教育委員会等による経済的な支援が必要であることを示している。

表3-7-1 集団宿泊活動の計画・実施に際しての不安・「現状」と「一定期間」（現状の上位5項目）

現状 一定期間	項目	不安 不安	やや不安 やや不安	合計 合計	合計の差	不安の差
1 ①	児童生徒の身体的な不安（病気、体調不良、アレルギー等）	58.2% 81.4%	35.8% 15.7%	94.0% 97.1%	3.1 ポイント	23.2 ポイント
2 ⑥	児童生徒の野外活動等における事故	51.4% 63.5%	40.1% 28.3%	91.5% 91.8%	0.3 ポイント	12.1 ポイント
3 ②	特別な配慮を要する児童生徒への対応（身体的な障害や精神的な障害）	42.6% 76.1%	42.7% 20.1%	85.3% 96.2%	10.9 ポイント	33.5 ポイント
4 ⑨	集団宿泊活動に関する事務的な業務に係る時間の確保	28.0% 55.0%	45.1% 32.3%	73.1% 87.3%	14.2 ポイント	27.0 ポイント
5 ⑧	児童生徒の精神的な不安（人間関係への不安やホームシック等）	24.9% 60.8%	46.6% 28.4%	71.5% 89.2%	17.7 ポイント	35.9 ポイント

※「現状」と「一定期間」の欄は、「現状」と「一定期間」において「不安」または「やや不安」と回答した割合（小学校と中学校を合わせた割合）の当該項目の全項目における順位

※「合計の差」は、「不安」または「やや不安」と回答した割合の「一定期間」-「現状」で算出

※「不安の差」は、「不安」と回答した割合の「一定期間」-「現状」で算出

表 3-7-2 集団宿泊活動の計画・実施に際しての不安・「現状」と「一定期間」（指導体制に関する項目）

現状 一定期間	項目	不安 不安	やや不安 やや不安	合計 合計	合計の差	不安の差
6 ③	十分な引率体制をとること	22.7% 69.4%	44.8% 24.2%	67.5% 93.6%	26.1 ポイント	46.7 ポイント
8 ⑤	教職員の身体的な健康	20.8% 66.8%	40.1% 25.9%	60.9% 92.7%	31.8 ポイント	46.0 ポイント
10 ⑦	教職員の夜間における十分な指導体制をとること	18.1% 63.5%	37.6% 27.7%	55.7% 91.2%	35.5 ポイント	45.4 ポイント
11 ⑭	児童生徒の生活面の指導	12.6% 42.4%	42.8% 36.3%	55.4% 78.7%	23.3 ポイント	29.8 ポイント
14 ⑮	教職員の時間外勤務に対する手当	19.2% 48.3%	27.3% 26.4%	46.5% 74.7%	28.2 ポイント	29.1 ポイント
15 ⑯	教職員の体験活動の指導力	5.7% 29.8%	33.6% 42.4%	39.3% 72.2%	32.9 ポイント	24.1 ポイント
17 ⑰	集団宿泊活動の効果があいまい	2.4% 24.9%	13.4% 38.3%	15.8% 63.2%	47.4 ポイント	22.5 ポイント

※「現状」と「一定期間」の欄は、「現状」と「一定期間」において「不安」または「やや不安」と回答した割合（小学校と中学校を合わせた割合）の当該項目の全項目における順位

※「合計の差」は、「不安」または「やや不安」と回答した割合の「一定期間」-「現状」で算出

※「不安の差」は、「不安」と回答した割合の「一定期間」-「現状」で算出

表 3-7-3 集団宿泊活動の計画・実施に際しての不安・「現状」と「一定期間」（時間に関する項目）

現状 一定期間	項目	不安 不安	やや不安 やや不安	合計 合計	合計の差	不安の差
4 ⑨	集団宿泊活動に関する事務的な業務に係る時間の確保	28.0% 55.0%	45.1% 32.3%	73.1% 87.3%	14.2 ポイント	27.0 ポイント
7 ⑩	集団宿泊活動の事前指導の時間の確保	18.6% 55.0%	45.4% 32.1%	64.0% 87.1%	23.1 ポイント	36.4 ポイント
12 ⑫	集団宿泊活動の事後指導の時間の確保	12.5% 45.3%	40.8% 36.1%	53.3% 81.4%	28.1 ポイント	32.8 ポイント
⑬ ④	集団宿泊活動を実施することによる授業時間数の不足	15.1% 74.4%	33.8% 18.3%	48.9% 92.7%	43.8 ポイント	59.3 ポイント

※「現状」と「一定期間」の欄は、「現状」と「一定期間」において「不安」または「やや不安」と回答した割合（小学校と中学校を合わせた割合）の当該項目の全項目における順位

※「合計の差」は、「不安」または「やや不安」と回答した割合の「一定期間」-「現状」で算出

※「不安の差」は、「不安」と回答した割合の「一定期間」-「現状」で算出

表 3-7-4 集団宿泊活動の計画・実施に際しての「不安」における「現状」と「一定期間」（保護者に関する項目）

現状 一定期間	項目	不安 不安	やや不安 やや不安	合計 合計	合計の差	不安の差
9 ⑪	保護者の経済的な負担	12.4% 55.6%	45.5% 30.3%	57.9% 85.9%	28.0 ポイント	43.2 ポイント
16 ⑬	保護者の理解を得ること	3.2% 42.7%	18.8% 36.5%	22.0% 79.2%	57.2 ポイント	39.5 ポイント

※「現状」と「一定期間」の欄は、「現状」と「一定期間」において「不安」または「やや不安」と回答した割合（小学校と中学校を合わせた割合）の当該項目の全項目における順位

※「合計の差」は、「不安」または「やや不安」と回答した割合の「一定期間」-「現状」で算出

※「不安の差」は、「不安」と回答した割合の「一定期間」-「現状」で算出

(2) 集団宿泊活動を計画・実施するに当たっての必要な支援

集団宿泊活動を計画・実施するに当たっての必要な支援について「必要」または「どちらか」という必要」と回答した割合の上位5項目と「利用者へのサービスの対応」、「資料」、「指導及び体制」、「教育委員会」の視点でまとめた結果は表3-7-5～9のとおりである(結果はp.39)。

上位5項目は、安全、施設・設備、利用者へのサービスの対応になっている。安全に関する項目の割合が高いのは、集団宿泊活動の計画・実施での不安事項で児童生徒の安全に関する項目の割合が高い結果と、利用者へのサービスの対応に関する項目の割合が高いのは同じく不安事項で事務的業務に係る時間の確保が高い結果と一致する。

集団宿泊活動の内容に関連する資料や指導及び体制は、「必要」または「どちらか」という必要」と回答した割合が8割を超える項目はあるものの、安全、施設・設備、サービスの対応に関する項目よりも低い傾向にあり、利用する施設を決定する際に重視した事項が、安全管理体制や施設・設備といった基本的な機能が低い傾向であることと同様な結果となっている。

表 3-7-5 集団宿泊活動の計画・実施に当たって必要な支援（上位5項目）

No	項目	必要	どちらかという必要	合計
1	特別な配慮を要する児童生徒（身体的な障害や精神的な障害）に対する施設・設備の充実や対応	70.7%	25.6%	96.3%
2	安全管理体制の整備	71.6%	24.4%	96.0%
3	施設・設備の充実	71.1%	24.6%	95.7%
4	利用に関して学校の要望を受け容れるなどの柔軟な対応をとること	50.0%	42.7%	92.7%
5	利用に関する手続きなどを簡略にすること	52.2%	38.1%	90.3%

※「No」の欄は、「必要」または「どちらかという必要」と回答した割合（小学校と中学校を合わせた割合）の当該項目の全項目における順位

表 3-7-6 集団宿泊活動の計画・実施に当たって必要な支援（利用者へのサービスの対応に関する項目）

No	項目	必要	どちらかという必要	合計
4	利用に関して学校の要望を受け容れるなどの柔軟な対応をとること	50.0%	42.7%	92.7%
5	利用に関する手続きなどを簡略にすること	52.2%	38.1%	90.3%

※「No」の欄は、「必要」または「どちらかという必要」と回答した割合（小学校と中学校を合わせた割合）の当該項目の全項目における順位

表 3-7-7 集団宿泊活動の計画・実施に当たって必要な支援（資料に関する項目）

No	項目	必要	どちらかという必要	合計
7	「利用の手引」や「体験活動プログラム集」などの資料の充実	39.1%	44.5%	83.6%
8	ホームページなどの案内情報に関する資料の充実	36.9%	45.9%	82.8%
13	集団宿泊活動の計画や指導の参考になる手引書のような資料の提供	25.6%	50.2%	75.8%
18	集団宿泊活動の計画や指導の参考になる他校の実践事例集の提供	18.8%	50.6%	69.4%
22	保護者等に集団宿泊活動の効果などを知らせるための資料の提供	13.7%	41.9%	55.6%
23	集団宿泊活動の効果測定するための資料の提供	12.3%	42.5%	54.8%

※「No」の欄は、「必要」または「どちらかという必要」と回答した割合（小学校と中学校を合わせた割合）の当該項目の全項目における順位

表 3-7-8 集団宿泊活動の計画・実施に当たって必要な支援（指導及び体制に関する項目）

No	項目	必要	どちらかという必要	合計
10	施設等の職員等による児童生徒への一般的な体験活動プログラム（例えば、野外炊事やオリエンテーリングのやり方や安全指導）の直接的な指導	46.3%	33.7%	80.0%
12	施設等の職員による計画の立案に際しての専門的な助言（例えば、目的を整理することや、目的に応じたプログラムの紹介）	36.8%	42.3%	79.1%
14	施設等の職員等による児童生徒への専門的な体験活動プログラム（例えば、協調性を育むことを目的としたグループ活動や環境教育プログラム）の直接的な指導	38.3%	37.0%	75.3%
15	人間関係の形成や、自分や仲間の個性を理解し尊重する資質・能力を高めるプログラムの提供	25.6%	47.1%	72.7%
19	各教科等に体験活動を関連付け効果的に展開するプログラムの提供	24.2%	45.0%	69.2%

※「No」の欄は、「必要」または「どちらかという必要」と回答した割合（小学校と中学校を合わせた割合）の当該項目の全項目における順位

表 3-7-9 集団宿泊活動の計画・実施に当たって必要な支援（教育委員会に関する項目）

No	項目	必要	どちらかという必要	合計
6	教育委員会等による児童生徒の交通費や宿泊費等の経費補助	52.8%	31.5%	84.3%
11	教育委員会等による特別な配慮を要する児童生徒（身体的な障害や精神的な障害）に対応するための要員の手配や配置	43.9%	35.7%	79.6%
16	教育委員会等によるバスの手配などの事務的な業務の代行や支援	39.3%	32.7%	72.0%
17	教育委員会等による看護師等の手配や配置	38.1%	33.5%	71.6%
20	教育委員会等による引率者や指導者の手配や配置	26.4%	33.1%	59.5%
25	教育委員会等による農林漁業体験や農林漁家泊ができる場所の紹介や手配	17.8%	24.4%	42.2%

※「No」の欄は、「必要」または「どちらかという必要」と回答した割合（小学校と中学校を合わせた割合）の当該項目の全項目における順位

集団宿泊活動を一定期間計画・実施するに当たっての必要な支援について「必要」または「どちらかという必要」と回答した割合の上位5項目は、表3-7-10のとおりである。教育委員会等による児童生徒の交通費や宿泊費等の経費補助が95.6%と最も高く、現状の期間では低い傾向となっていた集団宿泊活動の内容に関わる資料やプログラムに関する項目が高くなっている。「各教科等に体験活動を関連付け効果的に展開するプログラムの提供」の割合が92.8%と高いのは、集団宿泊活動の計画・実施における不安事項の「集団宿泊活動を実施することによる授業時数の不足」が、一定期間で実施した場合が現状の期間よりも43.8ポイント高くなり9割以上が不安としている結果を反映してのことであろう。

表 3-7-10 集団宿泊活動を一定期間（1週間程度）計画・実施に当たって必要な支援（上位5項目）

No	項目	必要	どちらかという必要	合計
1	教育委員会等による児童生徒の交通費や宿泊費等の経費補助	76.1%	19.5%	95.6%
2	教育委員会等による特別な配慮を要する児童生徒（身体的な障害や精神的な障害）に対応するための要員の手配や配置	72.7%	21.6%	94.3%
3	集団宿泊活動の計画や指導のための手引書のような資料の提供	62.2%	30.7%	92.9%
4	各教科等に体験活動を関連付け効果的に展開するプログラムの提供	62.5%	30.3%	92.8%
5	集団宿泊活動の計画や指導の参考になる長期集団宿泊活動の事例集の提供	60.5%	30.9%	91.4%

※「No」の欄は、「必要」または「どちらかという必要」と回答した割合（小学校と中学校を合わせた割合）の当該項目の全項目における順位

（3）支援体制の状況

①経費の補助

集団宿泊活動で教育委員会等から経費の補助を受けている割合は、小学校が 35.5%，中学校が 27.6%である。これは、修学旅行で教育委員会等から経費の補助を受けている割合（小学校が 9.7%，中学校が 14.2%）よりも高い（結果は p.42）。

また、集団宿泊活動における経費補助の有無と教員が適当と考える集団宿泊活動の日数のクロス集計の結果は図 3-7-1 のとおりである。経費の補助が「あり」の学校は「なし」の学校と比較して、「3泊以上」を適当な日数と回答した割合が約 6 ポイント高い。

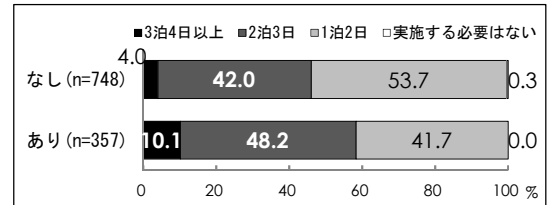


図 3-7-1 経費補助と教員が考える適当な日数

また、「いる」と回答した学校の「募集・依頼方法」で最も回答の割合が高いのは表 3-7-12 のとおり、小中学校とも、引率者と指導者の両方が 7 割を超えている（結果は p.33）。

②教職員以外の引率者や指導者

また、「いる」と回答した学校の「募集・依頼方法」で最も回答の割合が高いのは表 3-7-12 のとおり、小中学校とも、引率者と指導者の両方が「学校が独自に見つけ依頼した」である。このことは集団宿泊活動の計画・実施における不安事項の事務的業務に係る時間の確保が高いことに関連するといえる。

また、「いる」と回答した学校の「募集・依頼方法」で最も回答の割合が高いのは表 3-7-12 のとおり、小中学校とも、引率者と指導者の両方が「学校が独自に見つけ依頼した」である。このことは集団宿泊活動の計画・実施における不安事項の事務的業務に係る時間の確保が高いことに関連するといえる。

表 3-7-11 教職員以外の引率者や指導者がいない割合

校種	引率者	指導者
小学校	71.6%	74.1%
中学校	78.6%	74.4%

表 3-7-12 教職員以外の引率者や指導者を「学校が独自に見つけ依頼した」割合

校種	引率者	指導者
小学校	37.6%	33.5%
中学校	21.6%	21.6%

教職員以外の引率者及び指導者の人数と教員が適当と考える集団宿泊活動の日数のクロス集計の結果は図 3-7-2・3 のとおりである。教職員以外の引率者及び指導者が「いる」と回答した

学校は、「いない」と回答した学校と比較して、3泊以上を集団宿泊活動の適当日数とする割合が高い。

経費の補助の結果とも併せ、集団宿泊活動を一定期間（1週間（5日間）程度）実施することを推進するためには、交通費や宿泊費等の経費補助や、児童生徒の安全を確保するための人員の配置といった学校への支援が必要となることを示している。

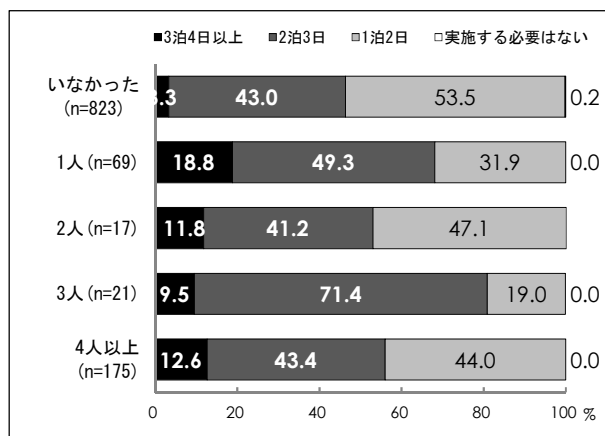


図 3-7-2 教職員以外の引率者の人数と教員が考える適当日数

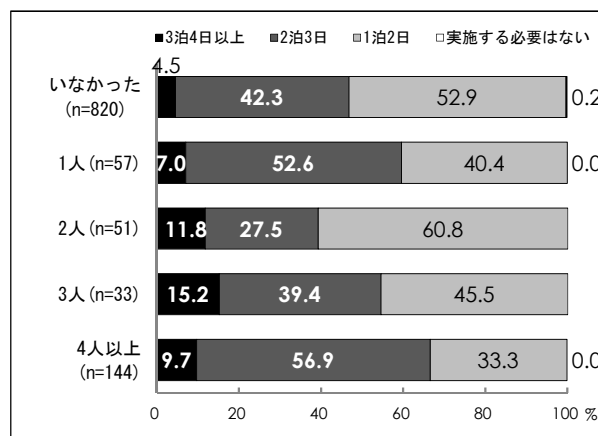


図 3-7-3 教職員以外の指導者の人数と教員が考える適当日数

8. 農林漁業体験・農林漁家泊体験

(1) 「子ども農山漁村交流プロジェクト」について

本調査の調査事項である農林漁業体験・農林漁家泊体験は、国が推進している「子ども農山漁村交流プロジェクト」に関連していることから、以下に概要を示す。

① 「子ども農山漁村交流プロジェクト」の開始

平成 19 年、政府が設置した「教育再生会議」は、「社会総がかりで教育再生を一第二次報告一」で、様々な体験活動を通じ、子供たちの社会性、感性を養い、視野を広げるために、「小学校で 1 週間の集団宿泊体験や自然体験・農林漁業体験活動の実施」を提言した。

1 週間の集団宿泊体験については、H20 答申で、「体験活動は、学期中や長期休業期間中に一定期間（例えば、1 週間（5 日程度）程度）にわたって行うことにより、一層意義が深まるとともに、高い教育効果が期待されるものであり」と提言され、H20 小学校解説特活編で「一定期間（例えば、1 週間（5 日程度）程度）にわたって行うことが望まれる」と示された。

また、農林漁業体験活動については、平成 20 年、文部科学省、農林水産省、総務省の三省連携による「子ども農山漁村交流プロジェクト」が開始され、子供たちの農林漁業体験や農林漁家泊体験を推進する方策が整備された。その後、推進体制に環境省、内閣府、内閣官房が加わった。

② 「子ども農山漁村交流プロジェクト」の施策の転換

平成 30 年 12 月、内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、農林水産省、環境省が連名で都道府県知事・教育長等に、「子供の農山漁村体験（通称「子ども農山漁村交流プロジェクト」）の充実について」を通知し、子ども農山漁村交流プロジェクトの推進を求めている。この通知には、「子供の農山漁村体験充実の意義」、「子供の農山漁村体験の定義と目標」、「子供の農山漁

村体験の充実のための支援措置等」が示されている。なお、同通知に、平成 21 年 3 省通知は廃止すると示されていることから、同通知をもって平成 20 年に開始された子ども農山漁村交流プロジェクトが転換されたことになる。

③「子ども農山漁村交流プロジェクト」の定義と目標

同通知に示されている定義は、次のとおりである。従来の子ども農山漁村交流プロジェクトでは小学校の集団宿泊活動が想定されていたが、通知では、全校種の集団宿泊的行事が対象とされている（集団宿泊活動だけではなく修学旅行を含めるということ）。

子供の農山漁村体験とは、小学校、中学校及び高等学校の児童生徒が行う宿泊体験活動であって、農山漁村その他の豊かな自然環境を有する地域（以下、「農山漁村」という。）に滞在し、地域住民と交流しつつ、自然体験活動、農林漁業の体験を行う活動、地域の伝統文化に触れる活動等を行うことをいう。

また、目標は次のとおり数値目標が示されている。

「子供の農山漁村体験の充実のための支援措置等」（以下、「支援措置等」）に掲げる施策等の実施を通じて、2024 年度に、取組人数の倍増を目指し、小学生 65 万人、中学生 75 万人、高校生 30 万人が、農山漁村体験を行うことを目標とする。

④子供の農山漁村体験の充実のための支援措置等

「子供の農山漁村体験の充実のための支援措置等」には 6 項目示されているが、支援対象とする宿泊体験事業の実施日数について記載されている項目は次のとおりである。「地方創生の観点からの子供の農山漁村体験の推進」は長期（4 泊 5 日等）としているが、「学校における宿泊体験活動の推進」は 2 泊 3 日以上としている。H20 小学校解説特活編で示された「一定期間（例えば、1 週間（5 日程度）程度）にわたって行うことが望まれる」によれば 4 泊 5 日等となるが、集団宿泊活動の実施日数は 1 泊 2 日や 2 泊 3 日の学校がほとんどであるという現状を踏まえ、文部科学省は 2 泊 3 日以上としたのであろう。

「地方創生の観点からの子供の農山漁村体験の推進」

学校において行われる長期（4 泊 5 日等）の農山漁村体験及び関連して一体として取り組む活動であって、将来の移住及び定住の促進、（略）地方創生に資する取組を、地方創生推進交付金により支援するとともに、（略）

「学校における宿泊体験活動の推進」

文部科学省においては、児童生徒の健全育成を目的として、小学校・中学校・高等学校等が実施する 2 泊 3 日以上の宿泊体験事業や、（略）

(2) 本調査における「子ども農山漁村交流プロジェクト」に関する調査事項

本調査における子ども農山漁村交流プロジェクトに関する調査事項は表 3-8-1・2 のとおりである。

表 3-8-1 子ども農山漁村交流プロジェクトに関する調査事項

No	事項	結果
1	集団宿泊活動で利用した施設等（全学校）	農林漁家泊：小学校 0.6%，中学校 4.4%
2	利用する施設を決定する際に重視した事項（集団宿泊活動を実施した学校）	①農林漁業体験ができる：12.8% ②地域の方や民宿・民泊の方と交流ができる：11.7% ③農林漁家泊ができる：6.6%
3	集団宿泊活動の実施に際して重視した目的（集団宿泊活動を実施した学校）	①普段と異なる農山漁村での生活を，体験を通して理解する：22.6% ②農林漁業を，体験を通して理解する：15.6%
4	集団宿泊活動を実施して得られた成果（集団宿泊活動を実施した学校）	①普段と異なる農山漁村での生活を，体験を通して理解する：22.5% ②農林漁業を，体験を通して理解する：15.9%
5	集団宿泊活動を実施する際，児童生徒にさせたいと思う活動（全学校）	農業・林業・漁業などの勤労体験：62.8%
6	集団宿泊活動を実施する際に必要な施設等や教育委員会等からの支援（全学校）	①教育委員会等による農林漁業体験や農林漁家泊ができる場所の紹介や手配：42.2% ②施設等による農林漁業体験や農林漁家泊ができる場所の紹介や手配：41.1%
7	体験活動等に関する施策等の認知（全学校）	農山漁村体験や農林漁家での民泊等を行うといった「子ども農山漁村交流プロジェクト」が推進されていること：40.3%
8	遠足/旅行・集団宿泊的行事における農林漁業体験・農林漁家泊体験の実施（全学校）	表 3-8-2 を参照

※No2,3,4,5,6,7の「結果」は，質問に対する回答の選択肢の中の，例えば，「目的」であれば「重視した」または「やや重視した」と回答した割合としている。

表 3-8-2 遠足/旅行・集団宿泊の行事における農林漁業体験・農林漁家泊体験の実施

No	事項	結果
1	実施の有無	①実施していない：小学校 90.6%，中学校 83.6%
2	実施した行事	①小学校：集団宿泊活動 60.3%，修学旅行 6.9% ②中学校：集団宿泊活動 44.6%，修学旅行 50.5%
3	実施した学年	①小学校：4年生 15.5%，5年生 81.0%，6年生 19.0% ②中学校：1年生 14.9%，2年生 43.6%，3年生 47.5%
4	受入先における活動の調整者	①受入先の協議会等：小学校 15.5%，中学校 31.7% ②委託した旅行業者：小学校 13.8%，中学校 51.5% ③教職員が個別に調整：小学校 58.6%，中学校 13.9%
5	農林漁家泊体験を実施していない理由	①念頭がない：小学校 60.0%，中学校 56.9% ②新たな実施に抵抗：小学校 34.8%，中学校 28.8% ③情報が不足：小学校 31.5%，中学校 24.2% ④分散宿泊への不安：小学校 33.7%，中学校 20.0% ⑤安全確保への不安：小学校 26.5%，中学校 15.4% ⑥食事への不安：小学校 24.3%，中学校 16.8% ⑦集団活動に馴染まない：小学校 23.6%，中学校 13.8% ⑧調整方法が分からない：小学校 20.7%，中学校 12.2% ⑨学校内の理解：小学校 13.5%，中学校 13.5% ⑩保護者の理解：小学校 12.9%，中学校 8.9% ⑪意義を感じない：小学校 7.4%，中学校 14.0% ⑫経費がかかる：小学校 13.3%，中学校 6.6%

(3) 集団宿泊的行事と「子ども農山漁村交流プロジェクト」

本調査は、子ども農山漁村交流プロジェクトが当初想定していた「小学校の集団宿泊活動（1週間程度）」で農山漁村体験・農林漁家泊体験を実施している割合が低い傾向にあることを示している。集団宿泊活動の目的として重視していることが、人間関係や集団活動に関する項目が高い傾向にあることからすると、農林漁業体験や数名で分宿する農林漁家泊を集団宿泊活動の目的や内容にする学校は少ないであろう。

また、教育再生会議が集団宿泊活動の長期化と農林漁業体験を併せて提言していることから、集団宿泊活動を長期とすることで農林漁業体験・農林漁家泊体験を併せて実施することが可能になることが期待されていたとすると、集団宿泊活動の一定期間（1週間程度）実施が進んでいないことも、農林漁業体験・農林漁家泊体験が多くない一因であろう。

本調査では、農林漁業体験・農林漁家泊を実施した中学校の5割は、修学旅行に位置付けている（結果は p.45）。これは、中学校の自然の中での集団宿泊活動の実施率が低いことと関係すると考えられる。自然の中での集団宿泊活動は実施しないが、「自然に触れる体験」は必要と考え、修学旅行の内容（名所旧跡の見学といった社会的・文化的な体験）を見直し、農林漁業体験・農林漁家泊体験を取り入れたということも考えられよう。今後の子ども農山漁村交流プロジェクトが、全校種及び集団宿泊的行事を想定した支援措置を講じることから、中学校、高等学校の修学旅行での実施が進むのではないだろうか。また、自然の中での集団宿泊活動で実施するならば、農林漁業体験・農林漁家泊体験と青少年教育施設等を利用した人間関係や集団活

動に関する活動を組み合わせるといった、それぞれの目的を達成する計画も考えられるであろう。

いずれにせよ、農林漁業体験・農林漁家泊体験を推進するためには、本調査が、子ども農山漁村交流プロジェクトの認知について「よく知っている」または「よく知っている」と回答した割合が4割程度であることや、「農林漁家泊を実施しない理由」として「念頭にない」が小学校、中学校ともに回答の割合が6割程度で最も高いことから、教職員への周知・啓発が必要であろう。また、集団宿泊活動を計画・実施する際の不安として、集団宿泊活動に関する事務的な業務に係る時間の確保が高かったことから、児童生徒を受け入れる農林漁家の選択・決定・連絡・調整といった業務について、教員の業務量を軽減する方策や、教員以外の担当を配置する方策などを検討することも必要であろう。

9. まとめ

集団宿泊活動を自然体験・生活体験・交流体験を通じた学びの機会として拡充するために求められることを、本調査の結果を基に検討する。

(1) 学習指導要領における集団宿泊的行事の整理

「遠足／旅行・集団宿泊的行事」における集団宿泊活動や修学旅行といった各活動は、学習指導要領には示されず学習指導要領解説特別活動編に示されているが、定義や意味の記載はない。また、修学旅行で農林漁業体験を実施したり、集団宿泊活動で職業体験として農林漁業体験を実施したりといった、これまでの区分では括れない取組もみられる。

集団宿泊的行事に取り組む教育行政、学校、青少年教育施設等が、共通概念・共通理解の下、集団宿泊的行事の各活動の在り方や目的・内容・方法等を検討したり実施したりするために、各活動を整理し意味付け・定義付けることや、各活動とも教育活動の必須事項となるよう学習指導要領に示すといったことの検討が必要であろう。

(2) 自然の中での集団宿泊活動の実施

集団宿泊活動は日数の短縮や取り止めなど縮小傾向にあり、特に、重点的に取り組む体験活動が職場体験とされた中学校において顕著である。

これは、集団宿泊的行事は学習指導要領上、小学校6年間、中学校3年間で実施することは規定されているが、どの活動を実施するかは規定されていないことも一因であろう（自然の中での集団宿泊活動か修学旅行かどちらかを実施すればよいことになっている）。

しかしながら、本調査の結果は、集団宿泊活動の成果として人間関係の形成や集団活動に関することなど、多くの事柄について小学校及び中学校の教員が認めていることを示している。また、教員にとっても児童生徒理解の深まりや児童生徒との信頼関係の構築、加えて、教員自身のコミュニケーション力やマネジメント力といった資質能力の向上といった成果も示されている。

こうした成果は集団宿泊活動における2つの教育的な機能によるものと考えられる。1つは意図的・計画的に実施される「事前・事後学習」や「各教科等に位置付けたプログラム」といった「フォーマルな機能」であり、1つは、級友と一緒に寝る・食べる・風呂に入るといった無意図的・非計画的な生活体験の「インフォーマルな機能」である。とりわけ、インフォーマルな機能は集団宿泊活動の固有的・特徴的な機能であり重要である。自然豊かな非日常的な場での寝食を共にした生活で、普段知らない仲間の一面を知ったり、普段見せない自分の一面を

仲間に見せたりすることにより理屈ではない肌感覚の人間関係を築いていく。このインフォーマルな機能と、各活動を通して人間関係の形成や集団活動に必要なことを、実感を伴って理解するフォーマルな機能とが相まって、「よりよい人間関係を築くこと」や「学級や学年への所属感や連帯感を深めること」といった高い成果につながっているのであろう。

自然の中での集団宿泊活動と修学旅行とでは目的や内容が異なる。人間関係の形成や社会参画に関する資質・能力を育む集団宿泊活動を小学校及び中学校で必須とすることの検討が必要であろう。

(3) 集団宿泊活動の日数

本調査によると、集団宿泊活動の実施日数は小中学校とも1泊2日または2泊3日が多く、教員も1泊2日や2泊3日が適当日数と考える傾向にある。また、文部科学省が推奨している一定期間（1週間程度）の実施については、現状の日数で実施するよりも不安感が高まる傾向にあるとしている。

しかし、集団宿泊活動の実施日数と適当と考える集団宿泊活動の日数の関係では、1泊2日で実施している教員は1泊2日が適当日数と考えるのに対して、3泊以上で実施している教員は3泊以上が適当日数と考える傾向にあることを示している。また、集団宿泊活動の実施日数と集団宿泊活動を一定期間（1週間程度）実施することに対する不安の関係では、3泊以上で実施している教員の方が2泊以下で実施している教員よりも低い傾向にあるといった結果や、教職員以外の指導者や引率者がいる学校の方がいない学校よりも2泊以上を適当日数とする傾向にあるという結果も示している。

一方、集団宿泊活動の実施日数と成果の関係では、実施日数が増えるほど成果が高まるという結果はみられなかったものの、2泊3日の成果が高い傾向にあるという結果が示された。また、文部科学省が「宿泊体験活動の計画・実施に当たっての留意事項」で示した「児童生徒が話し合いの時間や活動の時間を十分に取れるようプログラムに余裕を持たせること」などは、3泊以上で実施した学校の方が取り入れているという結果もある。

これらの結果を踏まえると、教員や保護者の不安や負担を軽減する方策を行い、2泊3日または3泊4日以上での実施が望まれるといえよう。

また、集団宿泊活動を一定期間（1週間程度）で実施するのであれば、国や自治体が教育施策とし、経費の補助、指導者や引率者の手配などを行うことが求められる。本調査は、一定期間で実施した場合、学校の指導・引率体制を整えることや保護者の理解を得ることへの不安が高くなる結果を示している。一定期間の実施を提言したH20答申が、「学校や保護者等の負担を招かないよう、受け入れ先の確保、宿泊等に要する費用などについて、国や教育委員会等の支援・援助の充実を図る必要がある」としているように、集団宿泊活動を一定期間（1週間程度）実施するためには、教員や学校の努力や工夫だけでは困難であり、国や自治体による継続的な支援が必要である。

(4) 学校の不安・要望への対応

①安全管理体制の整備

本調査では、集団宿泊活動を計画・実施する際の不安について、児童生徒の安全に関する事項に高い傾向が見られた。平成22年には集団宿泊的行事中に死亡事故が起こり、近年は、食物を中心としたアレルギー症状を起こす児童生徒が増えているといわれる。

施設等に求められる安全管理体制の整備の内容として、「施設・設備及び活動場所の安全点検」、「職員に対する安全管理教育」、「児童生徒への安全指導」といったことが考えられる。

例えば、「児童生徒への安全指導」については、学校が事前学習で指導ができるように教材を整備したり、指導方法を提示したりすることや、学校行事の「健康安全・体育的行事」や体育／保健体育に関連付けたプログラムの作成といったことが考えられる。また、施設等の職員が児童生徒に、入所時のオリエンテーションや活動の指導の際、直近に起こった事故事例などをまじえ安全指導することも考えられる。

そして、これらの取組を、学校・教員や教育委員会、保護者が安心できるようにホームページや利用の手引きに掲載することが必要であろう。

②施設・設備の整備

本調査によると、集団宿泊活動を計画・実施するに当たっての必要な支援については、「安全」とともに「施設・設備」といった基本的な機能への要望が高い傾向にある。施設・設備を充実するためには予算が必要である一方、予算の確保は難しいという問題もある。しかし、活動や生活の安全に支障をきたす事項には対処しなければならないし、壊れた箇所を放置しておくことは教育上好ましくない。予算、緊急度、重要度の観点から計画的に取り組むことが望まれる。

また、本調査は、利用した施設等に対する満足度に影響を与えた事項として、「宿泊室や研修室の清潔さ」が最も高い割合であることを示している。施設等が宿泊室や研修室の清掃を利用した学校が行うようにしているとすれば、児童生徒への指導の工夫や徹底、あるいは、児童生徒がやりきれないことを補う取組（例えば、業者に委託）が必要であろう。

③教員の事務的な業務の軽減

本調査の結果は、集団宿泊活動を計画・実施する際の不安について、集団宿泊活動に関する事務的な業務に関する時間の確保の割合が高いことを示している。また、集団宿泊活動を計画・実施するに当たっての必要な支援について、施設等に対しては柔軟な対応や手続きの簡略化といったサービスの対応の割合が高く、教育委員会等に対してはバスの手配、看護師や引率者、指導者の手配の代行等があがっている。

施設等には、これまでの方法に固執することなく、教員の視点に立ち、利用手続きを最低限必要なことに絞り込むなどの見直しが求められるであろう。また、教育委員会等には、集団宿泊活動に関する各学校の業務を集約し一括して実施する方策や教員に代わって業務を担う者を確保するといったことが求められるであろう。

④集団宿泊活動で育成する資質・能力に応じた各教科等に位置付けたプログラムの整備

集団宿泊活動の成果を高めるためには、集団宿泊活動における各活動を各教科等に位置付け、集団宿泊活動で育成する資質・能力を明確にするとともに、H29 学習指導要領が示している「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」を踏まえたプログラム（学習指導計画）を作成することが求められる。

本調査では、集団宿泊活動における活動を各教科等に位置付けられることを認知している教員は6割程度であること、しかし、実際は各教科等に位置付けられていること、また、各教科等に位置付けた場合に注意を要するケースがあると考えられることが明らかになった。

一方で、教員が集団宿泊活動で利用する施設に対して求めることは、集団宿泊活動における

活動を各教科等に位置付けたプログラムや職員等による指導といった教育的な機能よりも、安全管理体制の整備や施設・設備の充実といった基本的な機能の方が高い傾向にあることが明らかになった。

教員が、集団宿泊活動における各活動を各教科等に位置付けたプログラムを作成することは、体験活動に関する知識・技能や利用施設等の自然環境に関する知識が十分でないことや、時間の確保といった問題から難しいであろう。体験活動の専門的な知識・技能を有する青少年教育施設が学校の協力を得て基本となるプログラムを作成し、学校に提示することが求められる。

プログラムの整備については、本調査の実施主体である国立青少年教育振興機構が作成した『教科等に関連付けた体験活動プログラム事例集』（平成30年度）に掲載されたプログラムを参考に、各施設等がそれぞれの立地環境や有するプログラムに応じてアレンジする方法が考えられる。また、実践した結果を踏まえプログラムを改善していくことや、新たなプログラムを開発することも必要であろう。国立青少年教育振興機構には、そうした情報を継続的に収集し提供するアーカイブ的な機能を果たすことが望まれる。

⑤施設等の職員による指導

本調査によると、集団宿泊活動を計画・実施する際の不安について、教員の体験活動の指導力は低い結果になっている。このことが反映されているのか、施設を決定する際、重視したことの中の施設等の職員等が体験活動プログラムの指導を直接行うことの割合は高くない。

しかしながら、教員の大量退職・大量採用の影響により教職経験の浅い教員が今後増え体験活動の指導力の低下が懸念されることや、児童生徒の安全指導上、あるいは、より高い効果を上げるために、体験活動の専門的な知識・技能を有する施設等の職員が指導する機会を拡充することが必要であろう。

第4章 集計結果

1. 集計結果

2-1. 集団宿泊的行事の実施状況 <問2>

対象：全学校 校数：小学校668校、中学校627校（複数回答）	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 集団宿泊活動を実施した	656	98.2	453	72.2	1,109	85.6
2. 修学旅行を実施した	565	84.6	572	91.2	1,137	87.8
3. その他の行事を実施した	2	0.3	10	1.6	12	0.9

2-2. 集団宿泊活動の実施学年 <問2>

対象：問2で「集団宿泊活動を実施した」と回答した学校 校数：小学校656校、中学校453校（複数回答）	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 小学1年生	5	0.8	-	-	-	-
2. 小学2年生	5	0.8	-	-	-	-
3. 小学3年生	12	1.8	-	-	-	-
4. 小学4年生	91	13.9	-	-	-	-
5. 小学5年生	639	97.4	-	-	-	-
6. 小学6年生	76	11.6	-	-	-	-
7. 中学1年生	-	-	319	70.4	-	-
8. 中学2年生	-	-	209	46.1	-	-
9. 中学3年生	-	-	7	1.5	-	-
不明	0	0.0	1	0.2	1	0.1

(参考) 集団宿泊活動の複数学年での実施状況 <問2>

対象：問2で「集団宿泊活動を実施した」と回答した学校 校数：小学校656校、中学校453校（複数回答）	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
小学1年生～小学6年生	5	0.8	-	-	-	-
小学3年生～小学4年生	1	0.2	-	-	-	-
小学3年生～小学5年生	1	0.2	-	-	-	-
小学3年生～小学6年生	2	0.3	-	-	-	-
小学4年生～小学5年生	9	1.4	-	-	-	-
小学4年生～小学6年生	1	0.2	-	-	-	-
小学5年生～小学6年生	8	1.2	-	-	-	-
中学1年生～中学3年生	-	-	4	0.9	-	-
中学1年生～中学2年生	-	-	4	0.9	-	-

2-3. 集団宿泊活動の実施クラス数 <問2>

対象：問2で「集団宿泊活動を実施した」と回答した学校 校数：小学校656校、中学校453校（複数実施している場合は最大クラス数）	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 1クラス	145	22.1	51	11.3	196	17.7
2. 2クラス	272	41.5	89	19.6	361	32.6
3. 3クラス	144	22.0	85	18.8	229	20.6
4. 4クラス	66	10.1	83	18.3	149	13.4
5. 5クラス	16	2.4	62	13.7	78	7.0
6. 6クラス	3	0.5	37	8.2	40	3.6
7. 7クラス以上	2	0.3	40	8.8	42	3.8
不明	8	1.2	6	1.3	14	1.3

2-4. 集団宿泊活動の実施日数 <問2>

対象：問2で「集団宿泊活動を実施した」と回答した学校 校数：小学校656校、中学校453校（複数実施している場合は最大日数）	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 1泊2日	391	59.6	243	53.6	634	57.2
2. 2泊3日	217	33.1	188	41.5	405	36.5
3. 3泊4日	19	2.9	18	4.0	37	3.3
4. 4泊5日	26	4.0	2	0.4	28	2.5
5. 5泊6日	0	0.0	1	0.2	1	0.1
6. 6泊7日以上	1	0.2	0	0.0	1	0.1
不明	2	0.3	1	0.2	3	0.3

2-5. 集団宿泊活動に対する教育委員会等からの経費補助 <問2>

対象：問2で「集団宿泊活動を実施した」と回答した学校 校数：小学校656校、中学校453校	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. あり	233	35.5	125	27.6	358	32.3
2. なし	423	64.5	328	72.4	751	67.7

第4章 集計結果

1. 集計結果

2-6. 修学旅行の実施学年 <問2>

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
対象：問2で「修学旅行を実施した」と回答した学校 校数：小学校565校、中学校572校（複数回答）						
1. 小学1年生	0	0.0	-	-	-	-
2. 小学2年生	0	0.0	-	-	-	-
3. 小学3年生	0	0.0	-	-	-	-
4. 小学4年生	0	0.0	-	-	-	-
5. 小学5年生	3	0.5	-	-	-	-
6. 小学6年生	559	98.9	-	-	-	-
7. 中学1年生	-	-	0	0.0	-	-
8. 中学2年生	-	-	126	22.0	-	-
9. 中学3年生	-	-	447	78.1	-	-
不明	3	0.5	3	0.5	6	0.5

(参考) 修学旅行の複数学年での実施状況 <問2>

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
対象：問2で「修学旅行を実施した」と回答した学校 校数：小学校565校、中学校572校（複数回答）						
中学2年生～中学3年生	-	-	1	0.2	-	-

2-7. 修学旅行の実施クラス数 <問2>

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
対象：問2で「修学旅行を実施した」と回答した学校 校数：小学校565校、中学校572校（複数実施している場合は最大クラス数）						
1. 1クラス	159	28.1	70	12.2	229	20.1
2. 2クラス	216	38.2	128	22.4	344	30.3
3. 3クラス	118	20.9	110	19.2	228	20.1
4. 4クラス	52	9.2	108	18.9	160	14.1
5. 5クラス	4	0.7	66	11.5	70	6.2
6. 6クラス	5	0.9	43	7.5	48	4.2
7. 7クラス以上	0	0.0	40	7.0	40	3.5
不明	11	1.9	7	1.2	18	1.6

2-8. 修学旅行の実施日数 <問2>

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
対象：問2で「修学旅行を実施した」と回答した学校 校数：小学校565校、中学校572校（複数実施している場合は最大日数）						
1. 1泊2日	521	92.2	1	0.2	522	45.9
2. 2泊3日	42	7.4	505	88.3	547	48.1
3. 3泊4日	0	0.0	59	10.3	59	5.2
4. 4泊5日	0	0.0	3	0.5	3	0.3
5. 5泊6日	0	0.0	1	0.2	1	0.1
6. 6泊7日以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明	2	0.4	3	0.5	5	0.4

2-9. 修学旅行に対する教育委員会等からの経費補助 <問2>

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
対象：問2で「修学旅行を実施した」と回答した学校 校数：小学校565校、中学校572校						
1. あり	55	9.7	81	14.2	136	12.0
2. なし	510	90.3	491	85.8	1,001	88.0

3. 体験活動を推進する体制の整備状況 <問3>

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
対象：全学校 校数：小学校668校、中学校627校（複数回答）						
1. 保護者や地域の自治会、社会教育関係団体等の関係者で構成する「体験活動委員会」を設置	36	5.4	23	3.7	59	4.6
2. 学校の教職員で構成する「委員会・部会」を設置	141	21.1	239	38.1	380	29.3
3. 担当の教職員を配置	278	41.6	300	47.8	578	44.6
4. 学校行事の準備や運営に関する業務の一部を、外部に委託	99	14.8	100	15.9	199	15.4
5. その他	31	4.6	21	3.3	52	4.0

第4章 集計結果

1. 集計結果

4-1. 過去6年間と比較した平成29年度の集団宿泊活動の日数の変化 <問4(1)>

対象：全学校 校数：小学校668校、中学校627校（複数の行事を実施している場合は複数回答可）	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 変わらない	598	89.5	412	65.7	1,010	78.0
2. 減った	38	5.7	30	4.8	68	5.3
3. 増えた	18	2.7	10	1.6	28	2.2
4. 実施していない	13	1.9	169	27.0	182	14.1
5. 新たに実施した	5	0.7	8	1.3	13	1.0
6. その他	4	0.6	1	0.2	5	0.4

4-2. 日数を減らしたり、取りやめたりした理由 <問4(2)>

対象：問4(1)で日数が「減った」または「実施していない」と回答した学校 校数：小学校51校、中学校199校（複数回答）	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 教科の授業時数を確保したため	16	31.4	24	12.1	40	16.0
2. 学校行事を精選し、集団宿泊活動以外の活動を重視したため	12	23.5	24	12.1	36	14.4
3. 職場見学や職場体験活動を導入したため	0	0.0	9	4.5	9	3.6
4. 集団宿泊活動の効果が期待できないため	1	2.0	1	0.5	2	0.8
5. 日数を減らしても同程度の効果が期待できるため（※日数を減らした学校のみ）	15	39.5	19	63.3	34	50.0
6. 児童生徒の身体的な負担を軽減するため	20	39.2	9	4.5	29	11.6
7. 児童生徒の精神的な負担を軽減するため	9	17.6	4	2.0	13	5.2
8. 児童生徒の安全の確保が困難なため	6	11.8	0	0.0	6	2.4
9. 保護者の経済的な負担を軽減するため	12	23.5	16	8.0	28	11.2
10. 保護者や地域の方の要望を受けたため	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11. 保護者や地域の方による引率の協力といった支援が受けられなくなったため	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12. 教職員による引率体制がとりにくいため	9	17.6	3	1.5	12	4.8
13. 教職員の夜間における指導の負担を軽減するため	10	19.6	15	7.5	25	10.0
14. 教職員の体験活動の指導力に不安があるため	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15. 校長の方針や指導を受けたため	4	7.8	1	0.5	5	2.0
16. 教育委員会の方針や指導を受けたため	5	9.8	4	2.0	9	3.6
17. 教育委員会等から経費の補助といった支援が受けられなくなったため	2	3.9	3	1.5	5	2.0
18. その他	3	5.9	5	2.5	8	3.2

4-3. 日数を増やしたり、新たに実施したりした理由 <問4(3)>

対象：問4(1)で日数が「増えた」または「新たに実施した」と回答した学校 校数：小学校22校、中学校18校（複数回答）	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 活動を充実させ、教育効果を高めるため	11	50.0	15	83.3	26	65.0
2. 学校行事を精選し、集団宿泊活動を重視したため	3	13.6	5	27.8	8	20.0
3. 小学校学習指導要領解説特別活動編で、一定期間実施することが望ましいとされているため	6	27.3	0	0.0	6	15.0
4. 児童生徒の安全を確保する体制が整ったため	1	4.5	0	0.0	1	2.5
5. 保護者の経済的な負担を軽減する方策が整ったため	1	4.5	1	5.6	2	5.0
6. 保護者や地域の方の要望を受けたため	1	4.5	1	5.6	2	5.0
7. 保護者や地域の方による引率の協力といった支援が受けられたため	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8. 教職員による引率体制が整ったため	2	9.1	0	0.0	2	5.0
9. 教職員の夜間における指導の負担を軽減する方策が整ったため	1	4.5	0	0.0	1	2.5
10. 教職員の体験活動の指導力の不安を軽減したり、補ったりする方策が整ったため	1	4.5	0	0.0	1	2.5
11. 校長の方針や指導を受けたため	3	13.6	2	11.1	5	12.5
12. 教育委員会の方針や指導を受けたため	11	50.0	0	0.0	11	27.5
13. 教育委員会等から経費の補助といった支援が受けられたため	5	22.7	3	16.7	8	20.0
14. 学校の長期休業中に実施したため	1	4.5	0	0.0	1	2.5
15. その他	3	13.6	2	11.1	5	12.5

5. 新学習指導要領が全面実施される年度の集団宿泊活動実施予定 <問5>

対象：全学校 校数：小学校668校、中学校627校	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 29年度と同じように実施したい	585	87.6	391	62.4	976	75.4
2. 29年度よりも日数を増やして実施したい	3	0.4	5	0.8	8	0.6
3. 29年度よりも日数を減らして実施したい	20	3.0	19	3.0	39	3.0
4. 実施することは困難だろう	0	0.0	14	2.2	14	1.1
5. 29年度よりも日数を増やして実施することが決まっている	6	0.9	0	0.0	6	0.5
6. 実施しないこと、または、29年度よりも日数を減らして実施することが決まっている	15	2.2	138	22.0	153	11.8
7. 未定	30	4.5	49	7.8	79	6.1
8. その他	6	0.9	10	1.6	16	1.2
不明	3	0.4	1	0.2	4	0.3

第4章 集計結果

1. 集計結果

6-1. 平成29年度の集団宿泊活動で利用した施設 <問6(1)>

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
対象：問2で「集団宿泊活動を実施した」と回答した学校 校数：小学校656校、中学校453校（複数回答）						
1. 国立青少年教育施設	85	13.0	98	21.6	183	16.5
2. 公立青少年教育施設	308	47.0	144	31.8	452	40.8
3. 公立野外活動施設	143	21.8	56	12.4	199	17.9
4. 公立の保養施設	17	2.6	7	1.5	24	2.2
5. 民間の野外活動施設	41	6.3	32	7.1	73	6.6
6. ホテル・旅館・民宿	60	9.1	102	22.5	162	14.6
7. 農林漁家泊	4	0.6	20	4.4	24	2.2
8. その他	15	2.3	10	2.2	25	2.3

6-2. 利用する施設を検討する際、参考にした情報 <問6(2)>

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
対象：問2で「集団宿泊活動を実施した」と回答した学校 校数：小学校656校、中学校453校（複数回答）						
1. 施設等のホームページ	301	45.9	227	50.1	528	47.6
2. 施設等のパンフレットやリーフレット、ポスターやチラシといった紙媒体の案内情報	309	47.1	210	46.4	519	46.8
3. 施設等からの郵便、ファックス、メールでの案内情報	120	18.3	80	17.7	200	18.0
4. 施設等の職員等が行う説明会への参加や、職員等が来校しての説明	244	37.2	120	26.5	364	32.8
5. 自校の教職員からの情報	361	55.0	233	51.4	594	53.6
6. 保護者や地域の方からの情報	7	1.1	7	1.5	14	1.3
7. 他の学校からの情報	101	15.4	41	9.1	142	12.8
8. 旅行会社からの提案	55	8.4	90	19.9	145	13.1
9. 当該施設等の見学や下見	233	35.5	126	27.8	359	32.4
10. 検索サイト	4	0.6	5	1.1	9	0.8
11. マッチングサイト	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12. その他	51	7.8	25	5.5	76	6.9

6-3. 利用する施設を決定する際、重視したこと <問6(3)>

対象：問2で「集団宿泊活動を実施した」と回答した学校
校数：小学校656校、中学校453校

(1) 学校から施設等までの移動時間がかからない

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	191	29.1	117	25.8	308	27.8
3. やや重視した	230	35.1	170	37.5	400	36.1
2. どちらかという重視しなかった	129	19.7	81	17.9	210	18.9
1. 重視しなかった	61	9.3	54	11.9	115	10.4
不明	45	6.9	31	6.8	76	6.9

(2) 自然環境が豊かである

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	410	62.5	201	44.4	611	55.1
3. やや重視した	170	25.9	160	35.3	330	29.8
2. どちらかという重視しなかった	21	3.2	35	7.7	56	5.0
1. 重視しなかった	13	2.0	26	5.7	39	3.5
不明	42	6.4	31	6.8	73	6.6

(3) 近隣に体験活動や見学等に適した場所や施設がある

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	361	55.0	222	49.0	583	52.6
3. やや重視した	165	25.2	150	33.1	315	28.4
2. どちらかという重視しなかった	52	7.9	31	6.8	83	7.5
1. 重視しなかった	37	5.6	20	4.4	57	5.1
不明	41	6.3	30	6.6	71	6.4

第4章 集計結果

1. 集計結果

(4) 施設等の使用料や食事料金等が安価である

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	258	39.3	210	46.4	468	42.2
3. やや重視した	290	44.2	166	36.6	456	41.1
2. どちらかという重視しなかった	51	7.8	37	8.2	88	7.9
1. 重視しなかった	15	2.3	10	2.2	25	2.3
不明	42	6.4	30	6.6	72	6.5

(5) 野外活動のプログラムが充実している

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	363	55.3	197	43.5	560	50.5
3. やや重視した	208	31.7	151	33.3	359	32.4
2. どちらかという重視しなかった	25	3.8	38	8.4	63	5.7
1. 重視しなかった	18	2.7	37	8.2	55	5.0
不明	42	6.4	30	6.6	72	6.5

(6) 創作活動のプログラムが充実している

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	167	25.5	73	16.1	240	21.6
3. やや重視した	273	41.6	156	34.4	429	38.7
2. どちらかという重視しなかった	127	19.4	134	29.6	261	23.5
1. 重視しなかった	43	6.6	55	12.1	98	8.8
不明	46	7.0	35	7.7	81	7.3

(7) 屋内活動のプログラムが充実している

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	159	24.2	85	18.8	244	22.0
3. やや重視した	277	42.2	165	36.4	442	39.9
2. どちらかという重視しなかった	140	21.3	122	26.9	262	23.6
1. 重視しなかった	38	5.8	46	10.2	84	7.6
不明	42	6.4	35	7.7	77	6.9

(8) 環境教育のプログラムが充実している

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	107	16.3	47	10.4	154	13.9
3. やや重視した	257	39.2	142	31.3	399	36.0
2. どちらかという重視しなかった	190	29.0	173	38.2	363	32.7
1. 重視しなかった	55	8.4	57	12.6	112	10.1
不明	47	7.2	34	7.5	81	7.3

(9) 協調性を高めるといったグループ活動のプログラムが充実している

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	208	31.7	117	25.8	325	29.3
3. やや重視した	264	40.2	179	39.5	443	39.9
2. どちらかという重視しなかった	101	15.4	87	19.2	188	17.0
1. 重視しなかった	39	5.9	36	7.9	75	6.8
不明	44	6.7	34	7.5	78	7.0

(10) 利用した施設等でないと体験できない特色あるプログラムが充実している

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	214	32.6	125	27.6	339	30.6
3. やや重視した	243	37.0	124	27.4	367	33.1
2. どちらかという重視しなかった	106	16.2	123	27.2	229	20.6
1. 重視しなかった	47	7.2	47	10.4	94	8.5
不明	46	7.0	34	7.5	80	7.2

第4章 集計結果

1. 集計結果

(11) 教科等に関連付けたプログラムが充実している

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	61	9.3	18	4.0	79	7.1
3. やや重視した	238	36.3	113	24.9	351	31.7
2. どちらかという重視しなかった	242	36.9	205	45.3	447	40.3
1. 重視しなかった	70	10.7	83	18.3	153	13.8
不明	45	6.9	34	7.5	79	7.1

(12) 農林漁業体験ができる

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	19	2.9	43	9.5	62	5.6
3. やや重視した	48	7.3	32	7.1	80	7.2
2. どちらかという重視しなかった	182	27.7	114	25.2	296	26.7
1. 重視しなかった	360	54.9	228	50.3	588	53.0
不明	47	7.2	36	7.9	83	7.5

(13) 農林漁家泊ができる

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	7	1.1	33	7.3	40	3.6
3. やや重視した	15	2.3	18	4.0	33	3.0
2. どちらかという重視しなかった	138	21.0	104	23.0	242	21.8
1. 重視しなかった	449	68.4	262	57.8	711	64.1
不明	47	7.2	36	7.9	83	7.5

(14) 地域の方や民宿・民泊の方と交流ができる

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	14	2.1	46	10.2	60	5.4
3. やや重視した	31	4.7	39	8.6	70	6.3
2. どちらかという重視しなかった	126	19.2	100	22.1	226	20.4
1. 重視しなかった	438	66.8	233	51.4	671	60.5
不明	47	7.2	35	7.7	82	7.4

(15) 起床・就寝時刻が決まっていることや朝・夕のつどいがあるなど規則正しい生活を送ることができる

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	226	34.5	122	26.9	348	31.4
3. やや重視した	252	38.4	148	32.7	400	36.1
2. どちらかという重視しなかった	82	12.5	92	20.3	174	15.7
1. 重視しなかった	55	8.4	58	12.8	113	10.2
不明	41	6.3	33	7.3	74	6.7

(16) 布団を敷くことや清掃などを児童生徒が行うといった生活体験ができる

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	238	36.3	105	23.2	343	30.9
3. やや重視した	261	39.8	158	34.9	419	37.8
2. どちらかという重視しなかった	79	12.0	99	21.9	178	16.1
1. 重視しなかった	36	5.5	60	13.2	96	8.7
不明	42	6.4	31	6.8	73	6.6

(17) 清掃などは施設等が行うので、児童生徒の負担が軽減される

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	20	3.0	11	2.4	31	2.8
3. やや重視した	68	10.4	44	9.7	112	10.1
2. どちらかという重視しなかった	254	38.7	179	39.5	433	39.0
1. 重視しなかった	267	40.7	186	41.1	453	40.8
不明	47	7.2	33	7.3	80	7.2

第4章 集計結果

1. 集計結果

(18) 施設等を利用している他の学校や団体等と交流ができる

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	35	5.3	6	1.3	41	3.7
3. やや重視した	77	11.7	30	6.6	107	9.6
2. どちらかという重視しなかった	233	35.5	153	33.8	386	34.8
1. 重視しなかった	266	40.5	229	50.6	495	44.6
不明	45	6.9	35	7.7	80	7.2

(19) 自校だけで施設等を利用できる

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	114	17.4	147	32.5	261	23.5
3. やや重視した	145	22.1	132	29.1	277	25.0
2. どちらかという重視しなかった	202	30.8	88	19.4	290	26.1
1. 重視しなかった	152	23.2	53	11.7	205	18.5
不明	43	6.6	33	7.3	76	6.9

(20) 児童生徒の生活の管理がしやすい

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	213	32.5	192	42.4	405	36.5
3. やや重視した	314	47.9	184	40.6	498	44.9
2. どちらかという重視しなかった	60	9.1	36	7.9	96	8.7
1. 重視しなかった	28	4.3	10	2.2	38	3.4
不明	41	6.3	31	6.8	72	6.5

(21) 大人数が宿泊できる

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	262	39.9	180	39.7	442	39.9
3. やや重視した	225	34.3	144	31.8	369	33.3
2. どちらかという重視しなかった	81	12.3	67	14.8	148	13.3
1. 重視しなかった	45	6.9	32	7.1	77	6.9
不明	43	6.6	30	6.6	73	6.6

(22) 利用の手続きなどが煩雑でない

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	125	19.1	79	17.4	204	18.4
3. やや重視した	286	43.6	166	36.6	452	40.8
2. どちらかという重視しなかった	154	23.5	133	29.4	287	25.9
1. 重視しなかった	46	7.0	43	9.5	89	8.0
不明	45	6.9	32	7.1	77	6.9

(23) 学校の要望に対して柔軟に対応する

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	205	31.3	173	38.2	378	34.1
3. やや重視した	318	48.5	195	43.0	513	46.3
2. どちらかという重視しなかった	71	10.8	43	9.5	114	10.3
1. 重視しなかった	20	3.0	9	2.0	29	2.6
不明	42	6.4	33	7.3	75	6.8

(24) 施設・設備が充実している

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	237	36.1	187	41.3	424	38.2
3. やや重視した	320	48.8	208	45.9	528	47.6
2. どちらかという重視しなかった	43	6.6	23	5.1	66	6.0
1. 重視しなかった	13	2.0	6	1.3	19	1.7
不明	43	6.6	29	6.4	72	6.5

第4章 集計結果

1. 集計結果

(25) 特別な配慮を要する児童生徒（身体的な障害や精神的な障害）に対する施設・設備や対応が充実している

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	141	21.5	122	26.9	263	23.7
3. やや重視した	314	47.9	188	41.5	502	45.3
2. どちらかという重視しなかった	134	20.4	96	21.2	230	20.7
1. 重視しなかった	24	3.7	14	3.1	38	3.4
不明	43	6.6	33	7.3	76	6.9

(26) 宿泊室や研修室等の清掃が行き届いている

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	113	17.2	82	18.1	195	17.6
3. やや重視した	343	52.3	205	45.3	548	49.4
2. どちらかという重視しなかった	129	19.7	115	25.4	244	22.0
1. 重視しなかった	28	4.3	18	4.0	46	4.1
不明	43	6.6	33	7.3	76	6.9

(27) 食事がおいしい

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	119	18.1	97	21.4	216	19.5
3. やや重視した	310	47.3	214	47.2	524	47.2
2. どちらかという重視しなかった	139	21.2	94	20.8	233	21.0
1. 重視しなかった	45	6.9	15	3.3	60	5.4
不明	43	6.6	33	7.3	76	6.9

(28) 食物アレルギー等に対応する

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	330	50.3	248	54.7	578	52.1
3. やや重視した	216	32.9	145	32.0	361	32.6
2. どちらかという重視しなかった	42	6.4	22	4.9	64	5.8
1. 重視しなかった	24	3.7	7	1.5	31	2.8
不明	44	6.7	31	6.8	75	6.8

(29) 施設等の職員の電話や窓口での対応がよい（言葉づかいや親切的な対応等）

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	121	18.4	100	22.1	221	19.9
3. やや重視した	305	46.5	188	41.5	493	44.5
2. どちらかという重視しなかった	147	22.4	102	22.5	249	22.5
1. 重視しなかった	40	6.1	30	6.6	70	6.3
不明	43	6.6	33	7.3	76	6.9

(30) 施設等の職員等が体験活動プログラムの指導（野外炊事のやり方や安全指導等）を児童生徒に直接行う

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	215	32.8	127	28.0	342	30.8
3. やや重視した	243	37.0	148	32.7	391	35.3
2. どちらかという重視しなかった	112	17.1	98	21.6	210	18.9
1. 重視しなかった	44	6.7	48	10.6	92	8.3
不明	42	6.4	32	7.1	74	6.7

(31) 施設等の職員等が専門的な体験活動プログラム（協調性を育むグループ活動プログラム等）の指導を児童生徒に直接行う

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	142	21.6	97	21.4	239	21.6
3. やや重視した	234	35.7	134	29.6	368	33.2
2. どちらかという重視しなかった	171	26.1	133	29.4	304	27.4
1. 重視しなかった	65	9.9	55	12.1	120	10.8
不明	44	6.7	34	7.5	78	7.0

第4章 集計結果

1. 集計結果

(32) 施設等の職員から、計画の立案に際し専門的な助言（目的の整理や目的に応じたプログラムの紹介等）が得られる

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	160	24.4	86	19.0	246	22.2
3. やや重視した	277	42.2	166	36.6	443	39.9
2. どちらかという重視しなかった	135	20.6	116	25.6	251	22.6
1. 重視しなかった	42	6.4	50	11.0	92	8.3
不明	42	6.4	35	7.7	77	6.9

(33) 施設等が、外部の指導者や活動場所の紹介、手配を行う

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	80	12.2	70	15.5	150	13.5
3. やや重視した	188	28.7	127	28.0	315	28.4
2. どちらかという重視しなかった	229	34.9	152	33.6	381	34.4
1. 重視しなかった	116	17.7	69	15.2	185	16.7
不明	43	6.6	35	7.7	78	7.0

(34) 安全管理の体制が整っている

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	342	52.1	263	58.1	605	54.6
3. やや重視した	235	35.8	136	30.0	371	33.5
2. どちらかという重視しなかった	29	4.4	17	3.8	46	4.1
1. 重視しなかった	9	1.4	4	0.9	13	1.2
不明	41	6.3	33	7.3	74	6.7

(35) 施設等から病院までの距離が近い（移動時間が短い）

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	123	18.8	106	23.4	229	20.6
3. やや重視した	288	43.9	195	43.0	483	43.6
2. どちらかという重視しなかった	156	23.8	101	22.3	257	23.2
1. 重視しなかった	44	6.7	19	4.2	63	5.7
不明	45	6.9	32	7.1	77	6.9

(36) 例年利用している

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	455	69.4	251	55.4	706	63.7
3. やや重視した	132	20.1	102	22.5	234	21.1
2. どちらかという重視しなかった	20	3.0	46	10.2	66	6.0
1. 重視しなかった	8	1.2	24	5.3	32	2.9
不明	41	6.3	30	6.6	71	6.4

(37) 施設等の評判がよい（利用した人からの情報や検索サイトの投稿といったいわゆる口コミ）

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	147	22.4	94	20.8	241	21.7
3. やや重視した	273	41.6	179	39.5	452	40.8
2. どちらかという重視しなかった	142	21.6	110	24.3	252	22.7
1. 重視しなかった	50	7.6	37	8.2	87	7.8
不明	44	6.7	33	7.3	77	6.9

(38) ホームページや利用ガイドなどの案内情報が充実している

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	64	9.8	39	8.6	103	9.3
3. やや重視した	229	34.9	153	33.8	382	34.4
2. どちらかという重視しなかった	236	36.0	169	37.3	405	36.5
1. 重視しなかった	79	12.0	53	11.7	132	11.9
不明	48	7.3	39	8.6	87	7.8

第4章 集計結果

1. 集計結果

6-4. 利用した施設の総合的な満足度 <問6(4)1>

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
対象：問2で「集団宿泊活動を実施した」と回答した学校 校数：小学校656校、中学校453校						
4. 満足	296	45.1	204	45.0	500	45.1
3. やや満足	306	46.6	197	43.5	503	45.4
2. やや不満	11	1.7	13	2.9	24	2.2
1. 不満	1	0.2	1	0.2	2	0.2
不明	42	6.4	38	8.4	80	7.2

6-5. 総合的な満足度に影響を与えた要因 <問6(4)2>

対象：問2で「集団宿泊活動を実施した」と回答した学校

校数：小学校656校、中学校453校

(1) 施設等の職員等による体験活動の指導

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 影響があった	300	45.7	159	35.1	459	41.4
3. やや影響があった	248	37.8	159	35.1	407	36.7
2. あまり影響がなかった	61	9.3	73	16.1	134	12.1
1. 影響がなかった	39	5.9	47	10.4	86	7.8
不明	8	1.2	15	3.3	23	2.1

(2) 施設等の職員の対応（言葉づかい、親切、柔軟な対応等）

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 影響があった	300	45.7	170	37.5	470	42.4
3. やや影響があった	268	40.9	191	42.2	459	41.4
2. あまり影響がなかった	60	9.1	58	12.8	118	10.6
1. 影響がなかった	21	3.2	21	4.6	42	3.8
不明	7	1.1	13	2.9	20	1.8

(3) プログラムの充実度

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 影響があった	319	48.6	169	37.3	488	44.0
3. やや影響があった	244	37.2	171	37.7	415	37.4
2. あまり影響がなかった	58	8.8	60	13.2	118	10.6
1. 影響がなかった	26	4.0	38	8.4	64	5.8
不明	9	1.4	15	3.3	24	2.2

(4) 安全管理体制の充実度

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 影響があった	358	54.6	228	50.3	586	52.8
3. やや影響があった	249	38.0	171	37.7	420	37.9
2. あまり影響がなかった	35	5.3	33	7.3	68	6.1
1. 影響がなかった	7	1.1	8	1.8	15	1.4
不明	7	1.1	13	2.9	20	1.8

(5) 宿泊室や研修室等の清潔さ

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 影響があった	273	41.6	163	36.0	436	39.3
3. やや影響があった	299	45.6	211	46.6	510	46.0
2. あまり影響がなかった	71	10.8	57	12.6	128	11.5
1. 影響がなかった	6	0.9	9	2.0	15	1.4
不明	7	1.1	13	2.9	20	1.8

(6) 施設・設備の充実度

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 影響があった	292	44.5	186	41.1	478	43.1
3. やや影響があった	302	46.0	204	45.0	506	45.6
2. あまり影響がなかった	52	7.9	41	9.1	93	8.4
1. 影響がなかった	2	0.3	8	1.8	10	0.9
不明	8	1.2	14	3.1	22	2.0

第4章 集計結果

1. 集計結果

(7) 施設等の使用料や食事料金などの料金

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 影響があった	261	39.8	198	43.7	459	41.4
3. やや影響があった	312	47.6	191	42.2	503	45.4
2. あまり影響がなかった	65	9.9	38	8.4	103	9.3
1. 影響がなかった	11	1.7	14	3.1	25	2.3
不明	7	1.1	12	2.6	19	1.7

(8) 学校から施設等までの移動時間

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 影響があった	187	28.5	128	28.3	315	28.4
3. やや影響があった	283	43.1	188	41.5	471	42.5
2. あまり影響がなかった	133	20.3	84	18.5	217	19.6
1. 影響がなかった	45	6.9	40	8.8	85	7.7
不明	8	1.2	13	2.9	21	1.9

(9) 自然環境や近隣施設などの立地環境

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 影響があった	316	48.2	171	37.7	487	43.9
3. やや影響があった	266	40.5	193	42.6	459	41.4
2. あまり影響がなかった	51	7.8	54	11.9	105	9.5
1. 影響がなかった	11	1.7	21	4.6	32	2.9
不明	12	1.8	14	3.1	26	2.3

7. 集団宿泊活動に関連付けた各教科等 <問7(1)>

対象：問2で「集団宿泊活動を実施した」と回答した学校

校数：小学校656校、中学校453校（複数回答）

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 国語	90	13.7	49	10.8	139	12.5
2. 社会	179	27.3	80	17.7	259	23.4
3. 算数／数学	8	1.2	9	2.0	17	1.5
4. 理科	217	33.1	92	20.3	309	27.9
5. 音楽	86	13.1	35	7.7	121	10.9
6. 図画工作／美術	132	20.1	38	8.4	170	15.3
7. 家庭／技術・家庭	281	42.8	71	15.7	352	31.7
9. 体育／保健体育	180	27.4	122	26.9	302	27.2
10. 外国語	-	-	21	4.6	-	-
11. 生活	10	1.5	-	-	-	-
12. 特別の教科 道徳	174	26.5	91	20.1	265	23.9
13. 外国語活動	10	1.5	-	-	-	-
14. 総合的な学習の時間	407	62.0	308	68.0	715	64.5
21. 学級活動	304	46.3	225	49.7	529	47.7
22. 児童会活動／生徒会活動	9	1.4	16	3.5	25	2.3
23. クラブ活動	0	0.0	0	0.0	0	0.0
31. 儀式的行事	32	4.9	40	8.8	72	6.5
32. 文化的行事	27	4.1	54	11.9	81	7.3
33. 健康安全・体育的行事	63	9.6	94	20.8	157	14.2
34. 遠足・集団宿泊的行事／旅行・集団宿泊的行事	492	75.0	317	70.0	809	72.9
35. 勤労生産・奉仕的行事	81	12.3	103	22.7	184	16.6
40. ない	22	3.4	27	6.0	49	4.4

注：小中学校で教科等の名称が異なる場合、／（スラッシュ）以前が小学校、以後が中学校の教科等であることを表している。

第4章 集計結果

1. 集計結果

8-1. 集団宿泊活動の実施に際して重視した目的 <問8>

対象：問2で「集団宿泊活動を実施した」と回答した学校

校数：小学校656校、中学校453校

(1) 学級や学年への所属感や連帯感を深めること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	596	90.9	417	92.1	1,013	91.3
3. やや重視した	54	8.2	25	5.5	79	7.1
2. あまり重視しなかった	0	0.0	1	0.2	1	0.1
1. 重視しなかった	1	0.2	0	0.0	1	0.1
不明	5	0.8	10	2.2	15	1.4

(2) よりよい人間関係を築くこと

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	590	89.9	414	91.4	1,004	90.5
3. やや重視した	60	9.1	30	6.6	90	8.1
2. あまり重視しなかった	1	0.2	0	0.0	1	0.1
1. 重視しなかった	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明	5	0.8	9	2.0	14	1.3

(3) 不登校あるいは不登校傾向の児童生徒が学級に適応すること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	141	21.5	120	26.5	261	23.5
3. やや重視した	229	34.9	188	41.5	417	37.6
2. あまり重視しなかった	157	23.9	96	21.2	253	22.8
1. 重視しなかった	104	15.9	34	7.5	138	12.4
不明	25	3.8	15	3.3	40	3.6

(4) 協力して諸問題を解決し、よりよい学校生活を築くことができるようにすること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	493	75.2	335	74.0	828	74.7
3. やや重視した	147	22.4	96	21.2	243	21.9
2. あまり重視しなかった	11	1.7	11	2.4	22	2.0
1. 重視しなかった	0	0.0	1	0.2	1	0.1
不明	5	0.8	10	2.2	15	1.4

(5) 必要な係をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践できるようにすること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	582	88.7	370	81.7	952	85.8
3. やや重視した	64	9.8	67	14.8	131	11.8
2. あまり重視しなかった	5	0.8	6	1.3	11	1.0
1. 重視しなかった	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明	5	0.8	10	2.2	15	1.4

(6) 困難なことや思いどおりにならないことでも我慢できるようにすること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	337	51.4	190	41.9	527	47.5
3. やや重視した	251	38.3	182	40.2	433	39.0
2. あまり重視しなかった	58	8.8	67	14.8	125	11.3
1. 重視しなかった	4	0.6	2	0.4	6	0.5
不明	6	0.9	12	2.6	18	1.6

(7) 自分に自信を持ったり、自分が学級に役立っていると思ったりするなど、自己を肯定的にとらえるようにすること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	383	58.4	244	53.9	627	56.5
3. やや重視した	237	36.1	155	34.2	392	35.3
2. あまり重視しなかった	30	4.6	41	9.1	71	6.4
1. 重視しなかった	1	0.2	3	0.7	4	0.4
不明	5	0.8	10	2.2	15	1.4

第4章 集計結果

1. 集計結果

(8) 自己の生き方を考えたり、見方や考え方を深めたりすること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	152	23.2	118	26.0	270	24.3
3. やや重視した	323	49.2	197	43.5	520	46.9
2. あまり重視しなかった	155	23.6	115	25.4	270	24.3
1. 重視しなかった	20	3.0	11	2.4	31	2.8
不明	6	0.9	12	2.6	18	1.6

(9) 早寝早起きや身の回りの整理整頓、挨拶などの基本的な生活習慣を身に付けること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	421	64.2	220	48.6	641	57.8
3. やや重視した	191	29.1	164	36.2	355	32.0
2. あまり重視しなかった	36	5.5	53	11.7	89	8.0
1. 重視しなかった	2	0.3	4	0.9	6	0.5
不明	6	0.9	12	2.6	18	1.6

(10) 生命の有限性や自然の大切さを、実感を伴って理解すること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	263	40.1	119	26.3	382	34.4
3. やや重視した	274	41.8	194	42.8	468	42.2
2. あまり重視しなかった	103	15.7	109	24.1	212	19.1
1. 重視しなかった	10	1.5	19	4.2	29	2.6
不明	6	0.9	12	2.6	18	1.6

(11) 環境保全の意識を高めたり、態度を培ったりすること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	181	27.6	90	19.9	271	24.4
3. やや重視した	318	48.5	183	40.4	501	45.2
2. あまり重視しなかった	128	19.5	143	31.6	271	24.4
1. 重視しなかった	23	3.5	25	5.5	48	4.3
不明	6	0.9	12	2.6	18	1.6

(12) 見聞を広めること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	233	35.5	161	35.5	394	35.5
3. やや重視した	283	43.1	172	38.0	455	41.0
2. あまり重視しなかった	114	17.4	90	19.9	204	18.4
1. 重視しなかった	20	3.0	18	4.0	38	3.4
不明	6	0.9	12	2.6	18	1.6

(13) 地方の歴史や文化等の魅力について学び、理解を深めること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	182	27.7	162	35.8	344	31.0
3. やや重視した	189	28.8	122	26.9	311	28.0
2. あまり重視しなかった	194	29.6	111	24.5	305	27.5
1. 重視しなかった	85	13.0	46	10.2	131	11.8
不明	6	0.9	12	2.6	18	1.6

(14) 約束やルール、時間を守るなど公衆道徳について理解し、行動の仕方を身に付けること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	569	86.7	372	82.1	941	84.9
3. やや重視した	77	11.7	66	14.6	143	12.9
2. あまり重視しなかった	4	0.6	5	1.1	9	0.8
1. 重視しなかった	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明	6	0.9	10	2.2	16	1.4

第4章 集計結果

1. 集計結果

(15) 規律ある集団行動ができるようにすること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	581	88.6	393	86.8	974	87.8
3. やや重視した	66	10.1	48	10.6	114	10.3
2. あまり重視しなかった	3	0.5	2	0.4	5	0.5
1. 重視しなかった	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明	6	0.9	10	2.2	16	1.4

(16) 働くことの尊さや生産の喜びを感じることに

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	187	28.5	76	16.8	263	23.7
3. やや重視した	255	38.9	121	26.7	376	33.9
2. あまり重視しなかった	152	23.2	159	35.1	311	28.0
1. 重視しなかった	55	8.4	83	18.3	138	12.4
不明	7	1.1	14	3.1	21	1.9

(17) ボランティア活動を行うなどの社会奉仕の精神を養うこと

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	99	15.1	45	9.9	144	13.0
3. やや重視した	196	29.9	114	25.2	310	28.0
2. あまり重視しなかった	245	37.3	188	41.5	433	39.0
1. 重視しなかった	108	16.5	92	20.3	200	18.0
不明	8	1.2	14	3.1	22	2.0

(18) 災害等の非常時から身を守るための行動の仕方を身に付けたり、安全への意識を高めたりすること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	67	10.2	50	11.0	117	10.6
3. やや重視した	208	31.7	113	24.9	321	28.9
2. あまり重視しなかった	259	39.5	180	39.7	439	39.6
1. 重視しなかった	114	17.4	95	21.0	209	18.8
不明	8	1.2	15	3.3	23	2.1

(19) 楽しい思い出をつくること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	529	80.6	302	66.7	831	74.9
3. やや重視した	114	17.4	113	24.9	227	20.5
2. あまり重視しなかった	8	1.2	26	5.7	34	3.1
1. 重視しなかった	0	0.0	2	0.4	2	0.2
不明	5	0.8	10	2.2	15	1.4

(20) 教師と児童生徒のふれあいを深めること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	282	43.0	200	44.2	482	43.5
3. やや重視した	256	39.0	171	37.7	427	38.5
2. あまり重視しなかった	103	15.7	68	15.0	171	15.4
1. 重視しなかった	9	1.4	2	0.4	11	1.0
不明	6	0.9	12	2.6	18	1.6

(21) 各教科等で得た知識を、実際の場面で活用できる力を高めること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	175	26.7	58	12.8	233	21.0
3. やや重視した	323	49.2	177	39.1	500	45.1
2. あまり重視しなかった	136	20.7	161	35.5	297	26.8
1. 重視しなかった	16	2.4	44	9.7	60	5.4
不明	6	0.9	13	2.9	19	1.7

第4章 集計結果

1. 集計結果

(22) 農林漁業を、体験を通して理解すること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	36	5.5	41	9.1	77	6.9
3. やや重視した	57	8.7	40	8.8	97	8.7
2. あまり重視しなかった	162	24.7	89	19.6	251	22.6
1. 重視しなかった	373	56.9	262	57.8	635	57.3
不明	28	4.3	21	4.6	49	4.4

(23) 普段とは異なる農山漁村での生活を、体験を通して理解すること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 重視した	50	7.6	57	12.6	107	9.6
3. やや重視した	94	14.3	50	11.0	144	13.0
2. あまり重視しなかった	138	21.0	73	16.1	211	19.0
1. 重視しなかった	347	52.9	253	55.8	600	54.1
不明	27	4.1	20	4.4	47	4.2

8-2. 集団宿泊活動の実施による成果 <問8>

対象：問2で「集団宿泊活動を実施した」と回答した学校

校数：小学校656校、中学校453校

(1) 学級や学年への所属感や連帯感を深めること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 成果があった	496	75.6	350	77.3	846	76.3
3. やや成果があった	153	23.3	87	19.2	240	21.6
2. あまり成果はなかった	0	0.0	2	0.4	2	0.2
1. 成果はなかった	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明	7	1.1	14	3.1	21	1.9

(2) よりよい人間関係を築くこと

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 成果があった	422	64.3	299	66.0	721	65.0
3. やや成果があった	220	33.5	140	30.9	360	32.5
2. あまり成果はなかった	7	1.1	2	0.4	9	0.8
1. 成果はなかった	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明	7	1.1	12	2.6	19	1.7

(3) 不登校あるいは不登校傾向の児童生徒が学級に適応すること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 成果があった	105	16.0	72	15.9	177	16.0
3. やや成果があった	238	36.3	192	42.4	430	38.8
2. あまり成果はなかった	159	24.2	130	28.7	289	26.1
1. 成果はなかった	114	17.4	39	8.6	153	13.8
不明	40	6.1	20	4.4	60	5.4

(4) 協力して諸問題を解決し、よりよい学校生活を築くことができるようにすること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 成果があった	329	50.2	216	47.7	545	49.1
3. やや成果があった	298	45.4	208	45.9	506	45.6
2. あまり成果はなかった	20	3.0	13	2.9	33	3.0
1. 成果はなかった	0	0.0	1	0.2	1	0.1
不明	9	1.4	15	3.3	24	2.2

(5) 必要な係をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践できるようにすること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 成果があった	420	64.0	271	59.8	691	62.3
3. やや成果があった	220	33.5	161	35.5	381	34.4
2. あまり成果はなかった	9	1.4	7	1.5	16	1.4
1. 成果はなかった	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明	7	1.1	14	3.1	21	1.9

第4章 集計結果

1. 集計結果

(6) 困難なことや思いどおりにならないことでも我慢できるようにすること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 成果があった	179	27.3	119	26.3	298	26.9
3. やや成果があった	393	59.9	259	57.2	652	58.8
2. あまり成果はなかった	67	10.2	56	12.4	123	11.1
1. 成果はなかった	8	1.2	3	0.7	11	1.0
不明	9	1.4	16	3.5	25	2.3

(7) 自分に自信を持ったり、自分が学級に役立っていると思ったりするなど、自己を肯定的にとらえるようにすること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 成果があった	223	34.0	144	31.8	367	33.1
3. やや成果があった	370	56.4	245	54.1	615	55.5
2. あまり成果はなかった	55	8.4	48	10.6	103	9.3
1. 成果はなかった	1	0.2	2	0.4	3	0.3
不明	7	1.1	14	3.1	21	1.9

(8) 自己の生き方を考えたり、見方や考え方を深めたりすること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 成果があった	97	14.8	76	16.8	173	15.6
3. やや成果があった	331	50.5	219	48.3	550	49.6
2. あまり成果はなかった	194	29.6	126	27.8	320	28.9
1. 成果はなかった	24	3.7	15	3.3	39	3.5
不明	10	1.5	17	3.8	27	2.4

(9) 早寝早起きや身の回りの整理整頓、挨拶などの基本的な生活習慣を身に付けること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 成果があった	254	38.7	170	37.5	424	38.2
3. やや成果があった	335	51.1	218	48.1	553	49.9
2. あまり成果はなかった	51	7.8	47	10.4	98	8.8
1. 成果はなかった	7	1.1	2	0.4	9	0.8
不明	9	1.4	16	3.5	25	2.3

(10) 生命の有限性や自然の大切さを、実感を伴って理解すること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 成果があった	173	26.4	94	20.8	267	24.1
3. やや成果があった	335	51.1	199	43.9	534	48.2
2. あまり成果はなかった	125	19.1	127	28.0	252	22.7
1. 成果はなかった	12	1.8	17	3.8	29	2.6
不明	11	1.7	16	3.5	27	2.4

(11) 環境保全の意識を高めたり、態度を培ったりすること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 成果があった	109	16.6	62	13.7	171	15.4
3. やや成果があった	356	54.3	190	41.9	546	49.2
2. あまり成果はなかった	155	23.6	156	34.4	311	28.0
1. 成果はなかった	26	4.0	28	6.2	54	4.9
不明	10	1.5	17	3.8	27	2.4

(12) 見聞を広めること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 成果があった	196	29.9	135	29.8	331	29.8
3. やや成果があった	314	47.9	184	40.6	498	44.9
2. あまり成果はなかった	121	18.4	97	21.4	218	19.7
1. 成果はなかった	16	2.4	20	4.4	36	3.2
不明	9	1.4	17	3.8	26	2.3

第4章 集計結果

1. 集計結果

(13) 地方の歴史や文化等の魅力について学び、理解を深めること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 成果があった	138	21.0	119	26.3	257	23.2
3. やや成果があった	220	33.5	157	34.7	377	34.0
2. あまり成果はなかった	196	29.9	108	23.8	304	27.4
1. 成果はなかった	91	13.9	52	11.5	143	12.9
不明	11	1.7	17	3.8	28	2.5

(14) 約束やルール、時間を守るなど公衆道徳について理解し、行動の仕方を身に付けること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 成果があった	376	57.3	257	56.7	633	57.1
3. やや成果があった	260	39.6	172	38.0	432	39.0
2. あまり成果はなかった	12	1.8	9	2.0	21	1.9
1. 成果はなかった	0	0.0	1	0.2	1	0.1
不明	8	1.2	14	3.1	22	2.0

(15) 規律ある集団行動ができるようにすること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 成果があった	367	55.9	272	60.0	639	57.6
3. やや成果があった	267	40.7	164	36.2	431	38.9
2. あまり成果はなかった	14	2.1	3	0.7	17	1.5
1. 成果はなかった	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明	8	1.2	14	3.1	22	2.0

(16) 働くことの尊さや生産の喜びを感じる

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 成果があった	122	18.6	56	12.4	178	16.1
3. やや成果があった	306	46.6	139	30.7	445	40.1
2. あまり成果はなかった	164	25.0	154	34.0	318	28.7
1. 成果はなかった	52	7.9	85	18.8	137	12.4
不明	12	1.8	19	4.2	31	2.8

(17) ボランティア活動を行うなどの社会奉仕の精神を養うこと

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 成果があった	66	10.1	37	8.2	103	9.3
3. やや成果があった	224	34.1	120	26.5	344	31.0
2. あまり成果はなかった	243	37.0	187	41.3	430	38.8
1. 成果はなかった	109	16.6	91	20.1	200	18.0
不明	14	2.1	18	4.0	32	2.9

(18) 災害等の非常時から身を守るための行動の仕方を身に付けたり、安全への意識を高めたりすること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 成果があった	49	7.5	39	8.6	88	7.9
3. やや成果があった	219	33.4	121	26.7	340	30.7
2. あまり成果はなかった	261	39.8	178	39.3	439	39.6
1. 成果はなかった	114	17.4	95	21.0	209	18.8
不明	13	2.0	20	4.4	33	3.0

(19) 楽しい思い出をつくること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 成果があった	537	81.9	302	66.7	839	75.7
3. やや成果があった	105	16.0	128	28.3	233	21.0
2. あまり成果はなかった	7	1.1	8	1.8	15	1.4
1. 成果はなかった	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明	7	1.1	15	3.3	22	2.0

第4章 集計結果

1. 集計結果

(20) 教師と児童生徒のふれあいを深めること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 成果があった	299	45.6	202	44.6	501	45.2
3. やや成果があった	291	44.4	191	42.2	482	43.5
2. あまり成果はなかった	54	8.2	42	9.3	96	8.7
1. 成果はなかった	2	0.3	2	0.4	4	0.4
不明	10	1.5	16	3.5	26	2.3

(21) 各教科等で得た知識を、実際の場面で活用できる力を高めること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 成果があった	125	19.1	37	8.2	162	14.6
3. やや成果があった	341	52.0	190	41.9	531	47.9
2. あまり成果はなかった	161	24.5	156	34.4	317	28.6
1. 成果はなかった	18	2.7	52	11.5	70	6.3
不明	11	1.7	18	4.0	29	2.6

(22) 農林漁業を、体験を通して理解すること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 成果があった	34	5.2	39	8.6	73	6.6
3. やや成果があった	62	9.5	41	9.1	103	9.3
2. あまり成果はなかった	153	23.3	83	18.3	236	21.3
1. 成果はなかった	372	56.7	263	58.1	635	57.3
不明	35	5.3	27	6.0	62	5.6

(23) 普段とは異なる農山漁村での生活を、体験を通して理解すること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 成果があった	42	6.4	48	10.6	90	8.1
3. やや成果があった	101	15.4	59	13.0	160	14.4
2. あまり成果はなかった	135	20.6	69	15.2	204	18.4
1. 成果はなかった	344	52.4	251	55.4	595	53.7
不明	34	5.2	26	5.7	60	5.4

9. 集団宿泊活動の計画や実施にあたって留意したり、取り入れたりしたこと <問9>

対象：問2で「集団宿泊活動を実施した」と回答した学校

校数：小学校656校、中学校453校

(1) 児童生徒が話し合いの時間や活動の時間を十分に取れるよう、プログラムに余裕を持たせること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 行った	309	47.1	187	41.3	496	44.7
3. ある程度行った	307	46.8	212	46.8	519	46.8
2. あまり行っていない	34	5.2	46	10.2	80	7.2
1. 行っていない	1	0.2	2	0.4	3	0.3
不明	5	0.8	6	1.3	11	1.0

(2) 児童生徒が協力し合わなければならないような課題性を持たせたプログラムにすること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 行った	352	53.7	210	46.4	562	50.7
3. ある程度行った	263	40.1	191	42.2	454	40.9
2. あまり行っていない	34	5.2	44	9.7	78	7.0
1. 行っていない	3	0.5	2	0.4	5	0.5
不明	4	0.6	6	1.3	10	0.9

(3) 特定の児童生徒だけでなく、いろいろな児童生徒にリーダーの経験をさせること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 行った	347	52.9	166	36.6	513	46.3
3. ある程度行った	270	41.2	230	50.8	500	45.1
2. あまり行っていない	32	4.9	49	10.8	81	7.3
1. 行っていない	2	0.3	2	0.4	4	0.4
不明	5	0.8	6	1.3	11	1.0

第4章 集計結果

1. 集計結果

(4) 自分たちでルールを考えさせ、守らせること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 行った	304	46.3	219	48.3	523	47.2
3. ある程度行った	297	45.3	189	41.7	486	43.8
2. あまり行っていない	47	7.2	38	8.4	85	7.7
1. 行っていない	3	0.5	1	0.2	4	0.4
不明	5	0.8	6	1.3	11	1.0

(5) 自然体験活動と教科や総合的な学習の時間等の学習との関連を児童生徒に意識させ、自然への関心を高めるなど児童生徒の好奇心を刺激すること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 行った	257	39.2	128	28.3	385	34.7
3. ある程度行った	332	50.6	201	44.4	533	48.1
2. あまり行っていない	58	8.8	113	24.9	171	15.4
1. 行っていない	5	0.8	5	1.1	10	0.9
不明	4	0.6	6	1.3	10	0.9

(6) 児童生徒同士の口論・喧嘩など一時的な感情の衝突が起こった場合にも、その機会を捉えて相互理解していくための指導を行うこと

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 行った	245	37.3	107	23.6	352	31.7
3. ある程度行った	333	50.8	219	48.3	552	49.8
2. あまり行っていない	69	10.5	110	24.3	179	16.1
1. 行っていない	5	0.8	10	2.2	15	1.4
不明	4	0.6	7	1.5	11	1.0

(7) 何か問題が起こった際にも、まず児童生徒が自分達で考え解決できるよう、自発的・自治的な活動の指導を重視すること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 行った	233	35.5	108	23.8	341	30.7
3. ある程度行った	354	54.0	249	55.0	603	54.4
2. あまり行っていない	65	9.9	82	18.1	147	13.3
1. 行っていない	0	0.0	8	1.8	8	0.7
不明	4	0.6	6	1.3	10	0.9

(8) 集団宿泊活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりする活動を展開すること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 行った	397	60.5	260	57.4	657	59.2
3. ある程度行った	214	32.6	173	38.2	387	34.9
2. あまり行っていない	35	5.3	11	2.4	46	4.1
1. 行っていない	5	0.8	3	0.7	8	0.7
不明	5	0.8	6	1.3	11	1.0

(9) 失敗し試行錯誤しながら課題に取り組む活動を展開すること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 行った	197	30.0	119	26.3	316	28.5
3. ある程度行った	352	53.7	227	50.1	579	52.2
2. あまり行っていない	99	15.1	95	21.0	194	17.5
1. 行っていない	3	0.5	6	1.3	9	0.8
不明	5	0.8	6	1.3	11	1.0

(10) 教科の内容に関わる学習や探究的な活動を展開すること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 行った	124	18.9	53	11.7	177	16.0
3. ある程度行った	337	51.4	179	39.5	516	46.5
2. あまり行っていない	175	26.7	184	40.6	359	32.4
1. 行っていない	14	2.1	29	6.4	43	3.9
不明	6	0.9	8	1.8	14	1.3

第4章 集計結果

1. 集計結果

10-1. 集団宿泊活動における引率や指導の体制 <問10(1)>

対象：問2で「集団宿泊活動を実施した」と回答した学校

校数：小学校656校、中学校453校

(1) 教職員以外の引率者の人数

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
0. いなかった	470	71.6	356	78.6	826	74.5
1. 1人いた	42	6.4	27	6.0	69	6.2
2. 2人いた	12	1.8	5	1.1	17	1.5
3. 3人いた	17	2.6	4	0.9	21	1.9
4. 4人以上いた	115	17.5	61	13.5	176	15.9

(2) 教職員以外の指導者の人数

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
0. いなかった	486	74.1	337	74.4	823	74.2
1. 1人いた	35	5.3	22	4.9	57	5.1
2. 2人いた	38	5.8	14	3.1	52	4.7
3. 3人いた	20	3.0	13	2.9	33	3.0
4. 4人以上いた	77	11.7	67	14.8	144	13.0

10-2. 教職員以外の引率者や指導者の属性 <問10(2)>

対象：問10(1)で教職員以外の引率者や指導者が「いた」と回答した学校

校数：【引率者】小学校186校、中学校97校【指導者】小学校170校、中学校116校（複数回答）

(1) 教職員以外の引率者の属性

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 児童生徒の保護者	11	5.9	2	2.1	13	4.6
2. 看護師	59	31.7	26	26.8	85	30.0
3. 教育実習や教育支援ボランティア等を行った大学生	43	23.1	6	6.2	49	17.3
4. 日頃から、学校の教育活動で支援を受けている地域の方	7	3.8	5	5.2	12	4.2
5. 例年依頼している専門的な知識・技能を有している方	13	7.0	5	5.2	18	6.4
6. その他	19	10.2	10	10.3	29	10.2

(2) 教職員以外の指導者の属性

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 児童生徒の保護者	4	2.4	2	1.7	6	2.1
2. 看護師	9	5.3	1	0.9	10	3.5
3. 教育実習や教育支援ボランティア等を行った大学生	21	12.4	3	2.6	24	8.4
4. 日頃から、学校の教育活動で支援を受けている地域の方	8	4.7	8	6.9	16	5.6
5. 例年依頼している専門的な知識・技能を有している方	97	57.1	73	62.9	170	59.4
6. その他	33	19.4	26	22.4	59	20.6

10-3. 教職員以外の引率者や指導者の募集・依頼方法 <問10(3)>

対象：問10(1)で教職員以外の引率者や指導者が「いた」と回答した学校

校数：【引率者】小学校186校、中学校97校【指導者】小学校170校、中学校116校（複数回答）

(1) 教職員以外の引率者の募集・依頼方法

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 教育委員会から紹介された方に依頼した	33	17.7	12	12.4	45	15.9
2. 施設等から紹介された方に依頼した	0	0.0	1	1.0	1	0.4
3. 学校が独自に見つけた方に依頼した	70	37.6	21	21.6	91	32.2
4. その他	14	7.5	12	12.4	26	9.2

(2) 教職員以外の指導者の募集・依頼方法

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 教育委員会から紹介された方に依頼した	25	14.7	14	12.1	39	13.6
2. 施設等から紹介された方に依頼した	57	33.5	55	47.4	112	39.2
3. 学校が独自に見つけた方に依頼した	57	33.5	25	21.6	82	28.7
4. その他	27	15.9	17	14.7	44	15.4

第4章 集計結果

1. 集計結果

10-4. 教職員以外の引率者や指導者の役割 <問10(4)>

対象：問10(1)で教職員以外の引率者や指導者が「いた」と回答した学校

校数：【引率者】小学校186校、中学校97校【指導者】小学校170校、中学校116校（複数回答）

(1) 教職員以外の引率者の役割

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 計画（プログラム）への協力・助言（実施前）	20	10.8	4	4.1	24	8.5
2. 利用する施設や活動場所の下見（実施前）	7	3.8	4	4.1	11	3.9
3. 体験活動の指導（活動中）	30	16.1	7	7.2	37	13.1
4. 体験活動の指導補助（活動中）	69	37.1	16	16.5	85	30.0
5. 生活指導（活動中）	25	13.4	5	5.2	30	10.6
6. 生活指導の補助（活動中）	62	33.3	16	16.5	78	27.6
7. 特別な配慮を要する児童生徒への対応（活動中）	71	38.2	27	27.8	98	34.6
8. 全般的な運営に関する教職員の補助（活動中）	50	26.9	9	9.3	59	20.8
9. 集団宿泊活動の運営等に関する評価会への参加（実施後）	9	4.8	2	2.1	11	3.9
10. 児童生徒の事後指導への協力（実施後）	4	2.2	0	0.0	4	1.4
11. その他	10	5.4	9	9.3	19	6.7

(2) 教職員以外の指導者の役割

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 計画（プログラム）への協力・助言（実施前）	46	27.1	25	21.6	71	24.8
2. 利用する施設や活動場所の下見（実施前）	21	12.4	8	6.9	29	10.1
3. 体験活動の指導（活動中）	124	72.9	94	81.0	218	76.2
4. 体験活動の指導補助（活動中）	83	48.8	52	44.8	135	47.2
5. 生活指導（活動中）	22	12.9	6	5.2	28	9.8
6. 生活指導の補助（活動中）	27	15.9	8	6.9	35	12.2
7. 特別な配慮を要する児童生徒への対応（活動中）	25	14.7	8	6.9	33	11.5
8. 全般的な運営に関する教職員の補助（活動中）	40	23.5	9	7.8	49	17.1
9. 集団宿泊活動の運営等に関する評価会への参加（実施後）	7	4.1	1	0.9	8	2.8
10. 児童生徒の事後指導への協力（実施後）	6	3.5	3	2.6	9	3.1
11. その他	2	1.2	2	1.7	4	1.4

11. 集団宿泊的行事を行うことによる、教職員や学校への効果 <問11>

対象：全学校

校数：小学校668校、中学校627校

(1) 教員と児童生徒との信頼関係が構築できる

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 当てはまる	388	58.1	366	58.4	754	58.2
3. やや当てはまる	262	39.2	240	38.3	502	38.8
2. あまり当てはまらない	17	2.5	18	2.9	35	2.7
1. 当てはまらない	0	0.0	1	0.2	1	0.1
不明	1	0.1	2	0.3	3	0.2

(2) 普段の学校生活では見られない児童生徒の一面を見ることができると、教員の児童生徒への理解が深まる

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 当てはまる	548	82.0	518	82.6	1,066	82.3
3. やや当てはまる	118	17.7	107	17.1	225	17.4
2. あまり当てはまらない	1	0.1	0	0.0	1	0.1
1. 当てはまらない	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明	1	0.1	2	0.3	3	0.2

(3) 担当教員のコミュニケーション力（学校外の関係者や他の教職員と連絡・調整・合意するといった力量）が高まる

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 当てはまる	254	38.0	244	38.9	498	38.5
3. やや当てはまる	325	48.7	284	45.3	609	47.0
2. あまり当てはまらない	83	12.4	92	14.7	175	13.5
1. 当てはまらない	4	0.6	5	0.8	9	0.7
不明	2	0.3	2	0.3	4	0.3

第4章 集計結果

1. 集計結果

(4) 担当教員のマネジメント力（計画の立案や準備、手順通りに進めるといった力量）が高まる

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 当てはまる	287	43.0	302	48.2	589	45.5
3. やや当てはまる	342	51.2	284	45.3	626	48.3
2. あまり当てはまらない	35	5.2	38	6.1	73	5.6
1. 当てはまらない	2	0.3	1	0.2	3	0.2
不明	2	0.3	2	0.3	4	0.3

(5) 教職員の人間関係がよくなる

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 当てはまる	201	30.1	168	26.8	369	28.5
3. やや当てはまる	358	53.6	335	53.4	693	53.5
2. あまり当てはまらない	101	15.1	113	18.0	214	16.5
1. 当てはまらない	6	0.9	9	1.4	15	1.2
不明	2	0.3	2	0.3	4	0.3

(6) 保護者や地域、関係団体との連携が促進される

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 当てはまる	83	12.4	59	9.4	142	11.0
3. やや当てはまる	290	43.4	265	42.3	555	42.9
2. あまり当てはまらない	249	37.3	251	40.0	500	38.6
1. 当てはまらない	43	6.4	50	8.0	93	7.2
不明	3	0.4	2	0.3	5	0.4

12. 集団宿泊活動を実施する際に不安なこと <問12>

対象：全学校

校数：小学校668校、中学校627校

(1) 児童生徒の身体的な不安（病気、体調不良、アレルギー等）

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	394	59.0	360	57.4	754	58.2
3. やや不安	235	35.2	228	36.4	463	35.8
2. あまり不安ではない	33	4.9	35	5.6	68	5.3
1. 不安ではない	5	0.7	3	0.5	8	0.6
不明	1	0.1	1	0.2	2	0.2

(2) 児童生徒の精神的な不安（人間関係への不安やホームシック等）

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	175	26.2	148	23.6	323	24.9
3. やや不安	329	49.3	275	43.9	604	46.6
2. あまり不安ではない	151	22.6	189	30.1	340	26.3
1. 不安ではない	12	1.8	14	2.2	26	2.0
不明	1	0.1	1	0.2	2	0.2

(3) 児童生徒の野外活動等における事故

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	363	54.3	303	48.3	666	51.4
3. やや不安	266	39.8	253	40.4	519	40.1
2. あまり不安ではない	34	5.1	65	10.4	99	7.6
1. 不安ではない	4	0.6	4	0.6	8	0.6
不明	1	0.1	2	0.3	3	0.2

(4) 児童生徒の生活面の指導

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	74	11.1	89	14.2	163	12.6
3. やや不安	300	44.9	254	40.5	554	42.8
2. あまり不安ではない	250	37.4	246	39.2	496	38.3
1. 不安ではない	42	6.3	35	5.6	77	5.9
不明	2	0.3	3	0.5	5	0.4

第4章 集計結果

1. 集計結果

(5) 集団宿泊活動を実施することによる授業時数の不足

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	108	16.2	88	14.0	196	15.1
3. やや不安	226	33.8	212	33.8	438	33.8
2. あまり不安ではない	259	38.8	254	40.5	513	39.6
1. 不安ではない	73	10.9	72	11.5	145	11.2
不明	2	0.3	1	0.2	3	0.2

(6) 集団宿泊活動の事前指導の時間の確保

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	131	19.6	110	17.5	241	18.6
3. やや不安	308	46.1	280	44.7	588	45.4
2. あまり不安ではない	185	27.7	201	32.1	386	29.8
1. 不安ではない	43	6.4	35	5.6	78	6.0
不明	1	0.1	1	0.2	2	0.2

(7) 集団宿泊活動の事後指導の時間の確保

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	83	12.4	79	12.6	162	12.5
3. やや不安	270	40.4	258	41.1	528	40.8
2. あまり不安ではない	263	39.4	247	39.4	510	39.4
1. 不安ではない	51	7.6	41	6.5	92	7.1
不明	1	0.1	2	0.3	3	0.2

(8) 集団宿泊活動の教育効果があいまい

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	14	2.1	17	2.7	31	2.4
3. やや不安	86	12.9	87	13.9	173	13.4
2. あまり不安ではない	356	53.3	337	53.7	693	53.5
1. 不安ではない	209	31.3	184	29.3	393	30.3
不明	3	0.4	2	0.3	5	0.4

(9) 教職員の体験活動の指導力

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	37	5.5	37	5.9	74	5.7
3. やや不安	232	34.7	203	32.4	435	33.6
2. あまり不安ではない	318	47.6	308	49.1	626	48.3
1. 不安ではない	79	11.8	78	12.4	157	12.1
不明	2	0.3	1	0.2	3	0.2

(10) 教職員の夜間における十分な指導体制をとること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	116	17.4	118	18.8	234	18.1
3. やや不安	254	38.0	233	37.2	487	37.6
2. あまり不安ではない	243	36.4	226	36.0	469	36.2
1. 不安ではない	53	7.9	49	7.8	102	7.9
不明	2	0.3	1	0.2	3	0.2

(11) 教職員の身体的な健康

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	133	19.9	137	21.9	270	20.8
3. やや不安	263	39.4	256	40.8	519	40.1
2. あまり不安ではない	219	32.8	204	32.5	423	32.7
1. 不安ではない	51	7.6	28	4.5	79	6.1
不明	2	0.3	2	0.3	4	0.3

第4章 集計結果

1. 集計結果

(12) 教職員の時間外勤務に対する手当

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	124	18.6	124	19.8	248	19.2
3. やや不安	168	25.1	185	29.5	353	27.3
2. あまり不安ではない	244	36.5	229	36.5	473	36.5
1. 不安ではない	129	19.3	86	13.7	215	16.6
不明	3	0.4	3	0.5	6	0.5

(13) 十分な引率体制をとること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	154	23.1	140	22.3	294	22.7
3. やや不安	312	46.7	268	42.7	580	44.8
2. あまり不安ではない	158	23.7	179	28.5	337	26.0
1. 不安ではない	42	6.3	39	6.2	81	6.3
不明	2	0.3	1	0.2	3	0.2

(14) 特別な配慮を要する児童生徒（身体的な障害や精神的な障害）への対応

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	296	44.3	256	40.8	552	42.6
3. やや不安	280	41.9	273	43.5	553	42.7
2. あまり不安ではない	76	11.4	90	14.4	166	12.8
1. 不安ではない	15	2.2	7	1.1	22	1.7
不明	1	0.1	1	0.2	2	0.2

(15) 集団宿泊活動に関する事務的な業務に係る時間の確保

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	198	29.6	165	26.3	363	28.0
3. やや不安	294	44.0	290	46.3	584	45.1
2. あまり不安ではない	146	21.9	152	24.2	298	23.0
1. 不安ではない	28	4.2	18	2.9	46	3.6
不明	2	0.3	2	0.3	4	0.3

(16) 保護者の経済的な負担

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	62	9.3	99	15.8	161	12.4
3. やや不安	277	41.5	312	49.8	589	45.5
2. あまり不安ではない	280	41.9	189	30.1	469	36.2
1. 不安ではない	48	7.2	24	3.8	72	5.6
不明	1	0.1	3	0.5	4	0.3

(17) 保護者の理解を得ること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	27	4.0	15	2.4	42	3.2
3. やや不安	108	16.2	135	21.5	243	18.8
2. あまり不安ではない	419	62.7	379	60.4	798	61.6
1. 不安ではない	111	16.6	92	14.7	203	15.7
不明	3	0.4	6	1.0	9	0.7

第4章 集計結果

1. 集計結果

13. 集団宿泊活動の計画や実施にあたって必要な施設等や教育委員会からの支援 <問13>

対象：全学校

校数：小学校668校、中学校627校

(1) 施設等の職員等による児童生徒への一般的な体験活動プログラムの直接的な指導

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	349	52.2	250	39.9	599	46.3
3. どちらかという必要	215	32.2	221	35.2	436	33.7
2. どちらかという必要ではない	88	13.2	107	17.1	195	15.1
1. 必要ではない	15	2.2	45	7.2	60	4.6
不明	1	0.1	4	0.6	5	0.4

(2) 施設等の職員等による児童生徒への専門的な体験活動プログラムの直接的な指導

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	290	43.4	206	32.9	496	38.3
3. どちらかという必要	248	37.1	231	36.8	479	37.0
2. どちらかという必要ではない	107	16.0	140	22.3	247	19.1
1. 必要ではない	22	3.3	45	7.2	67	5.2
不明	1	0.1	5	0.8	6	0.5

(3) 施設等の職員による計画の立案に際しての専門的な助言

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	287	43.0	190	30.3	477	36.8
3. どちらかという必要	272	40.7	276	44.0	548	42.3
2. どちらかという必要ではない	88	13.2	118	18.8	206	15.9
1. 必要ではない	20	3.0	38	6.1	58	4.5
不明	1	0.1	5	0.8	6	0.5

(4) 各教科等に体験活動を関連付け効果的に展開するプログラムの提供

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	200	29.9	113	18.0	313	24.2
3. どちらかという必要	310	46.4	273	43.5	583	45.0
2. どちらかという必要ではない	132	19.8	197	31.4	329	25.4
1. 必要ではない	23	3.4	39	6.2	62	4.8
不明	3	0.4	5	0.8	8	0.6

(5) 人間関係の形成や、自分や仲間の個性を理解し尊重する資質・能力を高めるプログラムの提供

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	184	27.5	148	23.6	332	25.6
3. どちらかという必要	315	47.2	295	47.0	610	47.1
2. どちらかという必要ではない	146	21.9	143	22.8	289	22.3
1. 必要ではない	19	2.8	33	5.3	52	4.0
不明	4	0.6	8	1.3	12	0.9

(6) 教職員を対象にした集団宿泊活動や体験活動に関する研修会の実施

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	123	18.4	58	9.3	181	14.0
3. どちらかという必要	303	45.4	263	41.9	566	43.7
2. どちらかという必要ではない	203	30.4	251	40.0	454	35.1
1. 必要ではない	37	5.5	50	8.0	87	6.7
不明	2	0.3	5	0.8	7	0.5

(7) 集団宿泊活動の計画や指導の参考になる手引書のような資料の提供

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	196	29.3	136	21.7	332	25.6
3. どちらかという必要	342	51.2	308	49.1	650	50.2
2. どちらかという必要ではない	111	16.6	148	23.6	259	20.0
1. 必要ではない	18	2.7	29	4.6	47	3.6
不明	1	0.1	6	1.0	7	0.5

第4章 集計結果

1. 集計結果

(8) 集団宿泊活動の計画や指導の参考になる他校の実践事例集の提供

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	131	19.6	112	17.9	243	18.8
3. どちらかという必要	346	51.8	309	49.3	655	50.6
2. どちらかという必要ではない	165	24.7	171	27.3	336	25.9
1. 必要ではない	24	3.6	31	4.9	55	4.2
不明	2	0.3	4	0.6	6	0.5

(9) 集団宿泊活動の効果を測定するための資料の提供

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	84	12.6	75	12.0	159	12.3
3. どちらかという必要	280	41.9	271	43.2	551	42.5
2. どちらかという必要ではない	264	39.5	224	35.7	488	37.7
1. 必要ではない	39	5.8	52	8.3	91	7.0
不明	1	0.1	5	0.8	6	0.5

(10) 保護者等に集団宿泊活動の効果などを知らせるための資料の提供

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	99	14.8	79	12.6	178	13.7
3. どちらかという必要	273	40.9	269	42.9	542	41.9
2. どちらかという必要ではない	259	38.8	233	37.2	492	38.0
1. 必要ではない	36	5.4	42	6.7	78	6.0
不明	1	0.1	4	0.6	5	0.4

(11) 安全管理体制の整備

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	506	75.7	421	67.1	927	71.6
3. どちらかという必要	143	21.4	173	27.6	316	24.4
2. どちらかという必要ではない	14	2.1	22	3.5	36	2.8
1. 必要ではない	3	0.4	9	1.4	12	0.9
不明	2	0.3	2	0.3	4	0.3

(12) 施設・設備の充実

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	514	76.9	407	64.9	921	71.1
3. どちらかという必要	134	20.1	185	29.5	319	24.6
2. どちらかという必要ではない	11	1.6	20	3.2	31	2.4
1. 必要ではない	5	0.7	12	1.9	17	1.3
不明	4	0.6	3	0.5	7	0.5

(13) 特別な配慮を要する児童生徒（身体的な障害や精神的な障害）に対する施設・設備の充実や対応

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	491	73.5	425	67.8	916	70.7
3. どちらかという必要	156	23.4	175	27.9	331	25.6
2. どちらかという必要ではない	14	2.1	21	3.3	35	2.7
1. 必要ではない	4	0.6	4	0.6	8	0.6
不明	3	0.4	2	0.3	5	0.4

(14) 施設等の職員の対応をよくすること（言葉遣いや親切的な対応など）

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	263	39.4	207	33.0	470	36.3
3. どちらかという必要	299	44.8	293	46.7	592	45.7
2. どちらかという必要ではない	89	13.3	103	16.4	192	14.8
1. 必要ではない	14	2.1	21	3.3	35	2.7
不明	3	0.4	3	0.5	6	0.5

第4章 集計結果

1. 集計結果

(15) 利用に関して学校の要望を受け容れるなどの柔軟な対応をとること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	348	52.1	299	47.7	647	50.0
3. どちらかという必要	273	40.9	280	44.7	553	42.7
2. どちらかという必要ではない	37	5.5	37	5.9	74	5.7
1. 必要ではない	6	0.9	9	1.4	15	1.2
不明	4	0.6	2	0.3	6	0.5

(16) 利用に関する手続きなどを簡略にすること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	375	56.1	301	48.0	676	52.2
3. どちらかという必要	244	36.5	249	39.7	493	38.1
2. どちらかという必要ではない	41	6.1	57	9.1	98	7.6
1. 必要ではない	5	0.7	16	2.6	21	1.6
不明	3	0.4	4	0.6	7	0.5

(17) ホームページなどの案内情報に関する資料の充実

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	246	36.8	232	37.0	478	36.9
3. どちらかという必要	313	46.9	281	44.8	594	45.9
2. どちらかという必要ではない	92	13.8	93	14.8	185	14.3
1. 必要ではない	14	2.1	17	2.7	31	2.4
不明	3	0.4	4	0.6	7	0.5

(18) 「利用の手引」や「体験活動プログラム集」などの資料の充実

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	274	41.0	232	37.0	506	39.1
3. どちらかという必要	300	44.9	276	44.0	576	44.5
2. どちらかという必要ではない	78	11.7	92	14.7	170	13.1
1. 必要ではない	13	1.9	22	3.5	35	2.7
不明	3	0.4	5	0.8	8	0.6

(19) 施設等の職員が学校に出向いて事前・事後指導に当たることや保護者会等で説明すること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	80	12.0	68	10.8	148	11.4
3. どちらかという必要	161	24.1	166	26.5	327	25.3
2. どちらかという必要ではない	313	46.9	288	45.9	601	46.4
1. 必要ではない	109	16.3	98	15.6	207	16.0
不明	5	0.7	7	1.1	12	0.9

(20) 教育委員会等による児童生徒の交通費や宿泊費等の経費補助

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	357	53.4	327	52.2	684	52.8
3. どちらかという必要	203	30.4	205	32.7	408	31.5
2. どちらかという必要ではない	78	11.7	67	10.7	145	11.2
1. 必要ではない	27	4.0	24	3.8	51	3.9
不明	3	0.4	4	0.6	7	0.5

(21) 教育委員会等による看護師等の手配や配置

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	268	40.1	225	35.9	493	38.1
3. どちらかという必要	212	31.7	222	35.4	434	33.5
2. どちらかという必要ではない	140	21.0	140	22.3	280	21.6
1. 必要ではない	45	6.7	36	5.7	81	6.3
不明	3	0.4	4	0.6	7	0.5

第4章 集計結果

1. 集計結果

(22) 教育委員会等による引率者や指導者の手配や配置

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	188	28.1	154	24.6	342	26.4
3. どちらかという必要	214	32.0	215	34.3	429	33.1
2. どちらかという必要ではない	192	28.7	199	31.7	391	30.2
1. 必要ではない	69	10.3	54	8.6	123	9.5
不明	5	0.7	5	0.8	10	0.8

(23) 教育委員会等による特別な配慮を要する児童生徒（身体的な障害や精神的な障害）に対応するための要員の手配や配置

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	295	44.2	273	43.5	568	43.9
3. どちらかという必要	239	35.8	223	35.6	462	35.7
2. どちらかという必要ではない	100	15.0	93	14.8	193	14.9
1. 必要ではない	31	4.6	30	4.8	61	4.7
不明	3	0.4	8	1.3	11	0.8

(24) 地域の方々による児童生徒の引率や指導への協力

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	45	6.7	42	6.7	87	6.7
3. どちらかという必要	190	28.4	174	27.8	364	28.1
2. どちらかという必要ではない	305	45.7	290	46.3	595	45.9
1. 必要ではない	124	18.6	116	18.5	240	18.5
不明	4	0.6	5	0.8	9	0.7

(25) 施設等による引率者や指導者の紹介や手配

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	124	18.6	91	14.5	215	16.6
3. どちらかという必要	241	36.1	246	39.2	487	37.6
2. どちらかという必要ではない	226	33.8	217	34.6	443	34.2
1. 必要ではない	70	10.5	66	10.5	136	10.5
不明	7	1.0	7	1.1	14	1.1

(26) 教育委員会等によるバスの手配などの事務的な業務の代行や支援

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	301	45.1	208	33.2	509	39.3
3. どちらかという必要	215	32.2	209	33.3	424	32.7
2. どちらかという必要ではない	112	16.8	151	24.1	263	20.3
1. 必要ではない	37	5.5	53	8.5	90	6.9
不明	3	0.4	6	1.0	9	0.7

(27) 教育委員会等による農林漁業体験や農林漁家泊ができる場所の紹介や手配

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	127	19.0	103	16.4	230	17.8
3. どちらかという必要	157	23.5	159	25.4	316	24.4
2. どちらかという必要ではない	244	36.5	213	34.0	457	35.3
1. 必要ではない	131	19.6	142	22.6	273	21.1
不明	9	1.3	10	1.6	19	1.5

(28) 施設等による農林漁業体験や農林漁家泊ができる場所の紹介や手配

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	109	16.3	97	15.5	206	15.9
3. どちらかという必要	164	24.6	162	25.8	326	25.2
2. どちらかという必要ではない	252	37.7	213	34.0	465	35.9
1. 必要ではない	136	20.4	146	23.3	282	21.8
不明	7	1.0	9	1.4	16	1.2

第4章 集計結果

1. 集計結果

14. 集団宿泊活動を実施する際、児童生徒にさせたいと思う体験 <問14>

対象：全学校

校数：小学校668校、中学校627校

(1) 登山や野外炊事などの野外活動

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	526	78.7	373	59.5	899	69.4
3. やや思う	113	16.9	177	28.2	290	22.4
2. あまり思わない	22	3.3	54	8.6	76	5.9
1. 思わない	5	0.7	19	3.0	24	1.9
不明	2	0.3	4	0.6	6	0.5

(2) カッターやカヌーなどの水辺の活動

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	276	41.3	227	36.2	503	38.8
3. やや思う	216	32.3	182	29.0	398	30.7
2. あまり思わない	129	19.3	156	24.9	285	22.0
1. 思わない	44	6.6	58	9.3	102	7.9
不明	3	0.4	4	0.6	7	0.5

(3) 植物観察や野鳥観察などの自然観察活動

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	314	47.0	181	28.9	495	38.2
3. やや思う	298	44.6	265	42.3	563	43.5
2. あまり思わない	53	7.9	149	23.8	202	15.6
1. 思わない	1	0.1	28	4.5	29	2.2
不明	2	0.3	4	0.6	6	0.5

(4) ネイチャークラフトや焼き板などの創作活動

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	243	36.4	135	21.5	378	29.2
3. やや思う	305	45.7	249	39.7	554	42.8
2. あまり思わない	109	16.3	197	31.4	306	23.6
1. 思わない	9	1.3	42	6.7	51	3.9
不明	2	0.3	4	0.6	6	0.5

(5) キャンプファイヤーや星空観察などの夜の活動

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	498	74.6	273	43.5	771	59.5
3. やや思う	154	23.1	236	37.6	390	30.1
2. あまり思わない	14	2.1	94	15.0	108	8.3
1. 思わない	0	0.0	20	3.2	20	1.5
不明	2	0.3	4	0.6	6	0.5

(6) 奉仕活動やボランティア活動

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	192	28.7	202	32.2	394	30.4
3. やや思う	284	42.5	258	41.1	542	41.9
2. あまり思わない	166	24.9	130	20.7	296	22.9
1. 思わない	24	3.6	31	4.9	55	4.2
不明	2	0.3	6	1.0	8	0.6

(7) 農業・林業・漁業などの勤労体験

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	144	21.6	188	30.0	332	25.6
3. やや思う	252	37.7	230	36.7	482	37.2
2. あまり思わない	214	32.0	151	24.1	365	28.2
1. 思わない	55	8.2	53	8.5	108	8.3
不明	3	0.4	5	0.8	8	0.6

第4章 集計結果

1. 集計結果

(8) 職場体験活動などキャリア教育に関わる活動

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	131	19.6	229	36.5	360	27.8
3. やや思う	247	37.0	207	33.0	454	35.1
2. あまり思わない	226	33.8	144	23.0	370	28.6
1. 思わない	61	9.1	43	6.9	104	8.0
不明	3	0.4	4	0.6	7	0.5

(9) 施設等がある地域の伝統文化に触れる活動

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	168	25.1	183	29.2	351	27.1
3. やや思う	288	43.1	310	49.4	598	46.2
2. あまり思わない	183	27.4	106	16.9	289	22.3
1. 思わない	27	4.0	24	3.8	51	3.9
不明	2	0.3	4	0.6	6	0.5

(10) 施設等がある地域の学校や地域の人と交流する活動

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	88	13.2	128	20.4	216	16.7
3. やや思う	246	36.8	261	41.6	507	39.2
2. あまり思わない	278	41.6	187	29.8	465	35.9
1. 思わない	53	7.9	45	7.2	98	7.6
不明	3	0.4	6	1.0	9	0.7

(11) スキーなどのスポーツ活動

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	152	22.8	150	23.9	302	23.3
3. やや思う	235	35.2	236	37.6	471	36.4
2. あまり思わない	211	31.6	176	28.1	387	29.9
1. 思わない	67	10.0	61	9.7	128	9.9
不明	3	0.4	4	0.6	7	0.5

(12) 名所や旧跡などの見学

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	175	26.2	173	27.6	348	26.9
3. やや思う	246	36.8	258	41.1	504	38.9
2. あまり思わない	191	28.6	162	25.8	353	27.3
1. 思わない	52	7.8	30	4.8	82	6.3
不明	4	0.6	4	0.6	8	0.6

(13) 災害時を想定した野外炊事やテント泊など防災に関する活動

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	129	19.3	150	23.9	279	21.5
3. やや思う	287	43.0	264	42.1	551	42.5
2. あまり思わない	200	29.9	171	27.3	371	28.6
1. 思わない	49	7.3	37	5.9	86	6.6
不明	3	0.4	5	0.8	8	0.6

(14) 生命の尊さについて理解することを目的にした活動

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	189	28.3	195	31.1	384	29.7
3. やや思う	333	49.9	287	45.8	620	47.9
2. あまり思わない	124	18.6	125	19.9	249	19.2
1. 思わない	19	2.8	16	2.6	35	2.7
不明	3	0.4	4	0.6	7	0.5

第4章 集計結果

1. 集計結果

(15) 持続可能な社会を創る上で重要な、様々な環境について理解することを目的にした活動

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	139	20.8	149	23.8	288	22.2
3. やや思う	348	52.1	297	47.4	645	49.8
2. あまり思わない	153	22.9	153	24.4	306	23.6
1. 思わない	24	3.6	24	3.8	48	3.7
不明	4	0.6	4	0.6	8	0.6

(16) 自然に親しむことを目的にしたレクリエーション的な活動

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	352	52.7	211	33.7	563	43.5
3. やや思う	284	42.5	318	50.7	602	46.5
2. あまり思わない	27	4.0	79	12.6	106	8.2
1. 思わない	2	0.3	15	2.4	17	1.3
不明	3	0.4	4	0.6	7	0.5

(17) 協調性や連帯感をはぐくむことを目的にしたグループ活動

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	477	71.4	387	61.7	864	66.7
3. やや思う	168	25.1	208	33.2	376	29.0
2. あまり思わない	16	2.4	20	3.2	36	2.8
1. 思わない	1	0.1	4	0.6	5	0.4
不明	6	0.9	8	1.3	14	1.1

15. 児童生徒にとって必要だと思う体験 <問15>

対象：全学校

校数：小学校668校、中学校627校

(1) 生命の有限性や自然の大切さを実感する体験

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	483	72.3	359	57.3	842	65.0
3. やや思う	177	26.5	239	38.1	416	32.1
2. あまり思わない	6	0.9	25	4.0	31	2.4
1. 思わない	1	0.1	2	0.3	3	0.2
不明	1	0.1	2	0.3	3	0.2

(2) 芸術や文化に触れ豊かな情操を育む体験

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	342	51.2	293	46.7	635	49.0
3. やや思う	277	41.5	272	43.4	549	42.4
2. あまり思わない	44	6.6	52	8.3	96	7.4
1. 思わない	4	0.6	7	1.1	11	0.8
不明	1	0.1	3	0.5	4	0.3

(3) 普段接することのない多様な人々と交流し、多様な考え方があることを知ることや、新たな人間関係を築く体験

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	404	60.5	365	58.2	769	59.4
3. やや思う	238	35.6	228	36.4	466	36.0
2. あまり思わない	23	3.4	28	4.5	51	3.9
1. 思わない	2	0.3	4	0.6	6	0.5
不明	1	0.1	2	0.3	3	0.2

(4) 障害のある者と交流し、ふれあいを深める体験

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	307	46.0	249	39.7	556	42.9
3. やや思う	285	42.7	291	46.4	576	44.5
2. あまり思わない	67	10.0	74	11.8	141	10.9
1. 思わない	8	1.2	11	1.8	19	1.5
不明	1	0.1	2	0.3	3	0.2

第4章 集計結果

1. 集計結果

(5) 働くことの尊さや喜び、大変さなどを実感する体験

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	360	53.9	346	55.2	706	54.5
3. やや思う	245	36.7	218	34.8	463	35.8
2. あまり思わない	58	8.7	49	7.8	107	8.3
1. 思わない	4	0.6	12	1.9	16	1.2
不明	1	0.1	2	0.3	3	0.2

(6) 奉仕活動やボランティア活動を通して、社会奉仕の精神を養う体験

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	336	50.3	317	50.6	653	50.4
3. やや思う	265	39.7	239	38.1	504	38.9
2. あまり思わない	64	9.6	59	9.4	123	9.5
1. 思わない	2	0.3	10	1.6	12	0.9
不明	1	0.1	2	0.3	3	0.2

(7) ルールやマナーを守ることの大切さを実感する体験

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	515	77.1	416	66.3	931	71.9
3. やや思う	141	21.1	187	29.8	328	25.3
2. あまり思わない	11	1.6	21	3.3	32	2.5
1. 思わない	0	0.0	1	0.2	1	0.1
不明	1	0.1	2	0.3	3	0.2

(8) 困難なことに挑戦する体験

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	443	66.3	357	56.9	800	61.8
3. やや思う	195	29.2	227	36.2	422	32.6
2. あまり思わない	28	4.2	38	6.1	66	5.1
1. 思わない	1	0.1	3	0.5	4	0.3
不明	1	0.1	2	0.3	3	0.2

(9) 失敗する体験

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	323	48.4	260	41.5	583	45.0
3. やや思う	253	37.9	239	38.1	492	38.0
2. あまり思わない	83	12.4	111	17.7	194	15.0
1. 思わない	8	1.2	14	2.2	22	1.7
不明	1	0.1	3	0.5	4	0.3

(10) 仲間と力を合わせて課題を達成する体験

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	577	86.4	471	75.1	1,048	80.9
3. やや思う	83	12.4	147	23.4	230	17.8
2. あまり思わない	5	0.7	6	1.0	11	0.8
1. 思わない	0	0.0	1	0.2	1	0.1
不明	3	0.4	2	0.3	5	0.4

(11) 人からありがとうと言われるなど、自分が必要とされていることを実感する体験

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	474	71.0	398	63.5	872	67.3
3. やや思う	177	26.5	194	30.9	371	28.6
2. あまり思わない	16	2.4	29	4.6	45	3.5
1. 思わない	0	0.0	4	0.6	4	0.3
不明	1	0.1	2	0.3	3	0.2

第4章 集計結果

1. 集計結果

(12) 人から助けられたり、人を助けたりする体験

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	447	66.9	368	58.7	815	62.9
3. やや思う	204	30.5	227	36.2	431	33.3
2. あまり思わない	16	2.4	25	4.0	41	3.2
1. 思わない	0	0.0	4	0.6	4	0.3
不明	1	0.1	3	0.5	4	0.3

(13) 自己や人としての生き方や在り方を深く考える体験

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	315	47.2	327	52.2	642	49.6
3. やや思う	286	42.8	239	38.1	525	40.5
2. あまり思わない	64	9.6	49	7.8	113	8.7
1. 思わない	2	0.3	6	1.0	8	0.6
不明	1	0.1	6	1.0	7	0.5

(14) 子ども会のイベントや青少年教育施設の主催事業など、学校外での多様な体験活動に参加すること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	268	40.1	201	32.1	469	36.2
3. やや思う	316	47.3	299	47.7	615	47.5
2. あまり思わない	74	11.1	103	16.4	177	13.7
1. 思わない	8	1.2	21	3.3	29	2.2
不明	2	0.3	3	0.5	5	0.4

(15) 自分が住んでいる地域の良さを実感する体験

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	377	56.4	313	49.9	690	53.3
3. やや思う	249	37.3	245	39.1	494	38.1
2. あまり思わない	39	5.8	55	8.8	94	7.3
1. 思わない	2	0.3	11	1.8	13	1.0
不明	1	0.1	3	0.5	4	0.3

(16) 自分が住んでいる地域と異なる地域の良さ、現状や課題を実感する体験

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	307	46.0	273	43.5	580	44.8
3. やや思う	304	45.5	283	45.1	587	45.3
2. あまり思わない	53	7.9	62	9.9	115	8.9
1. 思わない	3	0.4	6	1.0	9	0.7
不明	1	0.1	3	0.5	4	0.3

(17) 人間の命の基盤となる食物を作ることの大切さや大変さを実感する体験

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	342	51.2	266	42.4	608	46.9
3. やや思う	273	40.9	284	45.3	557	43.0
2. あまり思わない	43	6.4	60	9.6	103	8.0
1. 思わない	3	0.4	13	2.1	16	1.2
不明	7	1.0	4	0.6	11	0.8

第4章 集計結果

1. 集計結果

16. 集団宿泊活動を実施した学年の児童生徒のようす <問16>

対象：全学校（集団宿泊活動を実施していない場合は小学5年生または中学2年生を想定して回答）

校数：小学校668校、中学校627校

(1) 仲がよい

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	303	45.4	246	39.2	549	42.4
3. やや思う	344	51.5	341	54.4	685	52.9
2. あまり思わない	19	2.8	33	5.3	52	4.0
1. 思わない	0	0.0	1	0.2	1	0.1
不明	2	0.3	6	1.0	8	0.6

(2) ほほえましい笑いが多い

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	230	34.4	200	31.9	430	33.2
3. やや思う	387	57.9	343	54.7	730	56.4
2. あまり思わない	49	7.3	75	12.0	124	9.6
1. 思わない	0	0.0	2	0.3	2	0.2
不明	2	0.3	7	1.1	9	0.7

(3) 授業で教え合ったり、生活場面で助け合ったりしている

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	245	36.7	214	34.1	459	35.4
3. やや思う	385	57.6	356	56.8	741	57.2
2. あまり思わない	36	5.4	49	7.8	85	6.6
1. 思わない	0	0.0	1	0.2	1	0.1
不明	2	0.3	7	1.1	9	0.7

(4) 行事のときに盛り上がる

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	358	53.6	353	56.3	711	54.9
3. やや思う	271	40.6	233	37.2	504	38.9
2. あまり思わない	37	5.5	33	5.3	70	5.4
1. 思わない	0	0.0	1	0.2	1	0.1
不明	2	0.3	7	1.1	9	0.7

(5) もめごとが少ない

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	96	14.4	113	18.0	209	16.1
3. やや思う	298	44.6	302	48.2	600	46.3
2. あまり思わない	237	35.5	197	31.4	434	33.5
1. 思わない	35	5.2	9	1.4	44	3.4
不明	2	0.3	6	1.0	8	0.6

(6) 授業中の私語が少ないなど落ち着いて生活している

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	159	23.8	178	28.4	337	26.0
3. やや思う	323	48.4	297	47.4	620	47.9
2. あまり思わない	166	24.9	137	21.9	303	23.4
1. 思わない	18	2.7	9	1.4	27	2.1
不明	2	0.3	6	1.0	8	0.6

(7) 授業で自分の意見を発表する

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	106	15.9	112	17.9	218	16.8
3. やや思う	393	58.8	314	50.1	707	54.6
2. あまり思わない	162	24.3	187	29.8	349	26.9
1. 思わない	5	0.7	8	1.3	13	1.0
不明	2	0.3	6	1.0	8	0.6

第4章 集計結果

1. 集計結果

(8) 清掃当番や係活動を責任もって果たす

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	195	29.2	198	31.6	393	30.3
3. やや思う	389	58.2	343	54.7	732	56.5
2. あまり思わない	73	10.9	79	12.6	152	11.7
1. 思わない	8	1.2	1	0.2	9	0.7
不明	3	0.4	6	1.0	9	0.7

(9) 規則を守る

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	155	23.2	226	36.0	381	29.4
3. やや思う	414	62.0	346	55.2	760	58.7
2. あまり思わない	91	13.6	46	7.3	137	10.6
1. 思わない	6	0.9	3	0.5	9	0.7
不明	2	0.3	6	1.0	8	0.6

(10) 挨拶や整理整頓など、基本的な生活習慣が身に付いている

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 思う	96	14.4	147	23.4	243	18.8
3. やや思う	434	65.0	373	59.5	807	62.3
2. あまり思わない	129	19.3	99	15.8	228	17.6
1. 思わない	7	1.0	2	0.3	9	0.7
不明	2	0.3	6	1.0	8	0.6

17-1. 集団宿泊活動の適当な日数 <問17(1)>

対象：全学校 校数：小学校668校、中学校627校	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 1泊2日	400	59.9	186	29.7	586	45.3
2. 2泊3日	227	34.0	390	62.2	617	47.6
3. 3泊4日	20	3.0	36	5.7	56	4.3
4. 4泊5日	17	2.5	5	0.8	22	1.7
5. 5泊6日以上	2	0.3	3	0.5	5	0.4
6. 実施する必要はない	0	0.0	4	0.6	4	0.3
不明	2	0.3	3	0.5	5	0.4

17-2. 適当な日数と考える理由 <問17(2)>

対象：全学校 校数：小学校668校、中学校627校（複数回答）	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 効果をあげるのに十分な日数	319	47.8	254	40.5	573	44.2
2. 効果をあげるには必要な日数	163	24.4	256	40.8	419	32.4
3. 教科の授業時数に支障がない日数	333	49.9	299	47.7	632	48.8
4. 児童生徒にとって適度な負荷となる日数	394	59.0	272	43.4	666	51.4
5. 児童生徒にある程度の負荷をかけるためには必要な日数	64	9.6	55	8.8	119	9.2
6. 保護者に経済的な負担を比較的かけない日数	230	34.4	206	32.9	436	33.7
7. 保護者に経済的な負担はかけるが許容される日数	97	14.5	142	22.6	239	18.5
8. 保護者の理解が得られる日数	172	25.7	136	21.7	308	23.8
9. 教職員による引率体制がとれる日数	392	58.7	291	46.4	683	52.7
10. その他	3	0.4	7	1.1	10	0.8

18. 集団宿泊活動を一定期間（1週間程度）実施することについての考え <問18>

対象：全学校 校数：小学校668校、中学校627校	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 実施したい	40	6.0	43	6.9	83	6.4
2. 実施したいが困難	289	43.3	261	41.6	550	42.5
3. どちらかというを実施する必要はない	199	29.8	195	31.1	394	30.4
4. 実施する必要はない	136	20.4	118	18.8	254	19.6
不明	4	0.6	10	1.6	14	1.1

第4章 集計結果

1. 集計結果

19. 集団宿泊活動を一定期間（1週間程度）にわたって行う場合に不安なこと <問19>

対象：全学校

校数：小学校668校、中学校627校

(1) 児童生徒の身体的な不安（病気、体調不良、アレルギー等）

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	570	85.3	484	77.2	1,054	81.4
3. やや不安	82	12.3	121	19.3	203	15.7
2. あまり不安ではない	11	1.6	16	2.6	27	2.1
1. 不安ではない	3	0.4	1	0.2	4	0.3
不明	2	0.3	5	0.8	7	0.5

(2) 児童生徒の精神的な不安（人間関係への不安やホームシック等）

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	436	65.3	351	56.0	787	60.8
3. やや不安	177	26.5	191	30.5	368	28.4
2. あまり不安ではない	47	7.0	75	12.0	122	9.4
1. 不安ではない	5	0.7	5	0.8	10	0.8
不明	3	0.4	5	0.8	8	0.6

(3) 児童生徒の野外活動等における事故

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	443	66.3	379	60.4	822	63.5
3. やや不安	191	28.6	175	27.9	366	28.3
2. あまり不安ではない	29	4.3	62	9.9	91	7.0
1. 不安ではない	3	0.4	6	1.0	9	0.7
不明	2	0.3	5	0.8	7	0.5

(4) 児童生徒の生活面の指導

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	299	44.8	250	39.9	549	42.4
3. やや不安	253	37.9	217	34.6	470	36.3
2. あまり不安ではない	102	15.3	141	22.5	243	18.8
1. 不安ではない	11	1.6	13	2.1	24	1.9
不明	3	0.4	6	1.0	9	0.7

(5) 集団宿泊活動を実施することによる授業時数の不足

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	512	76.6	452	72.1	964	74.4
3. やや不安	113	16.9	124	19.8	237	18.3
2. あまり不安ではない	35	5.2	44	7.0	79	6.1
1. 不安ではない	6	0.9	4	0.6	10	0.8
不明	2	0.3	3	0.5	5	0.4

(6) 集団宿泊活動の事前指導の時間の確保

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	397	59.4	315	50.2	712	55.0
3. やや不安	199	29.8	217	34.6	416	32.1
2. あまり不安ではない	62	9.3	84	13.4	146	11.3
1. 不安ではない	8	1.2	8	1.3	16	1.2
不明	2	0.3	3	0.5	5	0.4

(7) 集団宿泊活動の事後指導の時間の確保

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	322	48.2	265	42.3	587	45.3
3. やや不安	235	35.2	232	37.0	467	36.1
2. あまり不安ではない	100	15.0	119	19.0	219	16.9
1. 不安ではない	9	1.3	8	1.3	17	1.3
不明	2	0.3	3	0.5	5	0.4

第4章 集計結果

1. 集計結果

(8) 集団宿泊活動の教育効果があいまい

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	180	26.9	142	22.6	322	24.9
3. やや不安	248	37.1	248	39.6	496	38.3
2. あまり不安ではない	191	28.6	181	28.9	372	28.7
1. 不安ではない	46	6.9	51	8.1	97	7.5
不明	3	0.4	5	0.8	8	0.6

(9) 教職員の体験活動の指導力

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	217	32.5	169	27.0	386	29.8
3. やや不安	277	41.5	272	43.4	549	42.4
2. あまり不安ではない	153	22.9	160	25.5	313	24.2
1. 不安ではない	19	2.8	22	3.5	41	3.2
不明	2	0.3	4	0.6	6	0.5

(10) 教職員の夜間における十分な指導体制をとること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	463	69.3	359	57.3	822	63.5
3. やや不安	168	25.1	191	30.5	359	27.7
2. あまり不安ではない	30	4.5	69	11.0	99	7.6
1. 不安ではない	5	0.7	4	0.6	9	0.7
不明	2	0.3	4	0.6	6	0.5

(11) 教職員の身体的な健康

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	465	69.6	400	63.8	865	66.8
3. やや不安	164	24.6	171	27.3	335	25.9
2. あまり不安ではない	29	4.3	49	7.8	78	6.0
1. 不安ではない	8	1.2	3	0.5	11	0.8
不明	2	0.3	4	0.6	6	0.5

(12) 教職員の時間外勤務に対する手当

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	323	48.4	302	48.2	625	48.3
3. やや不安	170	25.4	172	27.4	342	26.4
2. あまり不安ではない	124	18.6	118	18.8	242	18.7
1. 不安ではない	47	7.0	31	4.9	78	6.0
不明	4	0.6	4	0.6	8	0.6

(13) 十分な引率体制をとること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	504	75.4	395	63.0	899	69.4
3. やや不安	138	20.7	175	27.9	313	24.2
2. あまり不安ではない	20	3.0	48	7.7	68	5.3
1. 不安ではない	4	0.6	5	0.8	9	0.7
不明	2	0.3	4	0.6	6	0.5

(14) 特別な配慮を要する児童生徒（身体的な障害や精神的な障害）への対応

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	539	80.7	447	71.3	986	76.1
3. やや不安	112	16.8	148	23.6	260	20.1
2. あまり不安ではない	13	1.9	26	4.1	39	3.0
1. 不安ではない	2	0.3	2	0.3	4	0.3
不明	2	0.3	4	0.6	6	0.5

第4章 集計結果

1. 集計結果

(15) 集団宿泊活動に関する事務的な業務に係る時間の確保

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	391	58.5	321	51.2	712	55.0
3. やや不安	201	30.1	217	34.6	418	32.3
2. あまり不安ではない	65	9.7	81	12.9	146	11.3
1. 不安ではない	8	1.2	4	0.6	12	0.9
不明	3	0.4	4	0.6	7	0.5

(16) 保護者の経済的な負担

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	378	56.6	342	54.5	720	55.6
3. やや不安	191	28.6	201	32.1	392	30.3
2. あまり不安ではない	83	12.4	70	11.2	153	11.8
1. 不安ではない	13	1.9	10	1.6	23	1.8
不明	3	0.4	4	0.6	7	0.5

(17) 保護者の理解を得ること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 不安	300	44.9	253	40.4	553	42.7
3. やや不安	244	36.5	229	36.5	473	36.5
2. あまり不安ではない	102	15.3	120	19.1	222	17.1
1. 不安ではない	14	2.1	13	2.1	27	2.1
不明	8	1.2	12	1.9	20	1.5

20. 集団宿泊活動を一定期間にわたって行う場合に必要なこと <問20>

対象：全学校

校数：小学校668校、中学校627校

(1) 各教科等に体験活動を関連付け効果的に展開するプログラムの提供

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	461	69.0	349	55.7	810	62.5
3. やや必要	173	25.9	219	34.9	392	30.3
2. あまり必要ではない	26	3.9	39	6.2	65	5.0
1. 必要ではない	6	0.9	11	1.8	17	1.3
不明	2	0.3	9	1.4	11	0.8

(2) 集団宿泊活動の計画や指導のための手引書のような資料の提供

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	448	67.1	358	57.1	806	62.2
3. やや必要	186	27.8	212	33.8	398	30.7
2. あまり必要ではない	28	4.2	40	6.4	68	5.3
1. 必要ではない	4	0.6	9	1.4	13	1.0
不明	2	0.3	8	1.3	10	0.8

(3) 集団宿泊活動の計画や指導の参考となる長期集団宿泊活動の事例集の提供

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	434	65.0	350	55.8	784	60.5
3. やや必要	187	28.0	213	34.0	400	30.9
2. あまり必要ではない	38	5.7	46	7.3	84	6.5
1. 必要ではない	7	1.0	10	1.6	17	1.3
不明	2	0.3	8	1.3	10	0.8

(4) 集団宿泊活動の効果を測定するための資料の提供

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	317	47.5	261	41.6	578	44.6
3. やや必要	242	36.2	252	40.2	494	38.1
2. あまり必要ではない	96	14.4	85	13.6	181	14.0
1. 必要ではない	10	1.5	21	3.3	31	2.4
不明	3	0.4	8	1.3	11	0.8

第4章 集計結果

1. 集計結果

(5) 保護者等に集団宿泊活動の効果などを伝える資料の提供

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	371	55.5	296	47.2	667	51.5
3. やや必要	213	31.9	239	38.1	452	34.9
2. あまり必要ではない	74	11.1	71	11.3	145	11.2
1. 必要ではない	7	1.0	12	1.9	19	1.5
不明	3	0.4	9	1.4	12	0.9

(6) 集団宿泊活動や体験活動に関する先生方の研修の機会の提供

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	323	48.4	240	38.3	563	43.5
3. やや必要	261	39.1	270	43.1	531	41.0
2. あまり必要ではない	71	10.6	90	14.4	161	12.4
1. 必要ではない	9	1.3	17	2.7	26	2.0
不明	4	0.6	10	1.6	14	1.1

(7) 外部の指導者やボランティア等の協力

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	475	71.1	368	58.7	843	65.1
3. やや必要	153	22.9	183	29.2	336	25.9
2. あまり必要ではない	34	5.1	57	9.1	91	7.0
1. 必要ではない	3	0.4	11	1.8	14	1.1
不明	3	0.4	8	1.3	11	0.8

(8) 教育委員会等による児童生徒の交通費や宿泊費等の経費補助

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	527	78.9	458	73.0	985	76.1
3. やや必要	117	17.5	135	21.5	252	19.5
2. あまり必要ではない	19	2.8	19	3.0	38	2.9
1. 必要ではない	2	0.3	7	1.1	9	0.7
不明	3	0.4	8	1.3	11	0.8

(9) 教育委員会等による外部の指導者やボランティア、活動場所等の紹介や手配

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	460	68.9	359	57.3	819	63.2
3. やや必要	160	24.0	190	30.3	350	27.0
2. あまり必要ではない	40	6.0	57	9.1	97	7.5
1. 必要ではない	5	0.7	12	1.9	17	1.3
不明	3	0.4	9	1.4	12	0.9

(10) 教育委員会等による特別な配慮を要する児童生徒（身体的な障害や精神的な障害）に対応するための要員の手配や配置

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	510	76.3	432	68.9	942	72.7
3. やや必要	129	19.3	151	24.1	280	21.6
2. あまり必要ではない	21	3.1	28	4.5	49	3.8
1. 必要ではない	6	0.9	8	1.3	14	1.1
不明	2	0.3	8	1.3	10	0.8

(11) 施設等による外部の指導者やボランティア、活動場所等の紹介や手配

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	434	65.0	355	56.6	789	60.9
3. やや必要	184	27.5	203	32.4	387	29.9
2. あまり必要ではない	41	6.1	51	8.1	92	7.1
1. 必要ではない	7	1.0	10	1.6	17	1.3
不明	2	0.3	8	1.3	10	0.8

(12) 教育委員会等による児童生徒の傷病や体調不良に対応する看護師等の手配や配置

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. 必要	483	72.3	391	62.4	874	67.5
3. やや必要	136	20.4	158	25.2	294	22.7
2. あまり必要ではない	35	5.2	51	8.1	86	6.6
1. 必要ではない	5	0.7	14	2.2	19	1.5
不明	9	1.3	13	2.1	22	1.7

第4章 集計結果

1. 集計結果

21-1. 平成29年度の学校行事における農林漁業体験・農林漁家泊の実施状況 <問21(1)>

対象：全学校 校数：小学校668校、中学校627校	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 農林漁業体験だけを実施した	48	7.2	35	5.6	83	6.4
2. 農林漁家泊だけを実施した	3	0.4	7	1.1	10	0.8
3. 農林漁業体験と農林漁家泊を実施した	7	1.0	59	9.4	66	5.1
4. 実施していない	605	90.6	524	83.6	1,129	87.2
不明	5	0.7	2	0.3	7	0.5

21-2. 農林漁業体験・農林漁家泊を実施した行事 <問21(2)>

対象：問21(1)で農林漁業体験または農林漁家泊を「実施した」と回答した学校 校数：小学校58校、中学校101校（複数回答）	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 遠足	4	6.9	4	4.0	8	5.0
2. 修学旅行	4	6.9	51	50.5	55	34.6
3. 集団宿泊活動	35	60.3	45	44.6	80	50.3
4. その他	19	32.8	7	6.9	26	16.4
不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0

21-3. 農林漁業体験・農林漁家泊の実施学年 <問21(2)>

対象：問21(1)で農林漁業体験または農林漁家泊を「実施した」と回答した学校 校数：小学校58校、中学校101校（複数回答）	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 小学1年生	2	3.4	-	-	-	-
2. 小学2年生	4	6.9	-	-	-	-
3. 小学3年生	7	12.1	-	-	-	-
4. 小学4年生	9	15.5	-	-	-	-
5. 小学5年生	47	81.0	-	-	-	-
6. 小学6年生	11	19.0	-	-	-	-
7. 中学1年生	-	-	15	14.9	-	-
8. 中学2年生	-	-	44	43.6	-	-
9. 中学3年生	-	-	48	47.5	-	-
不明	1	1.7	6	5.9	7	4.4

21-4. 農林漁業体験・農林漁家泊の受入先における活動の調整を行った者 <問21(3)>

対象：問21(1)で農林漁業体験または農林漁家泊を「実施した」と回答した学校 校数：小学校58校、中学校101校	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 教職員が、個々の活動先と個別に調整した	34	58.6	14	13.9	48	30.2
2. 委託した旅行業者が調整した	8	13.8	52	51.5	60	37.7
3. 受け入れ先で設置されている協議会やNPO等が調整した	9	15.5	32	31.7	41	25.8
4. その他	7	12.1	3	3.0	10	6.3
不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0

21-5. 農林漁家泊を実施していない理由 <問21(4)>

対象：問21(1)で農林漁家泊を「実施していない」と回答した学校 校数：小学校653校、中学校559校（複数回答）	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 農林漁家に宿泊すること自体念頭になかった	392	60.0	318	56.9	710	58.6
2. 農林漁家に宿泊する意義を感じていない	48	7.4	78	14.0	126	10.4
3. 農林漁家に宿泊することに関する情報が不足している	206	31.5	135	24.2	341	28.1
4. これまでの取組に変えて、新たに農林漁家泊を実施することに抵抗がある	227	34.8	161	28.8	388	32.0
5. 学校内における理解が得られていない	88	13.5	74	13.2	162	13.4
6. 保護者の理解が得られていない	84	12.9	50	8.9	134	11.1
7. 児童生徒の安全確保に不安がある	173	26.5	86	15.4	259	21.4
8. 食物アレルギーへの対応等、農林漁家が提供する食事面に不安がある	159	24.3	94	16.8	253	20.9
9. 職員等の目が行き届かないので、複数の家に児童生徒が分散して宿泊することに不安がある	220	33.7	112	20.0	332	27.4
10. 複数の家に児童生徒が分散して宿泊するので、学級や学年としての集団活動に馴染まない	154	23.6	77	13.8	231	19.1
11. 複数の農林漁家と、どのように調整すればよいかわからない	135	20.7	68	12.2	203	16.7
12. 国公立の青少年教育施設等を利用するよりも宿泊費などの経費がかかる	87	13.3	37	6.6	124	10.2
13. その他	40	6.1	74	13.2	114	9.4

第4章 集計結果

1. 集計結果

22. 体験活動等に関する施策等に対する回答者の認知 <問22>

対象：全学校

校数：小学校668校、中学校627校

(1) 現学習指導要領（平成20年告示）で、小中学校の教育内容の主な改善点として「体験活動の充実」が提示されていること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. よく知っている	253	37.9	183	29.2	436	33.7
3. 知っている	329	49.3	323	51.5	652	50.3
2. 聞いたことがある	65	9.7	78	12.4	143	11.0
1. 知らない	21	3.1	43	6.9	64	4.9
不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0

(2) 次期学習指導要領（平成29年告示）で、小中学校の教育内容の主な改善点として「体験活動の充実」が提示されていること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. よく知っている	244	36.5	183	29.2	427	33.0
3. 知っている	331	49.6	322	51.4	653	50.4
2. 聞いたことがある	76	11.4	87	13.9	163	12.6
1. 知らない	17	2.5	35	5.6	52	4.0
不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0

(3) 小学校は自然の中での集団宿泊活動、中学校は職場体験を重点的に推進することが望まれるとされていること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. よく知っている	233	34.9	206	32.9	439	33.9
3. 知っている	333	49.9	302	48.2	635	49.0
2. 聞いたことがある	86	12.9	79	12.6	165	12.7
1. 知らない	15	2.2	38	6.1	53	4.1
不明	1	0.1	2	0.3	3	0.2

(4) 体験活動の効果を高めるためには、一定期間（例えば、1週間（5日間程度））実施することが望まれるとされていること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. よく知っている	125	18.7	113	18.0	238	18.4
3. 知っている	234	35.0	238	38.0	472	36.4
2. 聞いたことがある	178	26.6	151	24.1	329	25.4
1. 知らない	129	19.3	124	19.8	253	19.5
不明	2	0.3	1	0.2	3	0.2

(5) 農林漁業体験や農林漁家での民泊等を行うといった「子ども農山漁村交流プロジェクト」が推進されていること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. よく知っている	82	12.3	61	9.7	143	11.0
3. 知っている	196	29.3	184	29.3	380	29.3
2. 聞いたことがある	223	33.4	216	34.4	439	33.9
1. 知らない	166	24.9	166	26.5	332	25.6
不明	1	0.1	0	0.0	1	0.1

(6) 集団宿泊活動に教科の内容にかかわる活動が含まれる場合、当該活動について教科の学習として位置付けられること

	小学校		中学校		全体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. よく知っている	137	20.5	84	13.4	221	17.1
3. 知っている	320	47.9	267	42.6	587	45.3
2. 聞いたことがある	142	21.3	161	25.7	303	23.4
1. 知らない	65	9.7	114	18.2	179	13.8
不明	4	0.6	1	0.2	5	0.4

第4章 集計結果

1. 集計結果

23. 集団宿泊活動や体験活動に関する研修の受講状況 <問23>

対象：全学校 校数：小学校668校、中学校627校（複数回答）	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 教員委員会が主催した初任者研修（研修の中の一部の講座を含む）	386	57.8	301	48.0	687	53.1
2. 教育委員会が主催した初任者研修以外の研修（研修の中の一部の講座を含む）	201	30.1	145	23.1	346	26.7
3. 勤務した学校が実施した研修（研修の中の一部の講座を含む）	59	8.8	59	9.4	118	9.1
4. 免許状更新講習の中での講座	36	5.4	41	6.5	77	5.9
5. 青少年教育施設等が主催した免許状更新講習以外の研修会（公務及び自主参加）	130	19.5	84	13.4	214	16.5
6. 大学の授業	111	16.6	73	11.6	184	14.2
7. 大学生の時に参加した青少年教育施設等が主催した研修会	33	4.9	22	3.5	55	4.2
8. その他	19	2.8	22	3.5	41	3.2
1～8に回答なし	82	12.3	128	20.4	210	16.2

24. 回答者が大学生の頃の体験活動等の経験 <問24>

対象：全学校
校数：小学校668校、中学校627校

(1) 家族で、キャンプや登山などの野外活動をする

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. よくある	78	11.7	79	12.6	157	12.1
3. 少しある	153	22.9	125	19.9	278	21.5
2. あまりない	144	21.6	95	15.2	239	18.5
1. ほとんどない	284	42.5	313	49.9	597	46.1
不明	9	1.3	15	2.4	24	1.9

(2) 友人やサークルなどで、キャンプや登山などの野外活動をする

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. よくある	131	19.6	143	22.8	274	21.2
3. 少しある	274	41.0	222	35.4	496	38.3
2. あまりない	135	20.2	103	16.4	238	18.4
1. ほとんどない	119	17.8	145	23.1	264	20.4
不明	9	1.3	14	2.2	23	1.8

(3) 大学の授業で、キャンプや登山などの野外活動をする

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. よくある	51	7.6	54	8.6	105	8.1
3. 少しある	148	22.2	124	19.8	272	21.0
2. あまりない	154	23.1	82	13.1	236	18.2
1. ほとんどない	305	45.7	347	55.3	652	50.3
不明	10	1.5	20	3.2	30	2.3

(4) 子ども会や青少年教育施設等が主催するキャンプで、スタッフとして活動すること

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. よくある	57	8.5	45	7.2	102	7.9
3. 少しある	88	13.2	71	11.3	159	12.3
2. あまりない	122	18.3	91	14.5	213	16.4
1. ほとんどない	391	58.5	401	64.0	792	61.2
不明	10	1.5	19	3.0	29	2.2

(5) ボランティア活動をする

	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. よくある	72	10.8	59	9.4	131	10.1
3. 少しある	196	29.3	183	29.2	379	29.3
2. あまりない	175	26.2	150	23.9	325	25.1
1. ほとんどない	216	32.3	219	34.9	435	33.6
不明	9	1.3	16	2.6	25	1.9

第4章 集計結果

1. 集計結果

25-1. 回答者が小学生の時に体験した集団宿泊活動の日数 <問25(1)>

対象：全学校 校数：小学校668校、中学校627校	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 1泊2日	360	53.9	312	49.8	672	51.9
2. 2泊3日	227	34.0	222	35.4	449	34.7
3. 3泊4日	17	2.5	11	1.8	28	2.2
4. 4泊5日以上	12	1.8	10	1.6	22	1.7
5. 覚えていない	43	6.4	68	10.8	111	8.6
不明	9	1.3	4	0.6	13	1.0

25-2. 回答者が小学生の時に体験した集団宿泊活動の印象 <問25(2)>

対象：全学校 校数：小学校668校、中学校627校	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
4. よい印象	223	33.4	133	21.2	356	27.5
3. どちらかというときよい印象	320	47.9	313	49.9	633	48.9
2. どちらかというとき悪い印象	24	3.6	32	5.1	56	4.3
1. 悪い印象	4	0.6	4	0.6	8	0.6
0. 覚えていない	66	9.9	109	17.4	175	13.5
不明	31	4.6	36	5.7	67	5.2

26-1. 回答者の職名 <問26(2)>

対象：全学校 校数：小学校668校、中学校627校	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 学年主任	149	22.3	187	29.8	336	25.9
2. 教諭	173	25.9	112	17.9	285	22.0
3. 教頭・副校長	241	36.1	255	40.7	496	38.3
4. 校長	45	6.7	31	4.9	76	5.9
5. その他	58	8.7	39	6.2	97	7.5
不明	2	0.3	3	0.5	5	0.4

26-2. 回答者の年代 <問26(3)>

対象：全学校 校数：小学校668校、中学校627校	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. ~34歳	52	7.8	29	4.6	81	6.3
2. 35歳~44歳	107	16.0	79	12.6	186	14.4
3. 45歳~54歳	345	51.6	309	49.3	654	50.5
4. 55歳以上	162	24.3	207	33.0	369	28.5
不明	2	0.3	3	0.5	5	0.4

26-3. 回答者の性別 <問26(4)>

対象：全学校 校数：小学校668校、中学校627校	小学校		中学校		全 体	
	度数	割合	度数	割合	度数	割合
1. 男性	473	70.8	511	81.5	984	76.0
2. 女性	193	28.9	110	17.5	303	23.4
不明	2	0.3	6	1.0	8	0.6

2. 「集団宿泊活動における各活動の各教科等への位置付け」における「各教科等に関連付けた活動と単元等」の集計結果

【表の見方】

- 各教科等の並びは「総合的な学習の時間」→「各教科」→「特別の教科道徳」→「特別活動」の順
- 「活動名」及び「単元・題材名」は回答のとおり
- 「活動名」, 「単元・題材名」, 「時間」の空欄は, 回答が無記入
- 「備考」は回答校数, 空欄は1校

(1) 小学校

①総合的な学習の時間

分野	単元・題材名	時間	活動名	備考
自然	めざせエコキッズ	70	環境学習	
	湖畔水環境学習	41	琵琶湖学習	
	琵琶湖学習	4	調べ学習	
	湖水ウォチング	3	環境学習	
	環境調査隊	6	全般	
	自然環境調査隊	2	課題別学習	
	環境	5	登山	
	環境	2	山頂登山	
	環境について考えよう	2	ハイキング	
	環境	1	沢登り	
	地球にやさしく	16	尾瀬散策	
	君津市の自然に親しもう	11	川遊びなど	
	秋吉台について調べよう	11	活動全般	
	当別の自然に触れて	10	体験活動	
	蔵王の自然について調べよう	10	諸活動	
	私たちにできること～自然とふれあい, 自然に学ぶ～	8	矢野原湿原散策体験活動	
	ようこそ山中	8	環境, 地理	
	八ヶ岳に関する個別課題	7	調べ学習(事前, 事後)	
	曽爾高原の自然に触れる	6	登山, フィールド*アスレチック	
	北海道の自然	6	自然環境学習プログラム	
	日高の自然と触れ合おう	6	ウォークラリー	
	ふじさんぽ	5	自然体験	
	北海道の自然	4	ウォークラリー	
	白川の自然豊かな森散策		自然散策	
	山の自然を体験しよう	4	沢登り	
	山の自然を体験しよう	3	ウォークラリー	
	地域の自然環境を知る	2	野外体験	2
	身近な地域の自然		野外活動	

	森のことを考えよう	15	森林学習	
	森林を守ろう	15	自然体験	
	里山学習	2	森林教室（木工体験）	
	海に学ぼう	20	活動内容すべて	
	海を知ろう	4	海浜活動	
	水とともに生きる	2	ニジマスつかみ取り	
	自然はぼくらの学び場	8	自然体験	
	私たちと自然環境	7	イニシアチブゲーム, 沢登り	
	自然とくらしについて考えよう	6	森林探検	
	自然とともに	4	林間の生活	
	自然と共に生きる	4	ハイキング	
	自然	8	登山	
	自然の中で	3	ウォークラリー	
	自然の中で	1	ポイントラリー	
	自然体験	4	トレッキング, 水族館見学	
	自然体験	3	フォトラリー	
	自然体験	3	スコアビンゴ	
	自然！協力！責任！	4	オリエンテーリング	
	宿泊体験活動	6	トレッキング	
	発表しよう（伝えよう）	4	歴史, 自然調べ	
集団宿泊 活動	わくわく宿泊体験	27	全般	
	宿泊体験学習を成功させよう	20	集団活動, 協力	
	臨海を成功させよう	16		
	みどりの学校を成功させよう	15	キャンプファイヤーの練習	
	キャンプを成功させよう	15	キャンプ	
		4	キャンプの計画	
	宿泊学習を成功させよう	15	活動全般（計画・実行・反省）	
		8	キャンドルのつどい	
		6	布団畳み方, 新聞づくり	
		4	集い, オリエンテーリング, ハイキング	
		4	野外炊事	
	宿泊体験学習を成功させよう	2	川登り	
	宿泊研修を成功させよう	10	キャンドルのつどい	
	自然学校を成功させよう	4	学級対抗「炎の九番勝負」	
		2	登山	
	集団宿泊訓練を成功させよう		キャンプファイヤー等	
	岐阜合宿を成功させよう	10	岐阜合宿に向けて	
	中津川野外学習を成功させよう	7	キャンプファイヤー等	
	宿泊学習から学ぼう	19	学習計画・報告会	
	グリーンキャンプに向けて	15	準備	

	I want to go to Toya.	15	事前・事後学習	
	キャンプをもちあげよう	15	活動の計画・準備等	
	林間学校について調べよう	10		
	自分たちでキャンプの計画を立てよう	9	キャンプに向けての準備	
	林間学習	8	林間学習の準備	
	野外活動の計画を立てよう	8	宿泊研修に向けた事前活動	
	集団生活から学ぼう	5	活動内容, 活動計画	
	自然教室	4	事前・事後指導	
	キャンプ	4	キャンプ準備	
	係活動	4	足柄宿泊学習に向けて	
	みんなで協力して取り組もう	3	事前学習	
	合宿のめあて決め	2	キャンドルサービス	
	仲間とつくる自然教室	20	全般	
	ファイト宿泊学習	14	ウォークラリー, ベッドメイキング 他	
	小川げんきプラザに行こう	10	野外活動, 野外炊事	
	自然学校に行こう	9	集団生活全般	
	キャンプに行こう	6	カッター, 野外活動	
	みんなで楽しもう! 自然学校	5	選択活動 (サイクリング, 球技)	
	プロジェクトをつくって	4	キャンドルのつどい	
	宿泊体験学習～団結力を高めよう～	4	キャンドルファイヤー, イニシアチブゲーム	
	自然体験に関わって	4	登山, キャンプファイヤー	
	団結, 協力, 友情	4	結団式	
	宿泊学習に行こう	3	集団活動	
	協力しよう	3	班活動	
	自然体験学習	2	レクリエーション	
	玄海宿泊学習	2	キャンドルのつどい	
	自然学校を伝えよう	8	集団宿泊活動	
	自然学校発表会をしよう	4	自然学校発表会	
人間関係 形成	人と関わって学ぼう	10	全体	
	力を合わせて	8	その他の活動	
	自然! 協力! 責任!	6	森林探検	
	自然の中で交流しよう	6	キャンプファイヤー	
	友だちと協力して活動する	6	野外炊事, キャンプファイヤー	
	仲間とのきずなを深めよう	5	野外活動	
	友達との信頼関係をつくろう	4	イニシアチブゲーム	
	班で協力	3	追跡ハイキング	
	仲間づくり	3	陣馬山登山	
	仲間づくり	2	キャンプファイヤー	
	仲間とつながろう		全活動	
	地域学習	平と仲間のすばらしさを見つけよう	30	平地区について学ぶ

	雪の多い地方の暮らしについて調べよう	18	自然体験活動	
	花山探検	15	場所, 情報, 新聞等	
	「水俣」から学ぼう	15	環境学習	
	水俣に学ぶ	10	環境学習	
	我した島再発見	6	農業体験, 漁業体験	
	びわ湖について新聞にまとめよう	6	びわ湖について調べよう	
	北海道への思い	5	訪問地域の調べ学習	
	室蘭再発見	5	リバートレッキング	
	長崎の歴史と文化を知ろう	5	フィールドワーク	
	本明川とわたしたち	3	沢登り	
	宮崎のよさを見つけよう	2	式やつどい	
		2	追跡ハイキング等	
	みんなで生きる町	6	自主研修	
	鉱山の歴史	6		
	人とふれ合おう	2	歴史(郷土)見学	
	地域の特色を調べよう	2		
	地域のよさ発見	2	漁業体験	
くらし	田植え, 稲の生長	24	米づくり	
	食について考えよう	10	農業体験	
	お米博士になろう	2	野外炊事	
	自然学校プロジェクト	2	牛の飼育体験	
総合・道徳	環境, 協力, 不とう不屈	3	冒険ラリー(ホイトハイク)	
安全・防災	防災マップづくり	4	災害体験談	
	防災教育	1	毛布担架体験	
その他	調べよう林間学校・伝えよう林間学校	31	調べて発表する	
	ガイドブックをつくろう	7	自主研修	
	将来の夢	4	ドリームマップ	
	小小連携事業	3	小学校合同オリエンテーリング	
	マナーを守ってくらそう	2	集団生活全般(5・6年)	

②国語

活動名	単元・題材名	時間	備考
体験全般	大貫海浜学園を体験して	2	
パンフレットづくり	パンフレットづくり	8	
		6	
		4	
はがきを書こう	日常を十七音で	2	
おたよりタイム	はがきの書き方	1	
家の人に手紙を書こう	家の人に手紙を書こう	2	2

		1	
滞在先について	すいせんしよう	6	
紀行文	書いて伝えよう	2	
宿泊訓練中すべて	体験文を書こう	4	
俳句	日常を十七音で	4	
	俳句をつくろう	2	2
	思い出を五七五に	1	
活動報告をする	活動報告書を書こう	5	
終了後のまとめ	浦江特ダネ！新聞をつくろう	2	
事後研修（まとめ）	体験の報告文を書こう	1	
振り返り	振り返りをしよう	1	
全般	自由作文	1	

③社会

活動名	単元・題材名	時間	備考
米づくり	米づくりの盛んな地域	24	
田植え体験（理科）	田植えに挑戦，水生生物を観察しよう	4	
ウォークラリー，カヌー体験	国土の環境を守る	6	
ハイキング	わたしたちの国土	2	
調べ学習	蔵王の自然	5	
スキー教室	寒い地方の暮らし	3	
滞在先について	高い土地の暮らし	3	
木曾三川公園の見学	低い土地の暮らし	4	
水俣の学習について	環境を守るわたしたち	2	
ハイキング	富津の地形と自然	1	
佐原見学		2	
貝工作	蒲江市の自然・特産物について知ろう	2	
フィールドワーク	黒船来航	1	
下田の町のオリエンテーリング	開国		
沢登り	水はどこから	3	
自然観察	地域の自然	2	
林業体験	森林を守る人々	4	
森林学習		1	
枝打ち	林業		
たてぼし網漁，海女さん講和	水産業	5	
地びき網，魚市場せり	水産業のさかんな地域	2	
海辺の暮らし調査	島の暮らし	2	
漁船に乗船して島めぐり	日本の漁業	1	
水産試験場見学	日本の食糧生産「漁業」		

若狭ぬりばし	日本の伝統工業		
はにわづくり	縄文のむらから古墳のくにへ	2	
勾玉づくり	昔のくらしを知ろう	2	

④理科

活動名	単元・題材名	時間	備考
沢遊び, 沢登り	流れる水のはたらき	4	
川プログラム		3	
現地学習		2	2
源流探検		2	
川あそび		1	
登山	自然に親しもう	7	
自然体験		4	
自然観察	自然を感じよう	2	
	生き物のくらしと環境	4	
	野山の植物	4	
	植物の成長	2	2
	天気の変化	1	
野外観察	天気の変化	10	
	花のつくり, 植物の発芽と成長		
	植物の発芽と成長	3	
動植物の観察	身近な自然	2	
植物観察	〇〇の自然	1	
植物園観察	種の発芽と成長	9	
生物観察	めだかの誕生	9	
	季節と生き物	2	
	根尾川探検隊	1	
干潟観察	植物, 環境	3	
地層観察	地層しらべ		
登山	実や種子のでき方		
	植物		
ウォークラリー	花から実へ		
フィールドサーチ	植物の成長		
ハイキング	種の発芽と成長	4	
自然散策	植物の発芽と成長	4	
野外散策	高原の植物	2	
フラワートレッキング	高山植物を知ろう	1	
自然探検	季節の植物	2	
冒険の森散策	植物の成長, 天気と雲	1	
所内散策	植物の発芽と成長	2	

高原散策	虫の種類	3	
ハイキング	自然との関わり	4	
登山, ハイキング	自然に親しもう, 協力して登ろう		
キャンプ	自然観察	3	
ネイチャーウォーク	生き物の観察	2	
野外活動	生き物のくらしと環境	6	
オリエンテーリング	身近な生物, 地域を知ろう	2	
	地域の自然を知ろう	1	
化石, 土層	大地のつくり	2	
自然散策	大地のつくり	1	
野外学習	土地のつくりと変化	12	
星座観察	星の観察	3	
	暑い季節, 夏の星	3	
	夏の星座	2	
	夏の星座	1	
	秋の夜空	2	2
	月と太陽	2	
	月や星を観察してみよう	2	
	月や星を観察してみよう	1	
	星座	1	
星空ウォッチング	星	2	
天体観測	夏の星, 月や星の動き (4年生の学習の復習)	2	
ナイトウォーク	夏の星 (星座観察)	1	
	星座	0.5	
ナイトハイク	天気の変化	8	
プラネタリウム	天気の変化	2	
	星や月 (4年生の復習)	1	
	星と月	1	
森林グループワーク	生命のつながり	2	
ミュージアムパーク	生命のつながり	1	
海の生き物観察	生命のつながり	9	
	生物のくらしと環境	4	
磯遊び	生物どうしの関わり	3	
プランクトン観察	小さな生き物	3	
磯探検ツアー	水の中野小さな生物	2	
磯観察	海の生きものしらべ	2	2
水生生物の観察	プランクトンを観察しよう	2	
	生物のくらし	2	
サンゴ観察	自然をつかむ	2	
川の生き物調査		4	

水族館見学	魚の体	2	
	地球の生き物のくらし	1	
シーワールド見学	生き物発見	1	
博物館見学	地層のつくり	4	
サイエンスワールドの見学	電気のはたらき	4	
野外炊事	ものの燃え方と空気	1	2
塩づくり	水溶液の性質, ものの溶け方	2	2
グリーンアドベンチャー		2	

⑤音楽

活動名	単元・題材名	時間	備考
歌	林間学校の歌	2	
歌唱	ぼくらの広場	1	
キャンプファイヤーの歌		1	
キャンプファイヤー	キャンプの歌, 踊り	4	
	みんなで, キャンプで歌おう	4	
	楽しく歌おう	3	2
	ゆたかな歌声をひびかせよう	2	
		1	2
	歌って楽しもう	2	
	曲想を味わおう	1	
キャンプファイヤーの歌を歌おう	0.5		
キャンプファイヤー, 体育	歌, ダンス	2	
フォークダンス (キャンプファイヤー)	世界の音楽 (民族・文化)	2	
キャンドルのつどい	心をあわせて	2	2
交流会	心をこめて表現しよう	3	
レクリエーションの練習	フォークダンス, 歌の練習	2	
朝のつどい	美しい歌声	1	
歌声集会	元気よく歌おう	5	
フェスティバル	いろいろな音のひびきを味わおう	2	

⑥図画工作

活動名	単元・題材名	時間	備考
札幌芸術の森・鑑賞	ハローミュージアム	3	
クラフト	心に残ったあの瞬間	6	
	自然物を使ってデザインしよう	2	
	カッターの使い方	2	
	糸のコススイ	1	
木工クラフト	ほってつくる	3	

	木をつかって	2	
木工教室	くるくるまわして	2	
	木でつくろう	2	
竹とんぼづくり	竹とんぼで遊ぼう	4	
		2	
ネイチャークラフト		3	
松ぼっくりアート		2	
フォトフレームづくり		2	
レザークラフト	思いでに残るしおりをつくろう	2	
白河だるまづくり	つくりたいものをつくる	2	
マイスプーン	オリジナルの作品	2	2
マイ箸づくり	立体に表す	2	
エコペン立てづくり	エコ de ペン立て	2	
伝統文化体験	彫刻	2	
津軽金山焼き	切ったねん土の形から	2	
砂の造形	切ったねん土の形から	4	
益子焼体験	切ったねん土の形から	2	
陶芸	丹波立杭焼きにチャレンジしよう	2	
	立ち上がれ！ねん土	2	
	花びんをつくろう	2	
	楽しい焼きもの	3 1	
七宝焼き	使って楽しい焼き物	4	
アロマキャンドルづくり	メモリアルキャンドルをつくろう	3	
創作活動	杉板づくり	2	
焼き杉	イメージをふくらませて	2	
	造形遊び	2	
焼き杉づくり	電動のこぎりを使って焼き杉をしよう	2	
焼き板	のこぎりを使って壁かけをつくろう	2	
	楽しい焼き物	2	3
	思いでを絵に	2	
	一枚に板から	2	
	焼き板クラフト（下書き）	1	
トーチ棒，焼き板づくり	板を切り抜いて	3	
トーチづくり	木を組み合わせてつくろう	2	
焼き板ペン立てづくり		2	
チャカポコケン玉づくり	自然の中で感じたことを	1	
創作活動		2	

雨天時の工作	〇〇をつくろう0	1	
室内工作	形や色を楽しもう	3	
マグカップづくり	思い出をつくろう	3	
砂浜活動	あんなところでこんなところで	4	
工作		2	
まが玉づくり	自然に親しんでつくろう	1	
石みがき	思いでの作品をつくろう		
蔵書印づくり		1	

⑦家庭

活動名	単元・題材名	時間	備考
野外炊事	食べて元気に	12	2
		11	
		6	4
		4	46
		3	15
		2	29
		1	6
	食べて元気, ご飯とみそ汁	10	
		4	8
		3	
		2	
		1	
	ごはんのみそ汁	4	2
		3	
	ごはんとかレー, ごはんのみそ汁実習	6	
	はじめてみようクッキング	6	4
		5	
		4	7
		3	5
		2	3
		1	
	クッキングはじめの一步	4	
		2	
	みんなでやってみようクッキング	4	
	レッツクッキング	4	
	クッキング	4	
		3	
お米のたき方, 調理, 協力	4		
おいしいごはんをたこう	4		

		2	3
	ご飯に挑戦	2	
	ご飯のたき方	2	
		1	
	おいしい楽しい調理の力	8	
		4	4
		2	3
	楽しい調理		
	手際よく調理しよう	6	
		2	
	協力してつくろう	4	
		3	
	調理実習	5	
		4	2
		3	3
	材料を上手に切り調理	4	
	栄養を考えて調理しよう	3	
	地元の食材を使った料理づくり	4	
	まかせてね今日の食事	6	
	まかせてね今日の朝食	6	
	朝食をつくろう	4	
	朝食を考えよう	2	
	夕食づくり	4	
	カレーづくり	6	
		4	3
		2	5
		1	
	いためてつくろう	8	
	いためてつくろうおいしい朝食	4	
	いためてつくろう朝食のおかず	1	
	野菜を煮てつくろう	4	
	ゆで野菜サラダを作ろう	4	
	ゆで野菜をつくろう	4	
	ごはんを作ろう、野菜をおいしく食べよう	4	2
	みんなで作って楽しく食べよう	4	
	作ってみよう！今日のごはん	4	
	楽しく食べよう	4	
	おいしく食べよう	3	
	元気な毎日を過ごそう	10	
	元気な毎日と食べ物	4	

	工夫しよう, おいしい食事	4	4
	楽しい食事会	4	
	おいしいね毎日の食事	3	
	バランスのよい食事	4	
		3	
	献立を考えよう	2	
	みつめよう家庭生活	4	
	食事を大切に	4	
	食事	3	
	飯盒すいさんをしよう	4	
	責任をもって役目を果たそう	3	
	自炊	2	
野外炊事(うどん)	はじめてみようクッキング	2	
	食べて元気に	4	
		3	
野外炊事(ピザ)	できる仕事から始めよう, おいしいね毎日の食事	4	
野外炊事(魚さばき)	長崎体験, 調理実習	3	
野外炊事(白玉雑煮)	和文化体験をしよう	4	
みりん干し	おいし楽しい調理の力	2	
イカの一晩干し体験	イカをさばこう	1	
ちくわづくり		2	
太巻き祭り寿司	くふうしようおいしい食事		
食事, 清掃	わたしたちの食事, 身の回りの整理	2	
お年寄りとの触れ合い活動	食べて元気に	2	
持ち物, ナップザック	はじめてみようソーイング	4	
わらリースづくり(総合)	和文化を体験しよう	4	

⑧体育

活動名	単元・題材名	時間	備考
登山	体力を高める運動	5	2
		3	
	体力をつけよう	4	2
	集団行動, 体づくり運動	3	2
	体づくり運動(体力を高める)	2	3
牛岳登山	持久走	4	
アスレチック	体力を高める運動	3	
マイムマイム(体力を高める)		2	
沢登り		1	2
	多様な動きをつくる運動	3	
	体づくり運動	1	

ウォークラリー	体づくり	3	
	長く歩いて体力向上	2	
歩いて施設まで	長く歩く	2	
アドベンチャーツアー	体づくり運動	3	
パターゴルフ	体づくり運動	3	
冒険の森	体づくり運動	2	
ドッジボール	体づくり	2	
体づくり	体づくり	2	
	体づくり	2	
ハイキング	体づくり	2	
	心と健康	1.5	
プロジェクトアドベンチャー	体ほぐしの運動	3	2
室内スポーツ	体ほぐしの運動	1	
ナイトハイク	多様な動きをつくる運動	1	
クライミングウォール	自分に挑戦	1	
ペーロン	体づくり運動	4	
サバニ	力を合わせてサバニをしよう	3	
カッター	海洋実習	4	
	体ほぐし運動	4	
	体力を高める運動	3	
	体づくり運動	2	
	力を合わせてこごう	1	
カッター, カヌー, カヤック	カッター, カヌー, カヤック名人になろう	3	
カヤック	運動	3	
カヌー, グラウンドゴルフ	体づくり運動	2	
カヌー	体づくり運動	2	
	水泳	2	
	新しいスポーツ	2	
海での水泳	水泳	4	
遠泳	水泳		
海の体験	水泳	8	
	水泳	2	2
シュノーケリング	水泳	2	
浜辺の活動	体づくり, 集団ゲーム	2	
海浜オリエンテーリング		2	
いかだづくり	力を合わせていかだをこごう	2	
いかだづくり, カッター		4	
川あそび	水泳	2	
ダンス	フォークダンス	4	
		2	
	表現活動	2	

フォークダンス	表現運動	2	2
		1	2
	楽しく踊ってみよう	3	
	フォークダンス	3	
	リズム運動	2	
	おどろうダンス	1	
キャンプファイヤーダンス	表現運動	6	
キャンプファイヤー	フォークダンス	4	
		3	2
		2	6
		1	
	表現運動	2	2
	表現運動「フォークダンス」	1	
	表現 ダンス	1 1	
キャンドルファイヤー	フォークダンス	2	
		1	
スキー実習	スキー活動	4	
マットゴルフ	マットゴルフを体験しよう	2	
オリエンテーリング	ゲーム	2	
忍者大会	作戦を立て、ポイントを稼ぐ	2	
スポーツテスト	走・跳の運動	3	
スポーツレクリエーション	学年レクリエーション	1	
室内グラウンドゴルフ		1	

⑨特別の教科 道徳

活動名	単元・題材名	時間	備考
魚つかみ体験	命をいただく	2	
野外活動	いちばん近い自然・里山	1	
自然観察	自然を大切に	1	
登山	自然愛護	1	
集団生活	相手のための親切，男女仲よく，集団での役割	3	
プロジェクトアドベンチャープログラム	人との関わり	3	
赤城アドベンチャープログラム	協力・仲間	2	
イニシアチブゲーム	他者理解，協力	2	
集団宿泊活動	親切，思いやり，節度，節制，公正・公平	3	
集団宿泊	規律，協力		
計画づくり	協力し合うこと	1	
集団行動	思いやり	2	
係活動	自分の役割を自覚して	2	

学習活動	法やきまりを守って，豊かな人間関係	2	
集団生活における規則	ルールを守って生活しよう	1	
施設利用	集団行動とマナー	1	
宿泊	公共マナー	2	
全活動	公共心	1	
きまりについて考える	規則の尊重		
奉仕活動	勤労奉仕	1	
清掃活動	勤労・奉仕	2	
宿泊全般	集団生活の向上	1	
グループ行動	集団生活の充実	1	
グループ活動	まかせてみようよ，みんなの劇	2	
登山	いつも全力で	1	
話し合い活動	移動教室の夜	1	
係の仕事	自律的な行動	1	
バスレク，室内レク	みんなで楽しく	2	
Qハンティング	星野君の二塁打	3	
座禅体験	心を落ち着けて	1	
キャンドルファイヤー	友情，信頼，役割と責任	2	

⑩特別活動・学級活動

活動名	単元・題材名	時間	備考
話し合い集会	宿泊学習に向けて	2	
話し合い活動	実りある宿泊学習の計画，振り返り	2	
オリエンテーション	キャンプに向けて	2	
事前指導	自然教室の計画を立てよう	1	
目標を決める	宿泊研修を楽しく過ごす	2	
係，役割分担	宿泊活動を成功させよう	4	
	海の学校について話し合おう	4	
役割分担，しおりづくり	自然の家の計画	4	
係活動の計画	係活動の計画を具体的に決めよう	2	
係活動	友達と協力して高原学習を成功させよう	4	
	みんなで作る「みどりの学校」	3	
日程や意義，約束ごと	宿泊学習に向けて	3	
活動準備	野外活動の係分担と準備	4	
生活全般	自主・自立，協力他	2	
全般	思い出に残る自然の家にしよう	1	
班別活動	集団宿泊学習に向けて	2	
	班のめあてを達成しよう	1	
活動グループ決め	話し合い活動	4	
班決め	野外活動に向けて	2	

集団活動	集団宿泊教室について	3	
レク	さらに仲が深まるレクを考えよう	4	
つどい集会	みんなで楽しい思い出をつくろう	2	
グループ活動(人間関係の構築プログラム)	自他理解, 思いやり	10	
	協力し合うこと	5	
	友達と仲良く	2	
グループワーク	仲間との絆を深める	4	
グループ活動	仲間について考えよう	2	
	よりよい学級づくり	2	
ウルトラアドベンチャー	仲間との絆	3	
カッター	みんなで力を合わせて	4	
スタンプ	みんなで協力	4	
キャンプファイヤー	みんなで協力して	2	
	学級の組織と自分の役割	4	
	交流集会をしよう	4	
	林間に向けて	4	
	協力してやりとげよう	4	
	自然教室に向けて	3	
	仲間づくり	2	
野外炊事	Let us cooking!	4	
	思いでに残るセカンドスクールにするために	6	
野外炊事(うどんづくり)	協力し合うということ	4	
グループの計画等	自然教室	7	
キャンドルサービス		3	
レクリエーション準備		4	
活動全体	自然の家について		
清掃	基本的な生活習慣の形成	1	
生活指導	体の変化	1	

①特別活動・学校行事(儀式的行事, 勤労生産・奉仕的行事)

行事名	活動名	単元・題材名	時間	備考
勤労生産・奉仕的行事	勤労・奉仕	係活動, 清掃	1	
	奉仕活動		0.5	

(2) 中学校

①総合的な学習の時間

分野	単元・題材名	時間	活動名	備考
自然	自然体験	16	自然体験	
	自然に学ぶ	12	班活動(野外炊事等)	
	自然環境と食	12	野外炊事	

	自然に親しもう	5	自然の中で学ぶ	
	自然体験	4	レクリエーション	
	赤城山の自然	4	登山, ハイキング	
	自然に親しむ	3	オリエンテーリング	
	自然環境と課題	4	自然体験学習	
	自然環境	2	雪国体験	
	環境・自然	2	野外炊事	
	環境・自然	2	オリエンテーリング	
	環境	10	登山, ハイキング	
	環境について	8	体験全般	
	富士山の環境について	2	富士山の学習	
	森林を学ぼう	6	自然探究	
	いのち	5	マ스つかみ	
	集団宿泊活動	宿泊訓練	12	
自然教室を成功させよう		10	立志式	
キャンプを成功させよう		8	全体	
宿泊学習について		6	計画全般	
		4	事前準備	
役割分担決め等		10	係活動	
		2	係活動	
移動教室の目的等		2	移動教室とは	
話合い活動のルール		2	話合い活動	
自分たちで協力して見通しを立てよう		2	オリエンテーション	
宿泊体験学習の発表		10	体験活動の発表	
集団活動, 発表		4	スタンプ	
楽しく報告しよう		4	プレゼンテーション	
計画の立案		2	1年生へのプレゼン準備	
人間関係形成	仲間との協力	12	いかだづくり	
	仲間づくり	8	テント設営	
	協力して取り組む	4	野外炊事	
	お互いを知り, 認め合おう	4	クラスミーティング	
	グループワーク(徳地アドベンチャー教育プログラム)	4	人間関係づくり	
	行動をともに「つながり」	3	オリエンテーリング	
	班での協力	2	野外炊事	
	みんなで協力	2	班ごとの係活動	
	仲間づくり	2	オリエンテーリング	
	仲間づくり	2	キャンドルサービス	
	よりよい学年・学級集団をめざして	1	グループワークトレーニング	
	皆で協力! 絆を深めろ!		スキー	
	職業・くらし	富良野・旭川総合学習	8	農業体験

	秋田の農業	6	農業体験	
	生き方	4	漁業体験	
	様々な職業体験	2	職業人体験	
	自然に関わる職業	2	魚つかみ体験	
	雪国新発見	1	職業人の話を聞く	
	海に生きる人から学ぶ	2	民宿の方と語る会	
	雪国の生活について	1	地域のくらしを聞く	
	料理を比べてみよう	6	地域の食文化比べ	
	食生活・安全	2	野外炊事	
地域学習	地域を知る	18		
	地域学習	8	自主研修	
	地域を知ろう	4	事前学習	
	地域を知る体験学習	4	ウォークラリー	
	地域とつながる	4	ウォークラリー	
	他地域の調査・体験計画を立案しよう	4	自然生活体験の計画立案	
	地域を知ろう	2	自主研修	
	文化, 自然, 平和, 学習	4	地域学習	
	自主研修で平泉を調べよう	3	平泉自主研修	
安全・防災	防災・減災意識を高めよう	3	震災・防災学習	
	自然災害に備える	3	災害学習	
	山・海での安全	2	山や海の安全	
その他	クニマスの復活に向けて	10	クニマス未来館見学	
	調査研究	4	事前学習(新聞づくり)	
	個人レポート, 班新聞の作成	8	事前調べ・事後発表	
	体験して学んだことを発表しよう	6	体験学習	
	班の仲間と協力して調査しよう	4	班別研修	
	将来の夢	2	立志式	
	生活全般に関する事前・事後学習	6	生活全般	
	宮古の紹介	5	交流会練習	
	職業についてやりがいを学ぼう	3	高山研修	
	自主研修調べ学習	25	自主研修	
	研究発表	4	尾瀬移動教室	
	奉仕活動	2	福祉体験	
	生き方	20	進路学習	
	事前学習	4	調べ学習	
	野外活動, キャンドルサービス	8	五色台宿泊学習	
	ふれあい学級	5	野外活動	
	エネルギー問題を考える	6	創作活動	
	那須甲子新聞をつくろう	4	ハイキング等	
	那須甲子新聞をつくろう	4	野外炊事	

	冒険活動教室について	10	準備とまとめ	
	縄文ものづくり	3	土鈴づくり	
	野外宿泊学習	4	野外炊事	
	自分づくり	5	野外全般	
	関東総合学習	8	旅行パンフ作成	
	西湖について調べよう	6	西湖の事前学習	
	各体験の持ち物・注意事項	1	体験学習	
	冒険活動教室	16	冒険活動教室	
	野外宿泊学習	2	講演会	
	新聞の作成	4	まとめ新聞	
	登山	4	登山	
	野外宿泊学習	6	登山	
		12	すべて	2
		2	野外炊事	
		3	新聞づくり	
		2	オリエンテーリング	
		10	班活動	
		10	グループ行動	
		3	グループ活動	
		4	調査活動	
		4	パフォーマンス大会	
		2	サンドクラフト	
		3	事後レポート	
		3	しおり学習	

②国語

活動名	単元・題材名	時間	備考
体験全般	スピーチ	4	
自然観察	自然を俳句にする	3	
俳句を詠む	空を見上げて	1	
短歌づくり	短歌の鑑賞	1	
新聞づくり, 手紙	新聞を発行しよう, 手紙を書こう	3	
手紙	手紙を書こう	2	
作文・日記		1	
講堂学習	論語	2	

③社会

活動名	単元・題材名	時間	備考
県の特徴調べ	地域調べ	4	
オリエンテーリング	地図を見て活動しよう	3	

	地図	1	
	自然の姿	1	
	地図とコンパスの活用		
調べる学習	地図の見方		
コース別フィールド学習		3	
ウォークラリー	地形を学ぼう	3	
地形図	地域調査	2	
地域の産業	地理分野	1	
民宿の方との交流	地域を知る	1	
貝塚	アイヌ民族	1	
郡上八幡分散	中部地方の産業		
林業体験		1	

④数学

活動名	単元・題材名	時間	備考
文字式	夜の学習	1	

⑤理科

活動名	単元・題材名	時間	備考
ウォークラリー	地質を学ぼう	3	
手づくりロケット	力と運動	2	
化石採集	活着ている地球 歴史を語る化石	2	
集団宿泊研修	環境や山の植物について	1	
オリエンテーリング	生物（植物，動物）の観察	2	
	地形の様子	1	
自然観察	星座の観察	1	
野外体験学習	五色台の自然	2	
天体観察		2	
水質調査	環境問題		

⑥音楽

活動名	単元・題材名	時間	備考
歌声集会	歌心	4	
キャンプファイヤー	キャンプソングを歌おう	2	
	合唱	2	
校歌コンクール		3	
校歌練習		2	
合唱	校歌	1	
交流会練習	混成四部合唱の響	1	
	歌唱	1	

⑦美術

活動名	単元・題材名	時間	備考
木のキーホルダー		3	
クラフトアートをつくろう	クラフトアート	2	
ペンダントづくり		1	
サンゴクラフト活動	創作活動	1	
サンドアート	立体造形	2	
砂の芸術		2	
伊勢型紙	モダンテクニック	2	
ウォークラリー	絵画（スケッチ）	2	

⑧保健体育

活動名	単元・題材名	時間	備考
登山	健康安全	6	
		4	
カッター	安全な活動	1	
カヌー	集団行動	6	
	体づくり	2	
キャンプファイヤー	ダンス	4	
		2	2
ミニ運動会	集団行動, ダンス	2	
フォークダンス	ダンス	2	
集団行動	集団行動	2	
		1	
運動・レク		4	
学年レクリエーション	ドッジビー	2	
オリエンテーリング		3	
ハイキング		3	
海の活動		2	
スキー	スキー体験	1	

⑨技術・家庭科

活動名	単元・題材名	時間	備考
野外炊事	調理	4	2
		3	
		2	5
		1	
	日常食の調理	5	
		4	
		1	

		5	
		4	
	カレーをつくろう	2	2
		1	
	肉の料理	2	
		5	
	食べて元気に	4	5
		3	
		1	
	協力して調理	4	2
	協力して安全にカレーをつくろう	3	
	みんなで協力	2	
	材料の特徴を生かして協力して調理する	4	
	自分で調理	2	
	おいしい食事をつくろう	6	
	野外炊事の練習をしよう	3	
		3	
	食育	2	
	食生活と自立	4	
	食生活	3	
	バランスのとれた食生活	2	
	調理と食文化	1	
	ダッジオープン	4	
野外炊事（うどん）		5	
魚さばき	私たちの食生活	2	
バイキング形式の食事	健康と生活	2	
食文化を学ぶ	地域の食文化	6	
（技術）創作活動	焼板工作	3	
（技術）竹細工	工作	3	

⑩外国語

活動名	単元・題材名	時間	備考
自主研修	会話を楽しもう	1	

⑪特別の教科道徳

活動名	単元・題材名	時間	備考
家族を語る作文・発表	家族愛	1	
生活全般	よりよいマナー	1	
自主研修	公共のマナー		
宿泊研修	集団生活の向上	1	

班でのテーマづくり	仲間とは	1	
-----------	------	---	--

⑫特別活動・学級活動

活動名	単元・題材名	時間	備考
学級目標決め	学級目標を決めよう	2	
ルールづくり	林間のルールを考えよう	3	
事前指導	宿泊研修に向けて	3	
事前指導	冒険活動に備えて	2	
集団生活について	集団宿泊に向けて準備しよう	2	
宿泊学習について	宿泊学習の計画を進めよう	1	
生活全般	活動班・係の決定	2	
班活動	役割分担決め	5	
	役割分担	2	
役割決め	役員決め	1	
体験活動	野外活動組織づくり	3	
事前・事後学習	学級づくり「たかとう」	4	
交流の家での活動	学級や班のまとまりを作り上げよう	10	
フィールドワーク	みんなで協力して	5	
係活動・班別行動	集団生活の向上	4	
オリエンテーリング	集団づくり	4	
	学級の和を高めよう	2	
	班で協力して達成しよう	2	
カッター	協力	4	
	男女の協力と理解	1	
コンパスゲーム	望ましい人間関係の確立	2	
集団行動	仲間づくり	4	
	仲間を知ろう	3	
キャンプファイヤー	野外活動に向けて	5	
キャンドルサービス（スタンツ）	学級づくり	3	
	絆を深めよう	2	
学級スタンツ	発表する内容を考えよう	3	
パフォーマンス集会	学級力を高めよう	2	
プロジェクトアドベンチャー	友情と信頼，社会連帯の自覚	2	
レクリエーション	仲間との協力	2	
	集団で楽しむ	1	
自主レク	仲間づくり	1	
ディスクゴルフ	グループで協力して活動する	1	
教育キャンプ	集団づくり	1	
班別選択活動	健康安全・学級の生活づくり	2	
係活動・班別行動	集団生活の向上	4	

宿泊に伴う集団訓練	規律	3	
立志式	立志式を迎えて	2	
アサーティブトレーニング	アサーティブな言い方を使ってみよう	1	
班編成とふりかえり	みんなで協力，宿泊学習を振り返って	2	
学級活動	一日のふり返り	0.5	
クラスマッチ	班編成	1	
ソーシャルスキルトレーニング		1	
農業体験		4	
森林グループワークゲーム		3	
ハイキング		2	

⑬特別活動・学校行事（儀式的行事，勤労生産・奉仕的行事）

行事名	活動名	単元・題材名	時間	備考
儀式的行事	入所式	自分達で儀式をとり行う	1	
	発志式	深めよう仲間との絆	1	
勤労生産・奉仕的行事	森林体験		8	

「集団宿泊活動」に関するアンケート調査（質問紙）

問1. 【全学校】

学校名等をご記入ください（校種については、「小」もしくは「中」に、「○」を付けてください）。

都道府県名	市区町村組合名	学校名	電話番号（市外局番含む）
		小・中学校	

問2. 【全学校】

平成29年度に、貴校が実施した「集団宿泊的行事」（集団宿泊活動のみならず修学旅行など宿泊を伴う全ての行事，全学年を対象としてください）について，下の表にご回答ください。

なお、「集団宿泊的行事」を実施していない場合は，無記入としてください。

また，隔年で実施した場合などは，実施した年度についてご回答ください。その場合は，「実施年度」の欄に，実施した年度をご記入ください。

項目	例1	例2	①	②
行事名	自然教室 (集団宿泊活動)	修学旅行		
学年	5年生	6年生	年生	年生
クラス数	2クラス	2クラス	クラス	クラス
日数	1泊2日	2泊3日	泊 日	泊 日
経費補助※	○			
実施年度	28年度			

※「経費補助」：教育委員会等から学校等への経費補助がある場合は、「○」をご記入ください。

項目	③	④	⑤	⑥
行事名				
学年	年生	年生	年生	年生
クラス数	クラス	クラス	クラス	クラス
日数	泊 日	泊 日	泊 日	泊 日
経費補助※				
実施年度				

問3. 【全学校】

貴校は，体験活動の推進について，次のことを行っていますか（複数回答可）。

1. 体験活動の推進に支援を得るために，保護者や地域の自治会，社会教育関係団体等の関係者で構成する「体験活動委員会」（名称は学校ごとに設定）を設置している
2. 体験活動を推進するために，学校の教職員で構成する「委員会・部会」を設置している
3. 体験活動を推進するために，担当の教職員を配置している
4. 学校行事の準備や運営に関する業務の一部を，外部に委託等を行っている
5. その他（ ）

問4.【全学校】

平成29年度の集団宿泊活動の日数について、お尋ねします。

(1) 過去6年間(平成23年度～28年度)と比較して、変化はありましたか。なお、「減った」と「増えた」の両方がある場合は、両方に「○」を付け(2)と(3)それぞれにご回答ください。

1. 変わらない
2. 減った → 以前の日数： 泊 日 ※(2)をご回答ください。
3. 増えた → 以前の日数： 泊 日 ※(3)をご回答ください。
4. 実施していない → 取りやめたのは何年度からですか(年度)
※(2)をご回答ください。
5. 新たに実施した → 何年度からですか(年度) ※(3)をご回答ください。
6. その他()

(2) 日数を減らしたり、取りやめたりした理由は何ですか(複数回答可)。

1. 教科の授業時数を確保したため
2. 学校行事を精選し、集団宿泊活動以外の活動を重視したため
3. 職場見学や職場体験活動を導入したため
4. 集団宿泊活動の効果が期待できないため
5. 日数を減らしても同程度の効果が期待できるため(※日数を減らした場合)
6. 児童生徒の身体的な負担を軽減するため
7. 児童生徒の精神的な負担を軽減するため
8. 児童生徒の安全の確保が困難なため
9. 保護者の経済的な負担を軽減するため
10. 保護者や地域の方の要望を受けたため
11. 保護者や地域の方による引率の協力といった支援が受けられなくなったため
12. 教職員による引率体制がとりにくいため
13. 教職員の夜間における指導の負担を軽減するため
14. 教職員の体験活動の指導力に不安があるため
15. 校長の方針や指導を受けたため
16. 教育委員会の方針や指導を受けたため
17. 教育委員会等から経費の補助といった支援が受けられなくなったため
18. その他()

(3) 日数を増やしたり、新たに実施したりした理由は何ですか(複数回答可)。

1. 活動を充実させ、教育効果を高めるため
2. 学校行事を精選し、集団宿泊活動を重視したため
3. 小学校学習指導要領解説特別活動編で、一定期間実施することが望ましいとされているため
4. 児童生徒の安全を確保する体制が整ったため
5. 保護者の経済的な負担を軽減する方策が整ったため
6. 保護者や地域の方の要望を受けたため
7. 保護者や地域の方による引率の協力といった支援が受けられたため
8. 教職員による引率体制が整ったため
9. 教職員の夜間における指導の負担を軽減する方策が整ったため

7. 他の学校からの情報
8. 旅行会社からの提案
9. 当該施設等の見学や下見
10. 検索サイト
11. マッチングサイト（サイト名： ）
12. その他（ ）

(3)利用した施設等を集団宿泊活動の場所に決定した理由について、次のことを重視しましたか。

「4－重視した 3－やや重視した 2－どちらかという重視しなかった 1－重視しなかった」

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1. 学校から施設等までの移動時間がかからない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2. 自然環境が豊かである | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3. 近隣に体験活動や見学等に適した場所や施設がある | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4. 施設等の使用料や食事料金等が安価である | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5. 野外活動のプログラムが充実している | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6. 創作活動のプログラムが充実している | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7. 屋内活動のプログラムが充実している | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8. 環境教育のプログラムが充実している | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 9. 協調性を高めるといったグループ活動のプログラムが充実している | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 10. 利用した施設等でないと体験できない特色あるプログラムが充実している | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 11. 教科等に関連付けたプログラムが充実している | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 12. 農林漁業体験ができる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 13. 農林漁家泊ができる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 14. 地域の方や民宿・民泊の方と交流ができる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 15. 起床・就寝時刻が決まっていることや朝・夕のつどいがあるなど規則正しい生活を送ることができる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 16. 布団を敷くことや清掃などを児童生徒が行うといった生活体験ができる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 17. 清掃などは施設等が行うので、児童生徒の負担が軽減される | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 18. 施設等を利用している他の学校や団体等と交流ができる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 19. 自校だけで施設等を利用できる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 20. 児童生徒の生活の管理がしやすい | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 21. 大人数が宿泊できる | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 22. 利用の手続きなどが煩雑でない | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 23. 学校の要望に対して柔軟に対応する | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 24. 施設・設備が充実している | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 25. 特別な配慮を要する児童生徒（身体的な障害や精神的な障害）に対する施設・設備や対応が充実している | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 26. 宿泊室や研修室等の清掃が行き届いている | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 27. 食事がおいしい | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 28. 食物アレルギー等に対応する | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 29. 施設等の職員の電話や窓口での対応がよい（言葉づかいや親切な対応等） | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 30. 施設等の職員等が体験活動プログラムの指導（例えば、野外炊事やオリエンテーリングのやり方や安全指導）を児童生徒に直接行う | 4 | 3 | 2 | 1 |

- 31. 施設等の職員等が専門的な体験活動プログラムの指導（例えば、協調性を育むことを目的としたグループ活動や環境教育プログラム）を児童生徒に直接行う 4 - 3 - 2 - 1
- 32. 施設等の職員から、計画の立案に際し専門的な助言（例えば、目的を整理することや、目的に応じたプログラムの紹介）が得られる 4 - 3 - 2 - 1
- 33. 施設等が、外部の指導者や活動場所の紹介、手配を行う 4 - 3 - 2 - 1
- 34. 安全管理の体制が整っている 4 - 3 - 2 - 1
- 35. 施設等から病院までの距離が近い（移動時間が短い） 4 - 3 - 2 - 1
- 36. 例年利用している 4 - 3 - 2 - 1
- 37. 施設等の評判がよい（利用した人からの情報や検索サイトの投稿といったいわゆる口コミ） 4 - 3 - 2 - 1
- 38. ホームページや利用ガイドなどの案内情報が充実している 4 - 3 - 2 - 1
- 39. その他（)

(4) 利用した施設等に対する満足度についてお尋ねします。

1) 総合的な満足度はいかがですか。 4 - 満足 3 - やや満足 2 - やや不満 1 - 不満

2) 次のことは「総合的な満足度」にどの程度影響を与えましたか。

「4 - 影響があった 3 - やや影響があった 2 - あまり影響がなかった 1 - 影響がなかった」

- 1. 施設等の職員等による体験活動の指導 4 - 3 - 2 - 1
- 2. 施設等の職員への対応（言葉づかい、親切、柔軟な対応等） 4 - 3 - 2 - 1
- 3. プログラムの充実度 4 - 3 - 2 - 1
- 4. 安全管理体制の充実度 4 - 3 - 2 - 1
- 5. 宿泊室や研修室等の清潔さ 4 - 3 - 2 - 1
- 6. 施設・設備の充実度 4 - 3 - 2 - 1
- 7. 施設等の使用料や食事料金などの料金 4 - 3 - 2 - 1
- 8. 学校から施設等までの移動時間 4 - 3 - 2 - 1
- 9. 自然環境や近隣施設などの立地環境 4 - 3 - 2 - 1
- 10. その他（)

問7. 【集団宿泊活動を実施した学校】

集団宿泊活動における各活動の各教科等への関連付けについてお尋ねします。

(1) 関連付けた各教科等の欄に○をご記入ください。

1 国語	2 社会	3 算数	4 理科	5 音楽	6 図画工作	7 家庭	9 体育	10 外国語
11 生活	12 道徳	13 外国語活動	14 総合					
21 学級活動	22 児童会	23 クラブ	31 儀式的	32 文化的	33 健康・体育	34 集団宿泊的	35 勤労・奉仕	40 ない

【注】3 算数→(中) 数学 6 図画工作→(中) 美術 7 家庭→(中) 技術・家庭 9 体育→(中) 保健体育
 12 道徳→特別の教科 道徳 14 総合→総合的な学習の時間 22 児童会→児童会活動→(中) 生徒会活動
 23 クラブ→クラブ活動 31 儀式的→儀式的行事 32 文化的→文化的行事 33 健康・体育→健康安全・体育的行事
 34 集団宿泊的→遠足・集団宿泊的行事→(中) 旅行・集団宿泊的行事 35 勤労・奉仕→勤労生産・奉仕的行事
 40 ない→各教科等に関連付けた活動がない場合は、この欄に「○」をご記入ください。

(2) 主な活動について、関連付けた各教科等を下の表にご記入ください。

	活動	関連付けた教科等	単元・題材名	時間
例	野外炊事	家庭科	食べて元気に	4時間
1				時間
2				時間
3				時間

※「関連付けた教科等」については、「学校行事」を除きます。

※「時間」は活動を実施した全時間ではなく、教科等としてカウントした時間です。

問8.【集団宿泊活動を実施した学校】

集団宿泊活動の目的について、次のことを重視しましたか。また、成果はいかがでしたか。目的と成果、それぞれについて、当てはまる番号をご記入ください。

目的:「4－重視した 3－やや重視した 2－あまり重視しなかった 1－重視しなかった」

成果:「4－成果があった 3－やや成果があった 2－あまり成果はなかった 1－成果はなかった」

No	項目	目的	成果
1	学級や学年への所属感や連帯感を深めること		
2	よりよい人間関係を築くこと		
3	不登校あるいは不登校傾向の児童生徒が学級に適應すること		
4	協力して諸問題を解決し、よりよい学校生活を築くことができるようにすること		
5	必要な係をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践できるようにすること		
6	困難なことや思いどおりにならないことでも我慢できるようにすること		
7	自分に自信を持ったり、自分が学級に役立っていると思ったりするなど、自己を肯定的にとらえるようにすること		
8	自己の生き方を考えたり、見方や考え方を深めたりすること		
9	早寝早起きや身の回りの整理整頓、挨拶などの基本的な生活習慣を身に付けること		
10	生命の有限性や自然の大切さを、実感を伴って理解すること		
11	環境保全の意識を高めたり、態度を培ったりすること		
12	見聞を広めること		
13	地方の歴史や文化等の魅力について学び、理解を深めること		
14	約束やルール、時間を守るなど公衆道徳について理解し、行動の仕方を身に付けること		
15	規律ある集団行動ができるようにすること		
16	働くことの尊さや生産の喜びを感じることに		
17	ボランティア活動を行うなどの社会奉仕の精神を養うこと		
18	災害等の非常時から身を守るための行動の仕方を身に付けたり、安全への意識を高めたりすること		
19	楽しい思い出をつくること		
20	教師と児童生徒のふれあいを深めること		
21	各教科等で得た知識を、実際の場面で活用できる力を高めること		
22	農林漁業を、体験を通して理解すること		
23	普段とは異なる農山漁村での生活を、体験を通して理解すること		
24	その他 ()		

問9. 【集団宿泊活動を実施した学校】

集団宿泊活動の計画や実施に当たって、次のことを留意したり、取り入れたりしましたか。

「4－行った 3－ある程度行った 2－あまり行っていない 1－行っていない」

1. 児童生徒が話し合いの時間や活動の時間を十分に取れるよう、
プログラムに余裕を持たせること 4－3－2－1
2. 児童生徒が協力し合わなければできないような課題性を持たせた
プログラムにすること 4－3－2－1
3. 特定の児童生徒だけでなく、いろいろな児童生徒にリーダーの経験を
させること 4－3－2－1
4. 自分たちでルールを考えさせ、守らせること 4－3－2－1
5. 自然体験活動と教科や総合的な学習の時間等の学習との関連を児童生徒に
意識させ、自然への関心を高めるなど児童生徒の好奇心を刺激すること . 4－3－2－1
6. 児童生徒同士の口論・喧嘩など一時的な感情の衝突が起こった場合にも、
その機会を捉えて相互理解していくための指導を行うこと 4－3－2－1
7. 何か問題が起こった際にも、まず児童生徒が自分達で考え解決できるよう、
自発的・自治的な活動の指導を重視すること 4－3－2－1
8. 集団宿泊活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し
合ったりする活動を展開すること 4－3－2－1
9. 失敗し試行錯誤しながら課題に取り組む活動を展開すること 4－3－2－1
10. 教科の内容に関わる学習や探究的な活動を展開すること 4－3－2－1
11. その他 ()

問10. 【集団宿泊活動を実施した学校】

集団宿泊活動における引率や指導の体制についてお尋ねします。該当する欄に「○」をご記入ください。

(1) 教職員以外の引率者や指導者はいらっしゃいましたか。

	いない	いた
引率者		人
指導者		人

※引率者とは、学校から同行した者としてします。
※指導者とは、施設等の職員以外で、活動場所で指導等に当たった者としてします。

※いた場合は「人数」をご記入いただき、(2)(3)(4)をご回答ください。

(2) 教職員以外の引率者や指導者はどのような方ですか(複数回答可)。

No	内容	引率者	指導者
1	児童生徒の保護者		
2	看護師		
3	教育実習や教育支援ボランティア等を行った大学生		
4	日頃から、学校の教育活動で支援を受けている地域の方		
5	例年依頼している専門的な知識・技能を有している方		
6	その他 ()		

(3) 教職員以外の引率者や指導者はどのように募集・依頼しましたか（複数回答可）。

No	内容	引率者	指導者
1	教育委員会から紹介された方に依頼した		
2	施設等から紹介された方に依頼した		
3	学校が独自に見つけた方に依頼した		
4	その他（ ）		

(4) 教職員以外の引率者や指導者はどのような役割を担いましたか（複数回答可）。

No	内容	引率者	指導者
1	計画（プログラム）への協力（助言を含みます）（実施前）		
2	利用する施設や活動場所の下見（実施前）		
3	体験活動の指導（活動中）		
4	体験活動の指導補助（活動中）		
5	生活指導（活動中）		
6	生活指導の補助（活動中）		
7	特別な配慮を要する児童生徒への対応（活動中）		
8	全般的な運営に関する教職員の補助（活動中）		
9	集団宿泊活動の運営等に関する評価会への参加（実施後）		
10	児童生徒の事後指導への協力（実施後）		
11	その他（ ）		

問 11. 【全学校】

集団宿泊的行事（集団宿泊活動のみならず修学旅行等を含みます。また、全学年を対象としてください）を実施することにより、教職員や学校にとって、次のことが当てはまりますか。

「4－当てはまる 3－やや当てはまる 2－あまり当てはまらない 1－当てはまらない」

1. 教員と児童生徒との信頼関係が構築できる 4 - 3 - 2 - 1
2. 普段の学校生活では見られない児童生徒の一面を見ることができると、
教員の児童生徒への理解が深まる 4 - 3 - 2 - 1
3. 集団宿泊的行事の担当になった教員のコミュニケーション力（学校以外の
関係者や他の教職員と連絡・調整・合意するといった力量）が高まる . . . 4 - 3 - 2 - 1
4. 集団宿泊的行事の担当になった教員のマネジメント力（計画の立案や準備、
手順通りに進めるといった力量）が高まる 4 - 3 - 2 - 1
5. 教職員の人間関係がよくなる 4 - 3 - 2 - 1
6. 保護者や地域、関係団体との連携が促進される 4 - 3 - 2 - 1
7. その他（ ）

問 12. 【全学校】

集団宿泊活動を実施する際、次のことは不安ですか。

「4－不安 3－やや不安 2－あまり不安ではない 1－不安ではない」

- | | | | | |
|--------------------------------------|---|---|---|---|
| 1. 児童生徒の身体的な不安（病気、体調不良、アレルギー等） | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2. 児童生徒の精神的な不安（人間関係への不安やホームシック等） | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3. 児童生徒の野外活動等における事故 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4. 児童生徒の生活面の指導 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5. 集団宿泊活動を実施することによる授業時数の不足 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6. 集団宿泊活動の事前指導の時間の確保 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7. 集団宿泊活動の事後指導の時間の確保 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8. 集団宿泊活動の教育効果があいまい | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 9. 教職員の体験活動の指導力 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 10. 教職員の夜間における十分な指導体制をとること | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 11. 教職員の身体的な健康 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 12. 教職員の時間外勤務に対する手当 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 13. 十分な引率体制をとること | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 14. 特別な配慮を要する児童生徒（身体的な障害や精神的な障害）への対応 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 15. 集団宿泊活動に関する事務的な業務に係る時間の確保 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 16. 保護者の経済的な負担 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 17. 保護者の理解を得ること | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 18. その他（ | | | | |

問 13. 【全学校】

集団宿泊活動の計画や実施に当たって、施設等が行うことや教育委員会等からの支援について、次のことは必要ですか。

「4－必要 3－どちらかという必要 2－どちらかという必要ではない 1－必要ではない」

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1. 施設等の職員等による児童生徒への一般的な体験活動プログラム（例えば、
野外炊事やオリエンテーリングのやり方や安全指導）の直接的な指導 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2. 施設等の職員等による児童生徒への専門的な体験活動プログラム（例えば、
協調性を育むことを目的としたグループ活動や環境教育プログラム）の
直接的な指導 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3. 施設等の職員による計画の立案に際しての専門的な助言（例えば、
目的を整理することや、目的に応じたプログラムの紹介） | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4. 各教科等に体験活動を関連付け効果的に展開するプログラムの提供 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5. 人間関係の形成や、自分や仲間の個性を理解し尊重する資質・能力を
高めるプログラムの提供 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6. 教職員を対象にした集団宿泊活動や体験活動に関する研修会の実施 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7. 集団宿泊活動の計画や指導の参考になる手引書のような資料の提供 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8. 集団宿泊活動の計画や指導の参考になる他校の実践事例集の提供 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 9. 集団宿泊活動の効果を測定するための資料の提供 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 10. 保護者等に集団宿泊活動の効果などを知らせるための資料の提供 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 11. 安全管理体制の整備 | 4 | 3 | 2 | 1 |

12. 施設・設備の充実	4	3	2	1
13. 特別な配慮を要する児童生徒（身体的な障害や精神的な障害）に対する 施設・設備の充実や対応	4	3	2	1
14. 施設等の職員の対応をよくすること（言葉遣いや親切な対応など）	4	3	2	1
15. 利用に関して学校の要望を受け容れるなどの柔軟な対応をとること	4	3	2	1
16. 利用に関する手続きなどを簡略にすること	4	3	2	1
17. ホームページなどの案内情報に関する資料の充実	4	3	2	1
18. 「利用の手引」や「体験活動プログラム集」などの資料の充実	4	3	2	1
19. 施設等の職員が学校に出向いて事前・事後指導に当たることや 保護者会等で説明すること	4	3	2	1
20. 教育委員会等による児童生徒の交通費や宿泊費等の経費補助	4	3	2	1
21. 教育委員会等による看護師等の手配や配置	4	3	2	1
22. 教育委員会等による引率者や指導者の手配や配置	4	3	2	1
23. 教育委員会等による特別な配慮を要する児童生徒（身体的な障害や 精神的な障害）に対応するための要員の手配や配置	4	3	2	1
24. 地域の方々による児童生徒の引率や指導への協力	4	3	2	1
25. 施設等による引率者や指導者の紹介や手配	4	3	2	1
26. 教育委員会等によるバスの手配などの事務的な業務の代行や支援	4	3	2	1
27. 教育委員会等による農林漁業体験や農林漁家泊ができる場所の 紹介や手配	4	3	2	1
28. 施設等による農林漁業体験や農林漁家泊ができる場所の紹介や手配	4	3	2	1
29. その他（				）

問 14. 【全学校】

集団宿泊活動を実施する際、児童生徒に次の活動をさせたいと思いますか。

「4－思う　　3－やや思う　　2－あまり思わない　　1－思わない」

1. 登山や野外炊事などの野外活動	4	3	2	1
2. カッターやカヌーなどの水辺の活動	4	3	2	1
3. 植物観察や野鳥観察などの自然観察活動	4	3	2	1
4. ネイチャークラフトや焼き板などの創作活動	4	3	2	1
5. キャンプファイヤーや星空観察などの夜の活動	4	3	2	1
6. 奉仕活動やボランティア活動	4	3	2	1
7. 農業・林業・漁業などの勤労体験	4	3	2	1
8. 職場体験活動などキャリア教育に関わる活動	4	3	2	1
9. 施設等がある地域の伝統文化に触れる活動	4	3	2	1
10. 施設等がある地域の学校や地域の人と交流する活動	4	3	2	1
11. スキーなどのスポーツ活動	4	3	2	1
12. 名所や旧跡などの見学	4	3	2	1
13. 災害時を想定した野外炊事やテント泊など防災に関する活動	4	3	2	1
14. 生命の尊さについて理解することを目的にした活動	4	3	2	1
15. 持続可能な社会を創る上で重要な、様々な環境について理解することを 目的にした活動	4	3	2	1
16. 自然に親しむことを目的にしたレクリエーション的な活動	4	3	2	1

17. 協調性や連帯感をはぐくむことを目的にしたグループ活動 4 - 3 - 2 - 1
 18. その他 ()

問 15. 【全学校】

児童生徒にとってどのような体験が必要だと思いますか。

「4－思う 3－やや思う 2－あまり思わない 1－思わない」

1. 生命の有限性や自然の大切さを実感する体験 4 - 3 - 2 - 1
 2. 芸術や文化に触れ豊かな情操を育む体験 4 - 3 - 2 - 1
 3. 普段接することのない多様な人々と交流し、多様な考え方があることを
 知ることや、新たな人間関係を築く経験 4 - 3 - 2 - 1
 4. 障害のある者と交流し、ふれあいを深める体験 4 - 3 - 2 - 1
 5. 働くことの尊さや喜び、大変さなどを実感する体験 4 - 3 - 2 - 1
 6. 奉仕活動やボランティア活動を通して、社会奉仕の精神を養う体験 . . . 4 - 3 - 2 - 1
 7. ルールやマナーを守ることの大切さを実感する体験 4 - 3 - 2 - 1
 8. 困難なことに挑戦する体験 4 - 3 - 2 - 1
 9. 失敗する体験 4 - 3 - 2 - 1
 10. 仲間と力を合わせて課題を達成する体験 4 - 3 - 2 - 1
 11. 人からありがとうと言われるなど、自分が必要とされていることを
 実感する体験 4 - 3 - 2 - 1
 12. 人から助けられたり、人を助けたりする体験 4 - 3 - 2 - 1
 13. 自己や人としての生き方や在り方を深く考える体験 4 - 3 - 2 - 1
 14. 子ども会のイベントや青少年教育施設の主催事業など、学校外での
 多様な体験活動に参加すること 4 - 3 - 2 - 1
 15. 自分が住んでいる地域の良さを実感する体験 4 - 3 - 2 - 1
 16. 自分が住んでいる地域と異なる地域の良さ、現状や課題を実感する体験 . 4 - 3 - 2 - 1
 17. 人間の命の基盤となる食物を作るものの大切さや大変さを実感する体験 . 4 - 3 - 2 - 1
 18. その他 ()

問 16. 【全学校】

集団宿泊活動を実施した学年の児童生徒は、次の事項にどの程度当てはまりますか。集団宿泊活動を実施していない場合は、小学校は5年生、中学校は2年生でご回答ください。

「4－思う 3－やや思う 2－あまり思わない 1－思わない」

1. 仲がよい 4 - 3 - 2 - 1
 2. ほほえましい笑いが多い 4 - 3 - 2 - 1
 3. 授業で教え合ったり、生活場面で助け合ったりしている 4 - 3 - 2 - 1
 4. 行事のときに盛り上がる 4 - 3 - 2 - 1
 5. もめごとが少ない 4 - 3 - 2 - 1
 6. 授業中の私語が少ないなど落ち着いて生活している 4 - 3 - 2 - 1
 7. 授業で自分の意見を発表する 4 - 3 - 2 - 1
 8. 清掃当番や係活動を責任もって果たす 4 - 3 - 2 - 1
 9. 規則を守る 4 - 3 - 2 - 1
 10. 挨拶や整理整頓など、基本的な生活習慣が身に付いている 4 - 3 - 2 - 1

問 17. 【全学校】

集団宿泊活動の日数についてお尋ねします。

(1) 集団宿泊活動の日数は何日が適当だとお考えですか。

1. 1泊2日
2. 2泊3日
3. 3泊4日
4. 4泊5日
5. 5泊6日以上
6. 実施する必要はない ※(2)「10. その他」に理由をご記入ください。

(2) 理由はどのようなことですか(複数回答可)。

1. 効果をあげるのに十分な日数
2. 効果をあげるには必要な日数
3. 教科の授業時数に支障がない日数
4. 児童生徒にとって適度な負荷となる日数
5. 児童生徒にある程度の負荷をかけるためには必要な日数
6. 保護者に経済的な負担を比較的かけない日数
7. 保護者に経済的な負担はかけるが許容される日数
8. 保護者の理解が得られる日数
9. 教職員による引率体制がとれる日数
10. その他 ()

問 18. 【全学校】

「小学校学習指導要領解説特別活動編」では、「集団宿泊活動については、一定期間(例えば1週間(5日間)程度)※にわたって行うことが望まれる」とされていますが、集団宿泊活動を一定期間(例えば、1週間(5日間)程度)実施することについて、どのようにお考えですか。

※本調査では、一定期間を「3泊4日以上」とします。

1. 実施したい
2. 実施したいが困難
3. どちらかというを実施する必要はない
4. 実施する必要はない

問 19. 【全学校】

集団宿泊活動を「一定期間(例えば1週間(5日間)程度)にわたって行う」場合、次のことは不安ですか。

「4-不安 3-やや不安 2-あまり不安ではない 1-不安ではない」

- | | | | | | | | | |
|----------------------------------|-------|---|---|---|---|---|---|---|
| 1. 児童生徒の身体的な不安(病気, 体調不良, アレルギー等) | | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 2. 児童生徒の精神的な不安(人間関係への不安やホームシック等) | | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 3. 児童生徒の野外活動等における事故 | | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |
| 4. 児童生徒の生活面の指導 | | 4 | - | 3 | - | 2 | - | 1 |

5. 集団宿泊活動を実施することによる授業時数の不足 4 - 3 - 2 - 1
6. 集団宿泊活動の事前指導の時間の確保 4 - 3 - 2 - 1
7. 集団宿泊活動の事後指導の時間の確保 4 - 3 - 2 - 1
8. 集団宿泊活動の教育効果があいまい 4 - 3 - 2 - 1
9. 教職員の体験活動の指導力 4 - 3 - 2 - 1
10. 教職員の夜間における十分な指導体制をとること 4 - 3 - 2 - 1
11. 教職員の身体的な健康 4 - 3 - 2 - 1
12. 教職員の時間外勤務に対する手当 4 - 3 - 2 - 1
13. 十分な引率体制をとること 4 - 3 - 2 - 1
14. 特別な配慮を要する児童生徒(身体的な障害や精神的な障害)への対応 4 - 3 - 2 - 1
15. 集団宿泊活動に関する事務的な業務に係る時間の確保 4 - 3 - 2 - 1
16. 保護者の経済的な負担 4 - 3 - 2 - 1
17. 保護者の理解を得ること 4 - 3 - 2 - 1
18. その他 ()

問 20. 【全学校】

集団宿泊活動を「一定期間(例えば1週間(5日間)程度)にわたって行う」場合、次のことは必要ですか。

「4 - 必要 3 - やや必要 2 - あまり必要ではない 1 - 必要ではない」

1. 各教科等に体験活動を関連付け効果的に展開するプログラムの提供 . . 4 - 3 - 2 - 1
2. 集団宿泊活動の計画や指導のための手引書のような資料の提供 . . . 4 - 3 - 2 - 1
3. 集団宿泊活動の計画や指導の参考となる長期集団宿泊活動の事例集の
提供 4 - 3 - 2 - 1
4. 集団宿泊活動の効果を測定するための資料の提供 4 - 3 - 2 - 1
5. 保護者等に集団宿泊活動の効果などを伝える資料の提供 4 - 3 - 2 - 1
6. 集団宿泊活動や体験活動に関する先生方の研修の機会の提供 4 - 3 - 2 - 1
7. 外部の指導者やボランティア等の協力 4 - 3 - 2 - 1
8. 教育委員会等による児童生徒の交通費や宿泊費等の経費補助 4 - 3 - 2 - 1
9. 教育委員会等による外部の指導者やボランティア, 活動場所等の紹介や
手配 4 - 3 - 2 - 1
10. 教育委員会等による特別な配慮を要する児童生徒(身体的な障害や
精神的な障害)に対応するための要員の手配や配置 4 - 3 - 2 - 1
11. 施設等による外部の指導者やボランティア, 活動場所等の紹介や手配 . . 4 - 3 - 2 - 1
12. 教育委員会等による児童生徒の傷病や体調不良に対応する看護師等の
手配や配置 4 - 3 - 2 - 1
13. その他 ()

問 21. 【全学校】

平成 29 年度に実施した「遠足・旅行，集団宿泊的行事（修学旅行，野外活動，集団宿泊活動，移動教室など）」における，「農林漁業体験」及び「農林漁家泊」についてお尋ねします。

(1) 農林漁業体験及び農林漁家泊を実施しましたか（日程の一部で実施した場合を含みます）。

1. 農林漁業体験だけを実施した ※ (2) (3) (4) をご回答ください。
2. 農林漁家泊だけを実施した ※ (2) (3) をご回答ください。
3. 農林漁業体験と農林漁家泊を実施した ※ (2) (3) をご回答ください。
4. 実施していない ※ (4) をご回答ください。

(2) 行事，学年，内容について，ご回答ください。

行事の種類	学年	内容
1 遠足 2 修学旅行 3 集団宿泊活動 4 その他 ()		1 農林漁業体験 2 農林漁家泊
1 遠足 2 修学旅行 3 集団宿泊活動 4 その他 ()		1 農林漁業体験 2 農林漁家泊
1 遠足 2 修学旅行 3 集団宿泊活動 4 その他 ()		1 農林漁業体験 2 農林漁家泊
1 遠足 2 修学旅行 3 集団宿泊活動 4 その他 ()		1 農林漁業体験 2 農林漁家泊

※「1 遠足」については，中学校は「旅行」としてご回答ください。

(3) 受け入れ先（農林漁業体験や農林漁家泊を実施した場所）における活動全般（体験内容，移動手段，宿泊先等）の総合的な調整は誰が行いましたか。

1. 教職員が，個々の活動先と個別に調整した
 2. 委託した旅行業者が調整した
 3. 受け入れ先で設置されている協議会やNPO等が調整した
 4. その他 ()
- ※2. 3. は，適宜，教員が助言する場合も含みます。

(4) 貴校が，農林漁家泊を実施していない理由は何ですか（複数回答可）。

1. 農林漁家に宿泊すること自体念頭になかった
2. 農林漁家に宿泊する意義を感じていない
3. 農林漁家に宿泊することに関する情報が不足している
4. これまでの取組に変えて，新たに農林漁家泊を実施することに抵抗がある
5. 学校内における理解が得られていない
6. 保護者の理解が得られていない
7. 児童生徒の安全確保に不安がある
8. 食物アレルギーへの対応等，農林漁家が提供する食事面に不安がある
9. 職員等の目が行き届かないので，複数の家に児童生徒が分散して宿泊することに不安がある
10. 複数の家に児童生徒が分散して宿泊するので，学級や学年としての集団活動に馴染まない
11. 複数の農林漁家と，どのように調整すればよいかわからない
12. 国公立の青少年教育施設等を利用するよりも宿泊費などの経費がかかる
13. その他 ()

問 25. 【全学校】

あなたが小学生の時に体験した集団宿泊活動についてお尋ねします。

(1) 日数 1. 1泊2日 2. 2泊3日 3. 3泊4日 4. 4泊5日以上 5. 覚えていない

(2) どのような印象をお持ちですか。

※「0-覚えていない」以外の先生は(3)をご回答ください。

4-よい印象 3-どちらかという
よい印象 2-どちらかという
悪い印象 1-悪い印象 0-覚えて
いない

(3) そうした印象をもたらした要因はどのようなことですか。箇条書きで簡潔にご回答ください
(複数回答可)。

例. ①登山は大変だったが、全員で登り切り感動したこと
②友達と夢について話したこと

問 26. 【全学校】

ご回答いただいた先生についてお尋ねします。

(1) 氏名 ()
よみがな: ()

※ご回答いただいたことについて、お尋ねすることがある場合のためです。

(2) 職名 1. 学年主任 2. 教諭 3. 教頭・副校長 4. 校長 5. その他 ()

(3) 年代 1. ~34歳 2. 35歳~44歳 3. 45歳~54歳 4. 55歳以上

(4) 性別 1. 男性 2. 女性

以上で終わりです。大変、お疲れ様でした。ご協力いただき誠にありがとうございました。

「小中学校の集団宿泊活動に関する全国調査」担当者

- 小林 真一 国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター参事
全体
- 青木 康太郎 国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター研究員
対象校の抽出
- 山川 晃 国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター企画室係員
集計・分析

「小中学校の集団宿泊活動に関する全国調査」報告書

発行日：平成 31 年 3 月

編集：国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター

連絡先：〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3 番 1 号

TEL 03-6407-7741 FAX 03-6407-7619

E-mail kenkyu-soumu@niye.go.jp
